

メガバンク式 チャート分析の 教科書

～あらゆる市場で通用する
チャートの本質～

自己紹介 鈴木 拓也



- 元・三井住友銀行の外国為替ディーラー
- 投資系のWebメディア、アプリ開発の法人経営
- FX, 個別株, 投信, 不動産へ投資 | 純資産5億円
- 日本証券アナリスト協会認定アナリスト(CMA)

著書一覧



<目次> ※クリックすると飛べます。

[第1章：ローソク足](#)

[第2章：チャートパターン](#)

[第3章：プライスアクション](#)

[第4章：ローソク足 応用編](#)

[第5章：ライントレード](#)

[第6章：ダウ理論](#)

[第7章：マルチタイムフレーム分析](#)

[第8章：エリオット波動](#)

[第9章：よくやる失敗](#)

[第10章：グランビルの法則](#)

[第11章：MACD](#)

[第12章：トレンドフォロー](#)

[第13章：水平線のダメな使い方](#)

[第14章：トレンドラインの正しい引き方](#)

[第15章：ボリンジャーバンド](#)

[第16章：RSI](#)

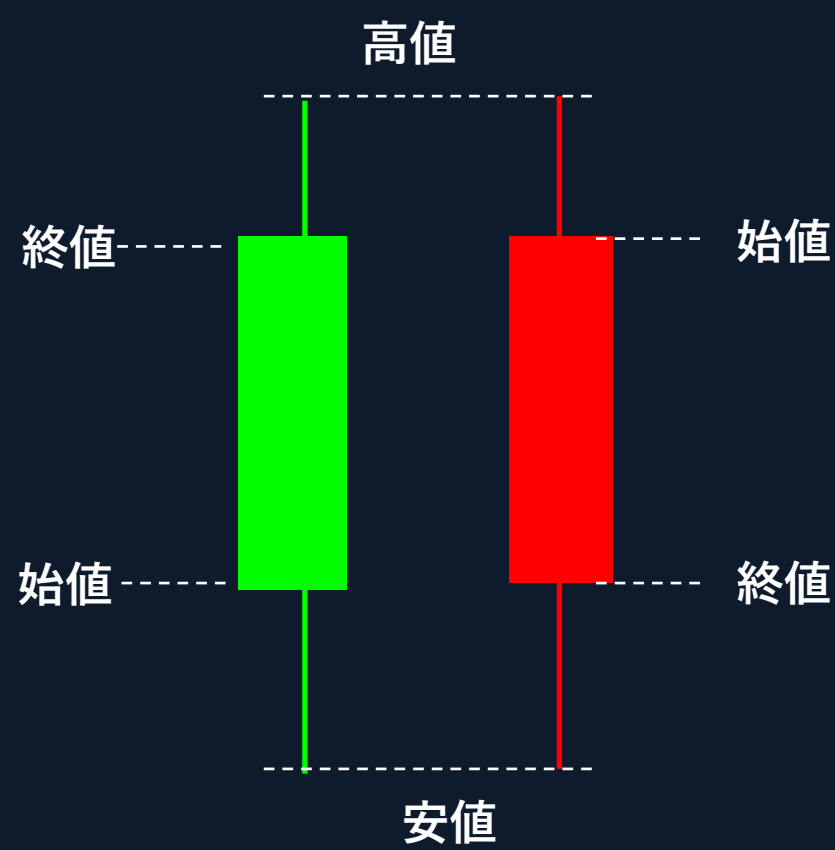
[第17章：ボリバン+RSI](#)

[第18章：フラクタル構造](#)

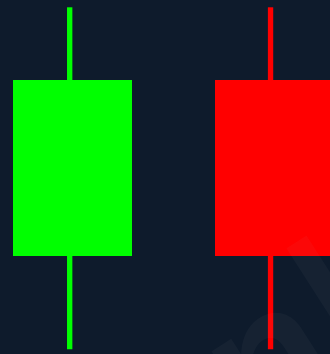
[終わりに（教材無料プレゼントのお知らせ）](#)

第1章 ローソク足

ローソク足の基本形



小陽線・小陰線



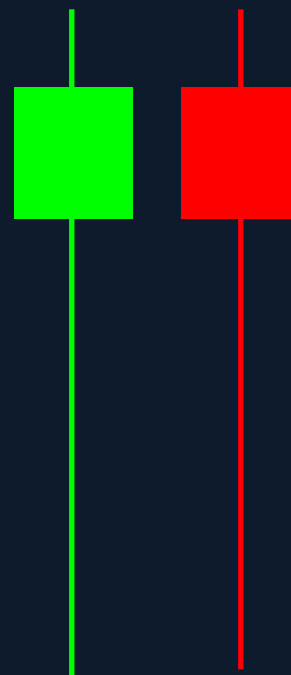
上影陽線・上影陰線



大陽線・大陰線



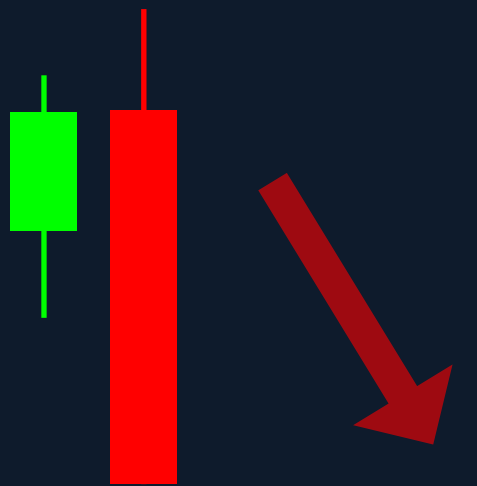
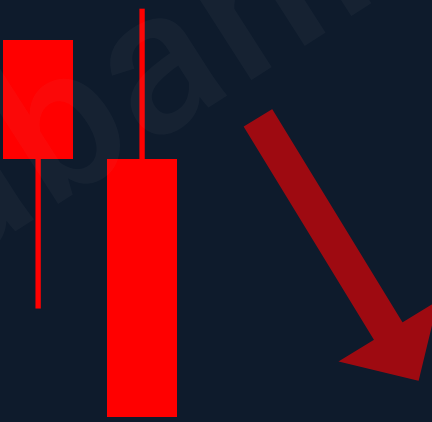
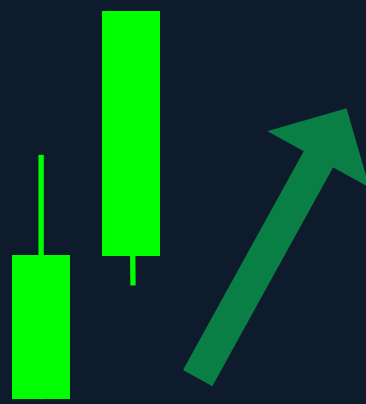
下影陽線・下影陰線



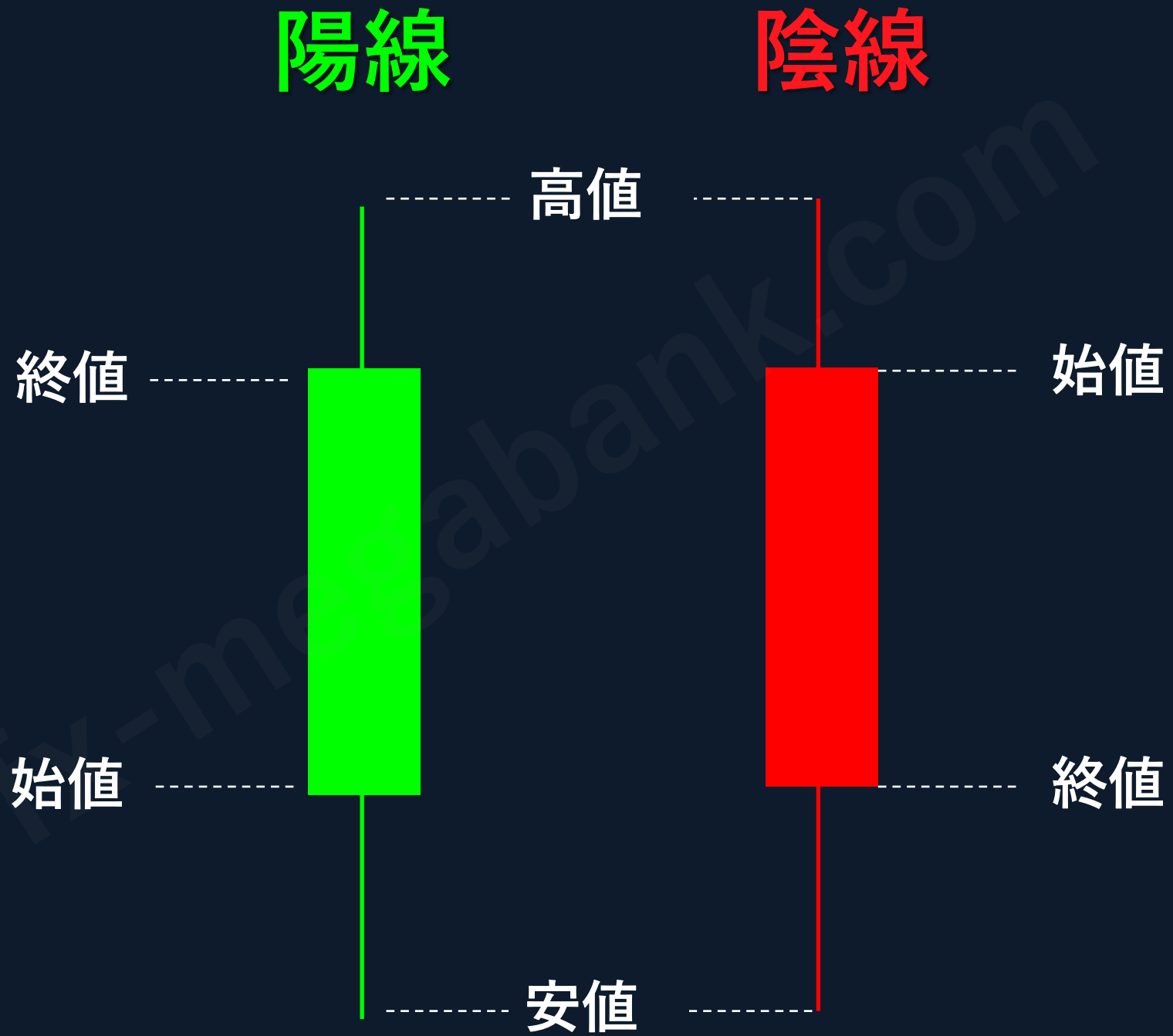
十字線



ローソク足の売買シグナル



ローソク足の構造



大陽線



大陰線



大陽線と大陰線のシグナル

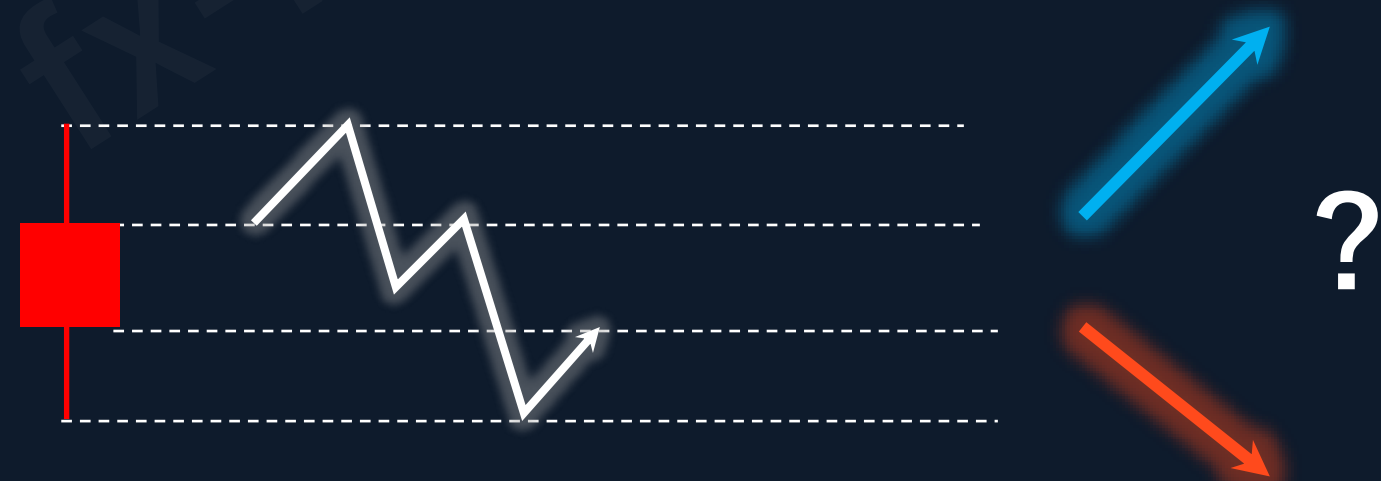


- 大陽線：安値圏で発生で上昇へのシグナル
- 大陰線：高値圏で発生で下降へのシグナル

小陽線



小陰線



小陽線と小陰線のシグナル



レンジ相場でよく発生し、相場の迷いを示す
明確なトレンドが無い場合が多く、取引は
控えるのが無難

上影陽線



上影陰線



下影陽線



下影陰線



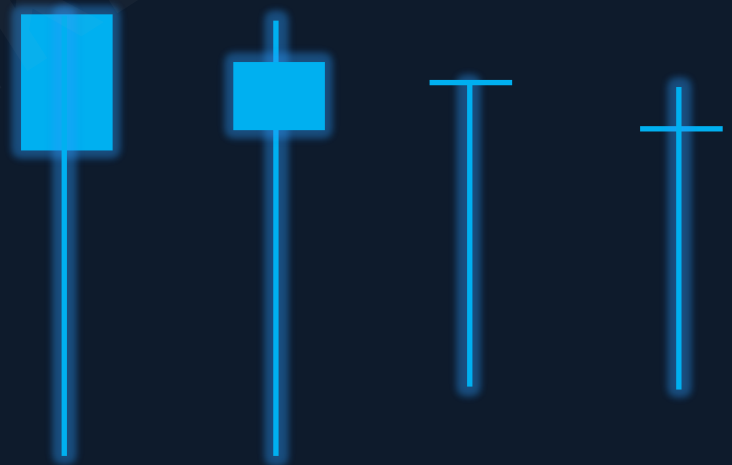
ローソク足の種類 ～リバーサル型～

トンカチ (陽線)



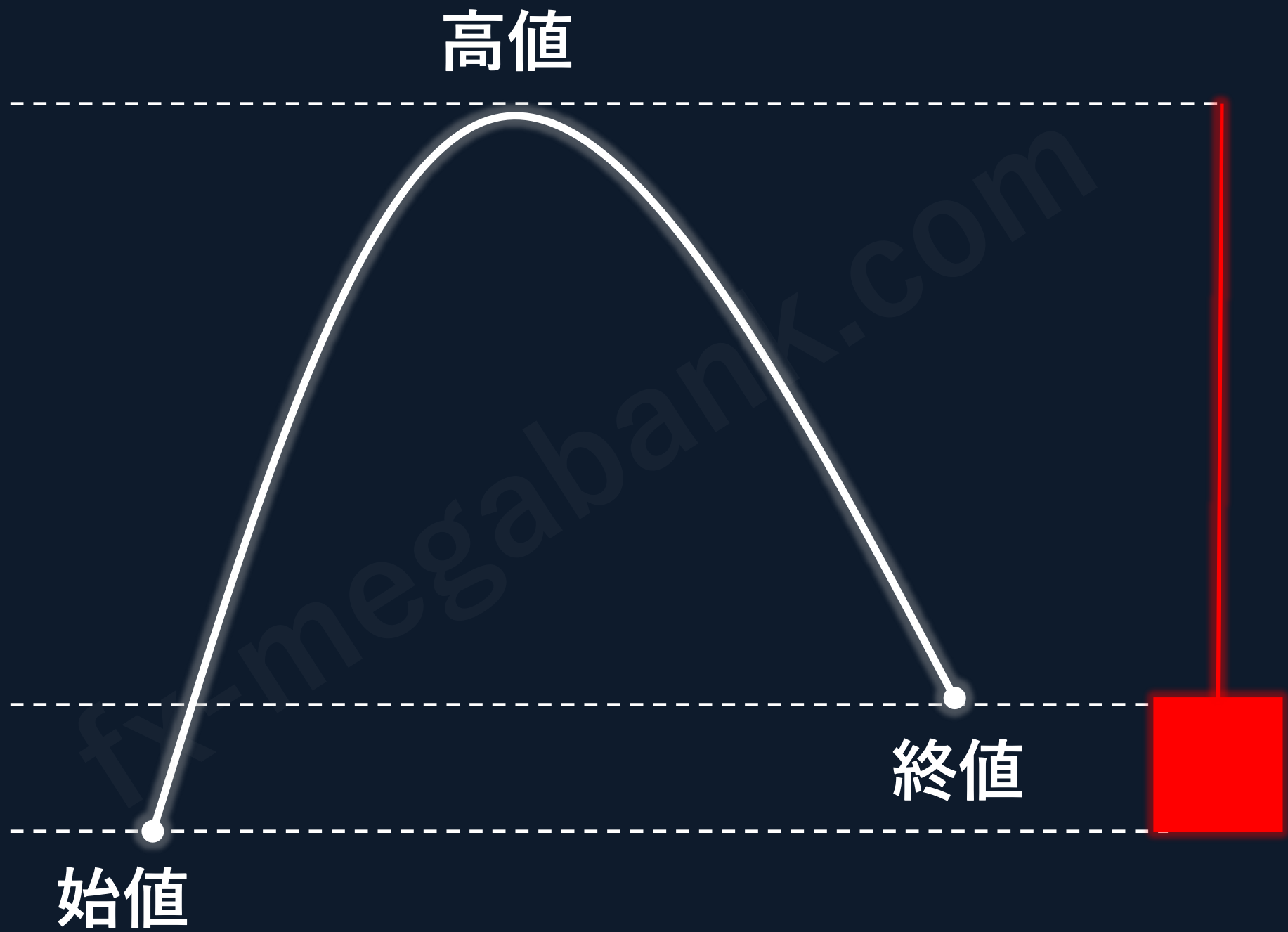
上昇トレンドから
下降トレンドへの
転換を示唆

カラカサ (陰線)



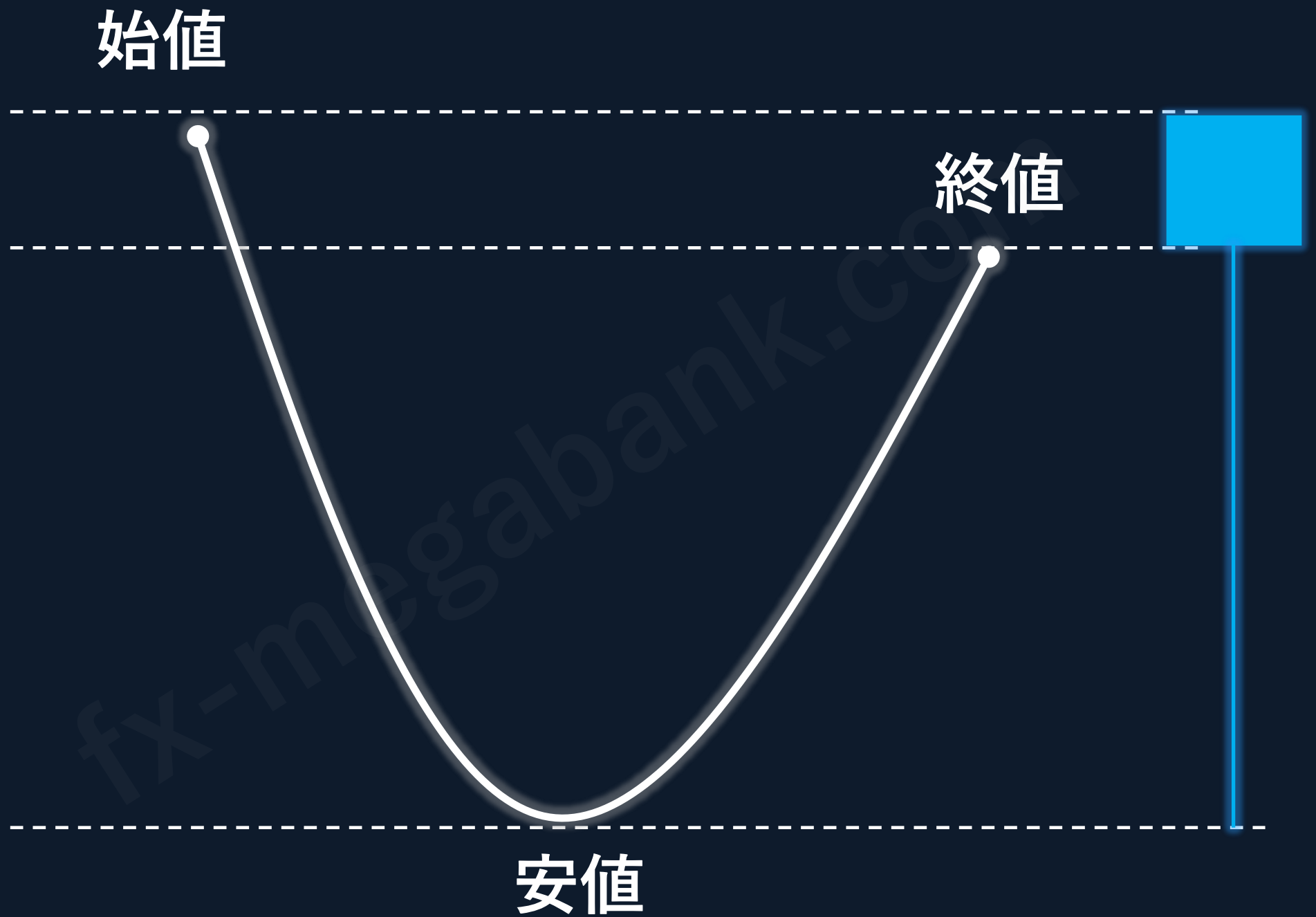
下降トレンドから
上昇トレンドへの
転換を示唆

トンカチの特徴



長い上ヒゲが発生した陽線であり、
売り圧力が強いことがうかがえる

カラカサの特徴



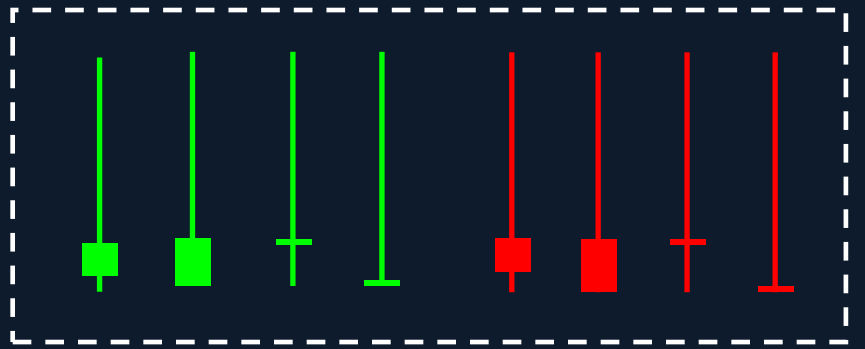
長い下ヒゲが発生した陰線であり、
買い圧力が強いことがうかがえる

スパイクハイ

上昇

下降

同じ意味

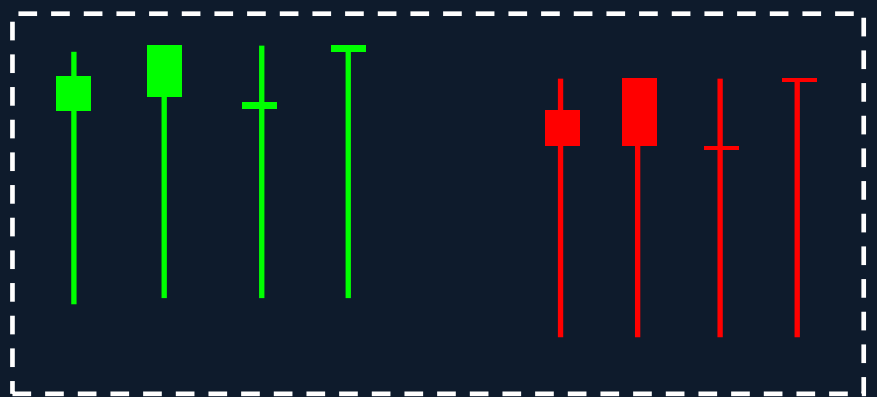


スパイクロー

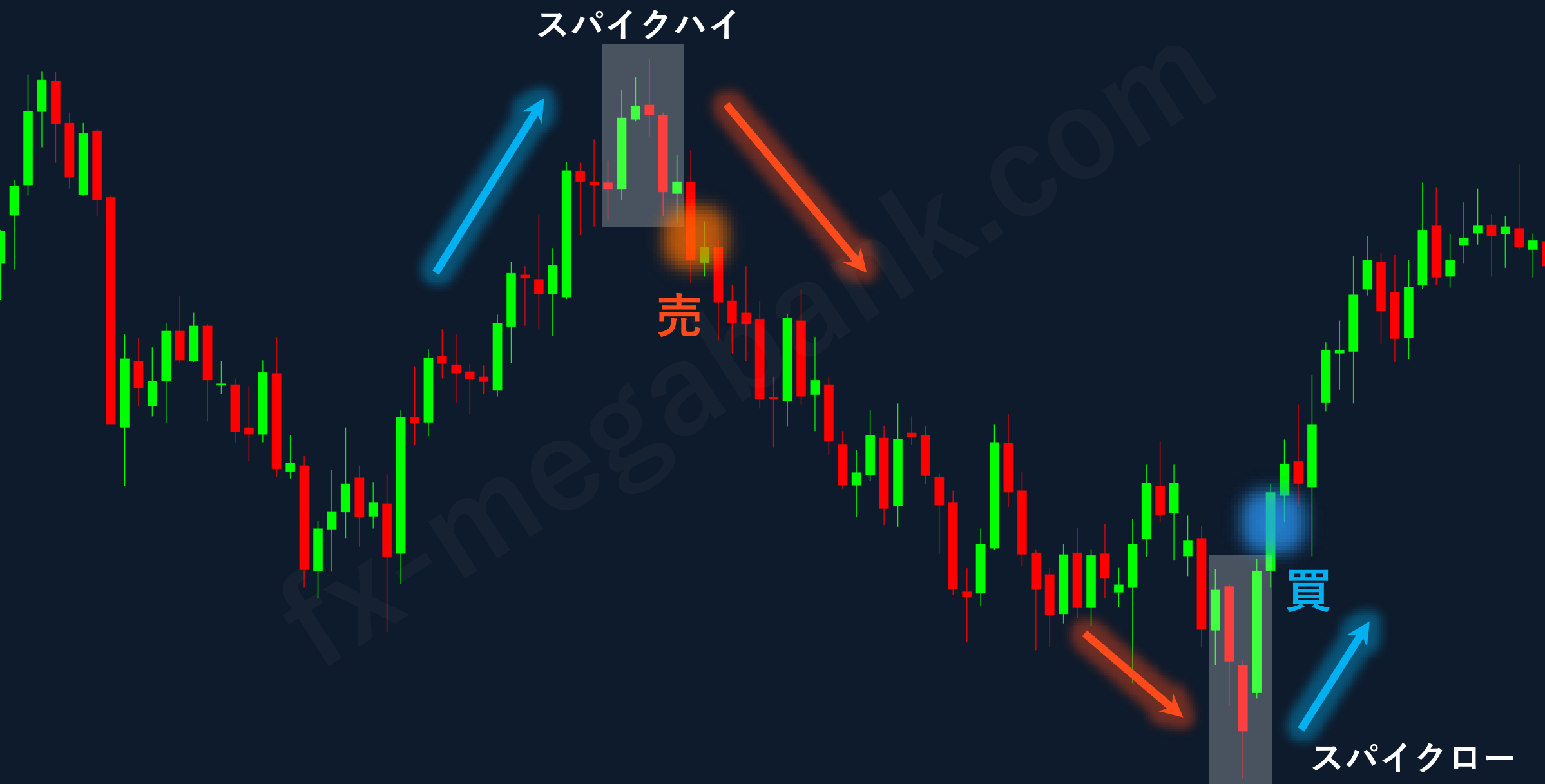
下降

上昇

同じ意味

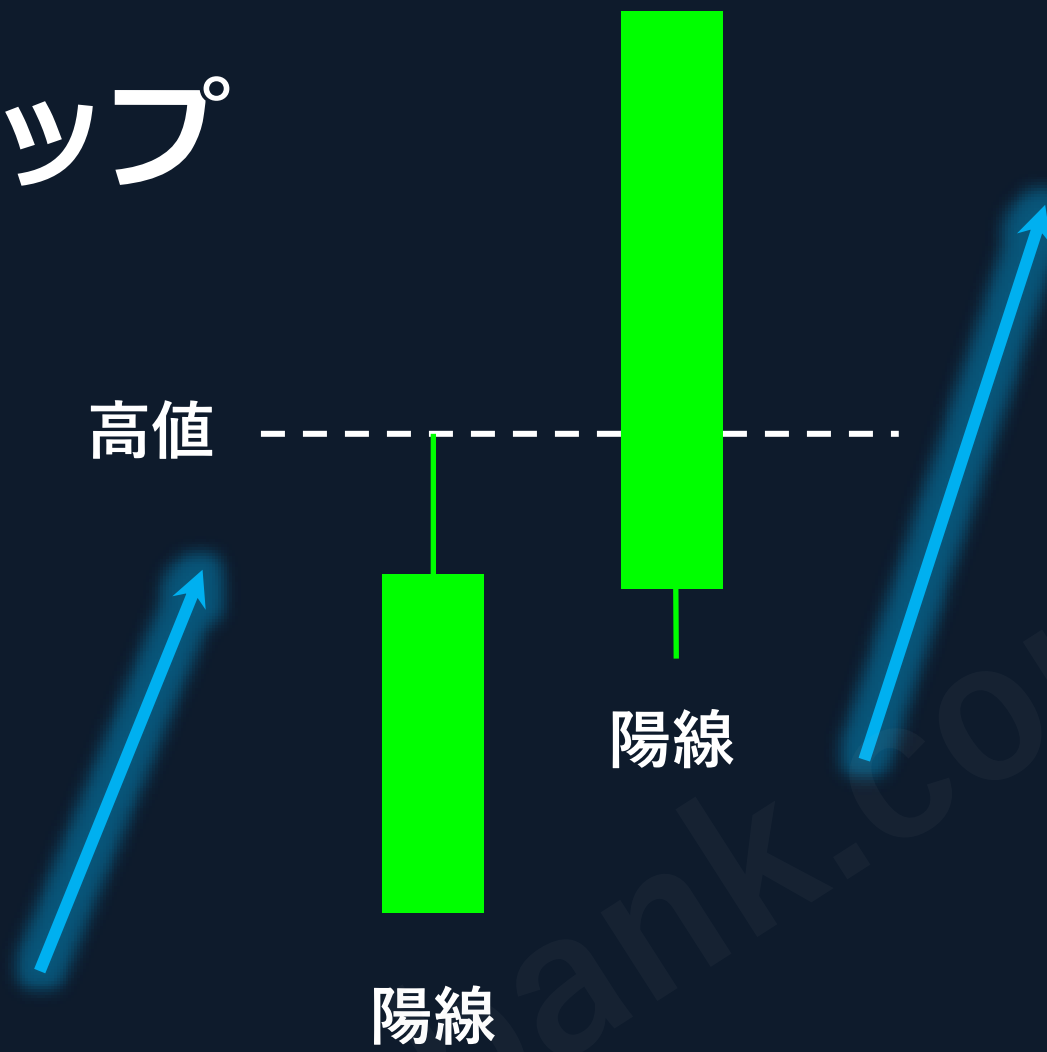


スパイクハイ・ローのシグナル

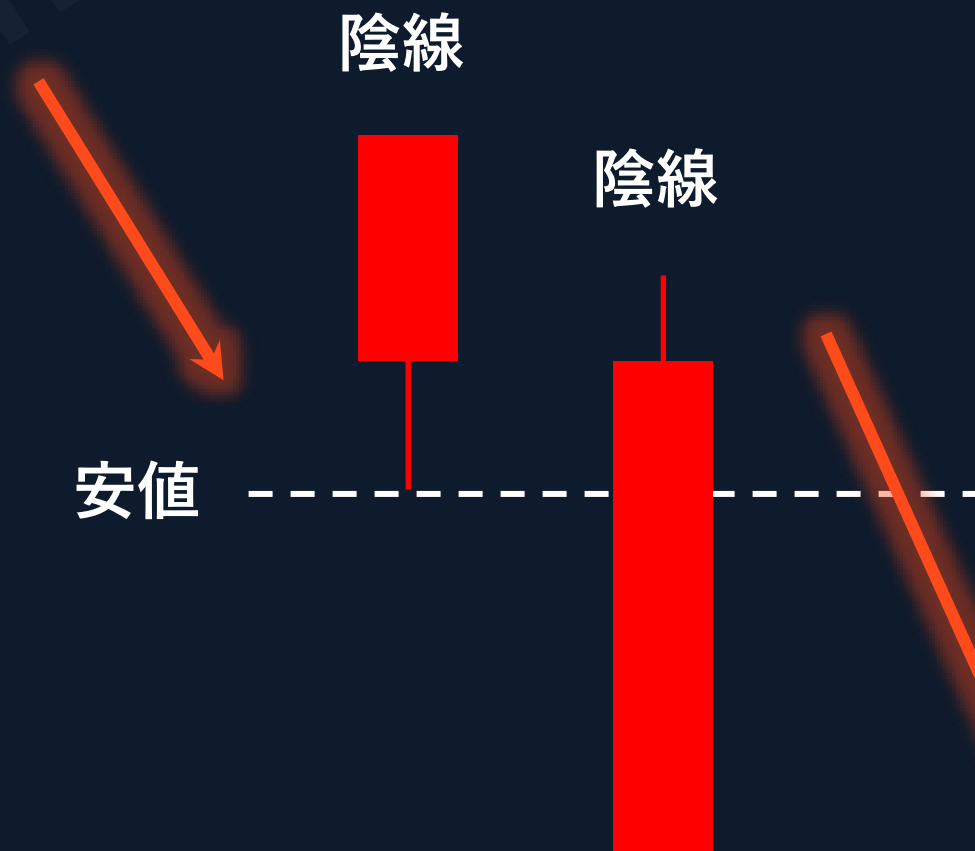


- ・ スパイクハイ： 下降への転換シグナル
- ・ スパイクロー： 上昇への転換シグナル

スラストアップ



スラストダウン

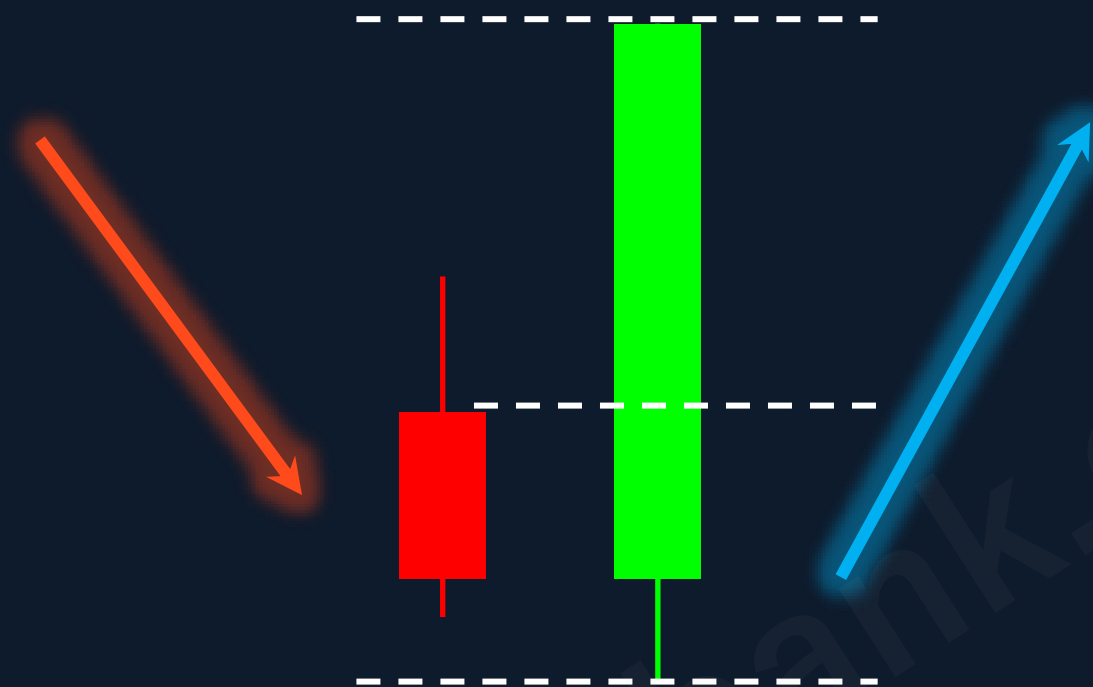


スラストアップのシグナル

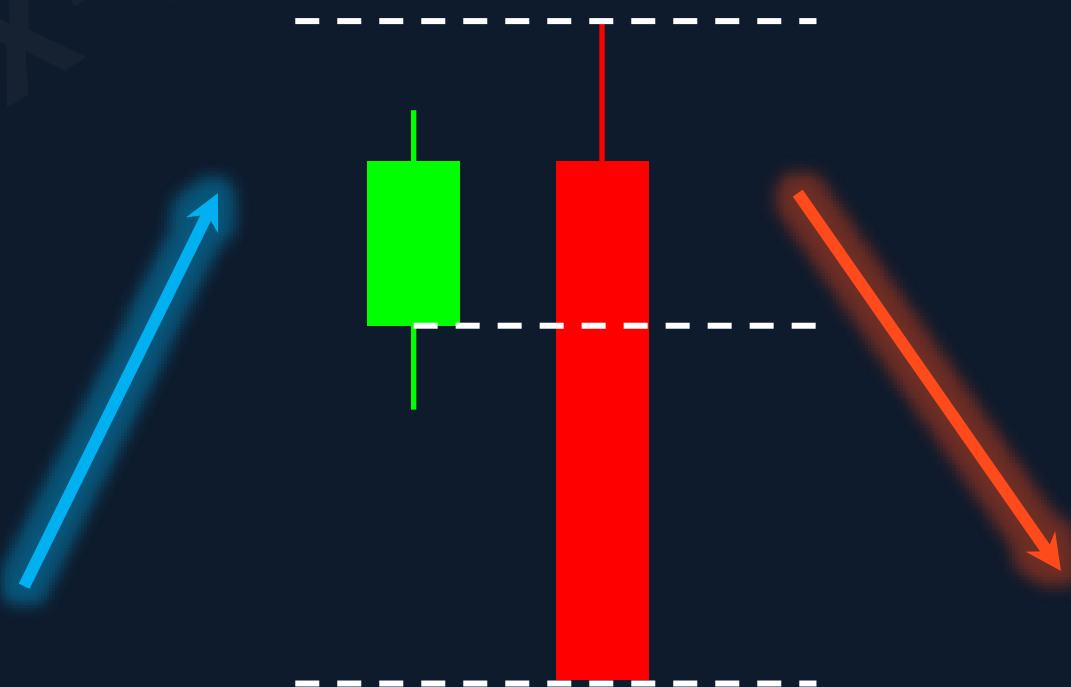


レジスタンスをスラストアップで突破し、
買い筋の勢いが一貫して強くまだまだ上昇する
可能性を示唆

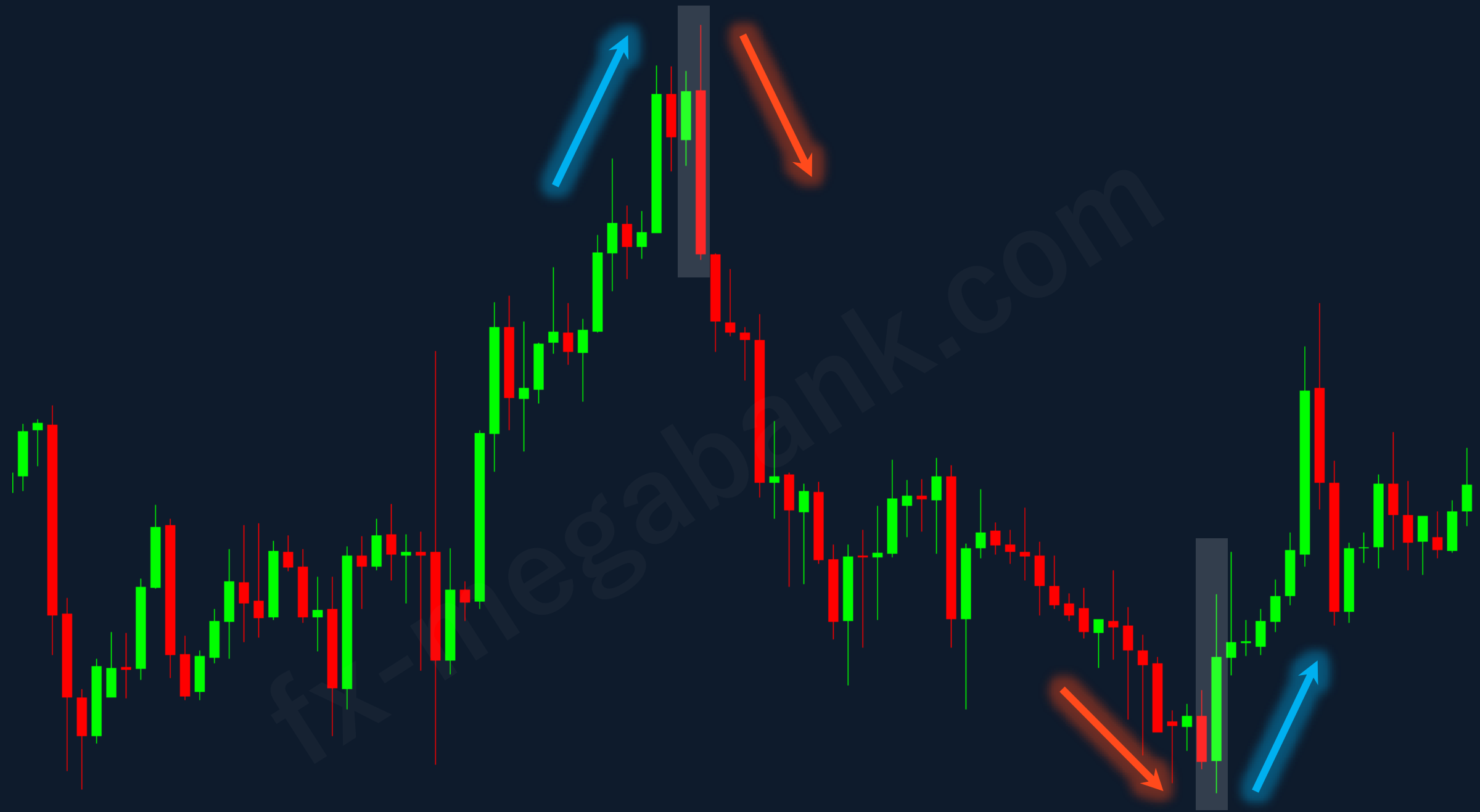
包み足 (陽線)



包み足 (陰線)



包み足のシグナル

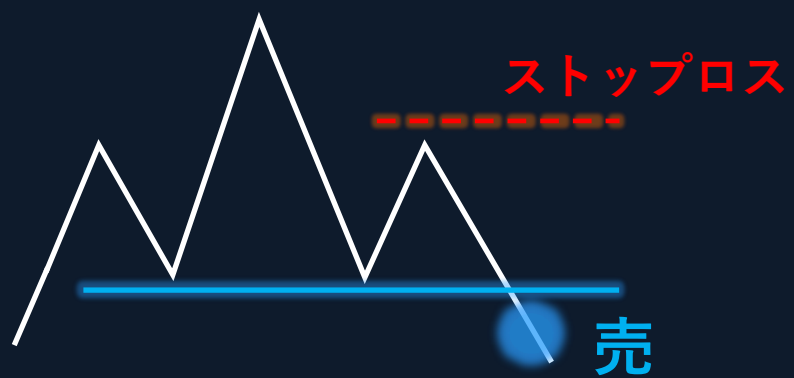


- 高値圏で包み足（陰線）で下降へのサイン
- 安値圏で包み足（陽線）で上昇へのサイン

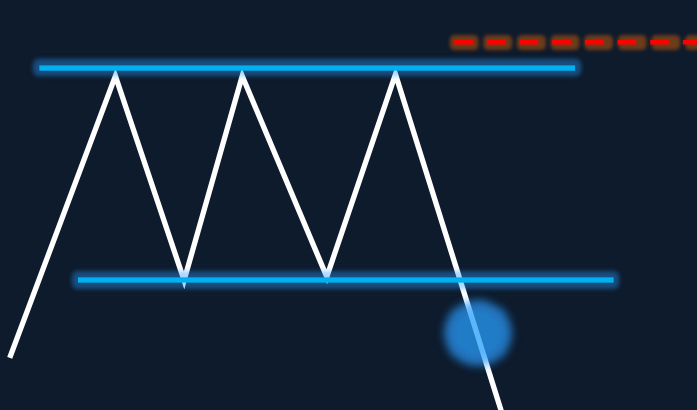
第2章

チャートパターン

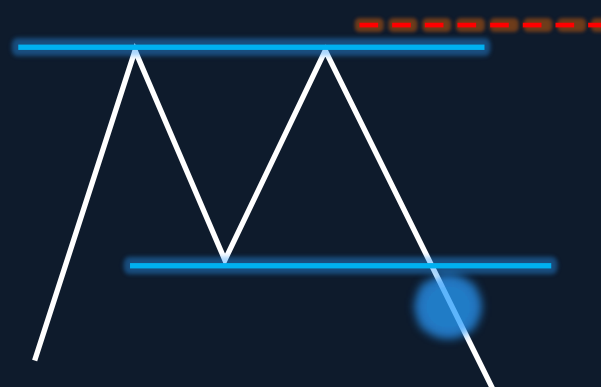
ヘッド&ショルダー



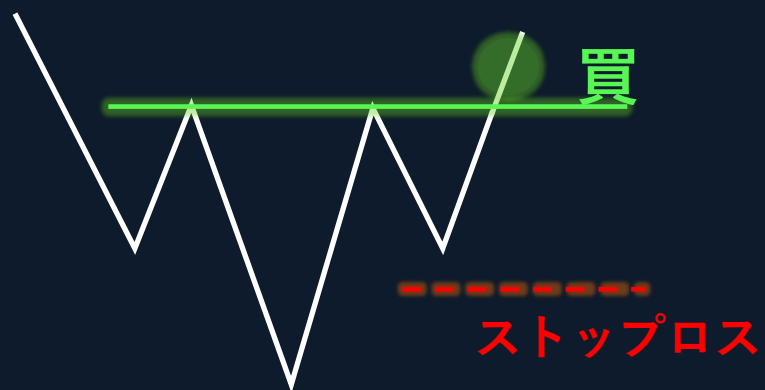
トリプルトップ



ダブルトップ



逆ヘッド&ショルダー



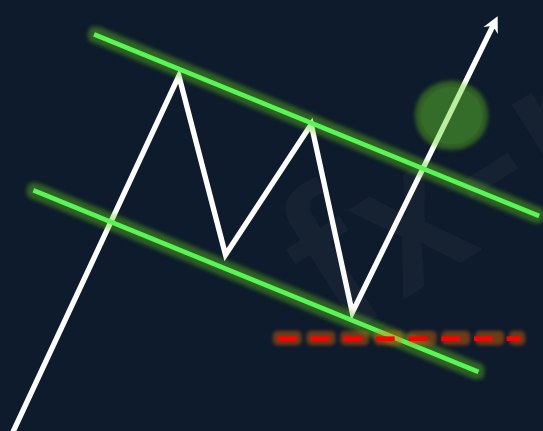
トリプルボトム



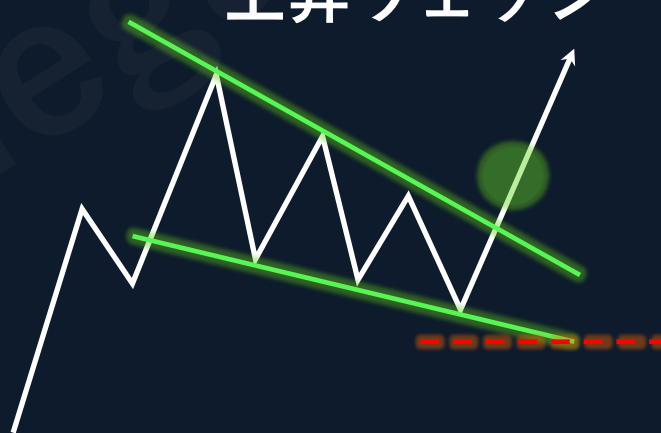
ダブルボトム



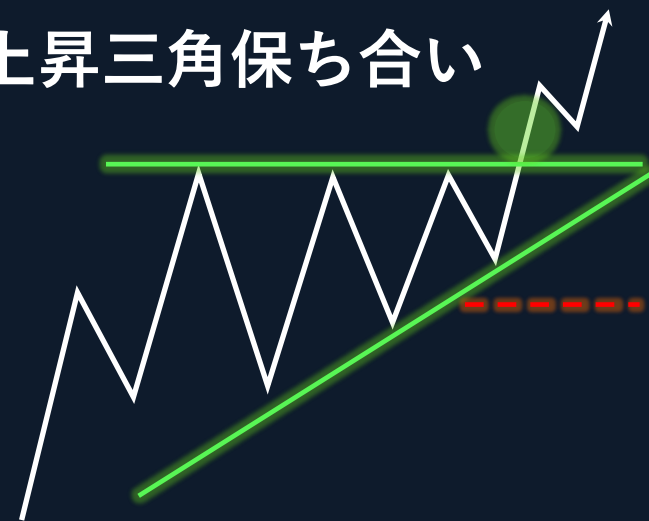
上昇フラッグ



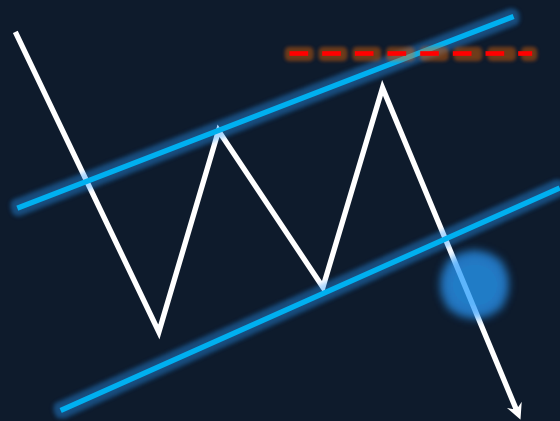
上昇ウェッジ



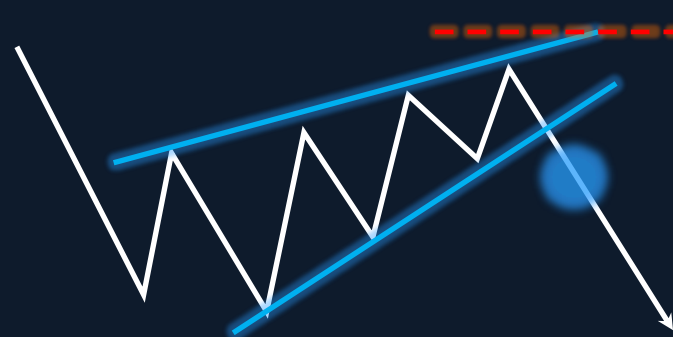
上昇三角保ち合い



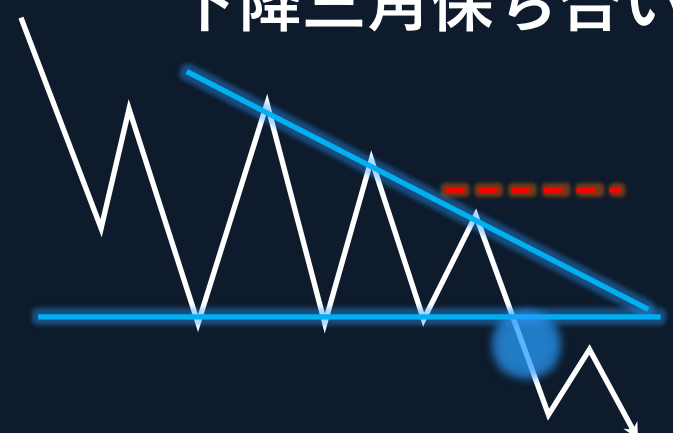
下降フラッグ



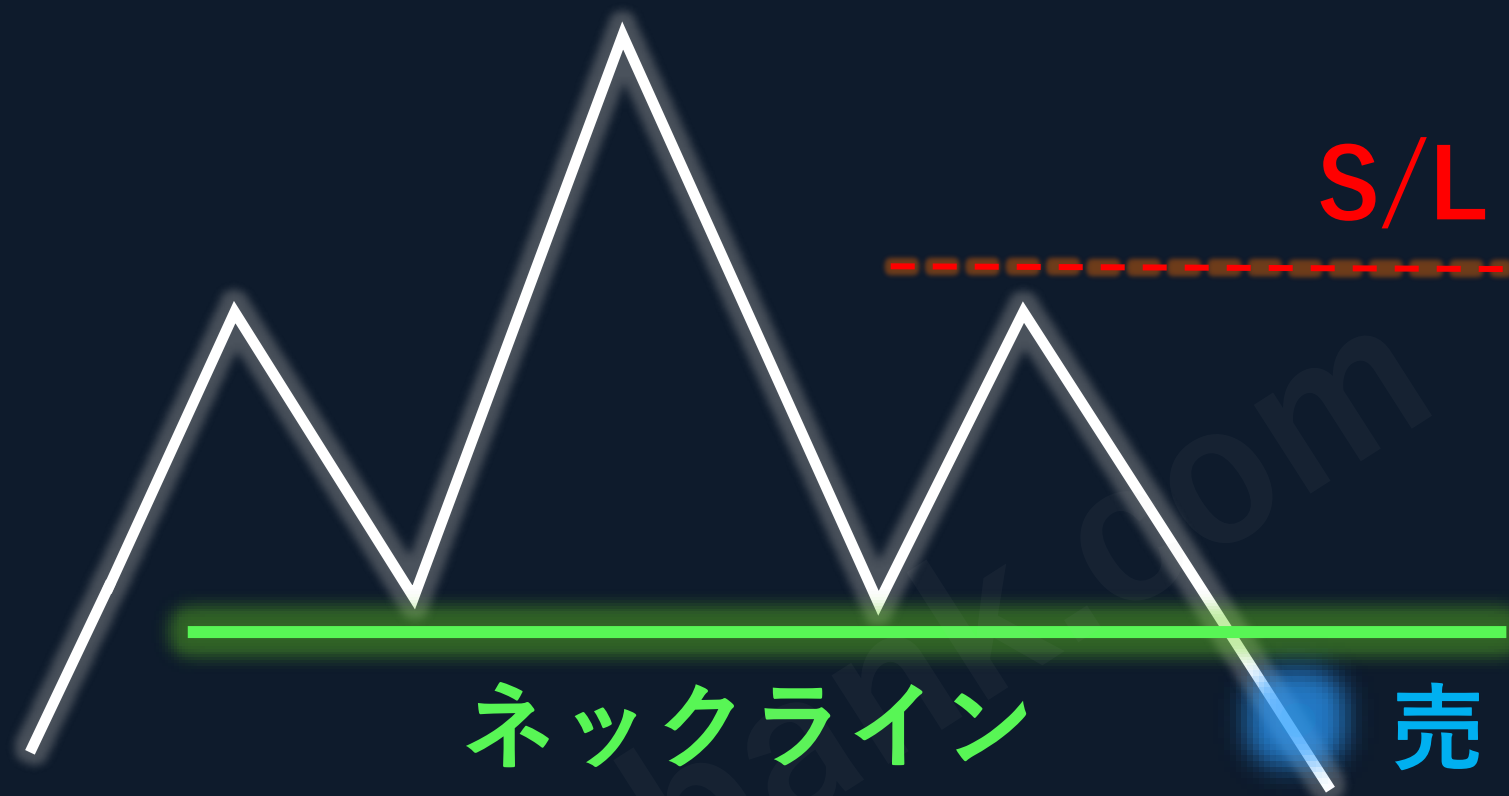
下降ウェッジ



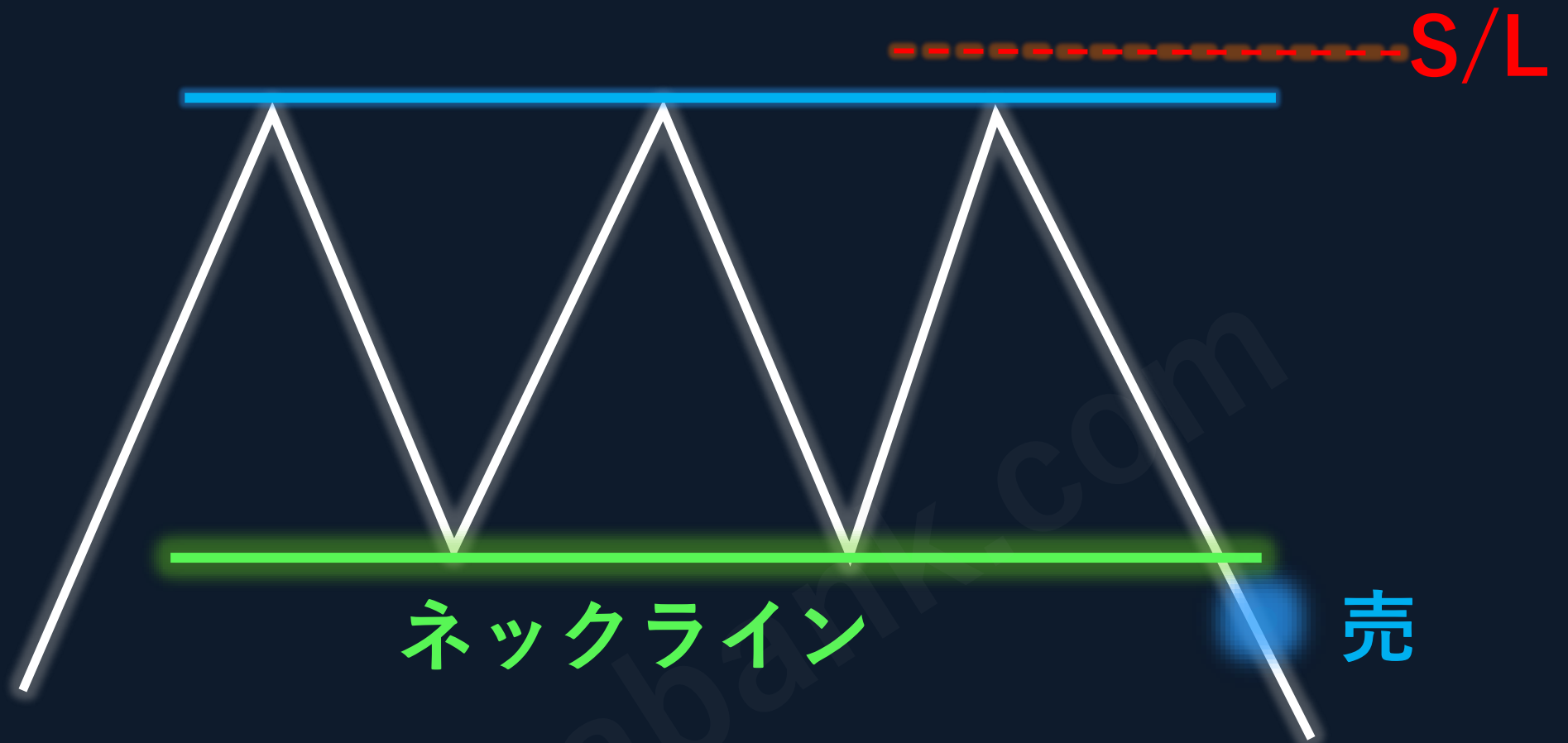
下降三角保ち合い



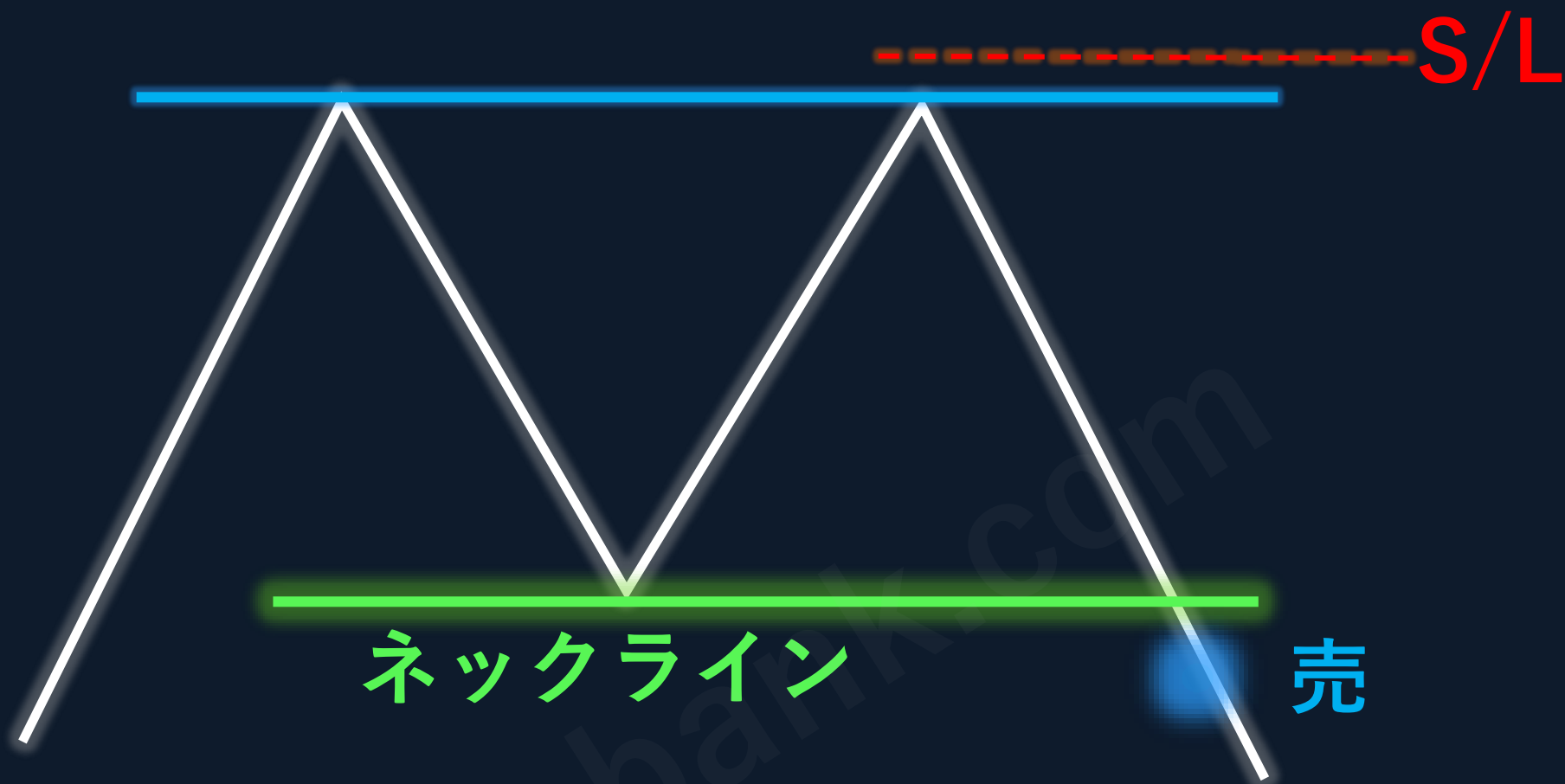
反転パターン① ヘッド&ショルダー



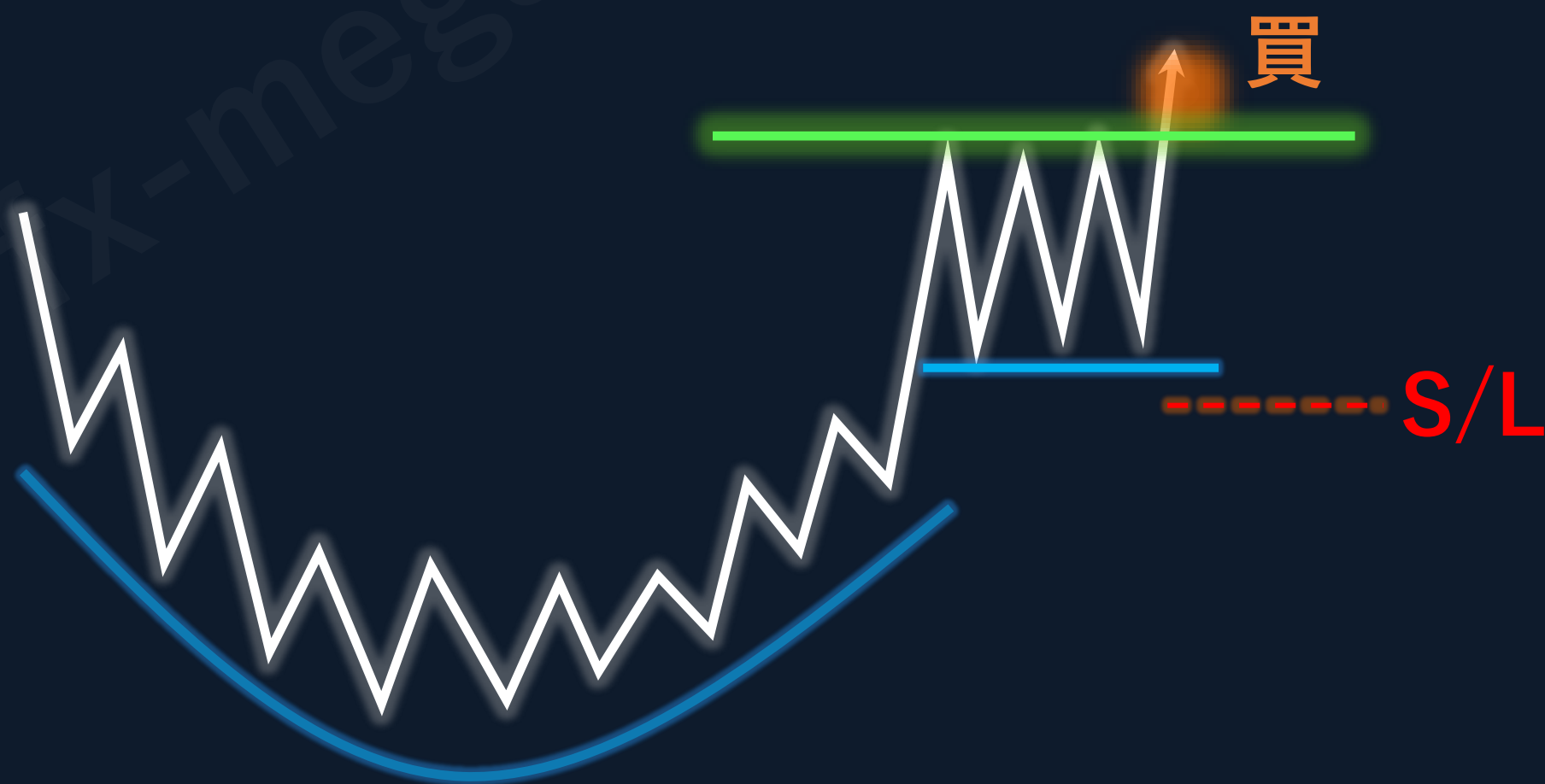
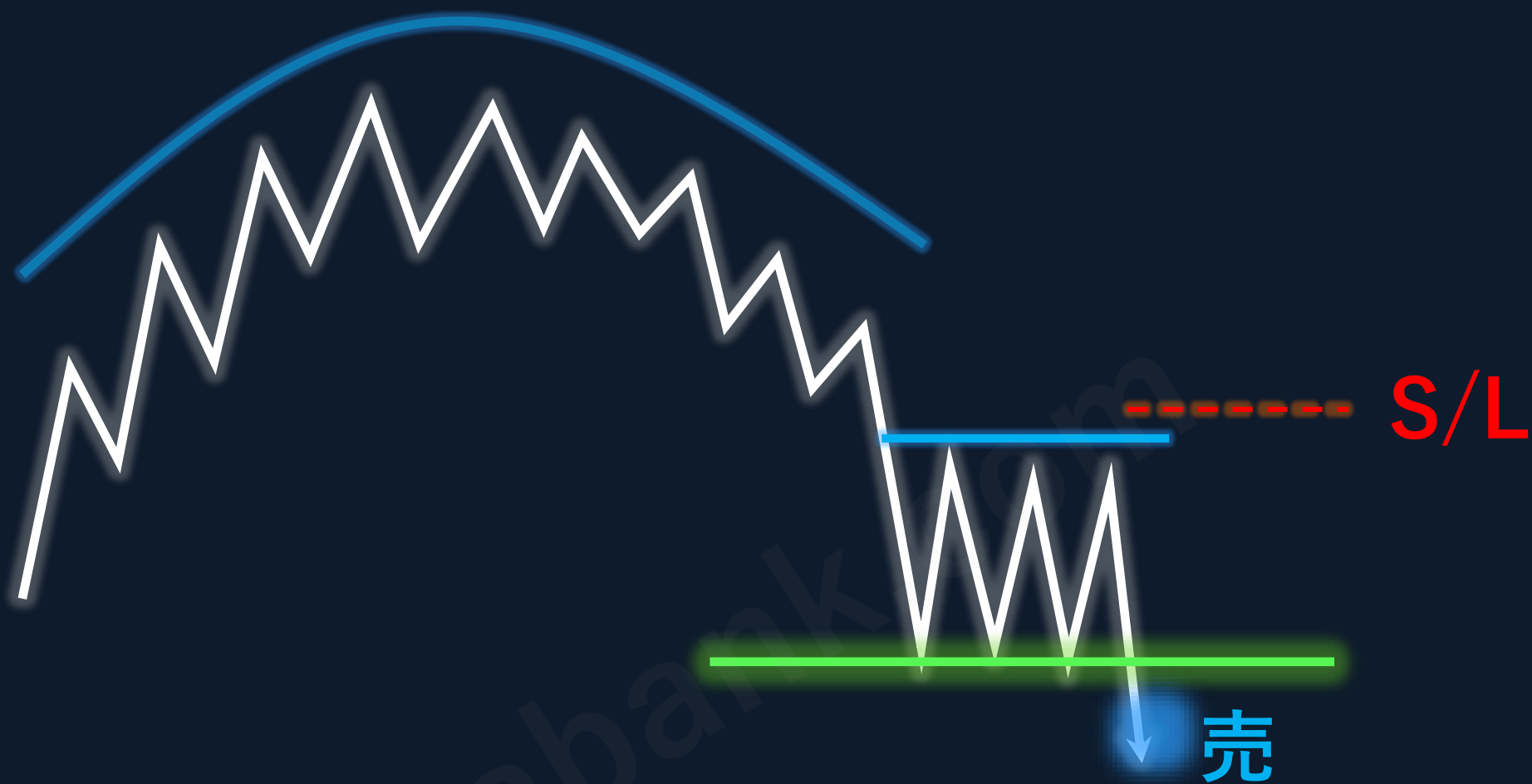
反転パターン② トリプルトップ(ボトム)



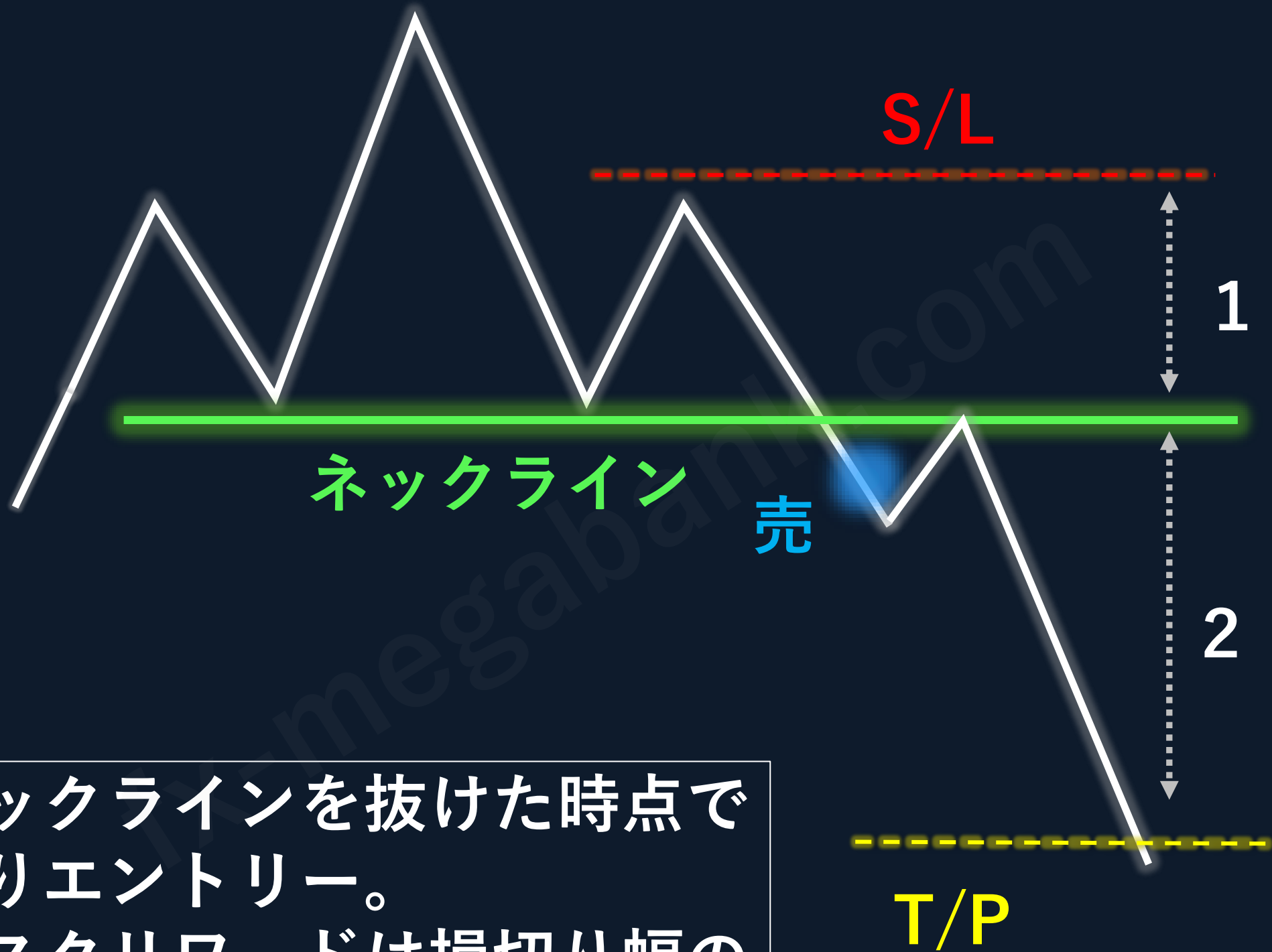
反転パターン③ ダブルトップ(ボトム)



反転パターン④ ソーサートップ(ボトム)

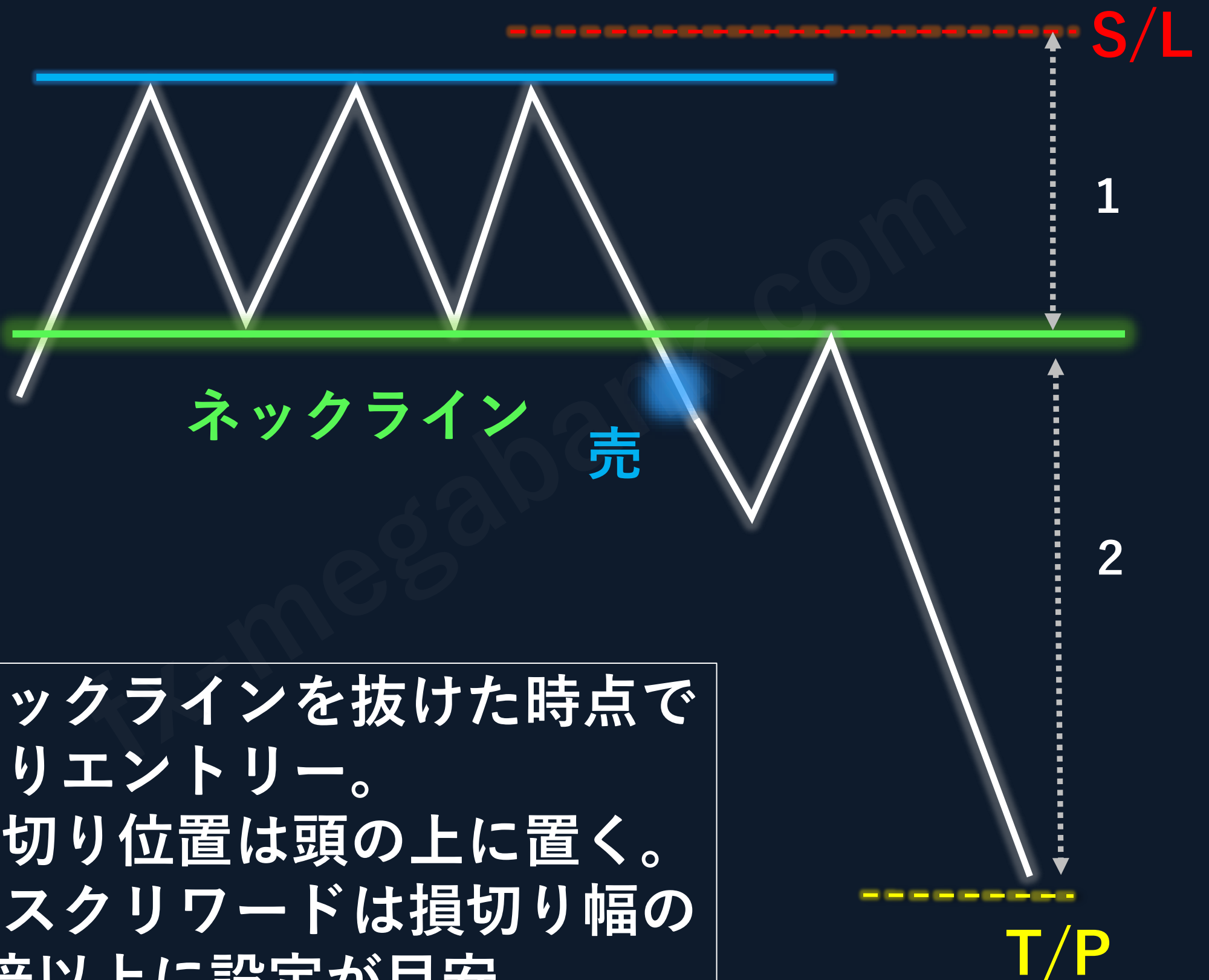


ヘッド&ショルダーのエントリーポイント



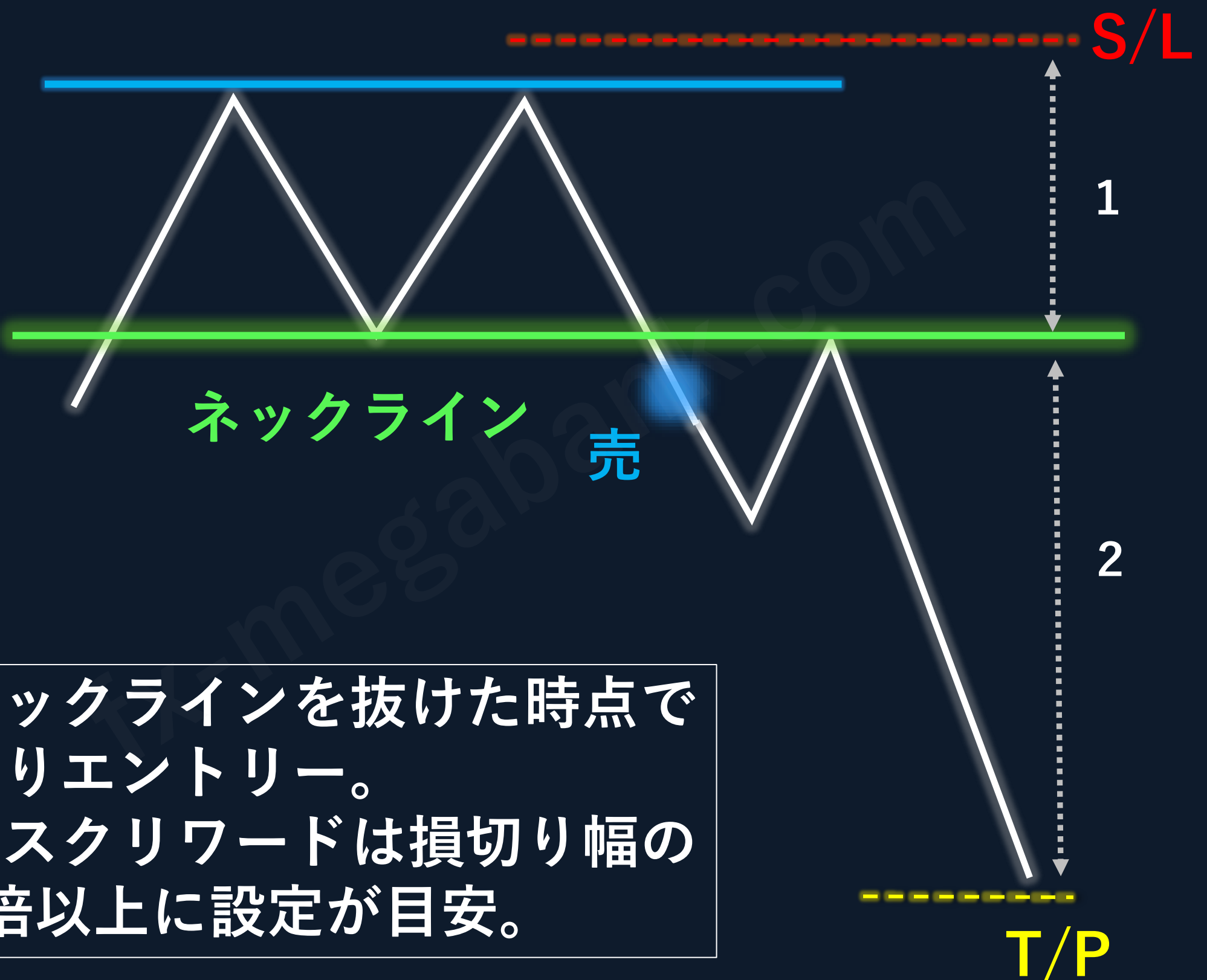
ネックラインを抜けた時点で
売りエントリー。
リスクリワードは損切り幅の
2倍以上に設定が目安。

トリプルトップのエントリーポイント



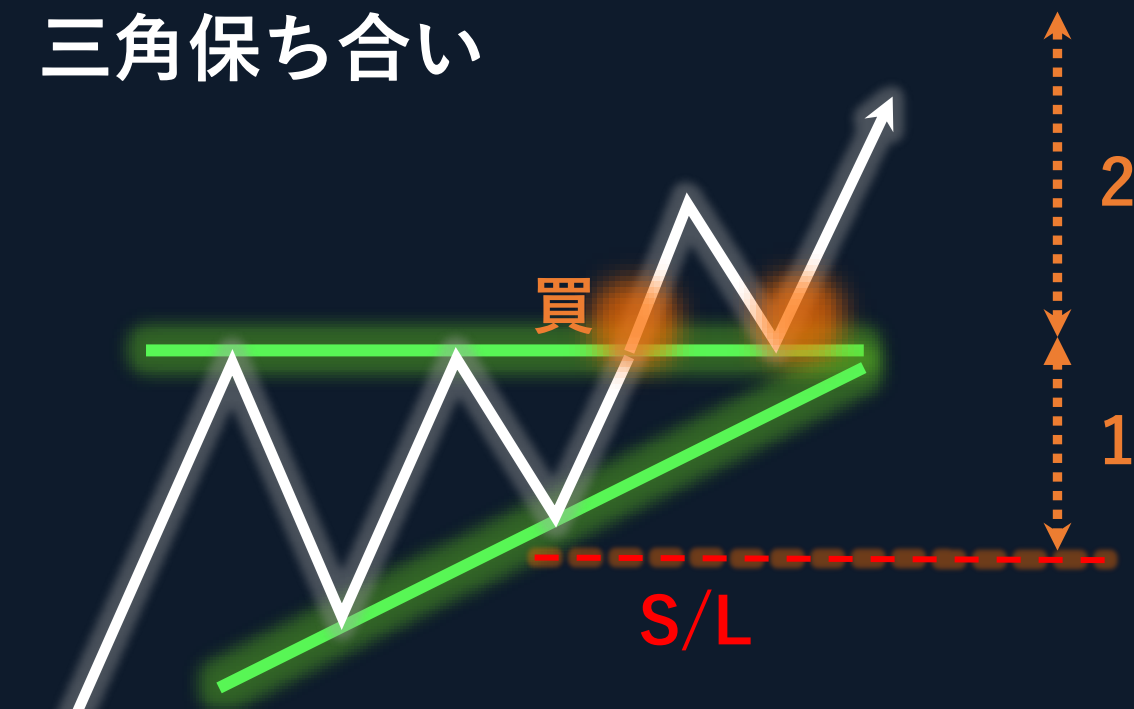
ネックラインを抜けた時点で
売りエントリー。
損切り位置は頭の上に置く。
リスクリワードは損切り幅の
2倍以上に設定が目安。

ダブルトップのエントリーポイント



ネックラインを抜けた時点で
売りエントリー。
リスクリワードは損切り幅の
2倍以上に設定が目安。

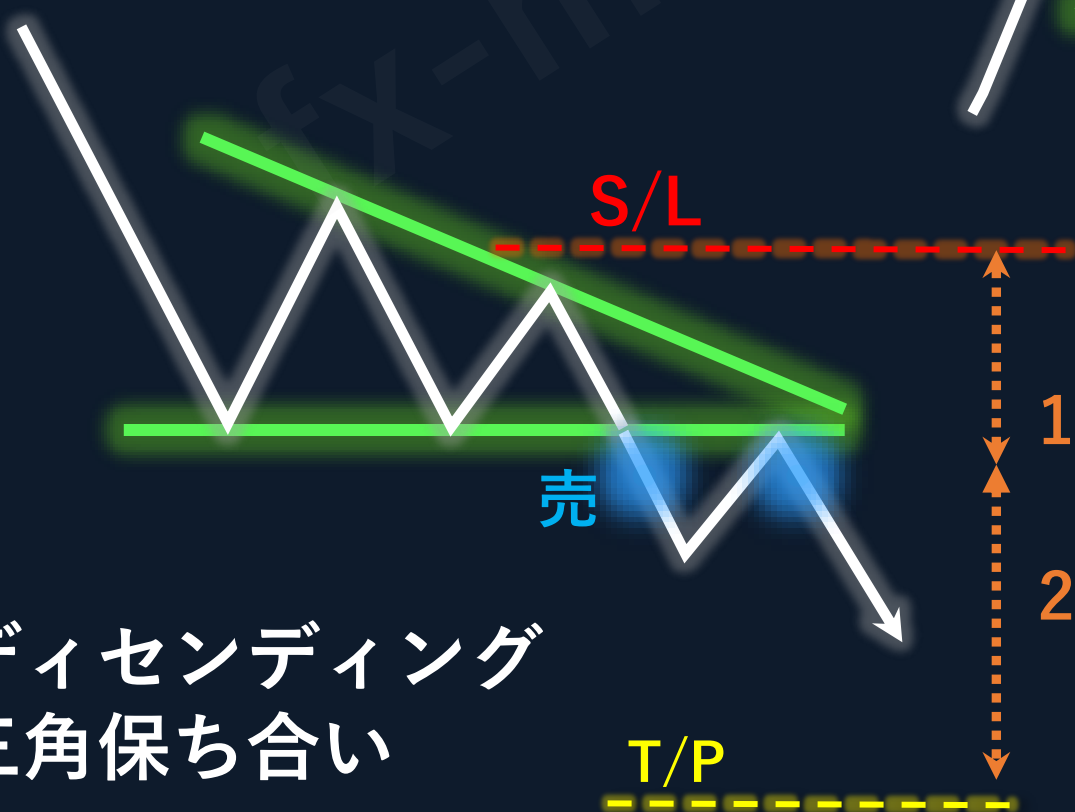
アセンディング
三角保ち合い



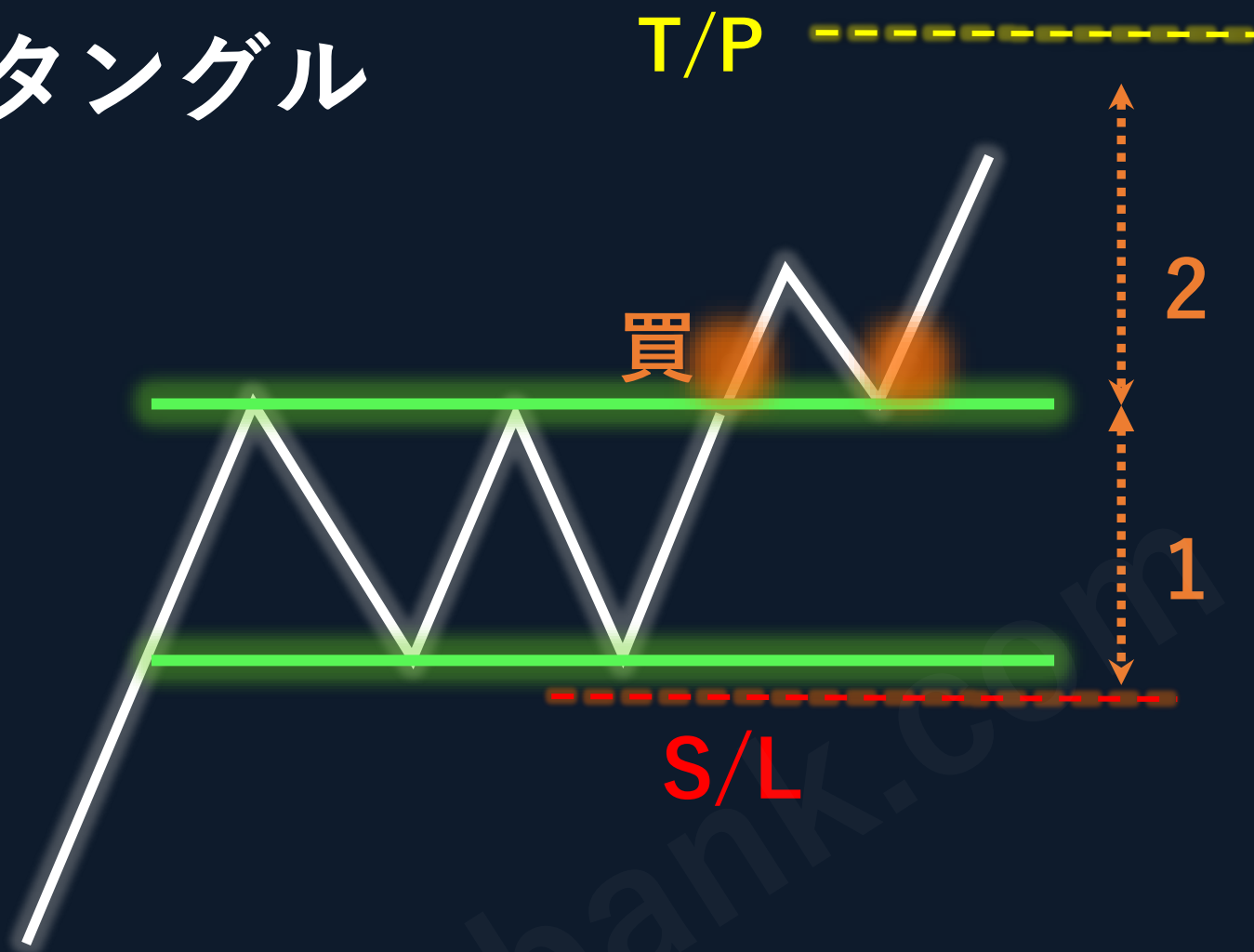
シンメトリカル・
三角保ち合い



ディセンディング
三角保ち合い



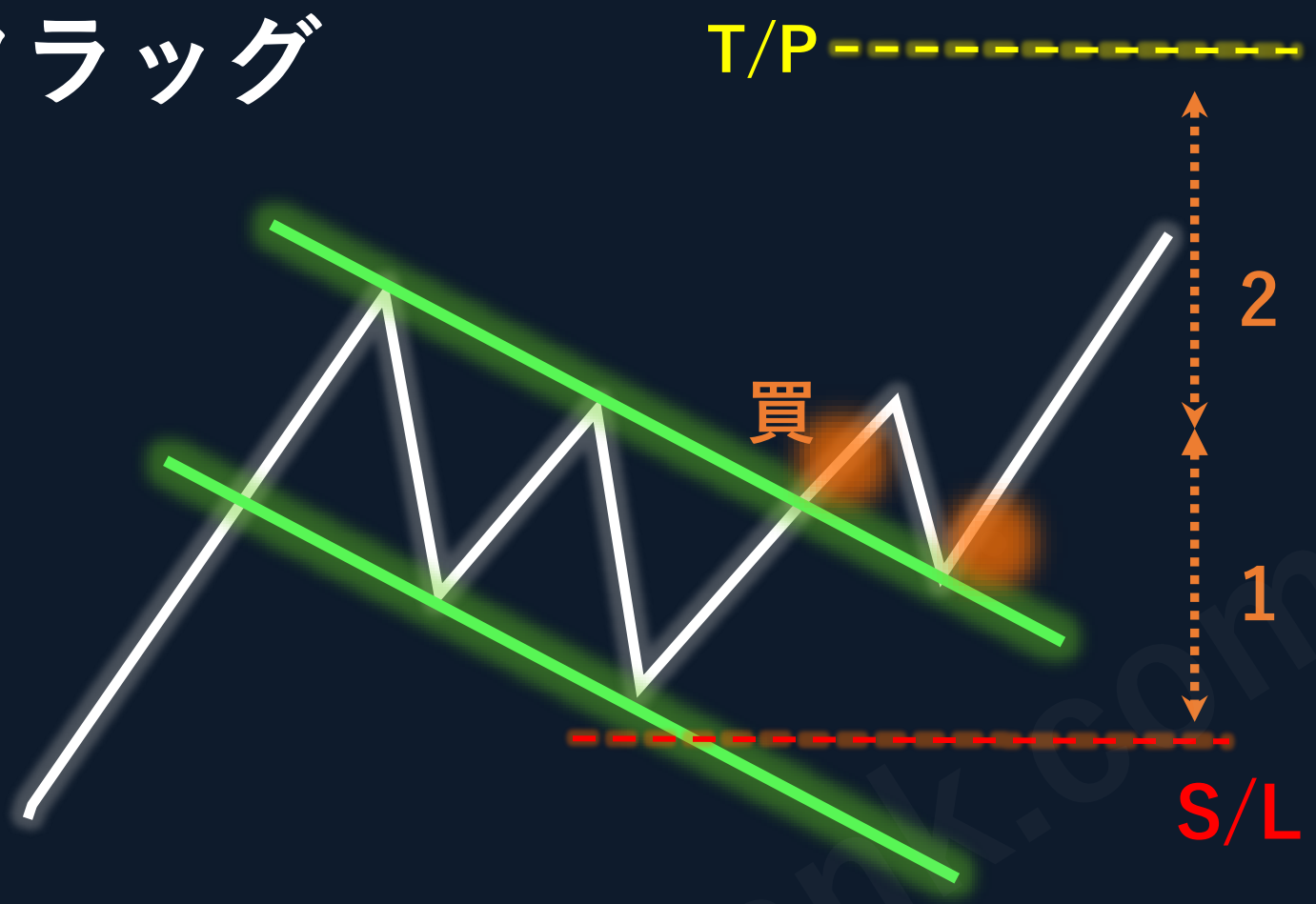
上昇レクタングル



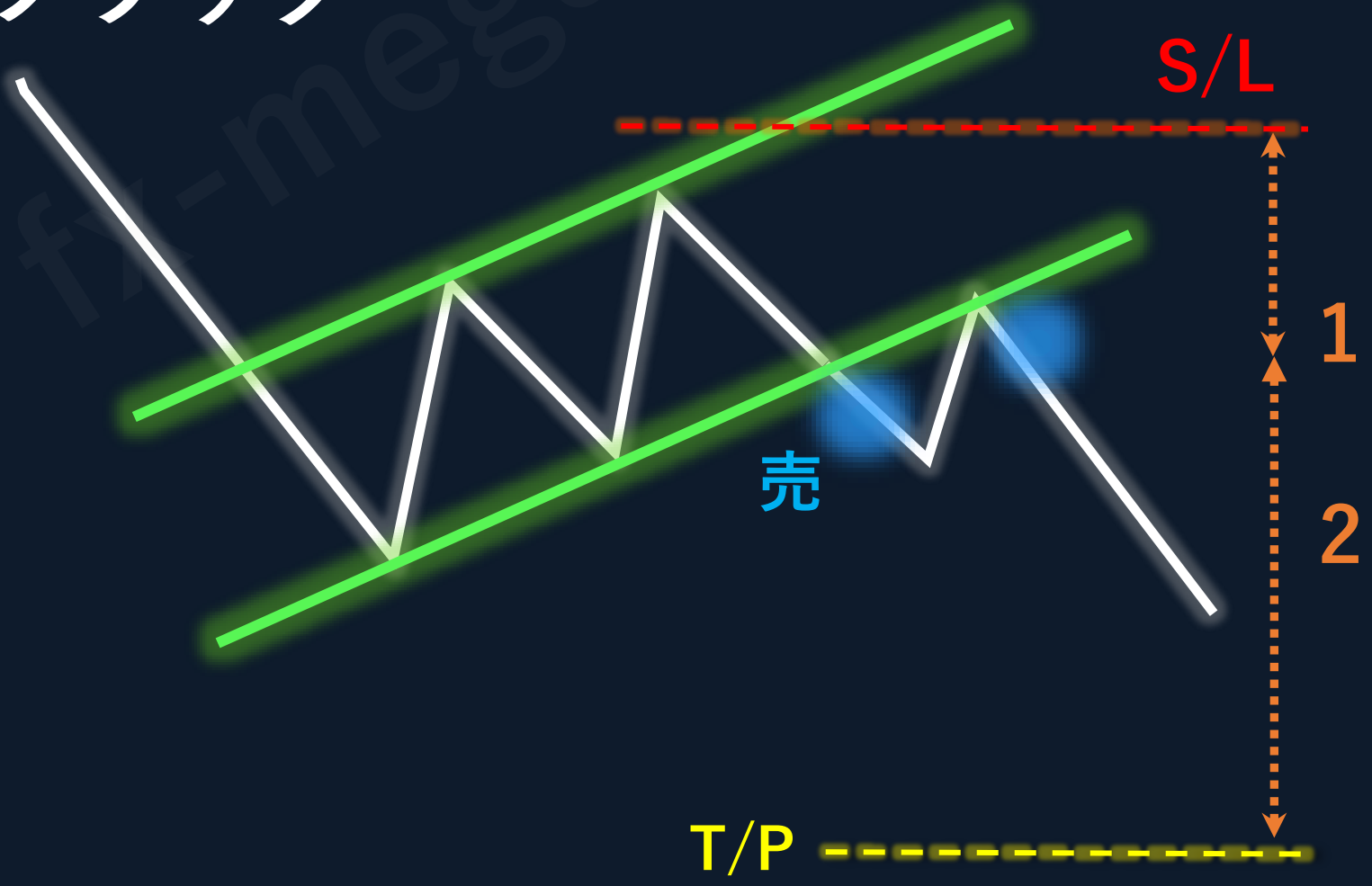
下降レクタングル



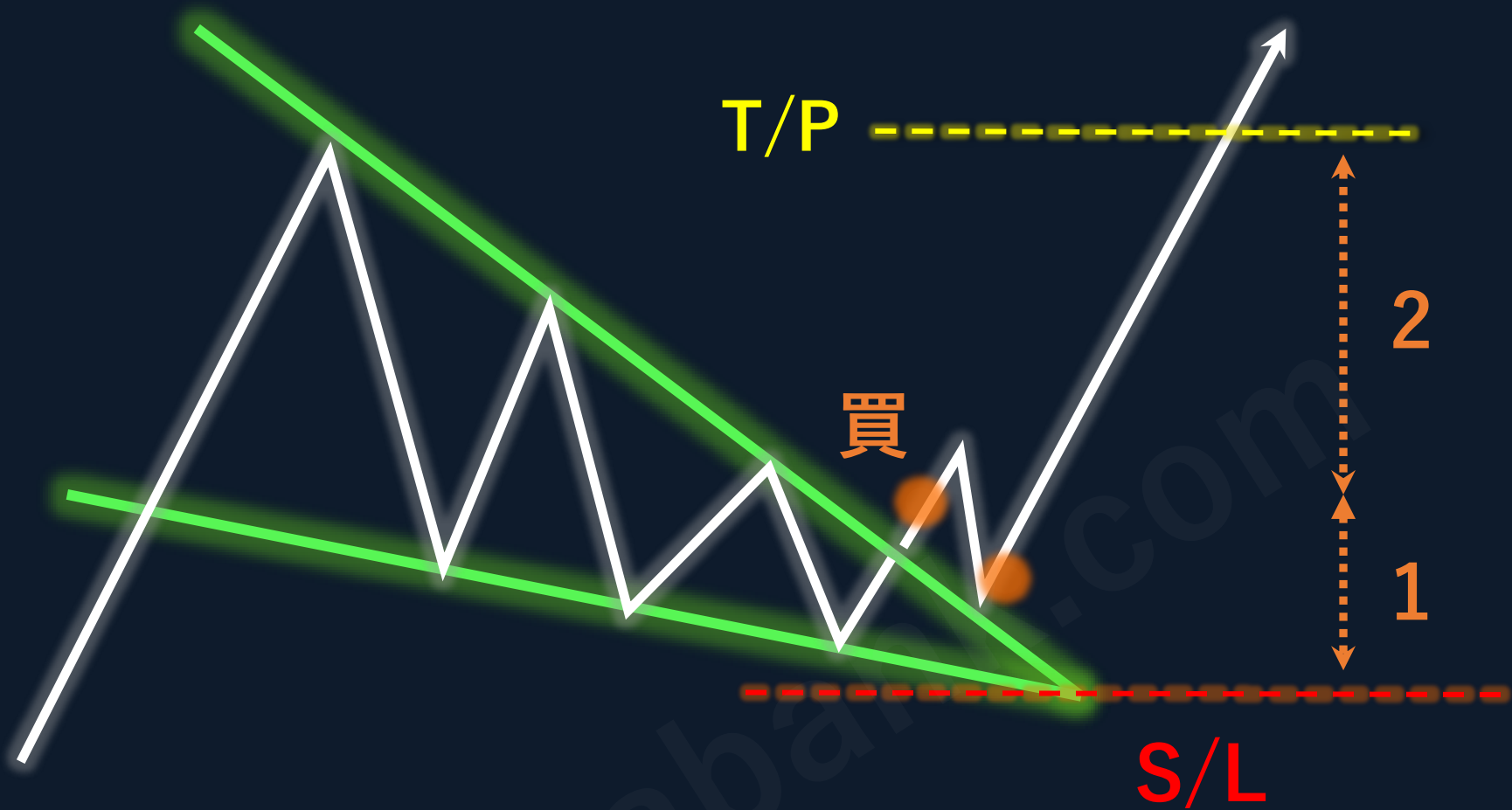
上昇フラッグ



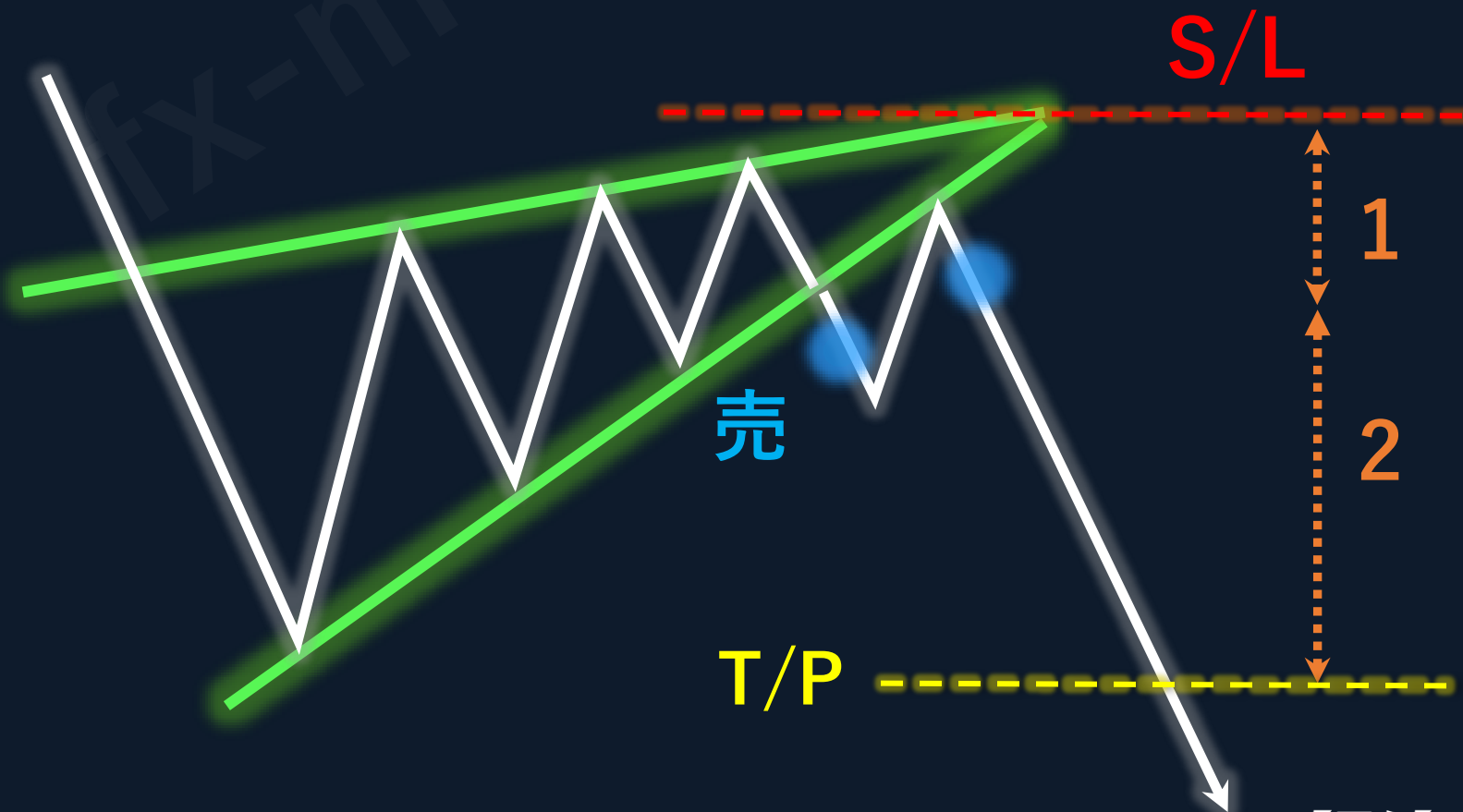
下降フラッグ



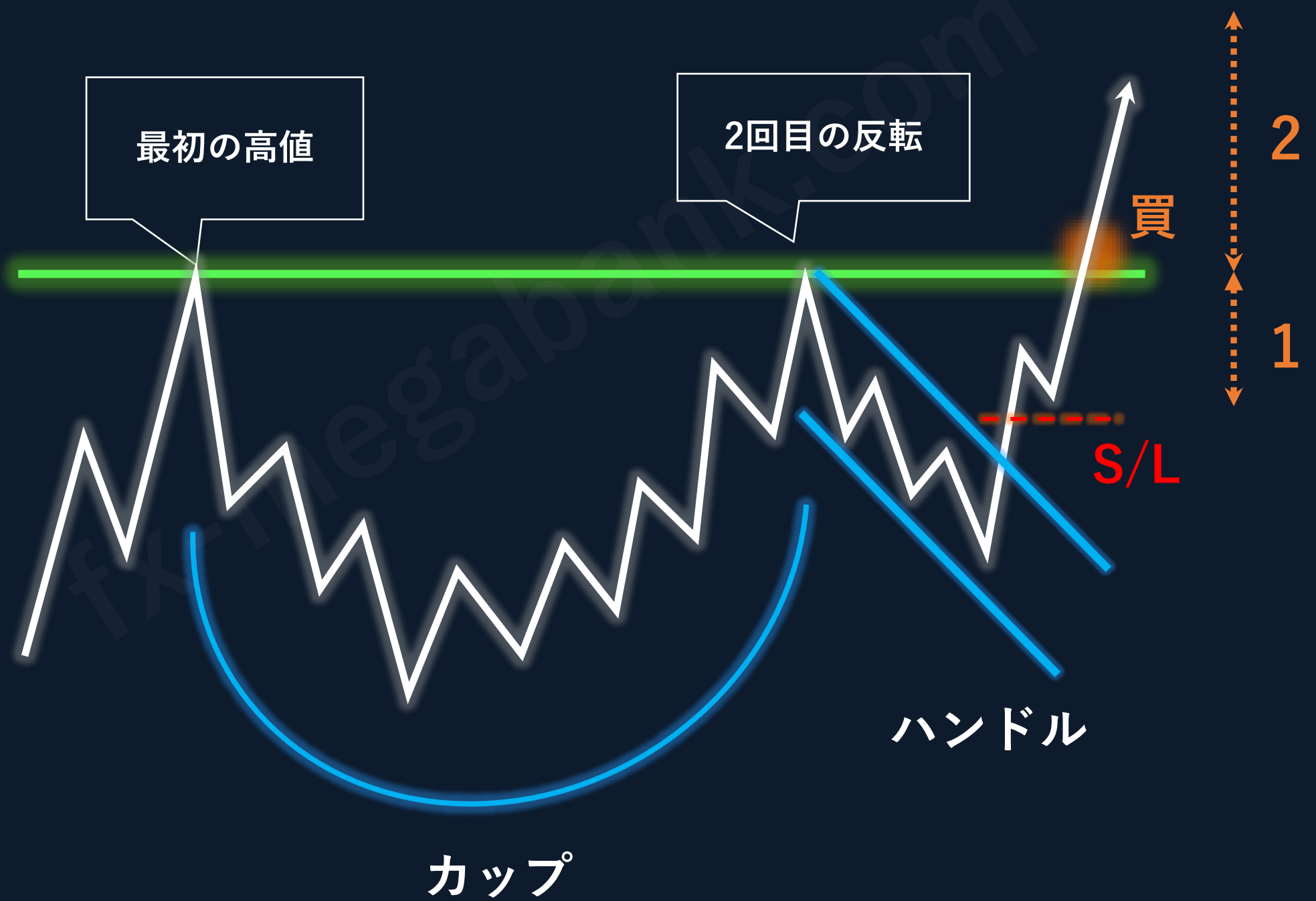
上昇ウェッジ



下降ウェッジ

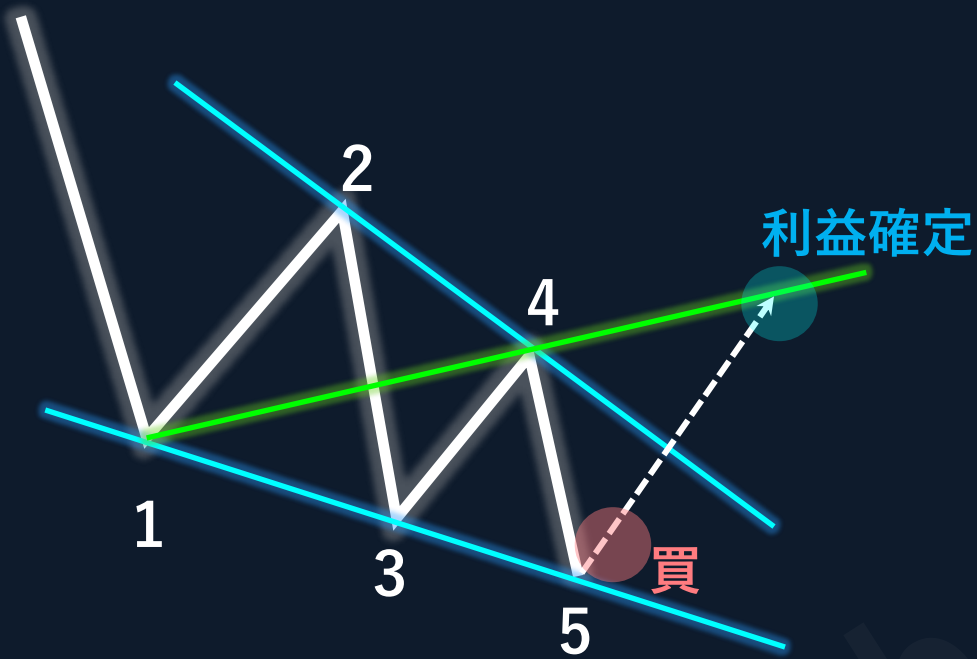


カップウィズハンドル

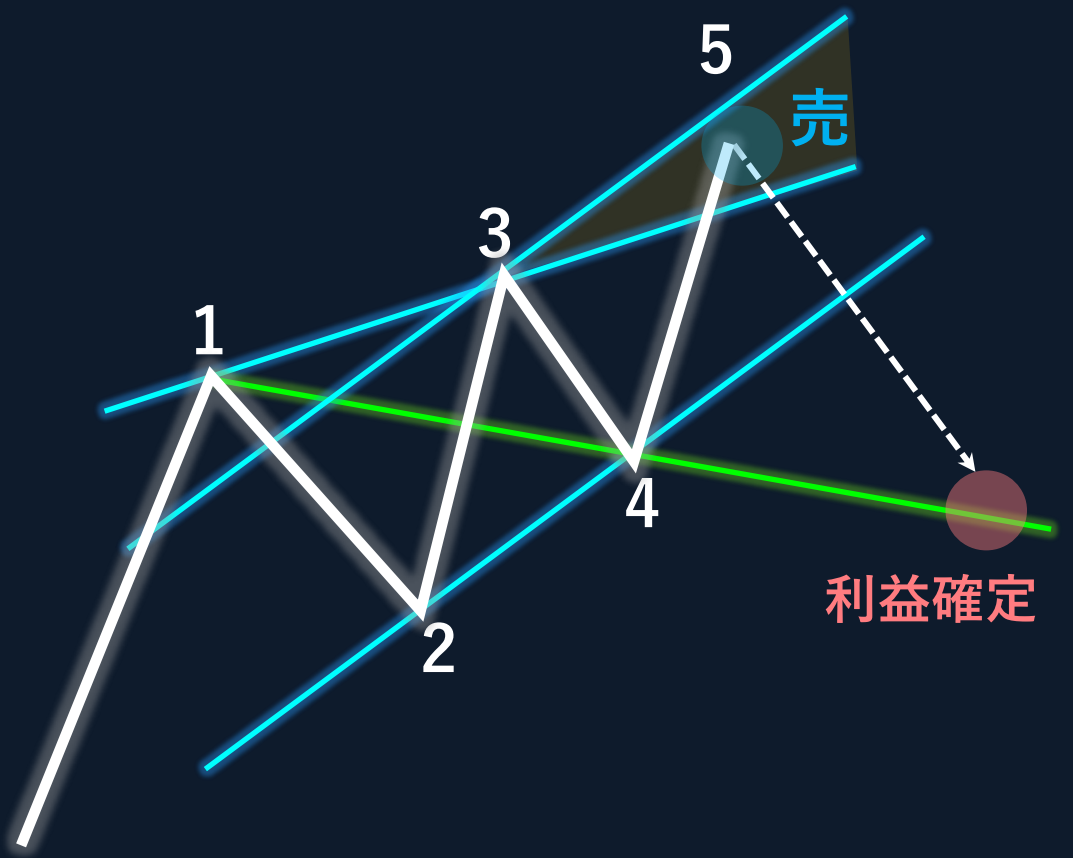
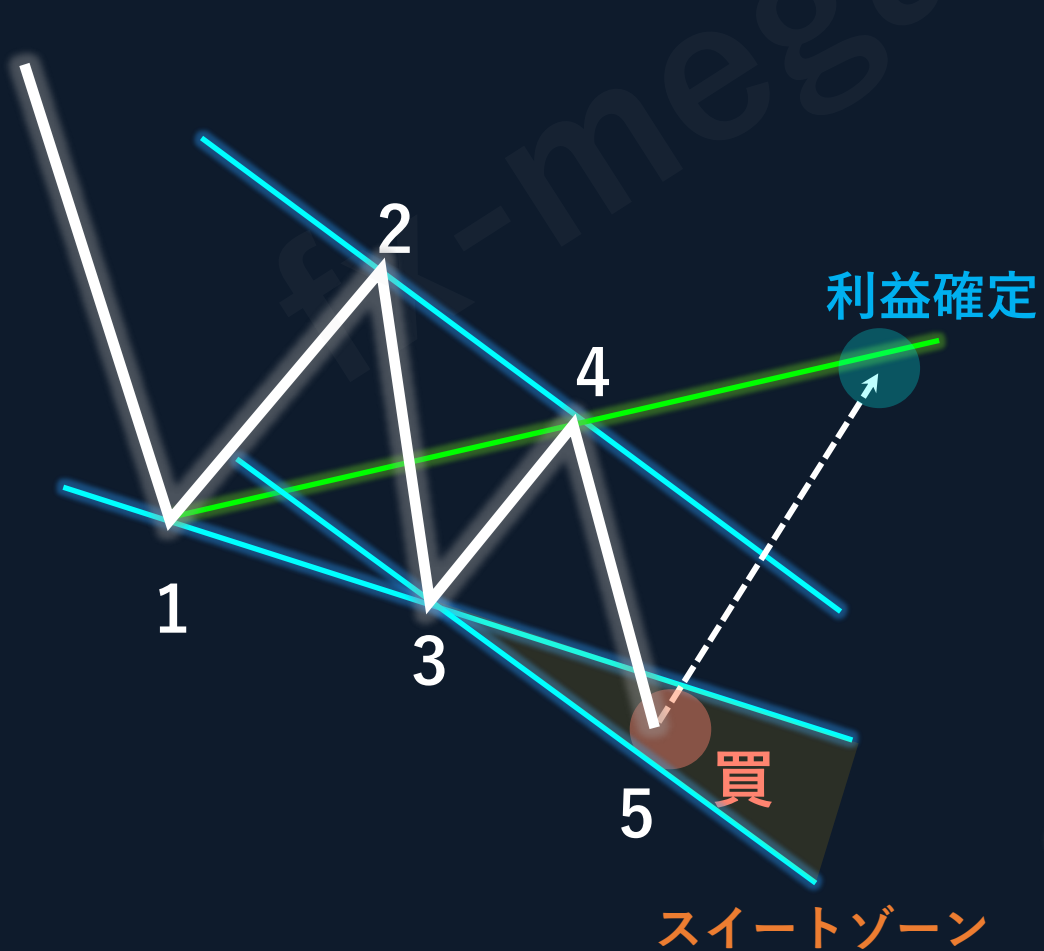
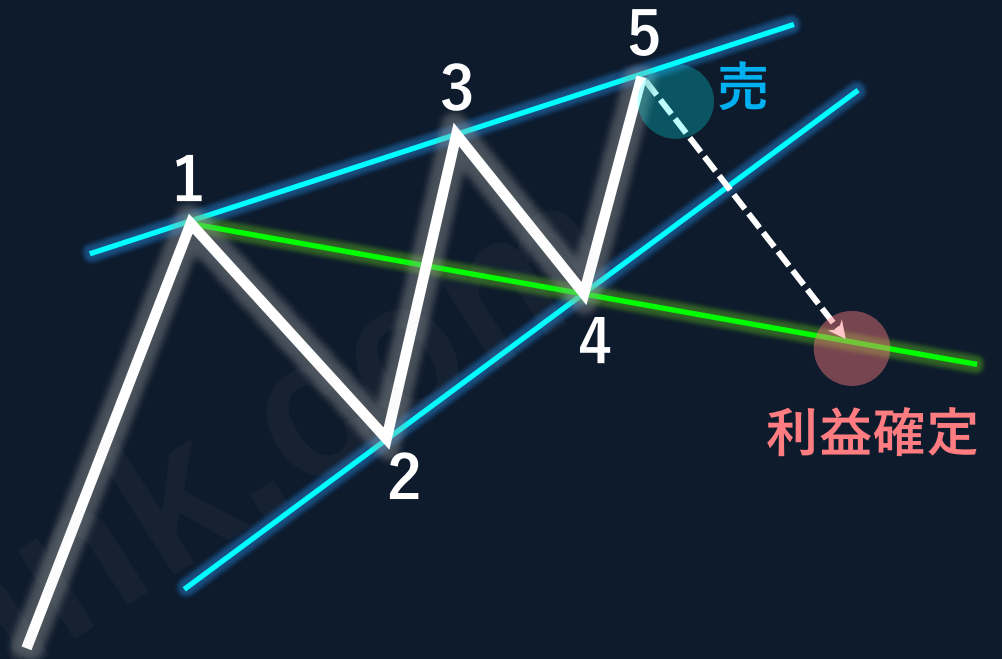


ウォルフ波動の使い方

上昇のウォルフ波動



下降のウォルフ波動

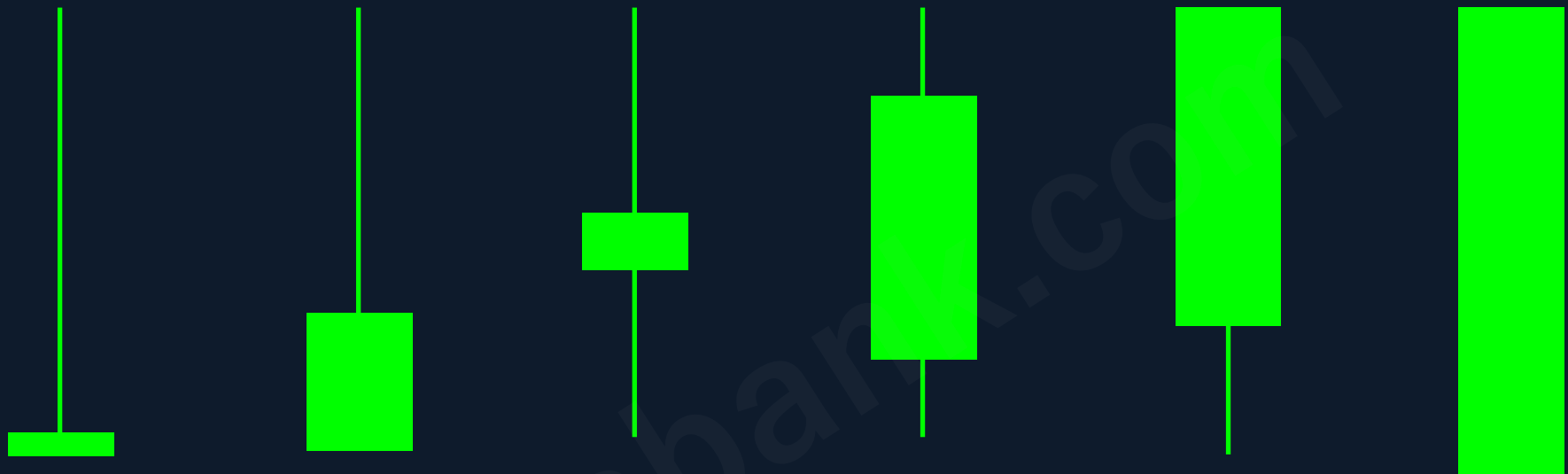


第3章

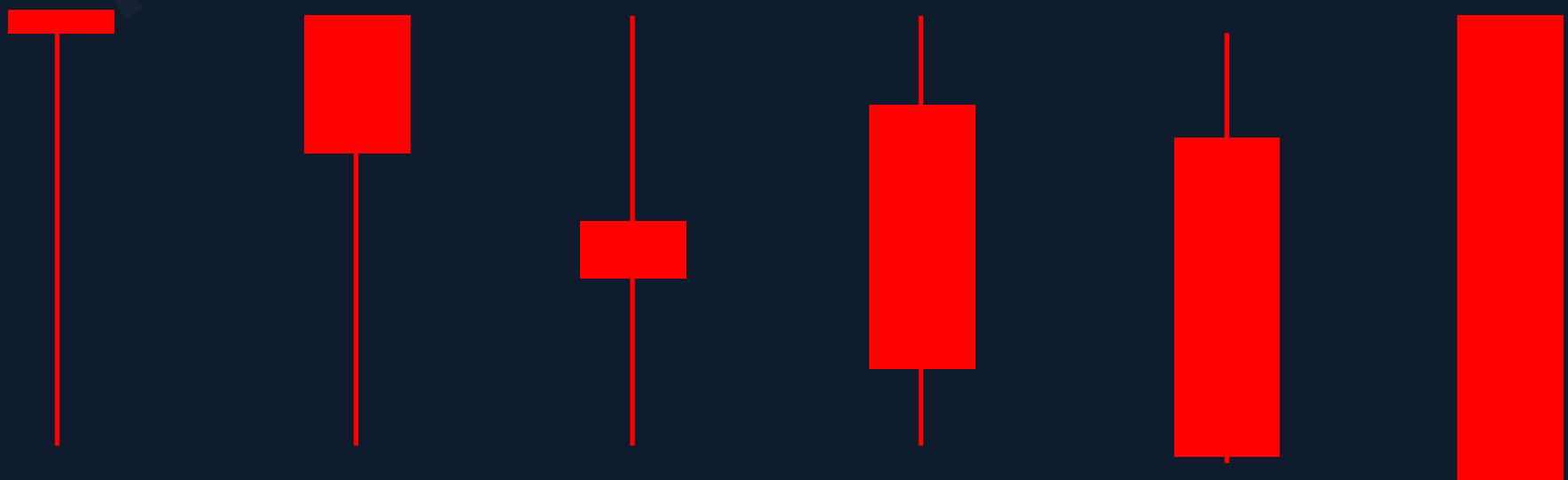
プライスアクション

ローソク足の強さ順番

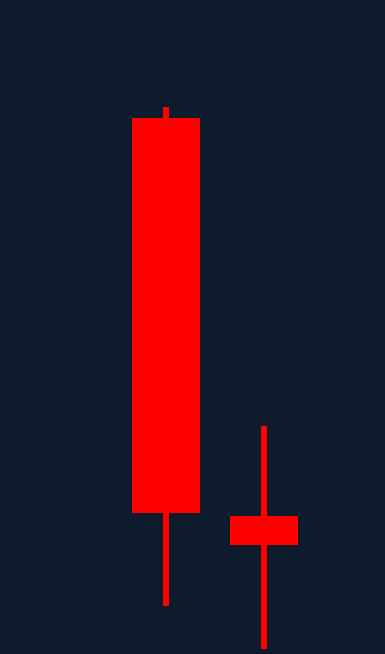
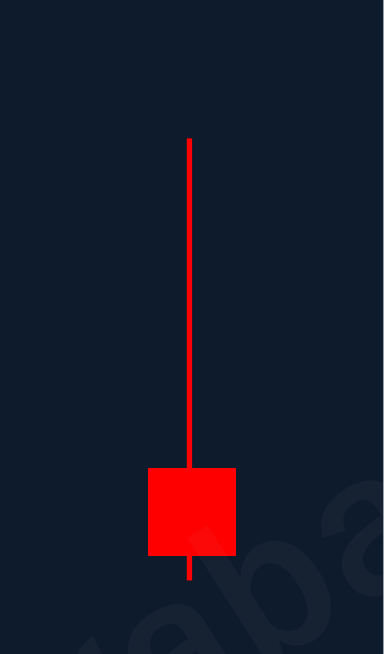
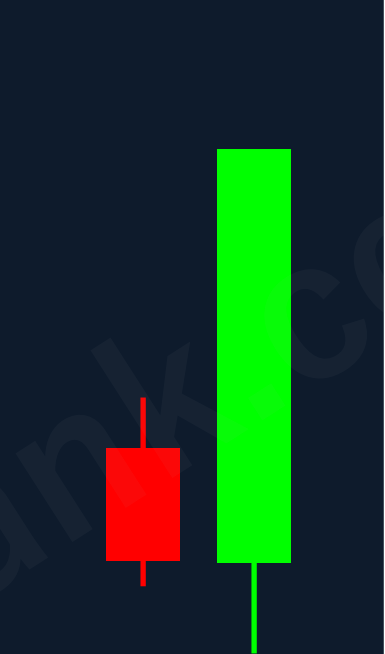
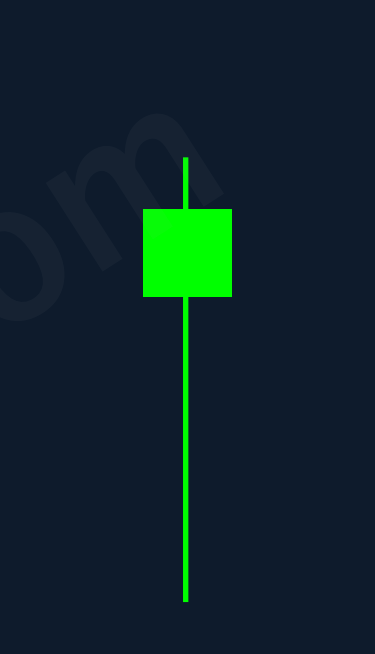
強い上昇



強い下落



反発のプライスアクション

買い不可		買い可能	
 <p>気迷い 小陰線</p>	 <p>上ヒゲ 陰線</p>	 <p>包み足 陽線</p>	 <p>下ヒゲ 陽線</p>



反発のプライスアクション 1/3



反発のプライスアクション 2/3



下ヒゲ付きの陽線が発生し、
買いの勢いが強くなったのを
確認してエントリーする

反発のプライスアクション 3/3

2本目の陽線の始値で
買いエントリー
S/Lは最安値の下に置く



水平線のレジサポ転換



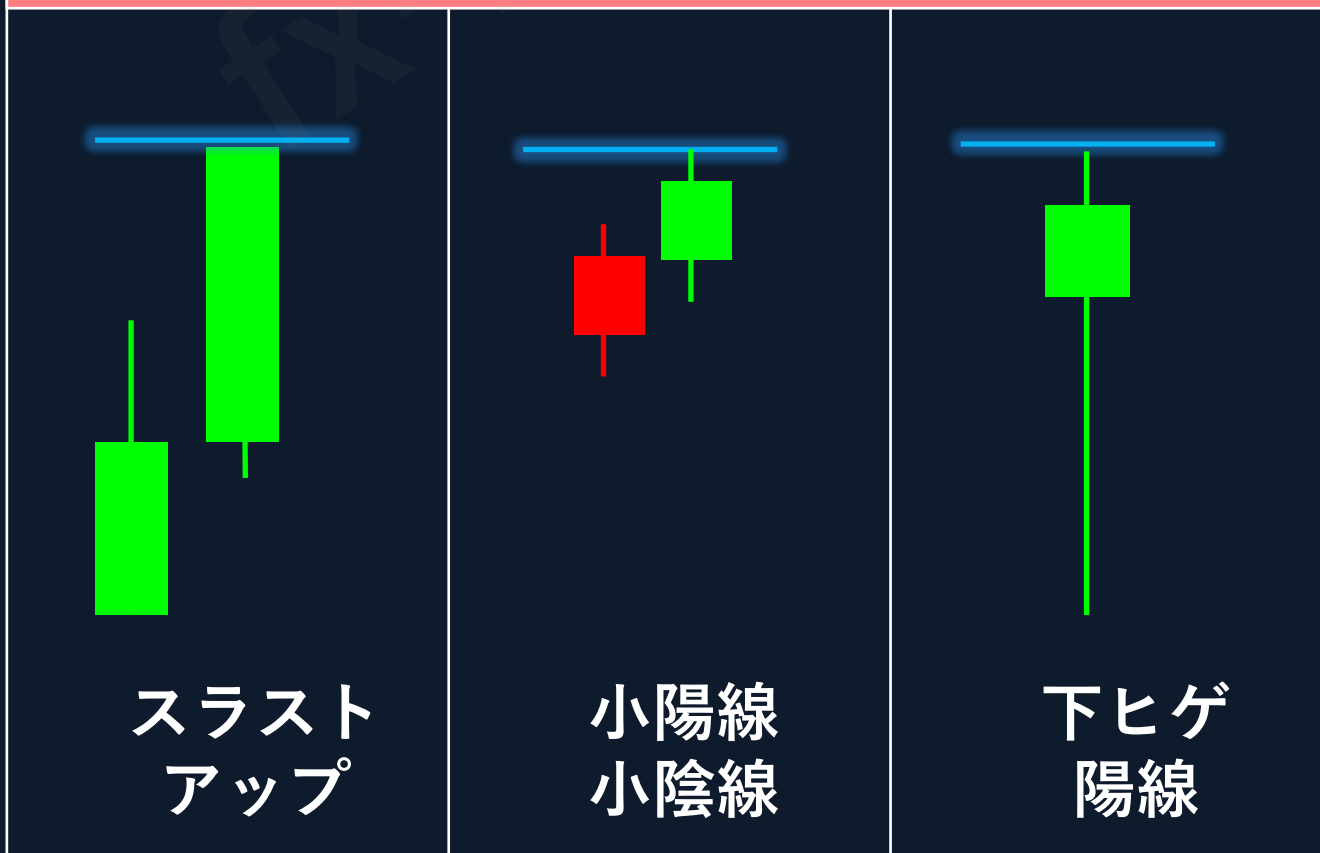
売り不可	売り不可	売り可能
スラストアップ	包み足陽線	包み足陰線



売り不可なプライスアクション



売り不可



下ヒゲのローソク足

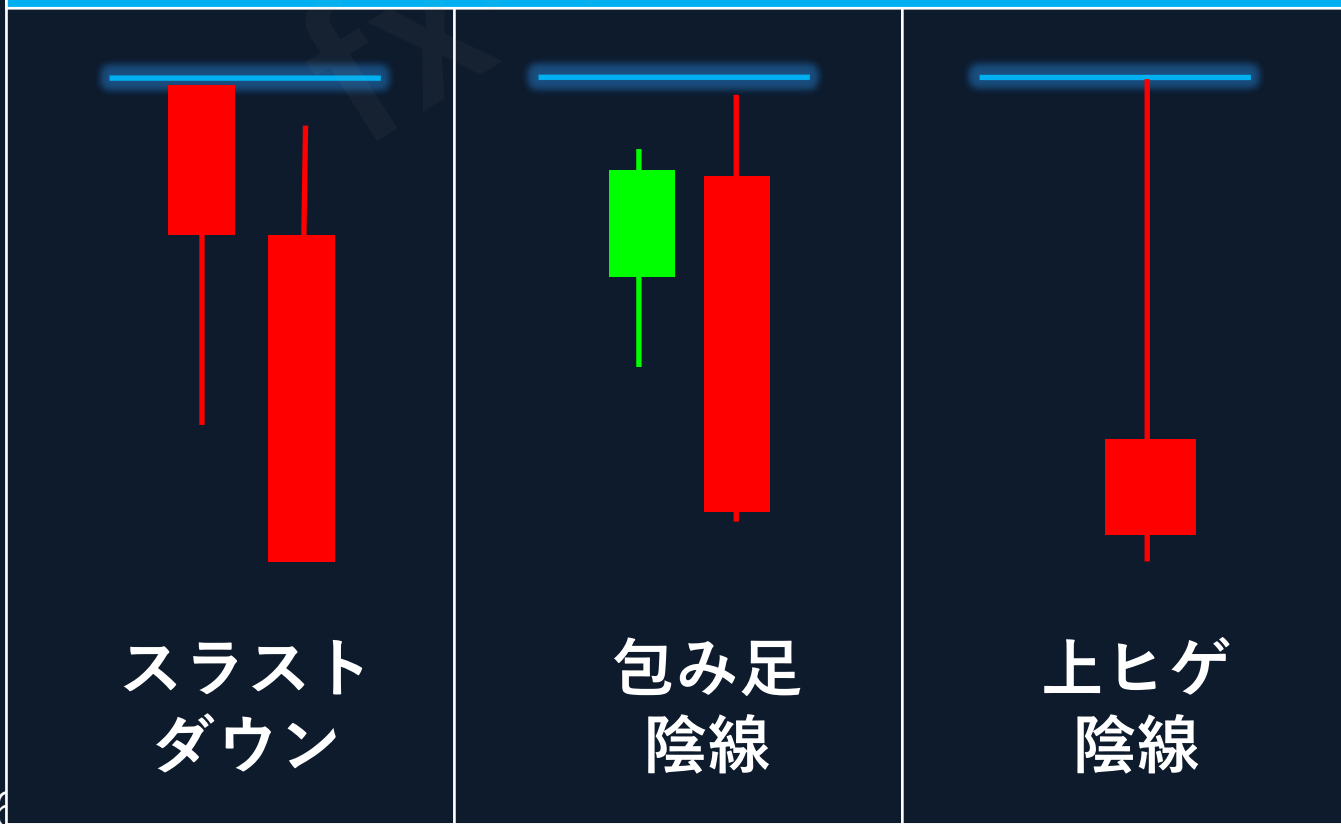


投資メガバンク

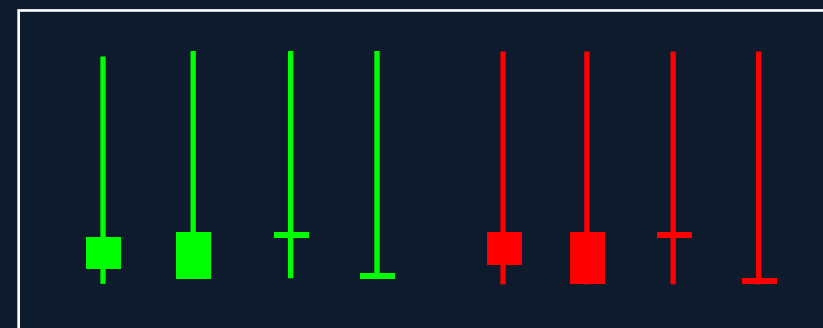
売り可能なプライスアクション



売り可能

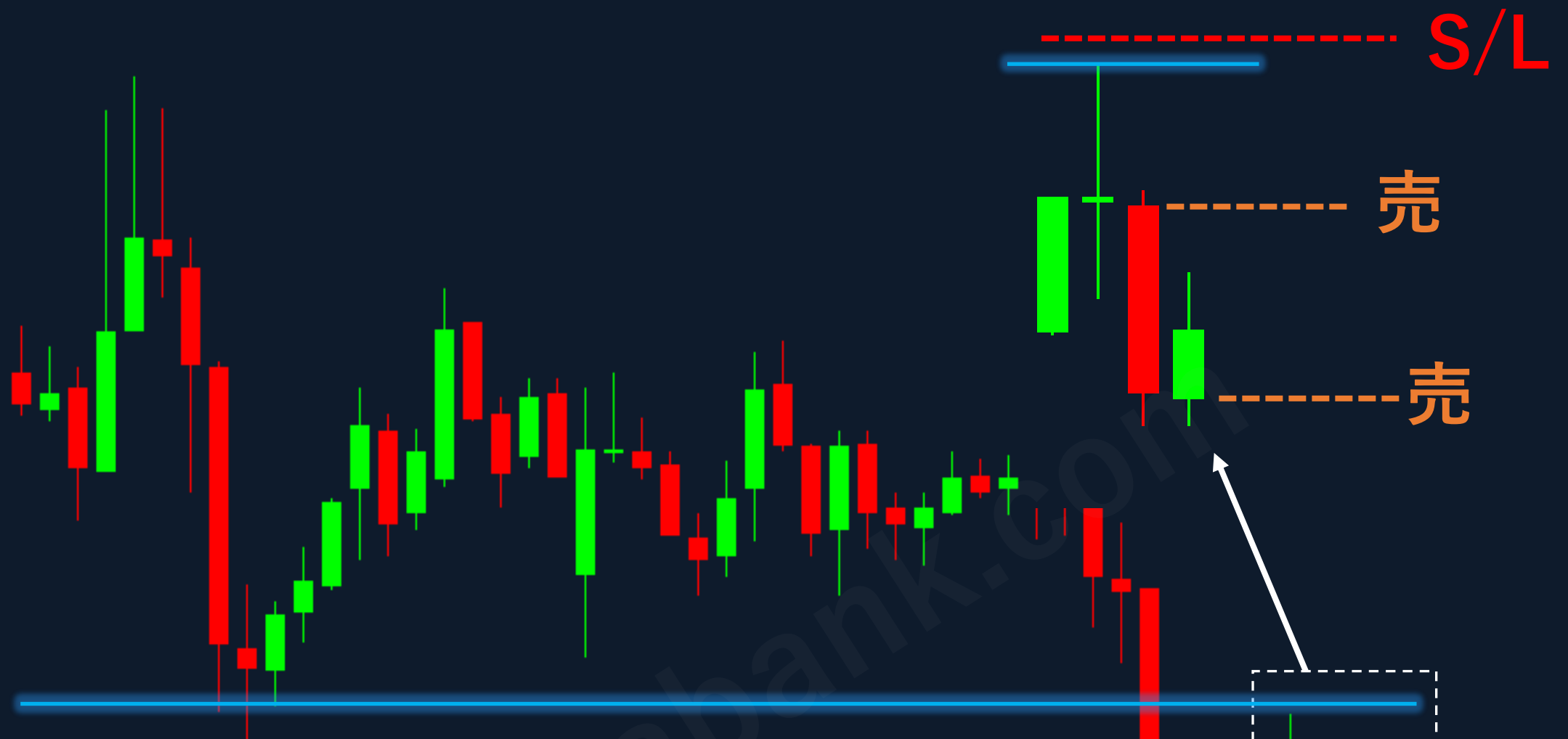


上ヒゲのローソク足

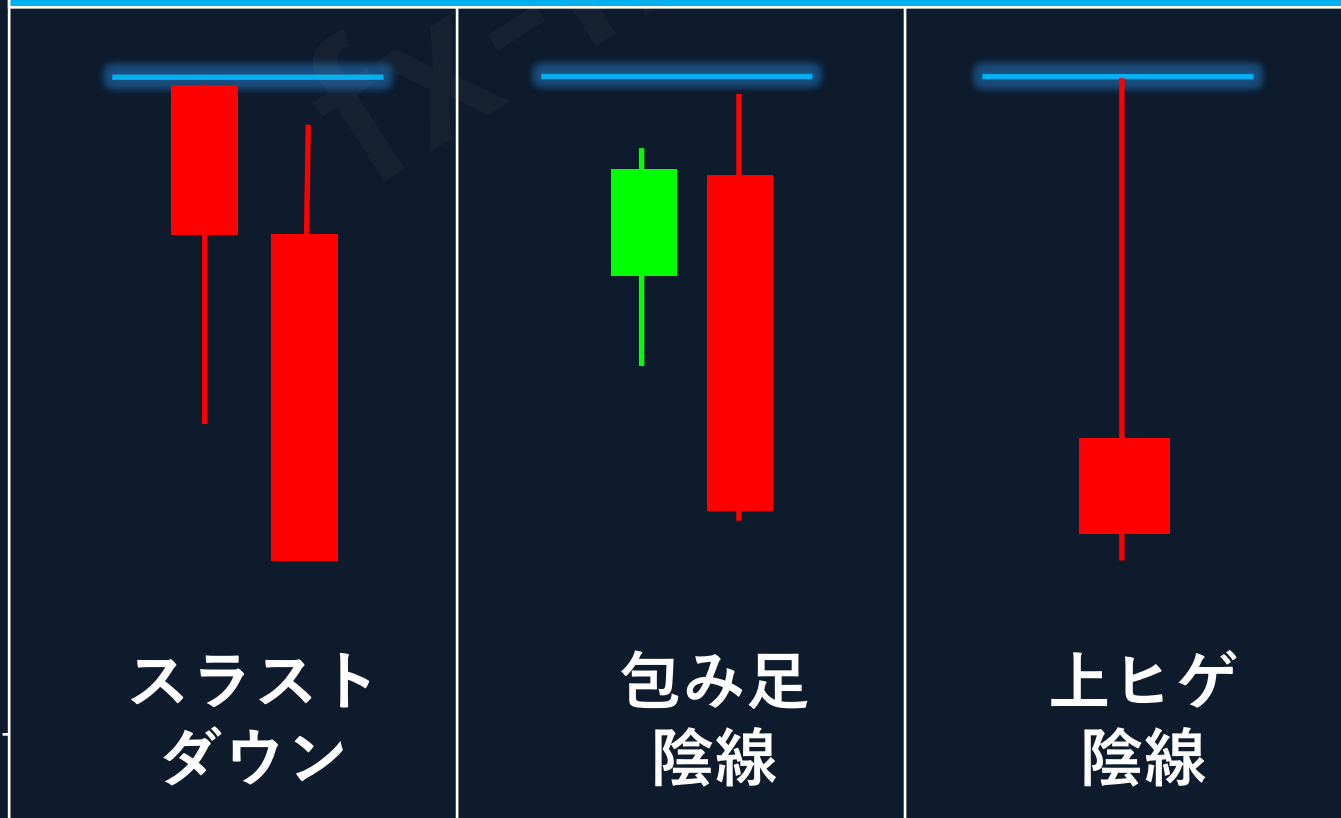


投資メガバンク

レジサポ転換のエントリーと決済



売り可能

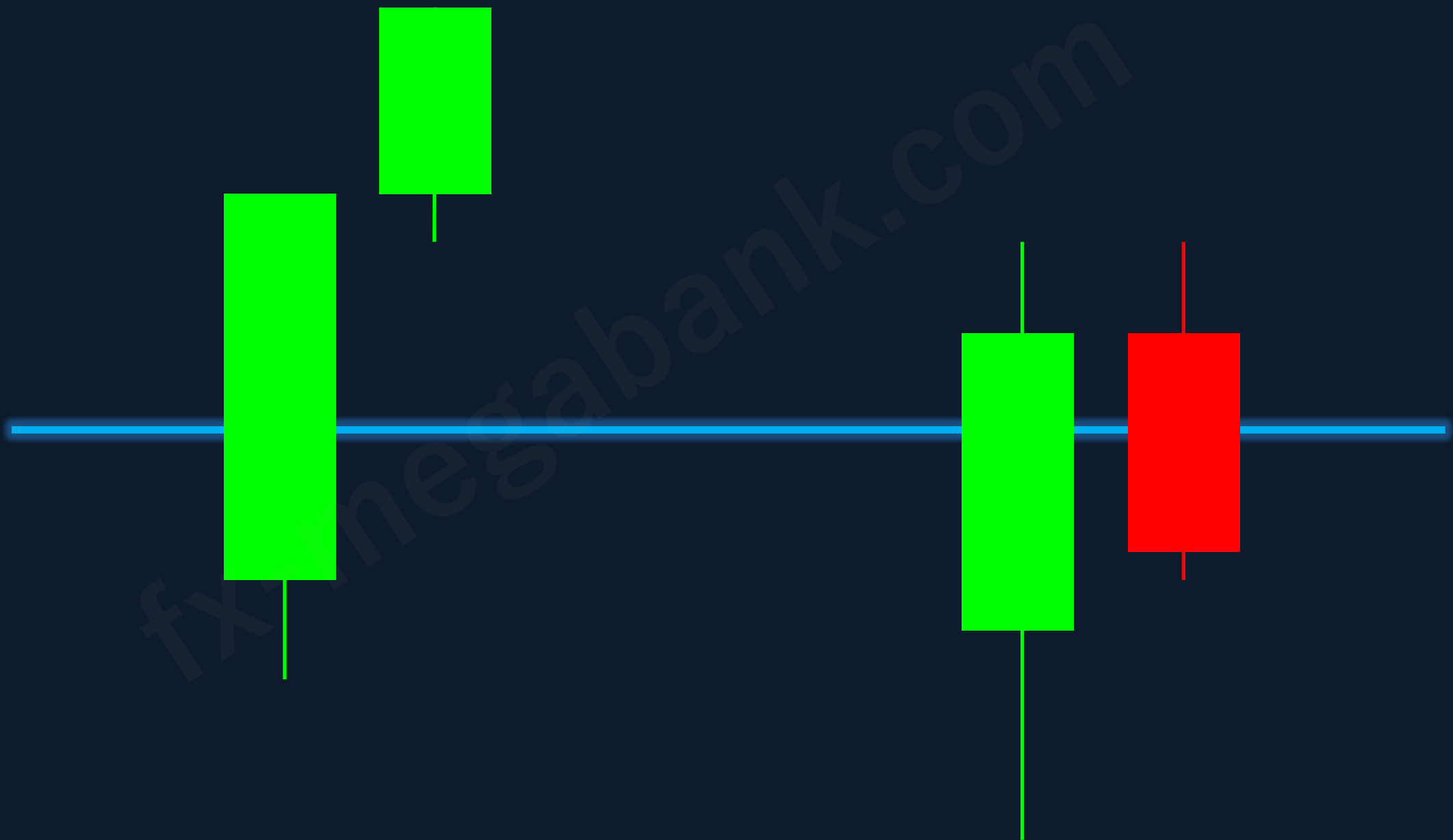


投資メガバンク

水平線のブレイクアウト

強い勢い

弱い勢い



1本目の陽線がラインを大きく突破し、2本目も陽線が発生。

1本目に勢いがなく、2本目は陰線が発生

ラインブレイクのダマシ



- ・ ブレイクアウト方向に進むと考え売りをするも、すぐ元に戻り損切りになるパターン
- ・ 対策はブレイクアウトですぐエントリーせず、リターンムーブを待つ

水平線の強度の確認



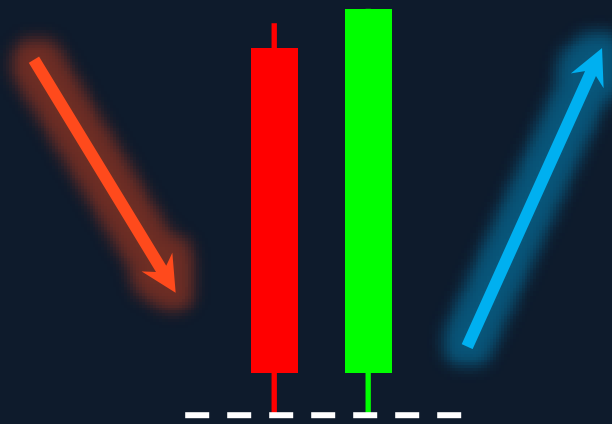
長い下ヒゲ陰線・陽線が発生しており、
強い買い圧力が水平線下に確認できる

第4章

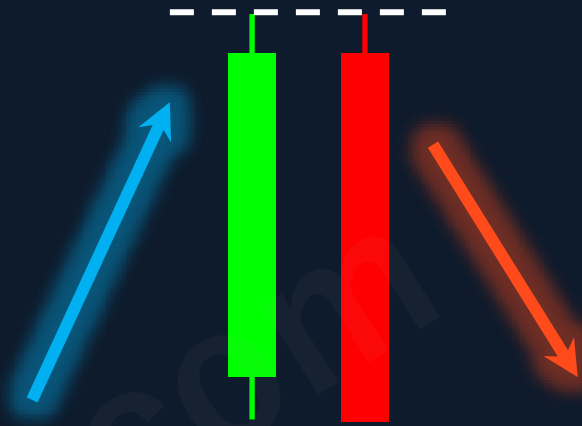
ローソク足 応用編

ローソク足の売買シグナル

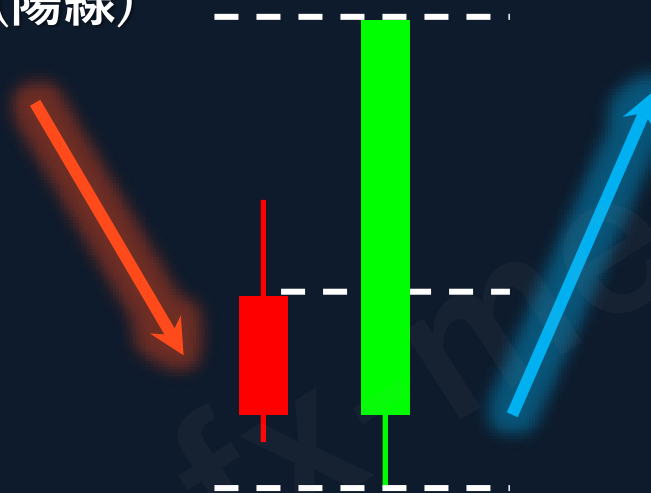
毛抜き底



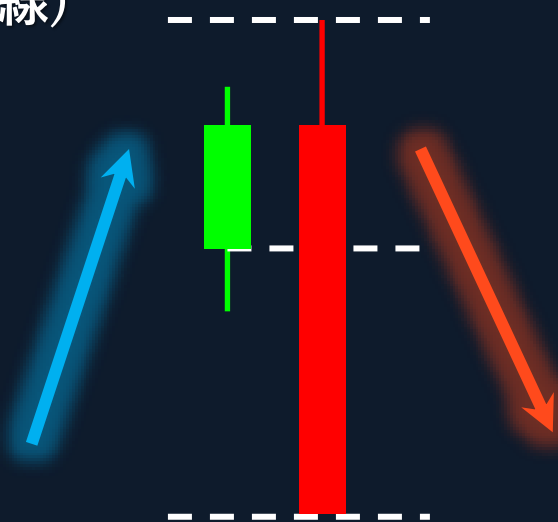
毛抜き天井



包み足(陽線)



包み足(陰線)



はらみ足(↓)



はらみ足(↑)



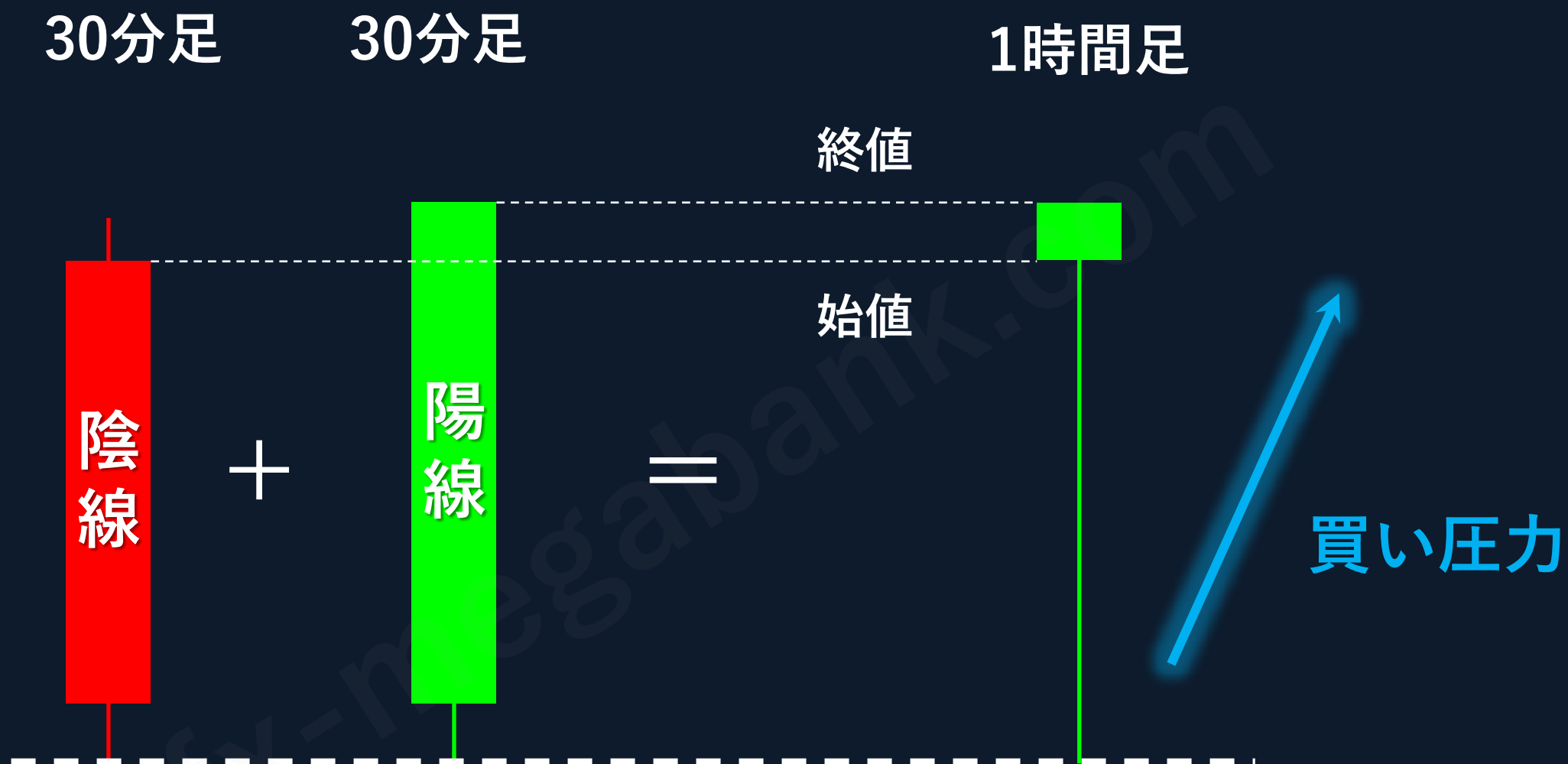
ローソク足パターン：毛抜き底

下位足では
ダブルボトムなどの
反転パターンを形成



- 2本のローソク足の安値が同じ
- 安値がヒゲか実体かは問わない
- 下降から上昇への転換を示す

ローソク足の結合 毛抜き底



毛抜き底のローソク足を結合すると、
長い下ヒゲローソク足になる

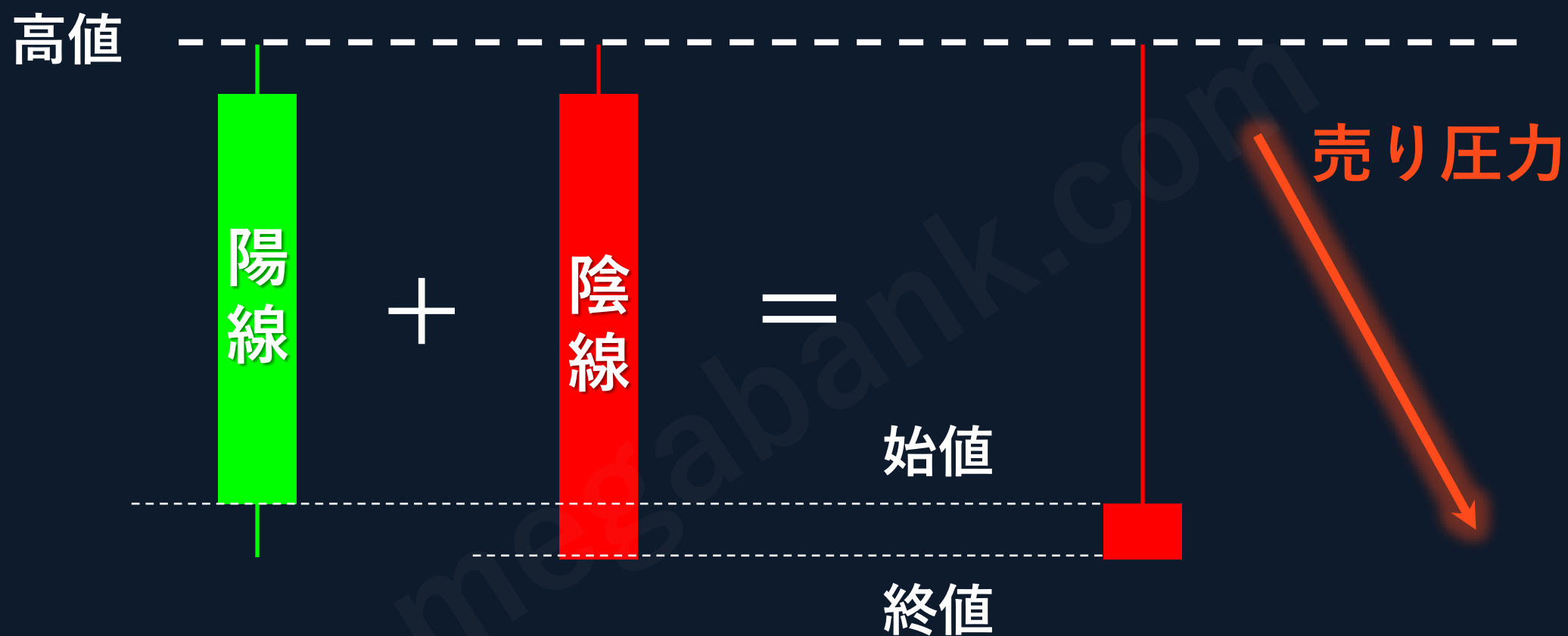
ローソク足パターン：毛抜き天井

下位足では、
ダブルトップなどの
反転パターンを形成



- 2本のローソク足の高値が同じ
- 高値がヒゲか実体かは問わない
- 上昇から下降への転換を示す

ローソク足の結合 毛抜き天井



毛抜き天井のローソク足を結合すると、
長い上ヒゲローソク足になる

ローソク足パターン：毛抜き底



強い買い圧力を示すローソク足

ローソク足パターン：包み足



ダウ理論の高値・安値切り上げ
= 上昇トレンド



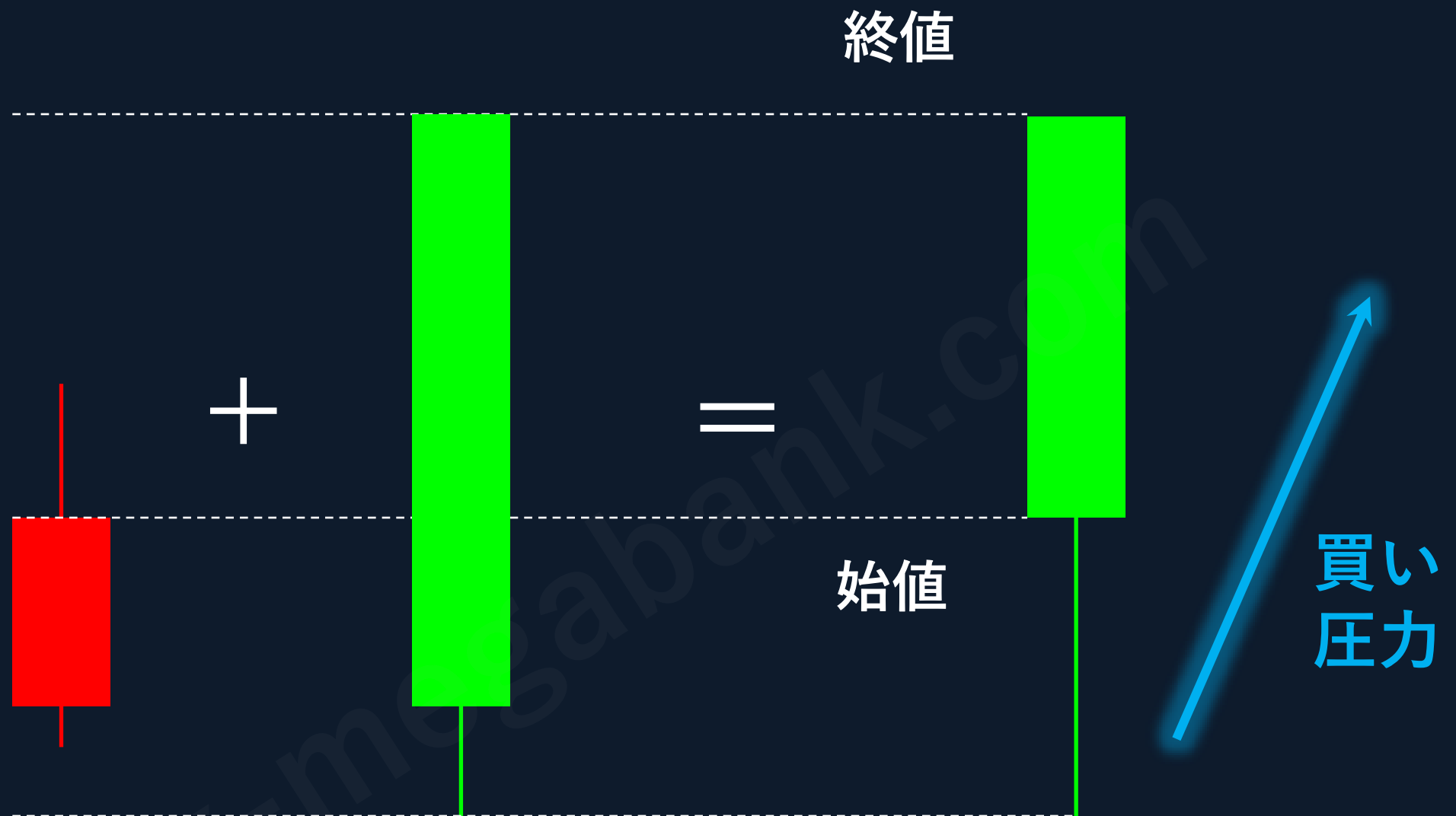
ローソク足パターン：包み足



ダウ理論の高値・安値切り下げ
= 下降トレンド

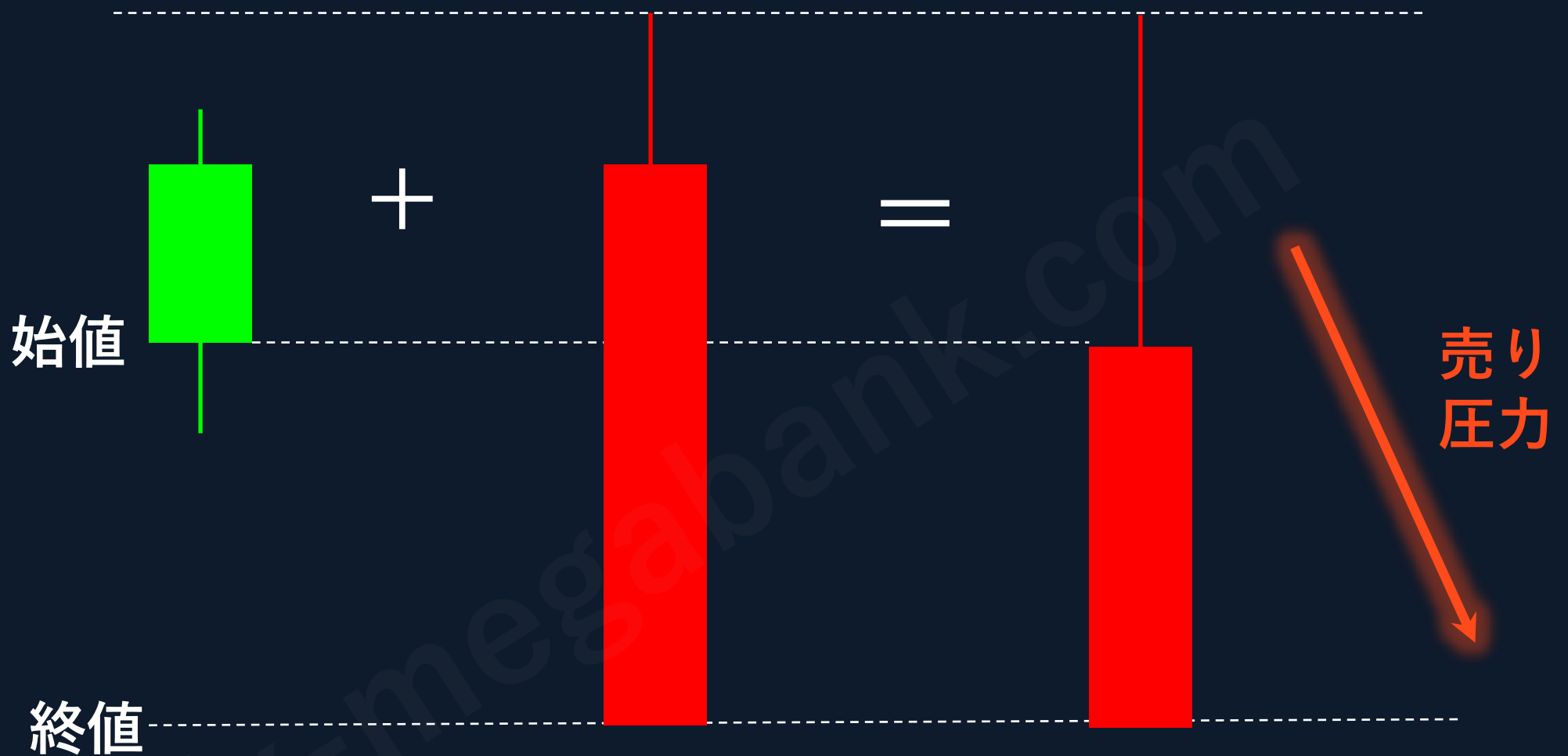


ローソク足パターン：包み足



包み足を1本のローソク足に結合すると、
下ヒゲ付きのローソク足になる

ローソク足パターン：包み足



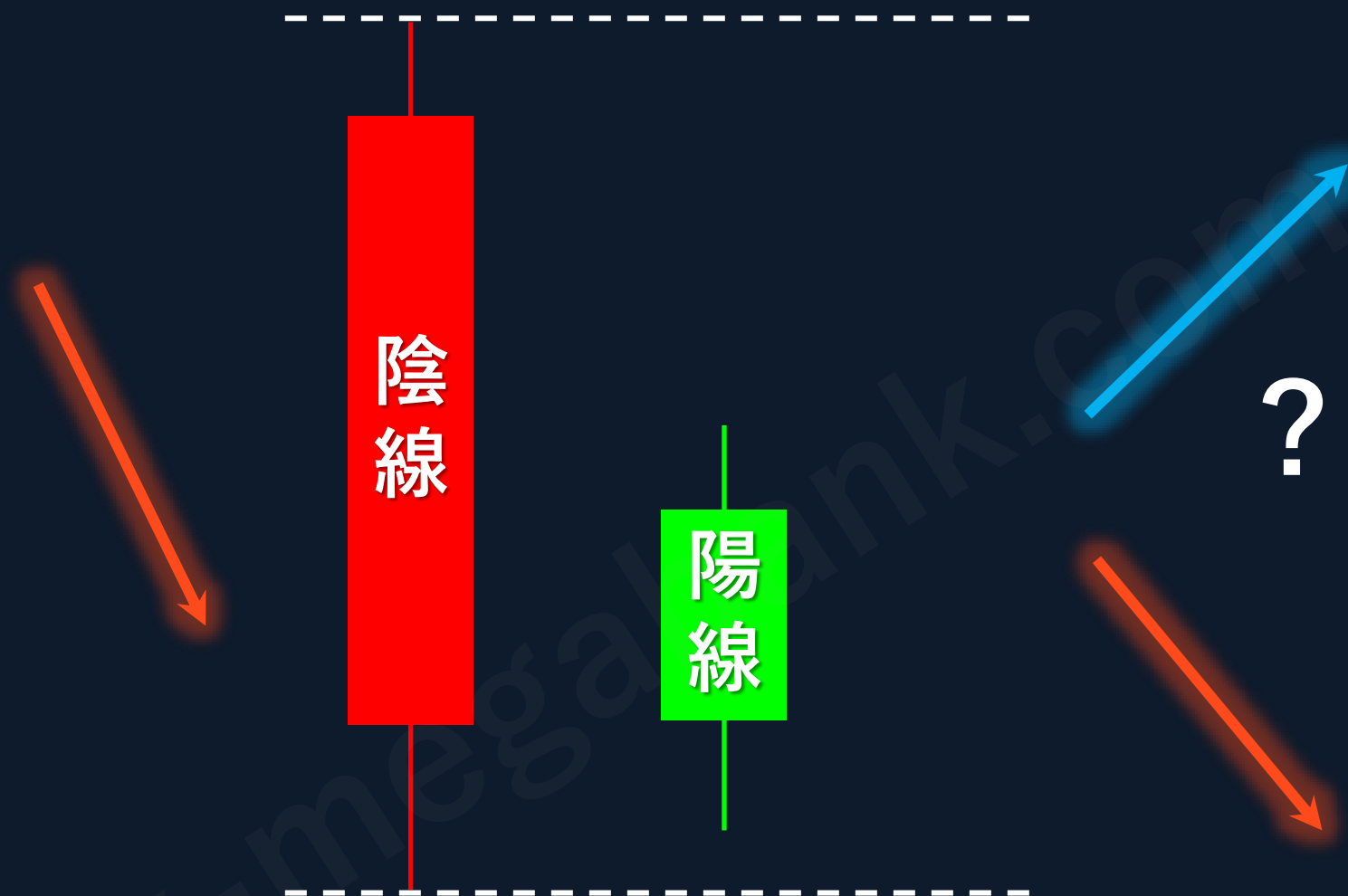
包み足を1本のローソク足に結合すると、
上ヒゲ付きのローソク足になる

ローソク足 包み足の分析

EURUSD 4時間足

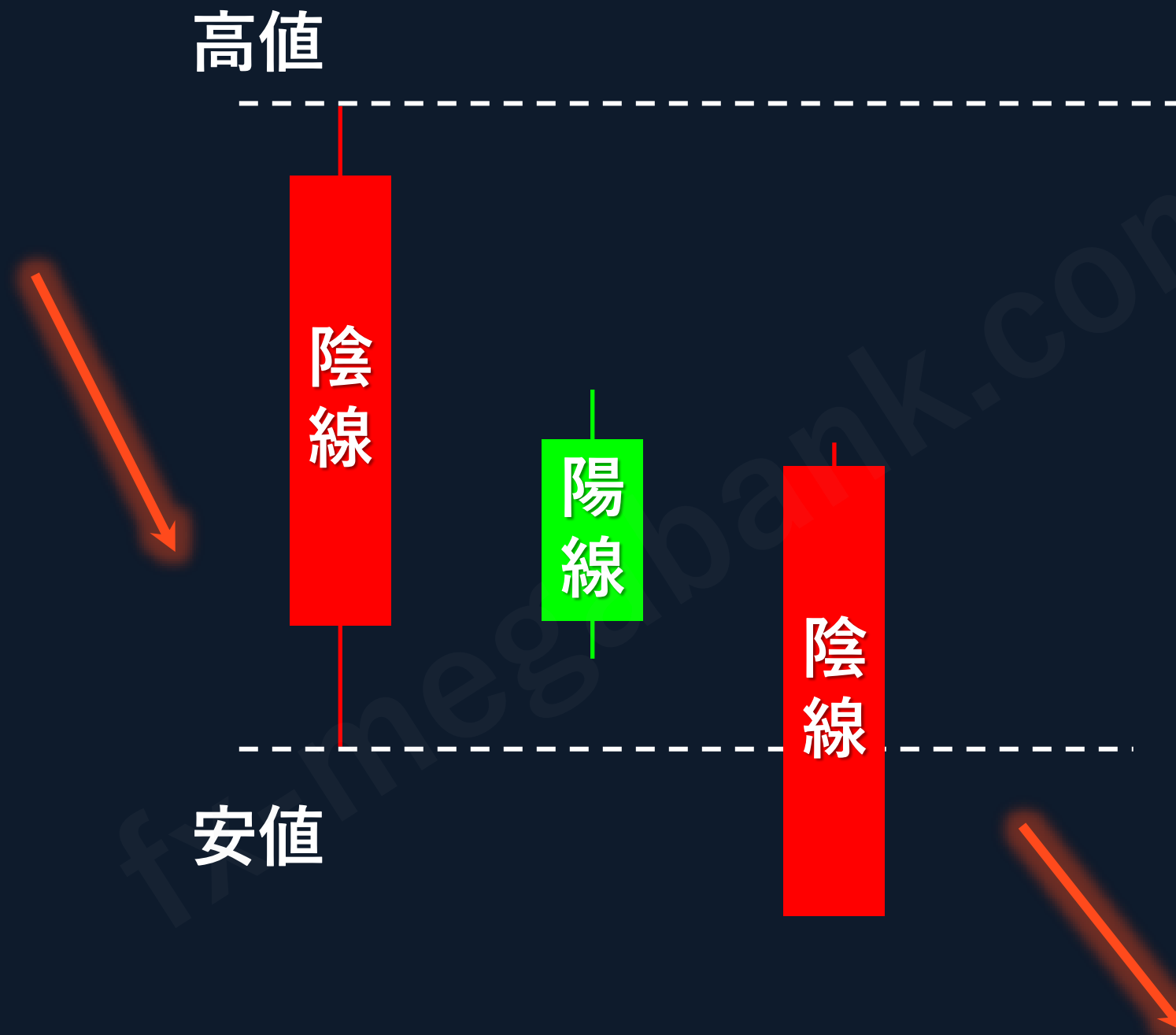


ローソク足 はらみ足



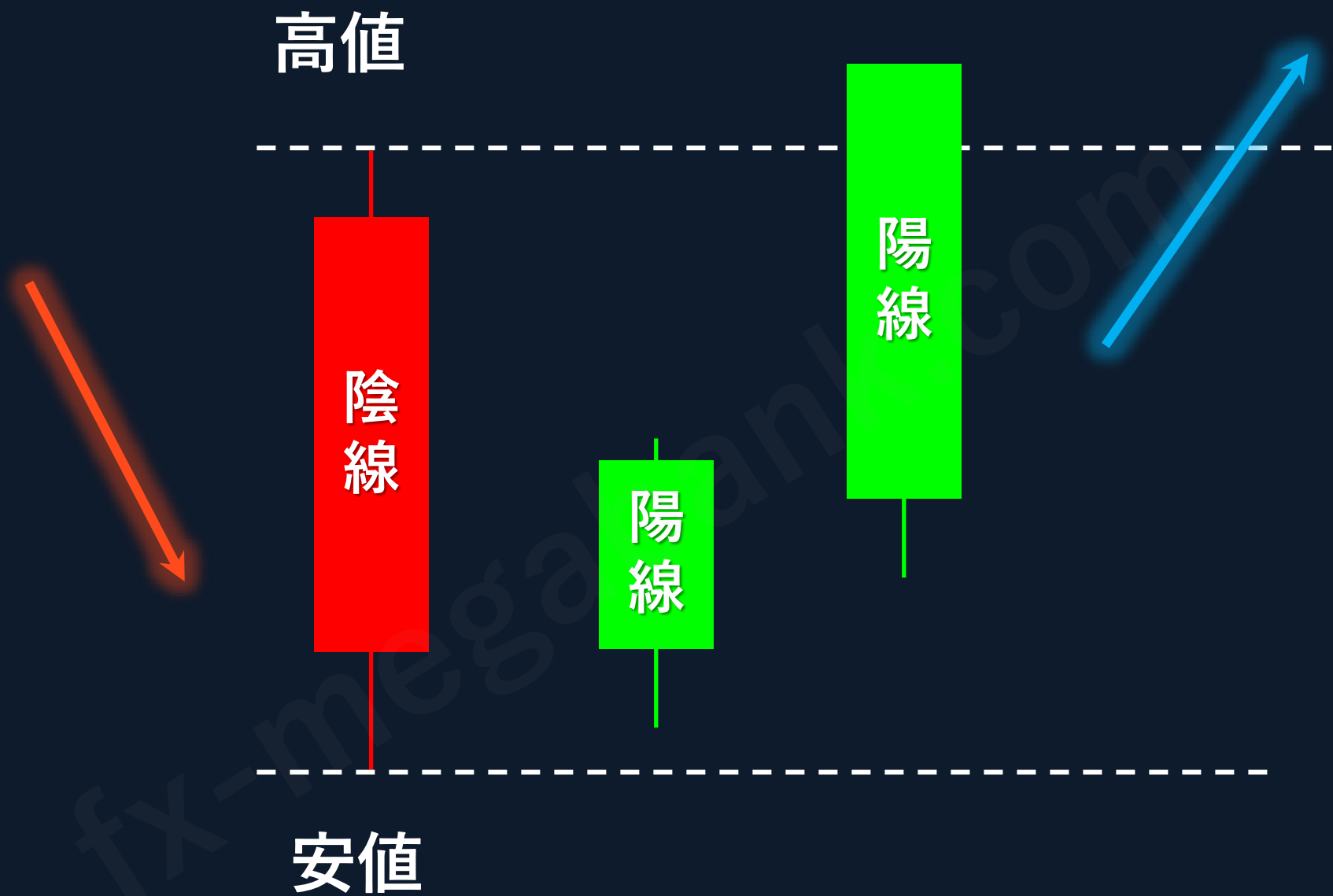
- 1本目のローソク足の高値と安値に、2本目が収まる
- 1本目の実体に対して2本目の実体が収まる
(ヒゲはNG)
- **もみ合いを示し、抜けた方向にトレンドが出る**

ローソク足 はらみ足



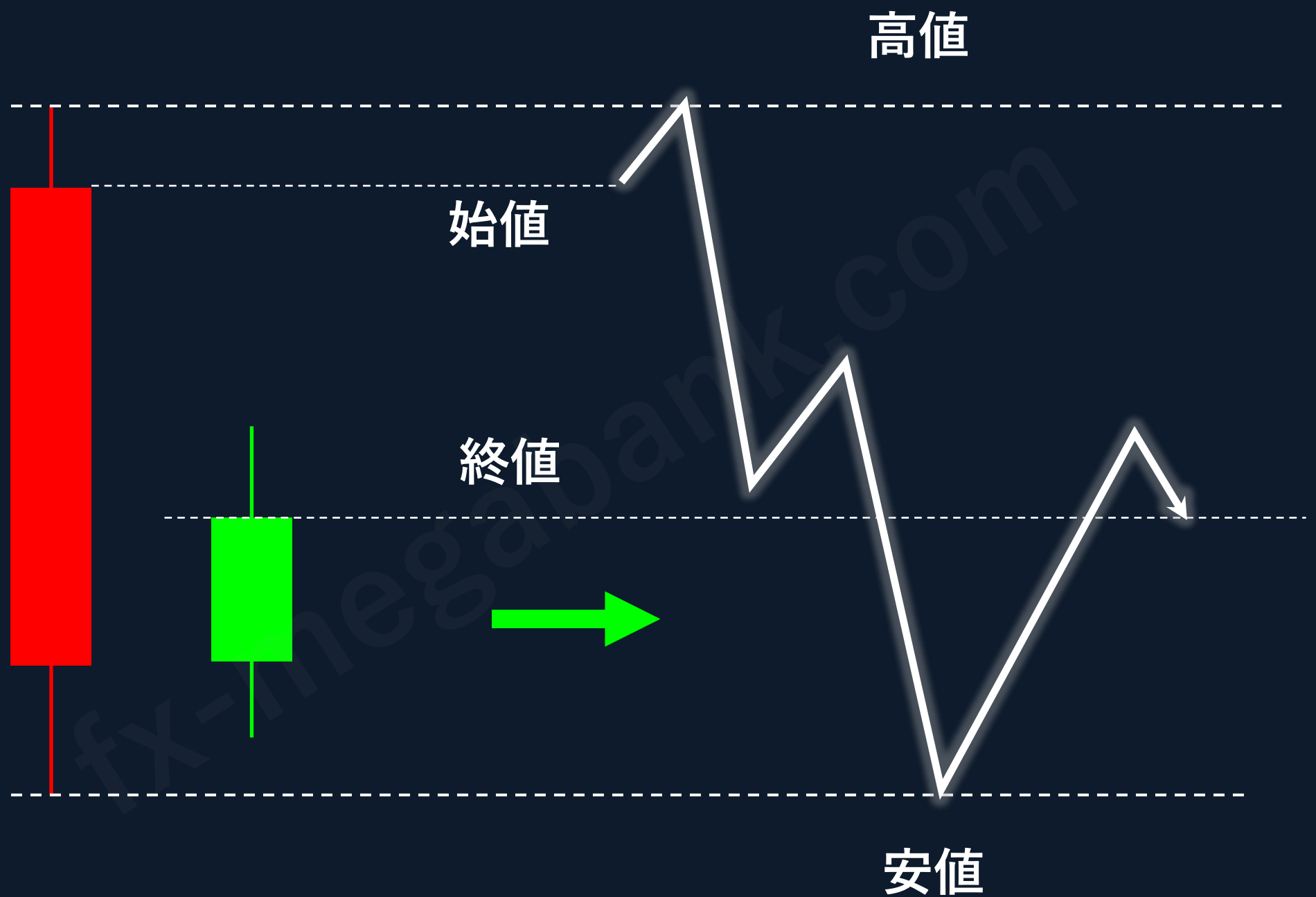
- ・ はらみ足を下に抜けた場合は、**売りを狙う**

ローソク足 はらみ足



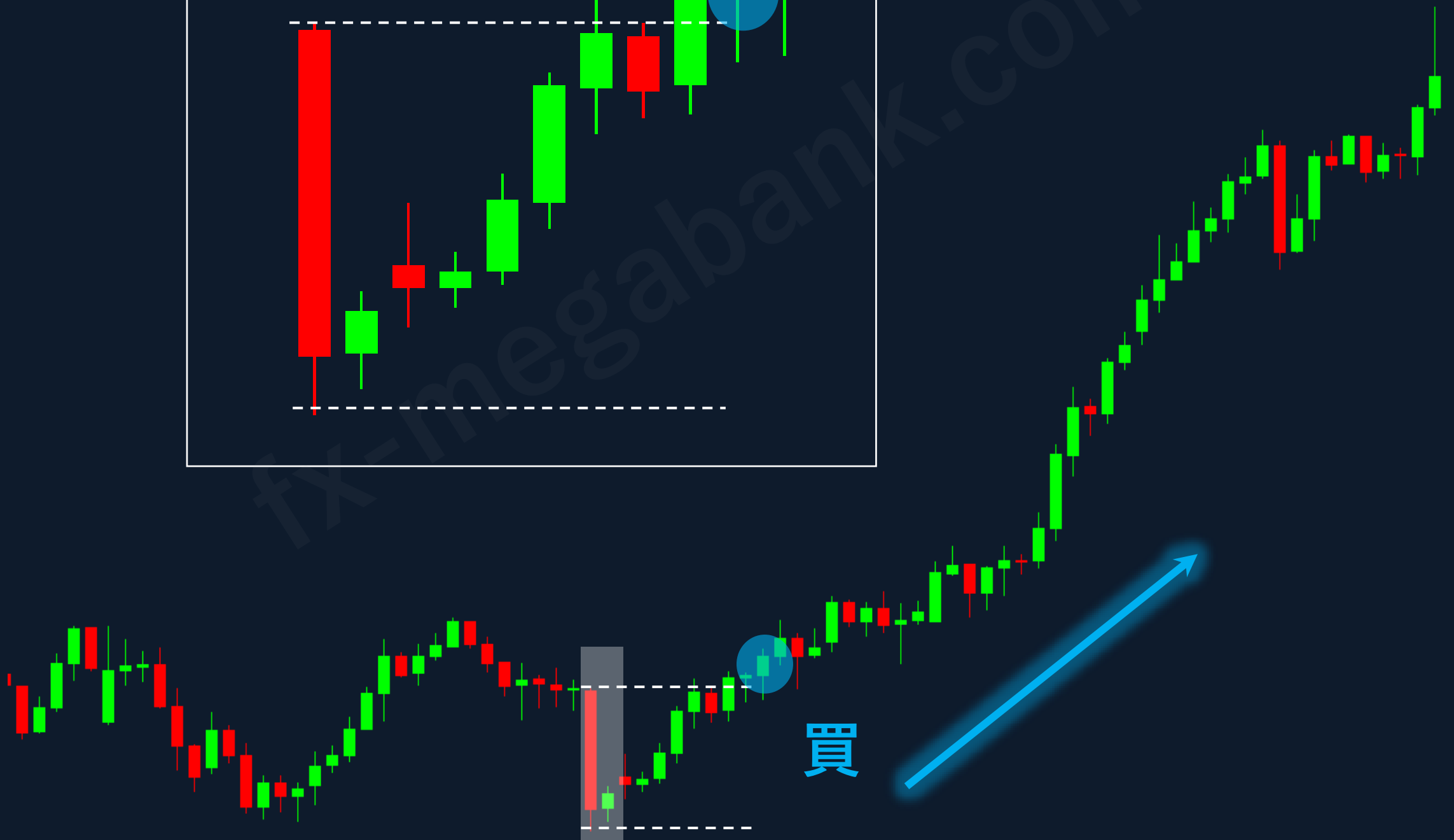
- ・ はらみ足を下に抜けた場合は、**買いを狙う**

はらみ足のレート推移

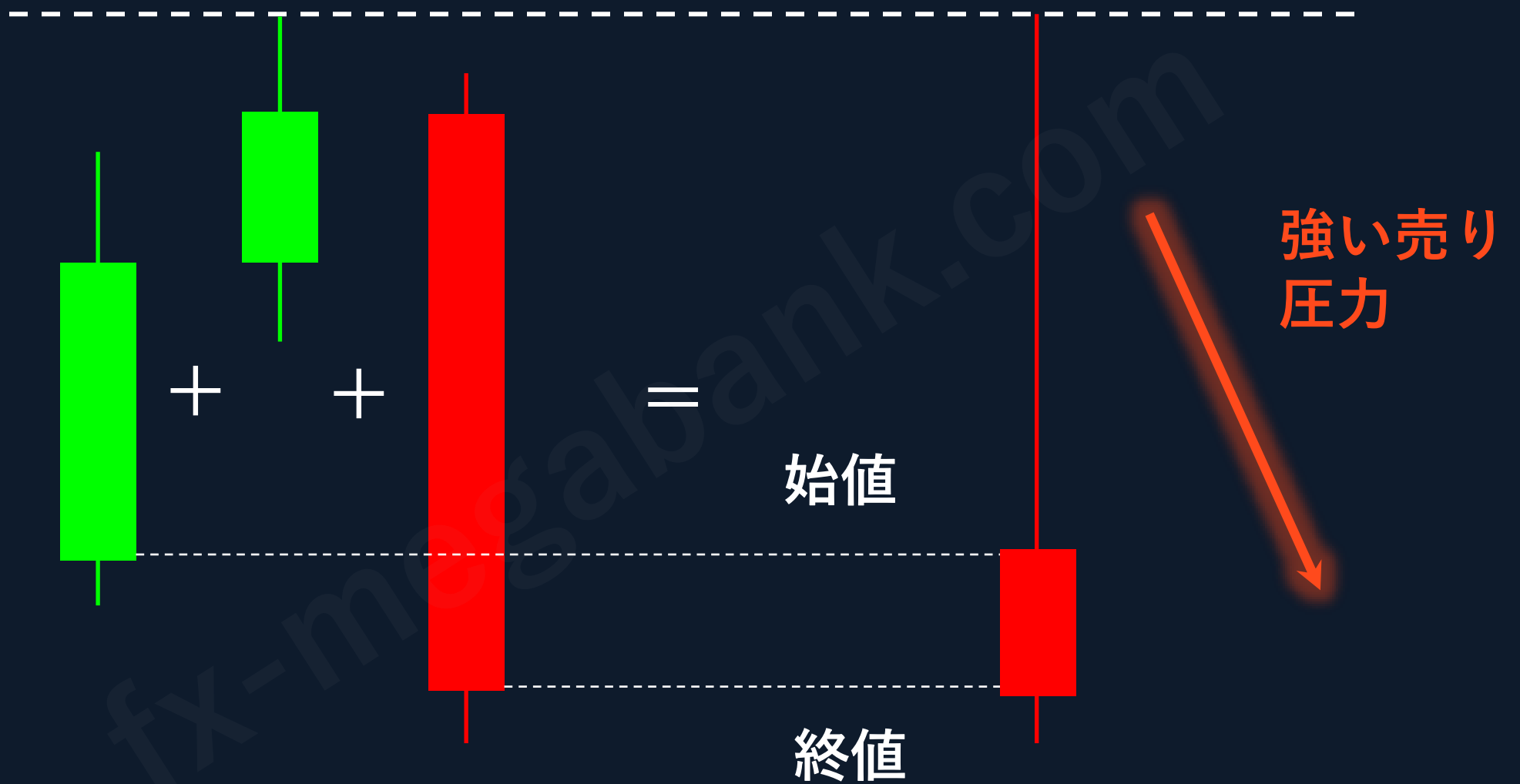


- はらみ足はもみ合いを示す通り、レート推移を見てもトレンドは出ていない

はらみ足のレート推移

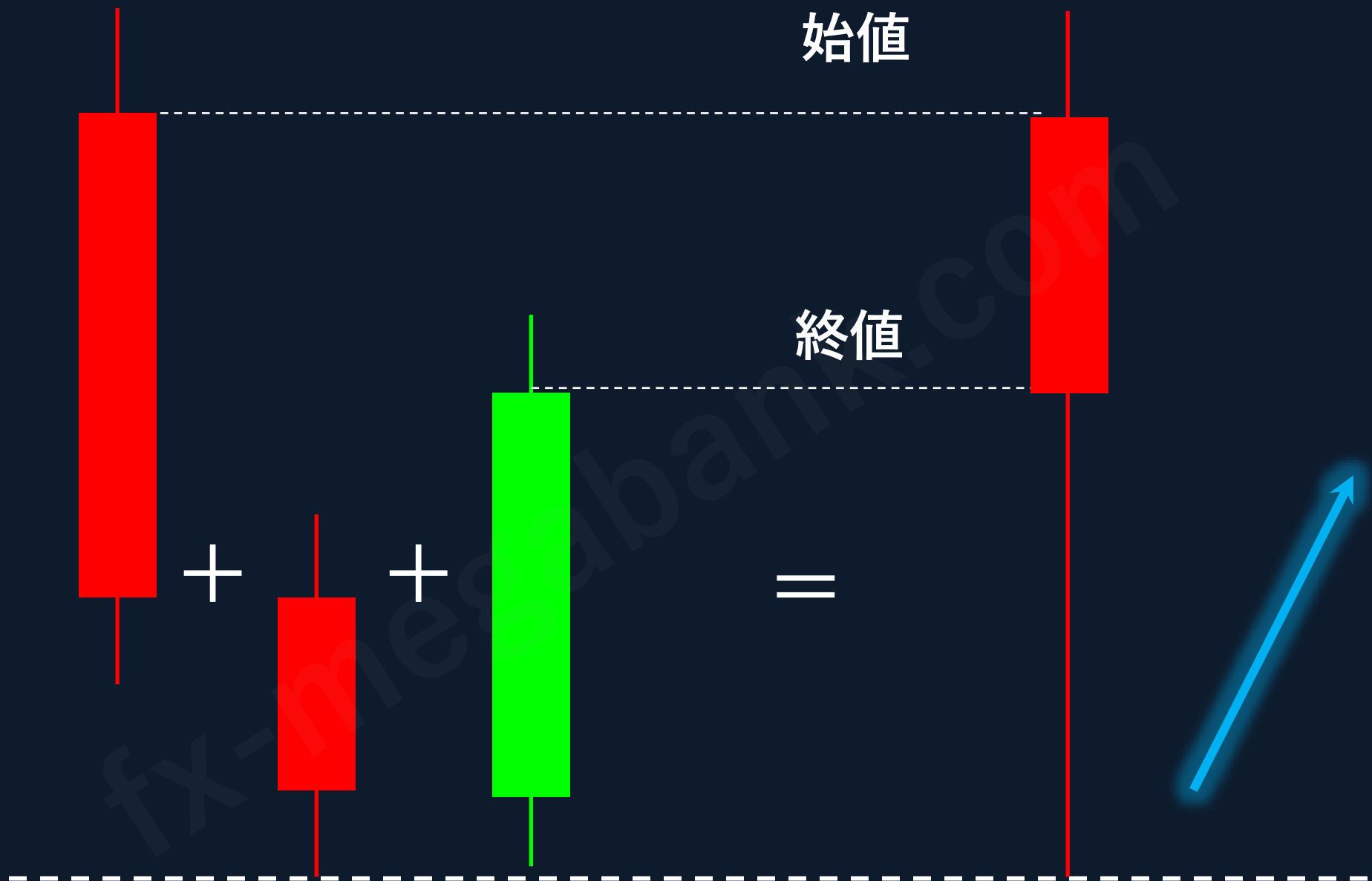


ローソク足の組み合わせ



3本を組み合わせると長い上ヒゲローソク足

ローソク足の組み合わせ



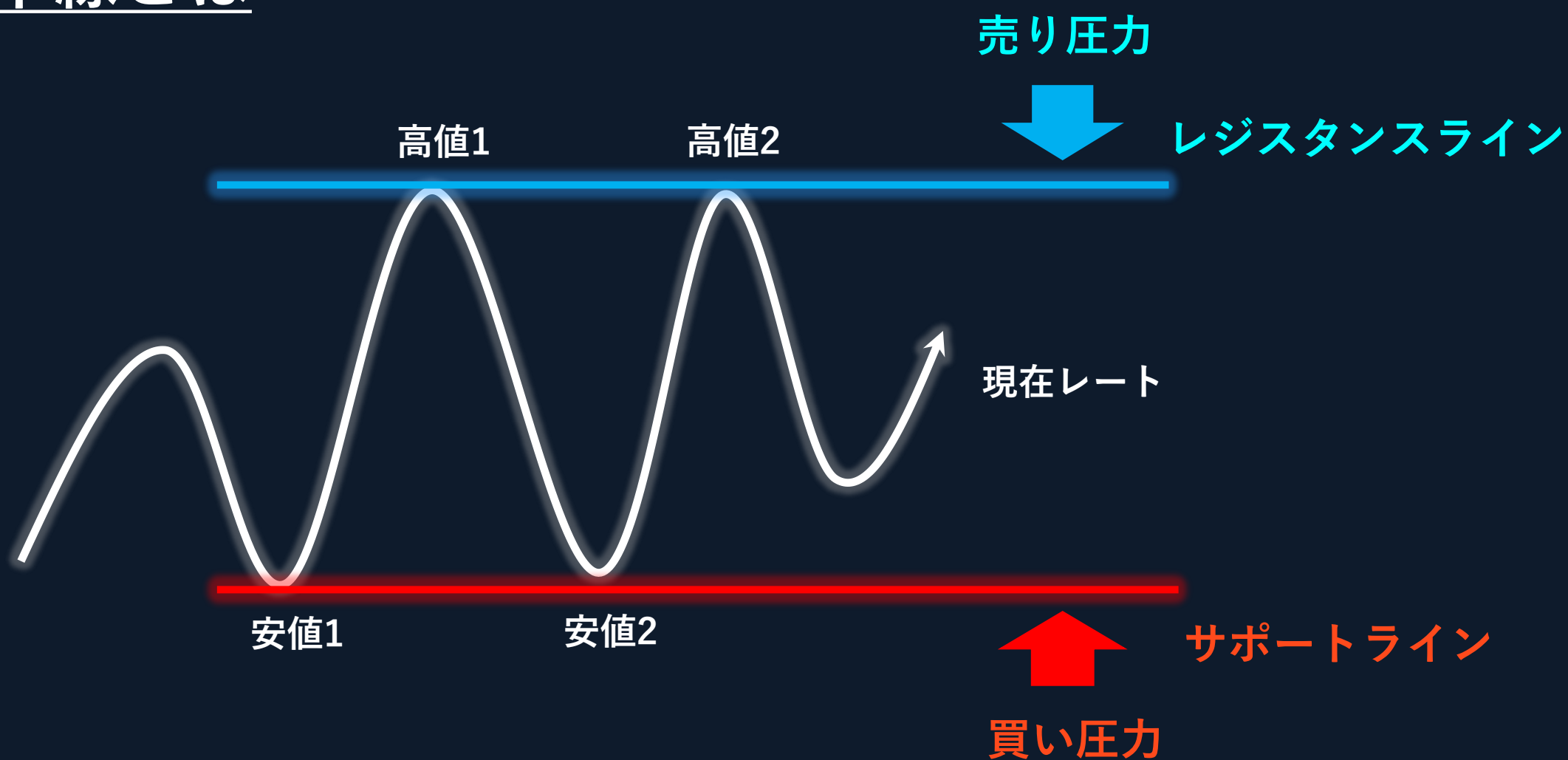
長い下ヒゲが発生だが、陰線であり反転の判断は早い

第5章

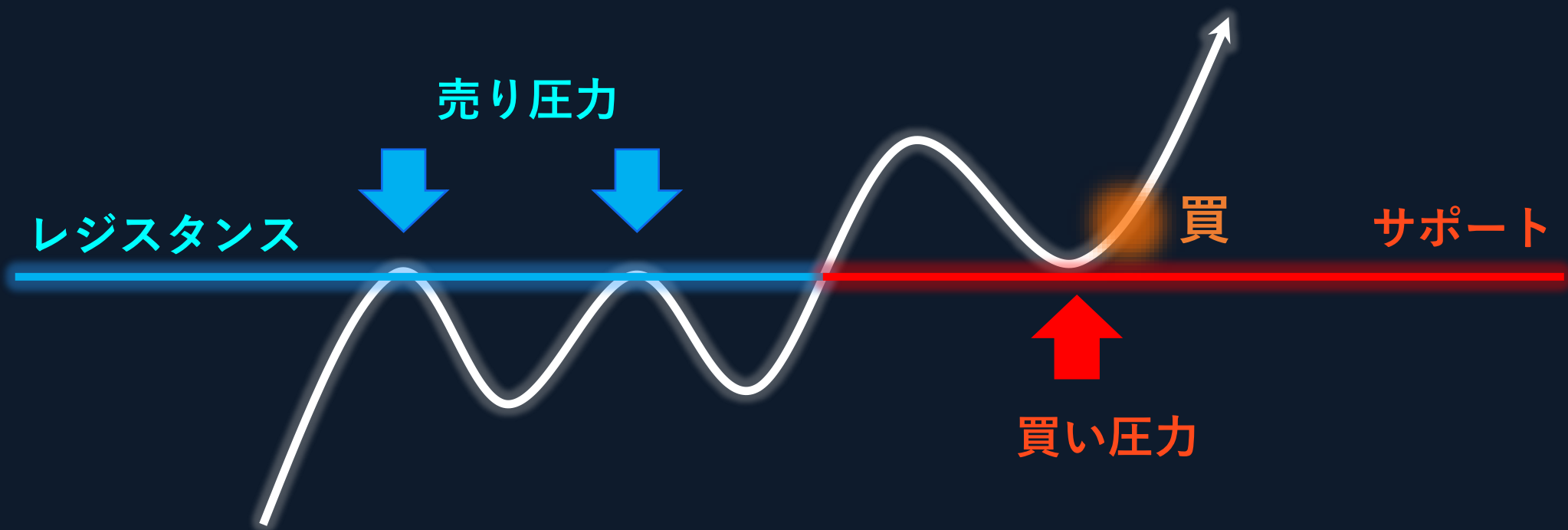
ライセンストレード

水平線の引き方

水平線とは



水平線のレジサポ転換



ブレイクすると、レジスタンスとサポートの役割は変わる

水平線を使った売買ポイント

レジスタンスライン



水平線を使ったトレード

レジスタンスライン



レジスタンスライン

高値1

高値2

売

利確

買

安値1

安値2

利確

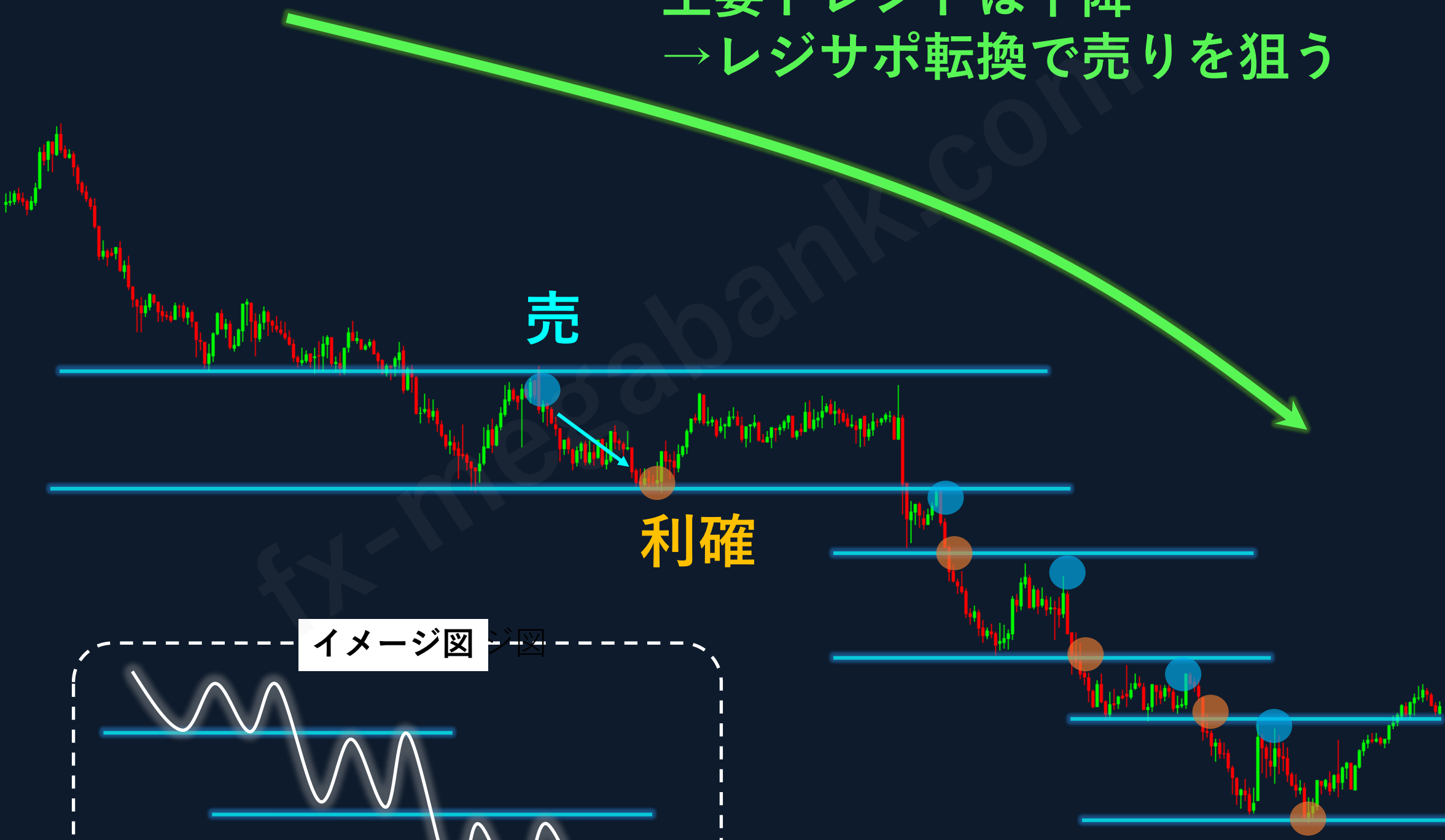
買

サポートライン

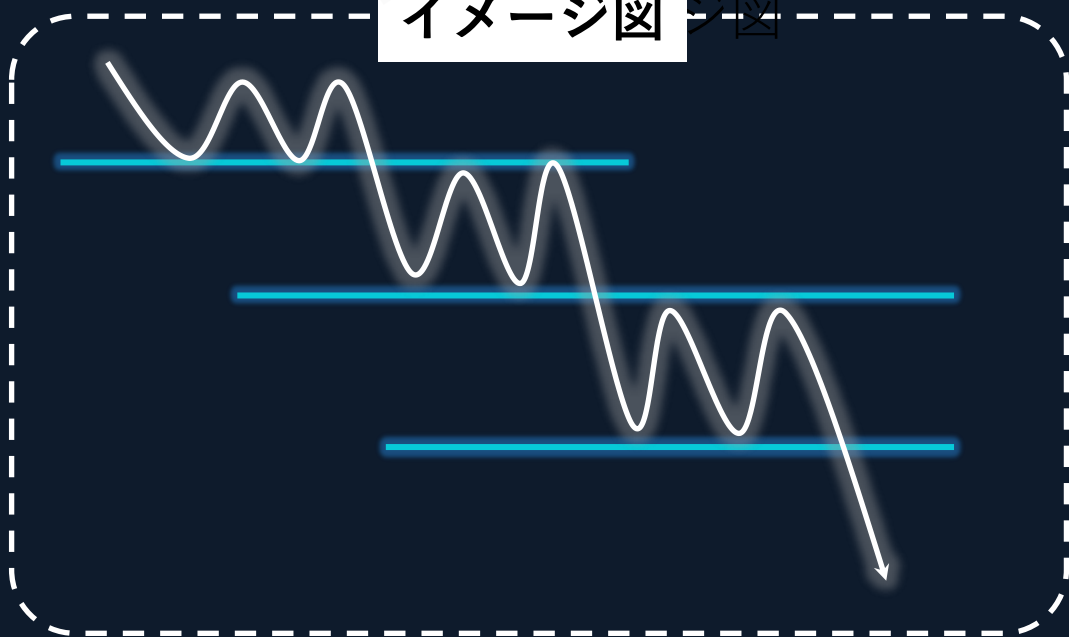


レジサポ転換でトレンドフォロー

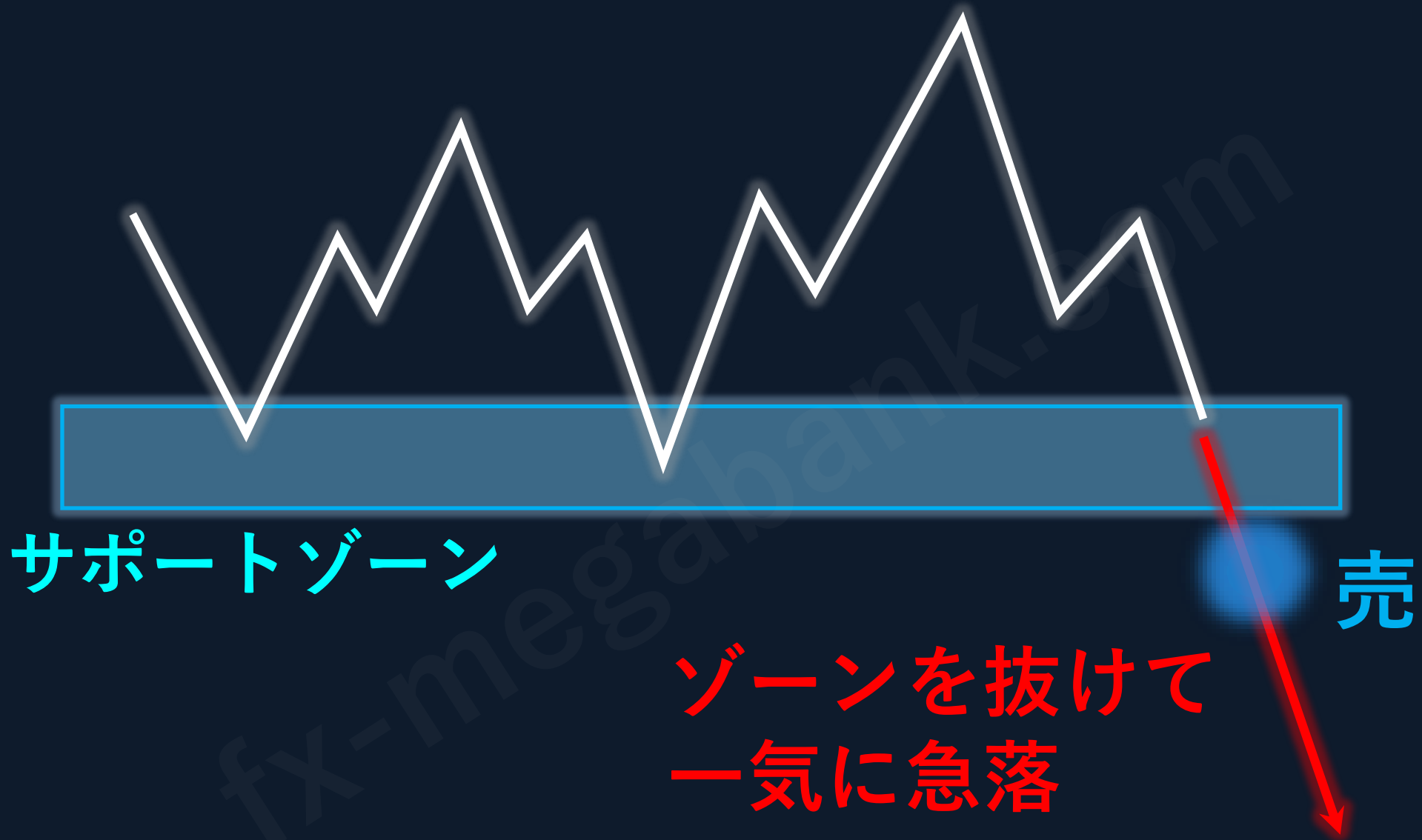
主要トレンドは下降
→レジサポ転換で売りを狙う



イメージ図

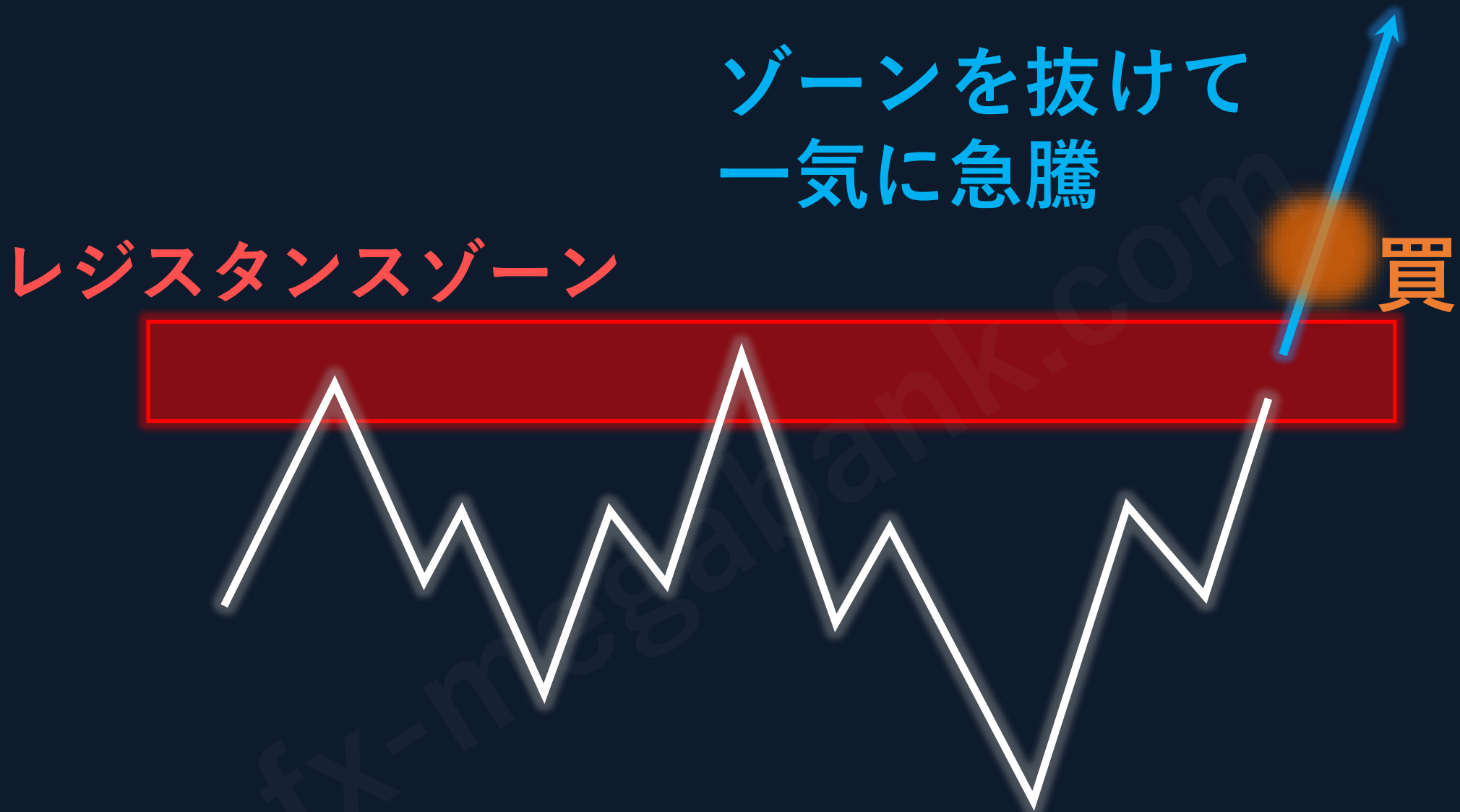


サポートゾーンとは



- 買い圧力が強く何度も反発した価格帯
- 一度下抜けすると買い圧力が失われて、**勢いがある下降トレンドが発生**

レジスタンスゾーンとは



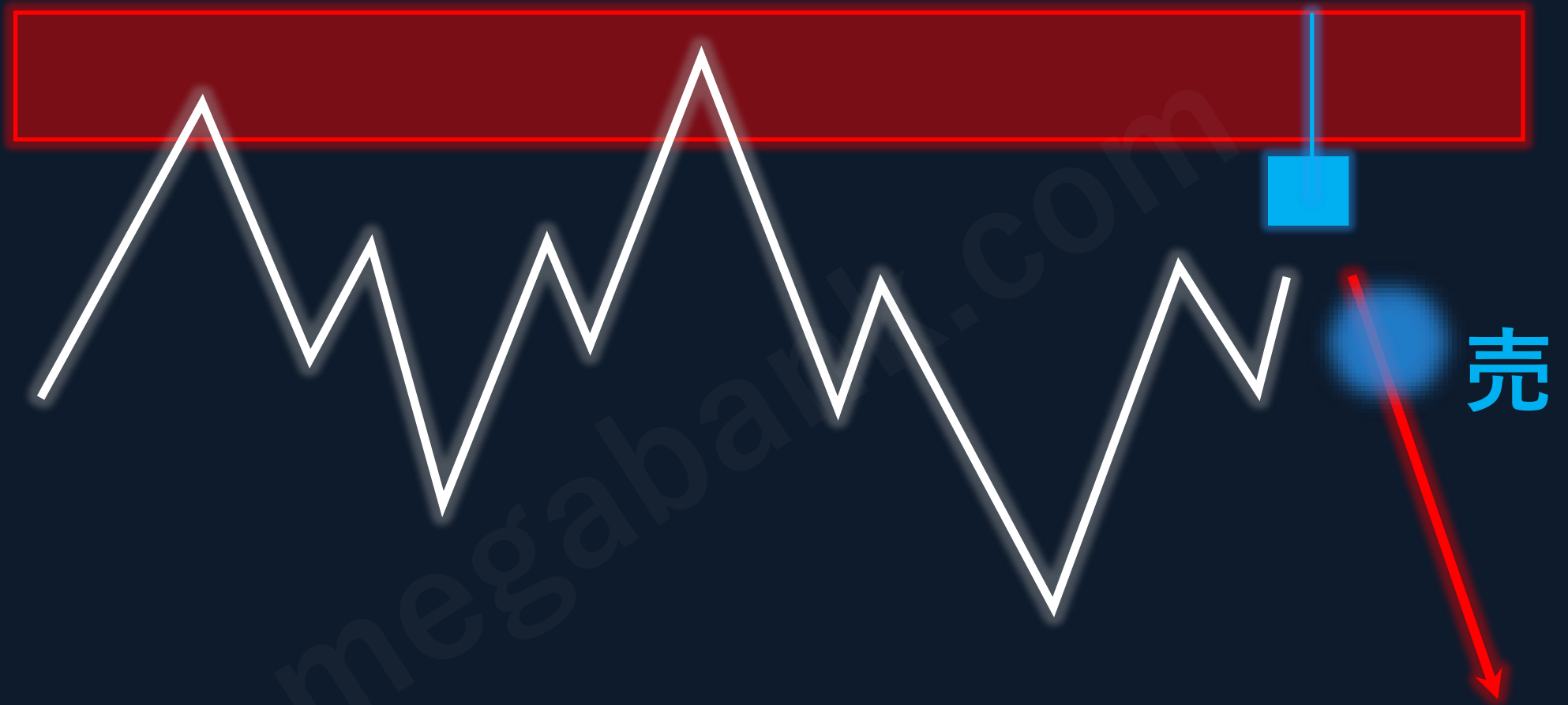
- 売り圧力が強く何度も反落した価格帯
- 一度上抜けすると売り圧力が失われて、**勢いのある上昇トレンドが発生**

サポートゾーンのエントリー



ピンバー等のプライスアクション後、
ゾーンの反転機能を確認してから買い
でエントリーする

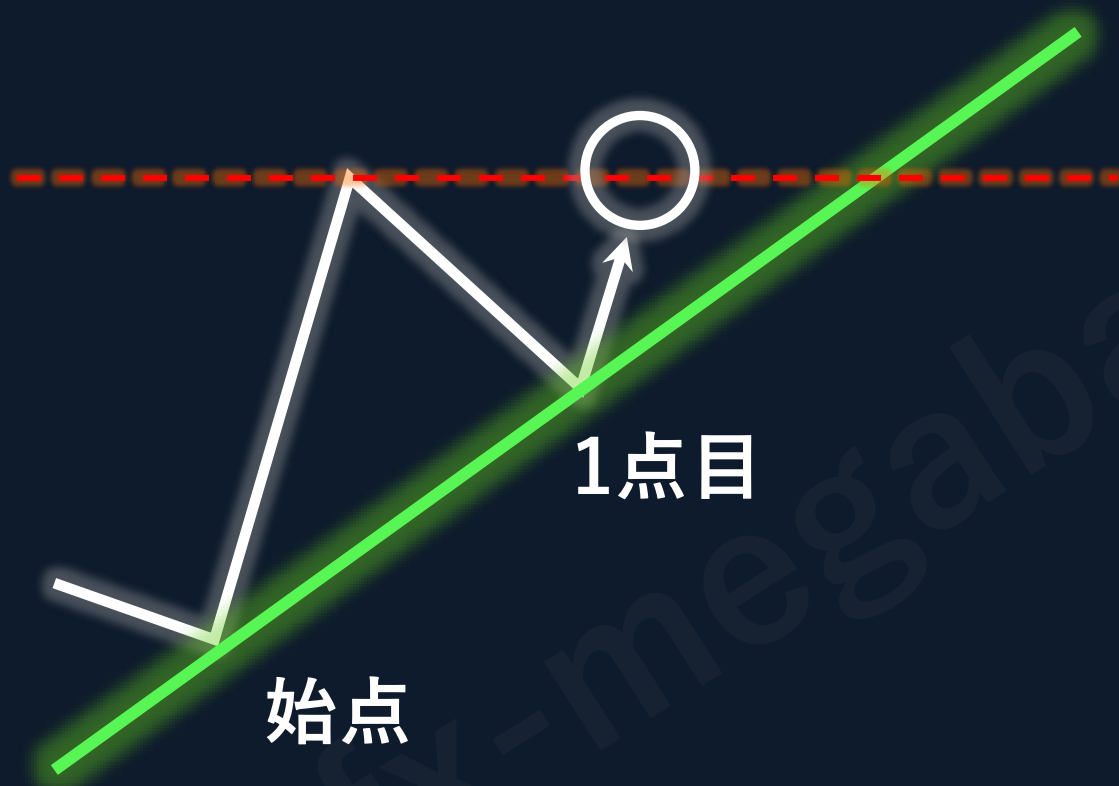
レジスタンスゾーンのエントリー



ピンバー等のプライスアクション後、
ゾーンの反転機能を確認してから売り
でエントリーする

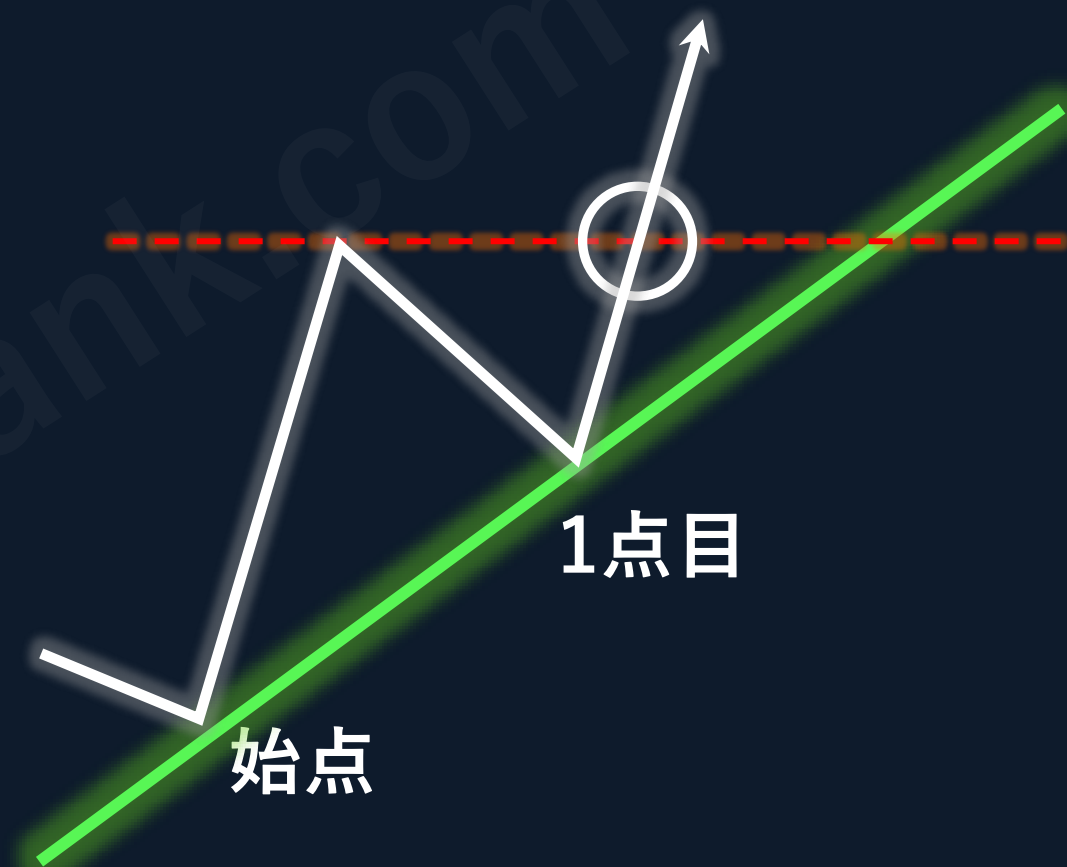
上昇トレンドライン引き方

誤った引き方



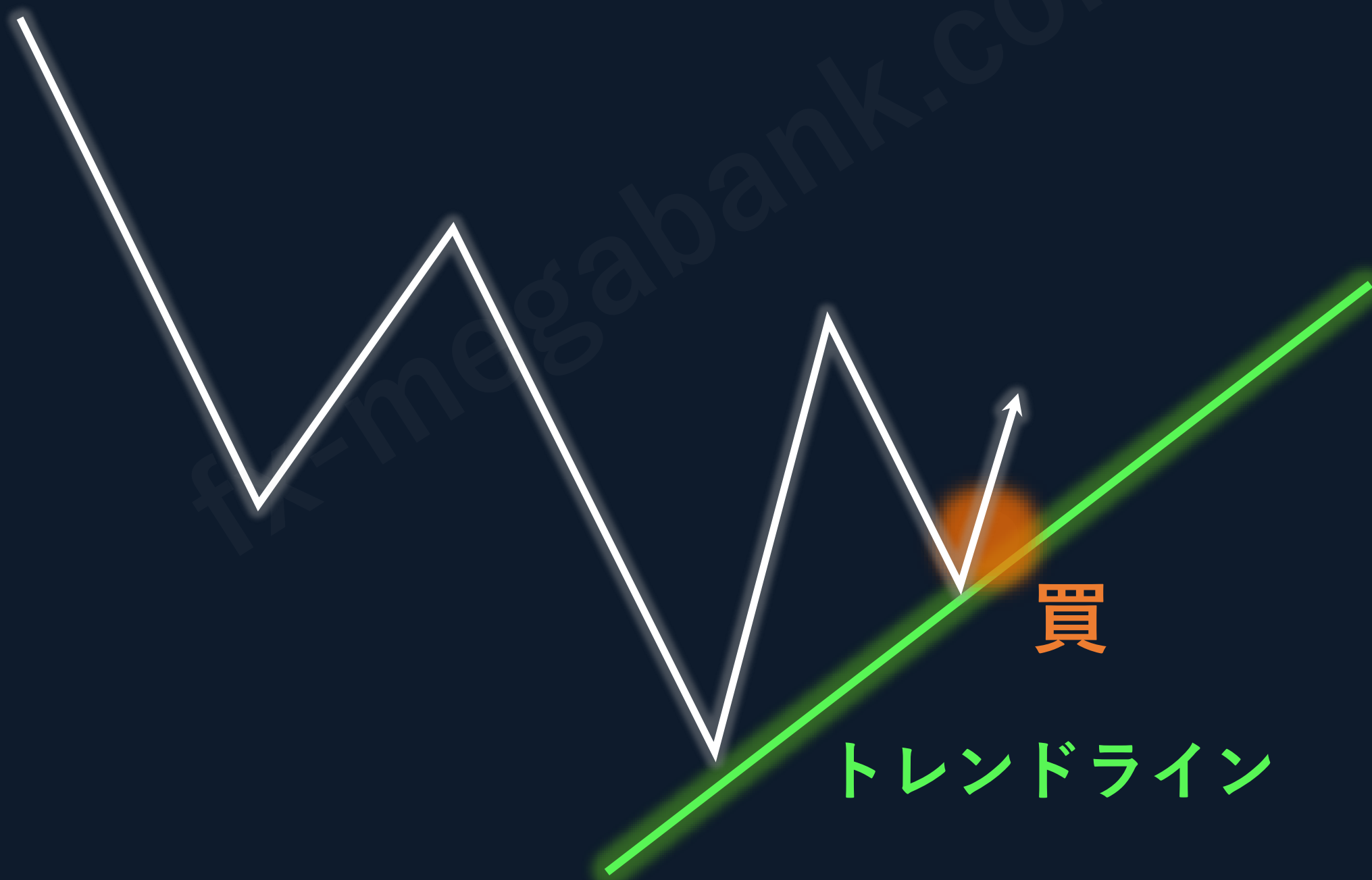
直近高値を
更新していない

正しい引き方



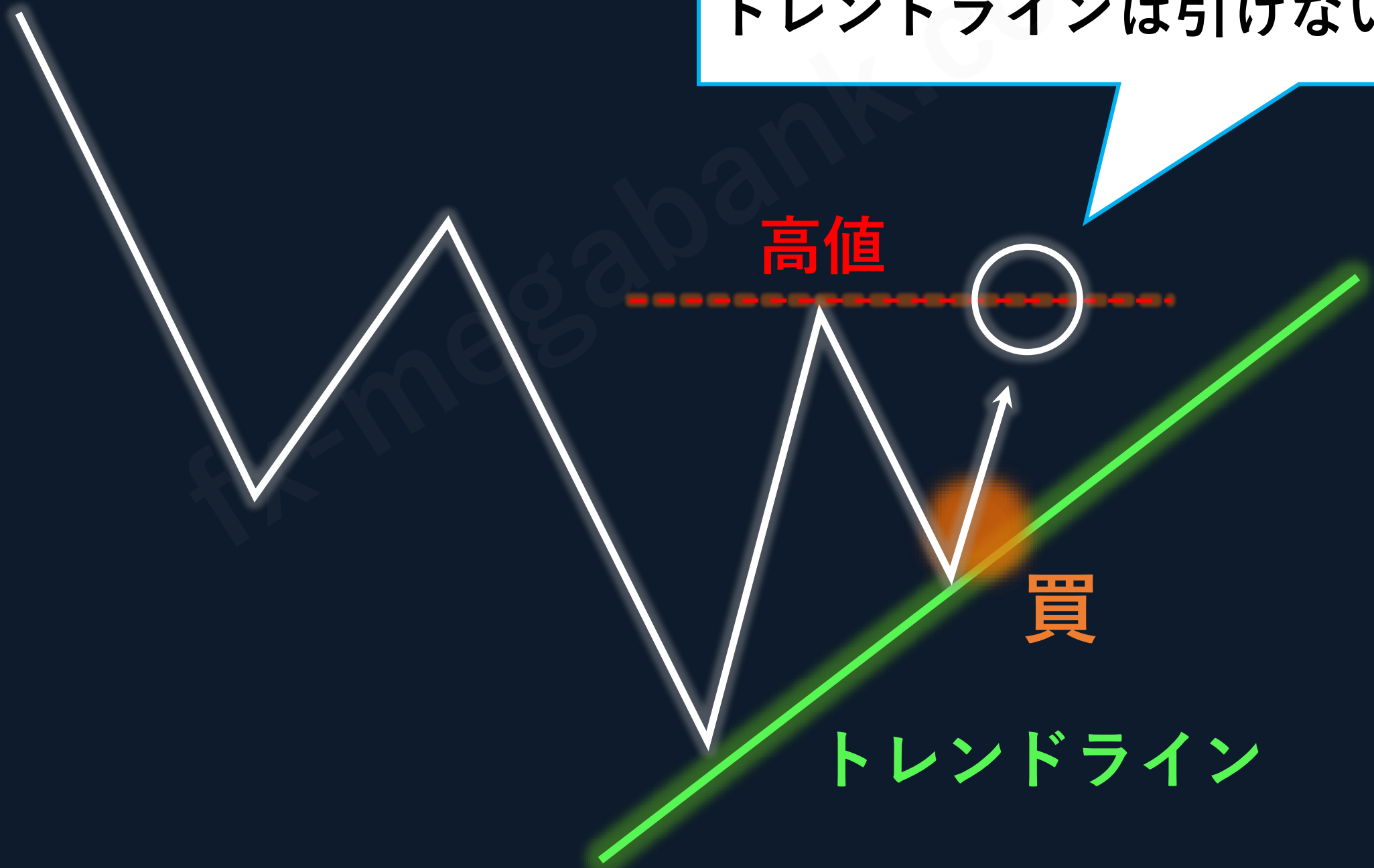
直近高値を
更新している

問題：トレンドラインの引き方と 買いエントリーは適切か？

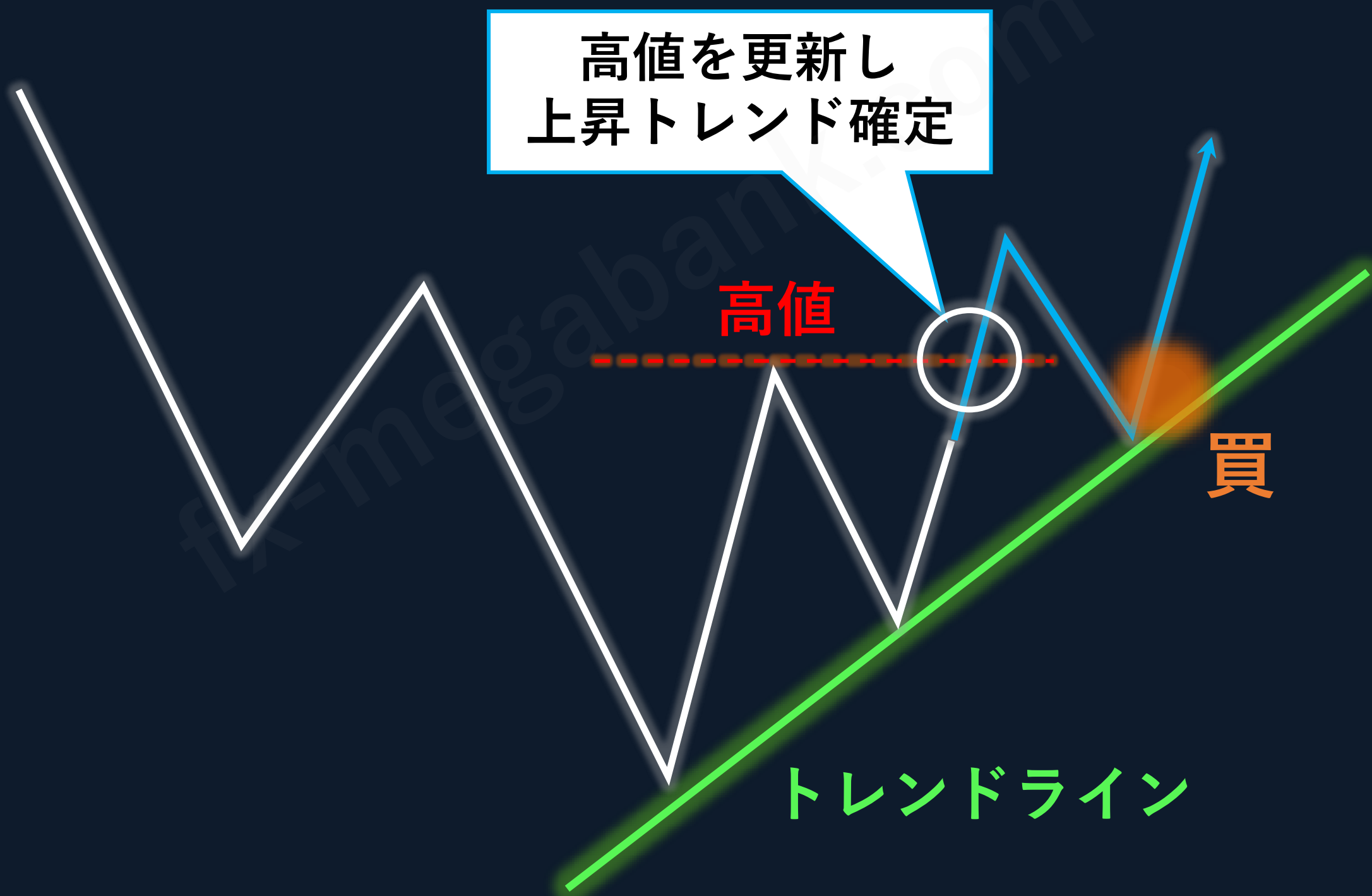


答え：ダウ上昇確定前でトレンド
ラインの引き方と買いは誤り

高値を更新する前に
トレンドラインは引けない



正しい上昇トレンドラインと 買いのタイミング



トレンドラインを使ったトレード

誤った引き方



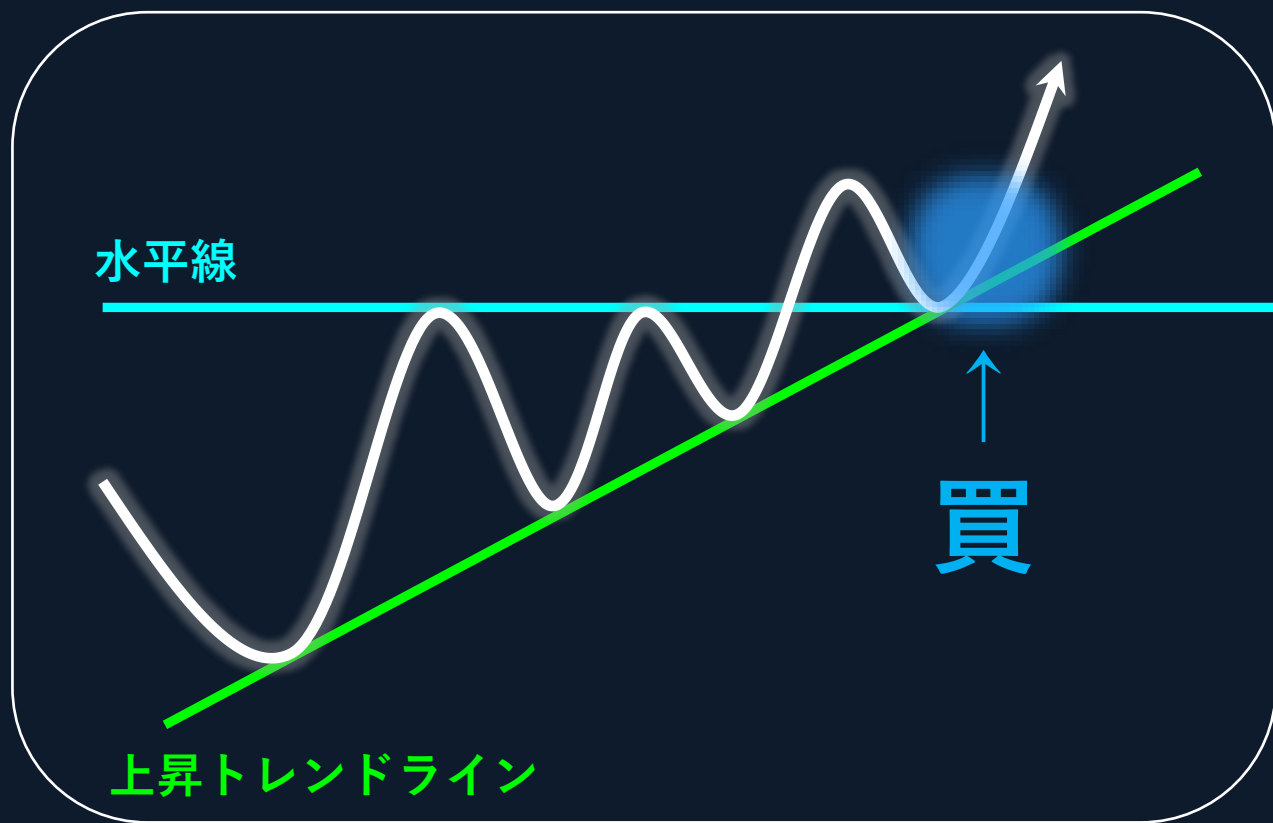
正しい引き方



チャンネルラインを使ったトレード



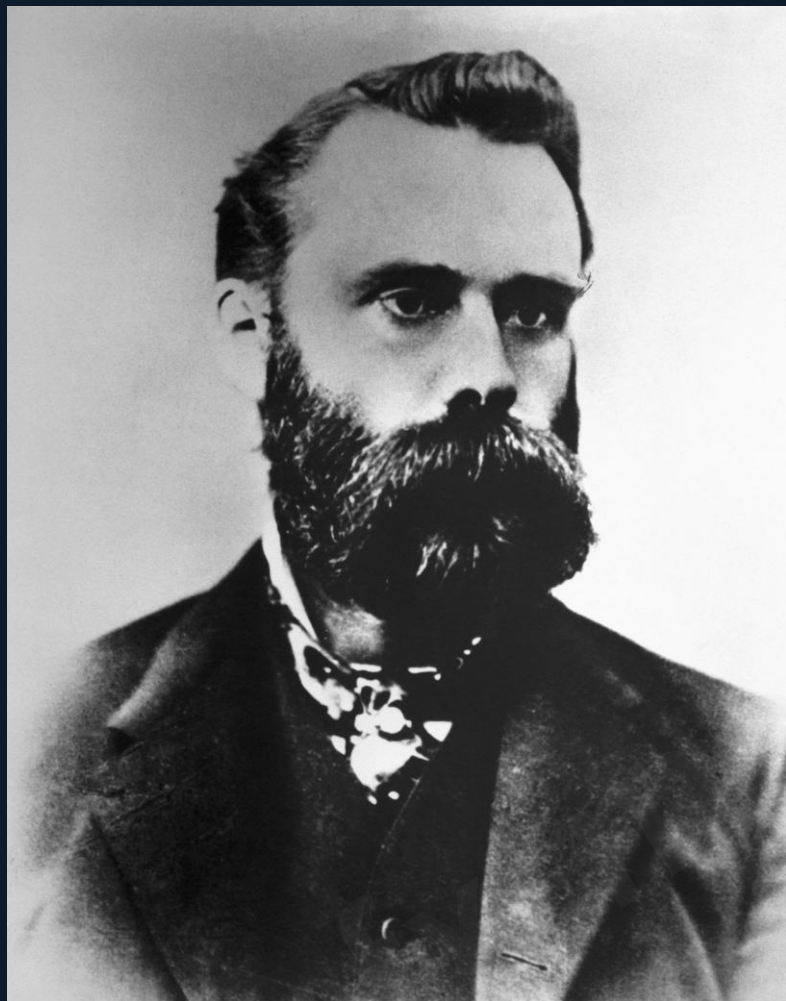
水平線 + トレンドラインのダブル根拠



第6章

ダウ理論

ダウ理論とは



チャールズ・ダウが考案した
テクニカル分析の原点となる理論

全てのテクニカル分析は、ダウ理論
をベースに発展している

6つの基本原則から構成される

チャールズ・ダウ（1851～1902年）

NYダウ平均株価の考案者

ダウ理論の6原則

- ① 価格（平均株価）は全ての事象を織り込む
- ② トレンドは3つに分類される
- ③ 主要トレンドは3段階からなる
- ④ 価格は相互に確認される必要がある
- ⑤ トレンドは出来高でも確認される必要がある
- ⑥ トレンドは明確な転換シグナルが出るまで
継続する

ダウ理論の原則①

：価格は全ての事象を織り込む

- ・あらゆる情報（経済指標・金融政策・政治イベント等）は、全て価格にすでに反映されている
- ・今利用できるファンダメンタルズの情報に意味はない
- ・上昇や下落の兆候もチャートに織り込まれている

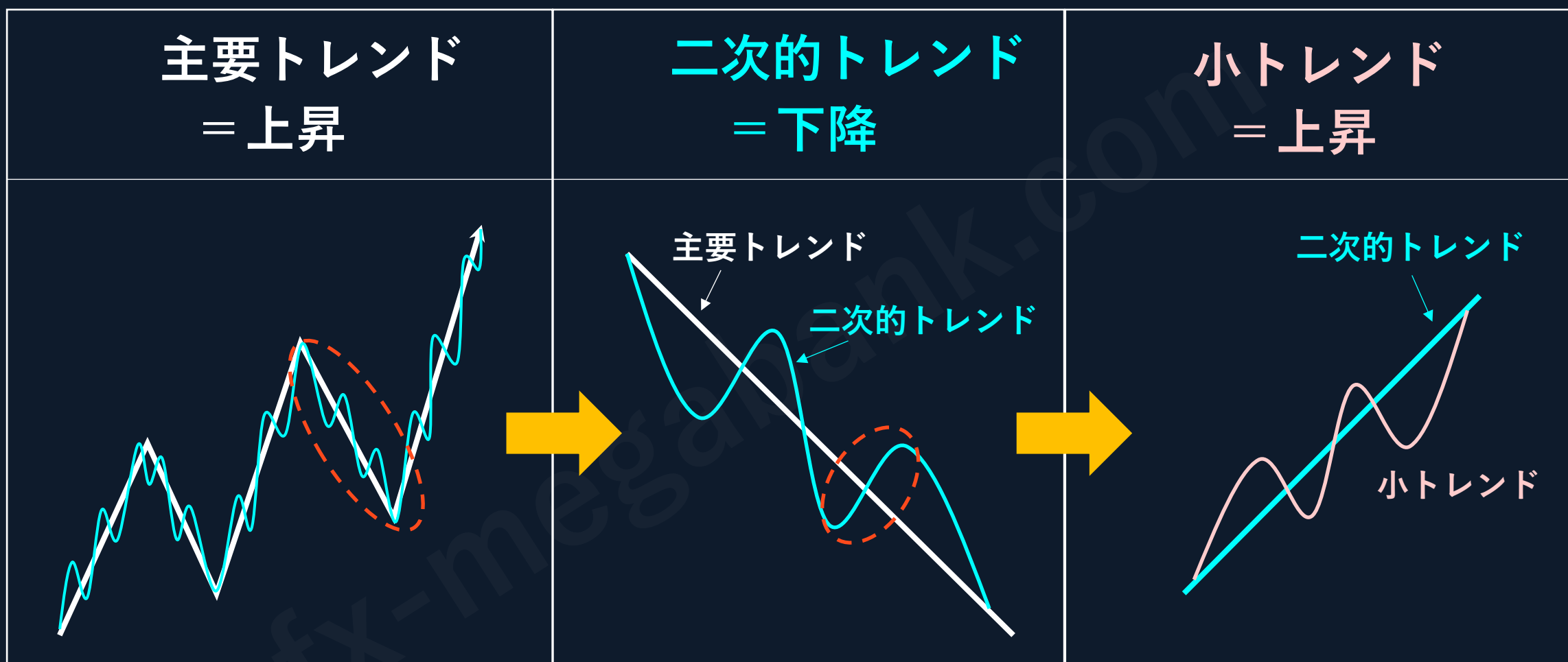


つまり

テクニカル分析で将来の値動きの予想が可能

ダウ理論の原則②

：トレンドは3つに分類される



1. 主要トレンド：1年から数年継続する
2. 二次的トレンド：3週間～3か月継続する
3. 小トレンド：3週間未満で継続

ダウ理論の原則③

：主要トレンド(1年～数年)は3段階からなる

第一段階：先行期

- ・一部の積極的な投資家が買い
- ・緩やかに上昇

第二段階：追隨期

- ・多くの投資家が買いで参入
- ・明確な上昇

第三段階：利食い期

- ・メディアの報道も増え、素人や初心者も参入
- ・上級者は利確開始
- ・上値が抑えられ、急落

ダウ理論の原則④

： 価格は相互に確認される必要がある



まだ上昇トレンドではない



上昇トレンドと確認が持てる

・ 株式市場では、「工業平均株価」と「鉄道平均株価」が同じトレンドで初めてそのトレンドの確認を得られる

ダウ理論の原則④

： 価格は相互に確認される必要がある

【FXの場合】

相関のある他通貨ペア、金利、商品等を確認する



米ドルの上昇が確証を持てる



ドル円の上昇の確証が持てる
(ドル売りによる場合)

ダウ理論の原則⑤

：トレンドは出来高でも確認される必要がある

主要トレンドが上昇 ⇔ 出来高も増加基調

主要トレンドが上昇 ⇔ 出来高が減少

⇒まもなくトレンド転換

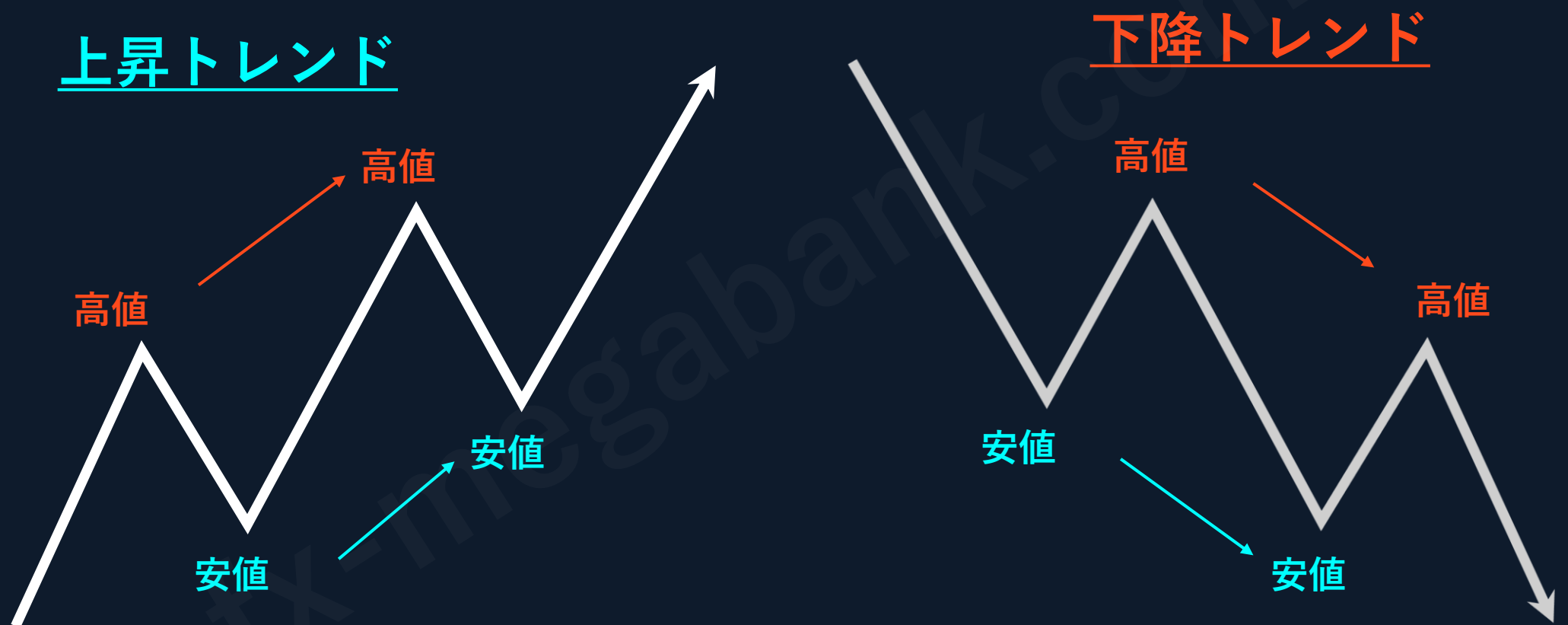
【FXの場合】

残念ながら、世界中で取引されている外国為替の出来高を正確に把握することは難しい

ダウ理論の原則⑥

：トレンドは明確な転換シグナルが出るまで継続する

(ダウのトレンド定義)



上昇トレンド： 高値と安値が『それぞれ』切り上がる

下降トレンド： 高値と安値が『それぞれ』切り下がる

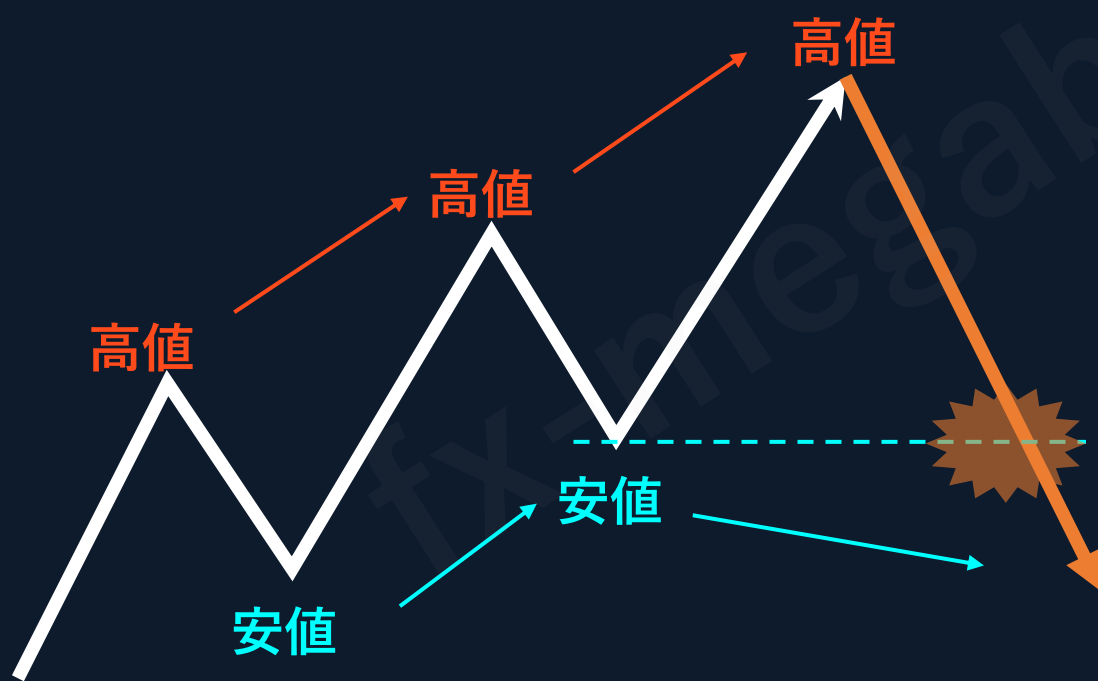
ダウ理論の原則⑥

：トレンドは明確な転換シグナルが出るまで継続する

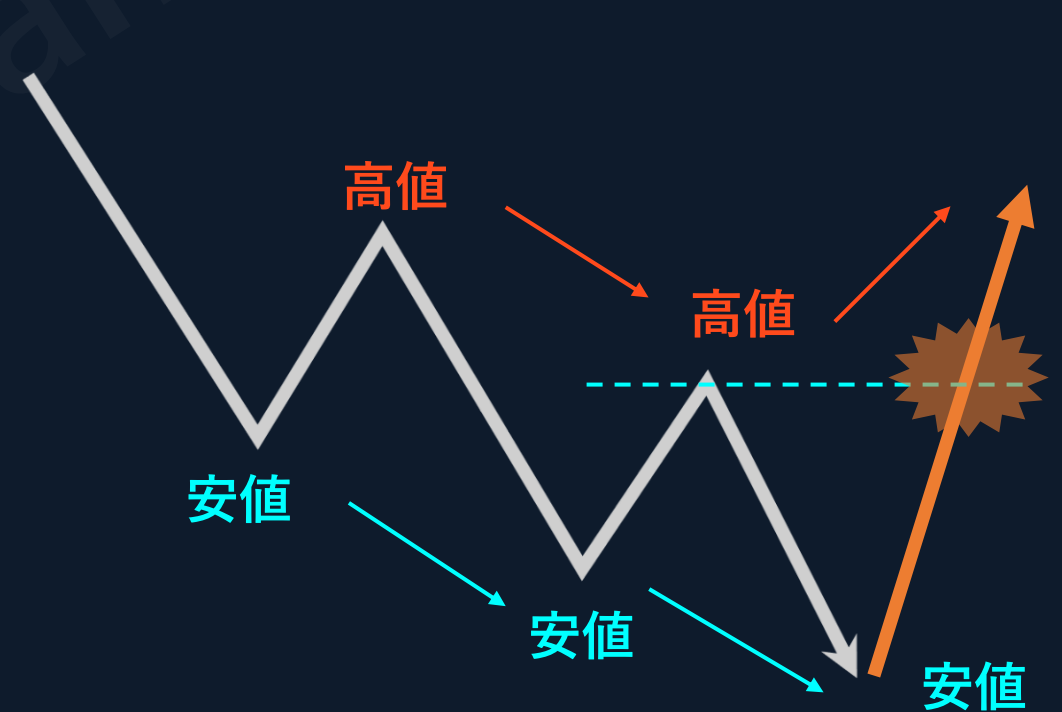
(ダウの転換シグナル)

上昇トレンド ➡ レンジ

下降トレンド ➡ レンジ

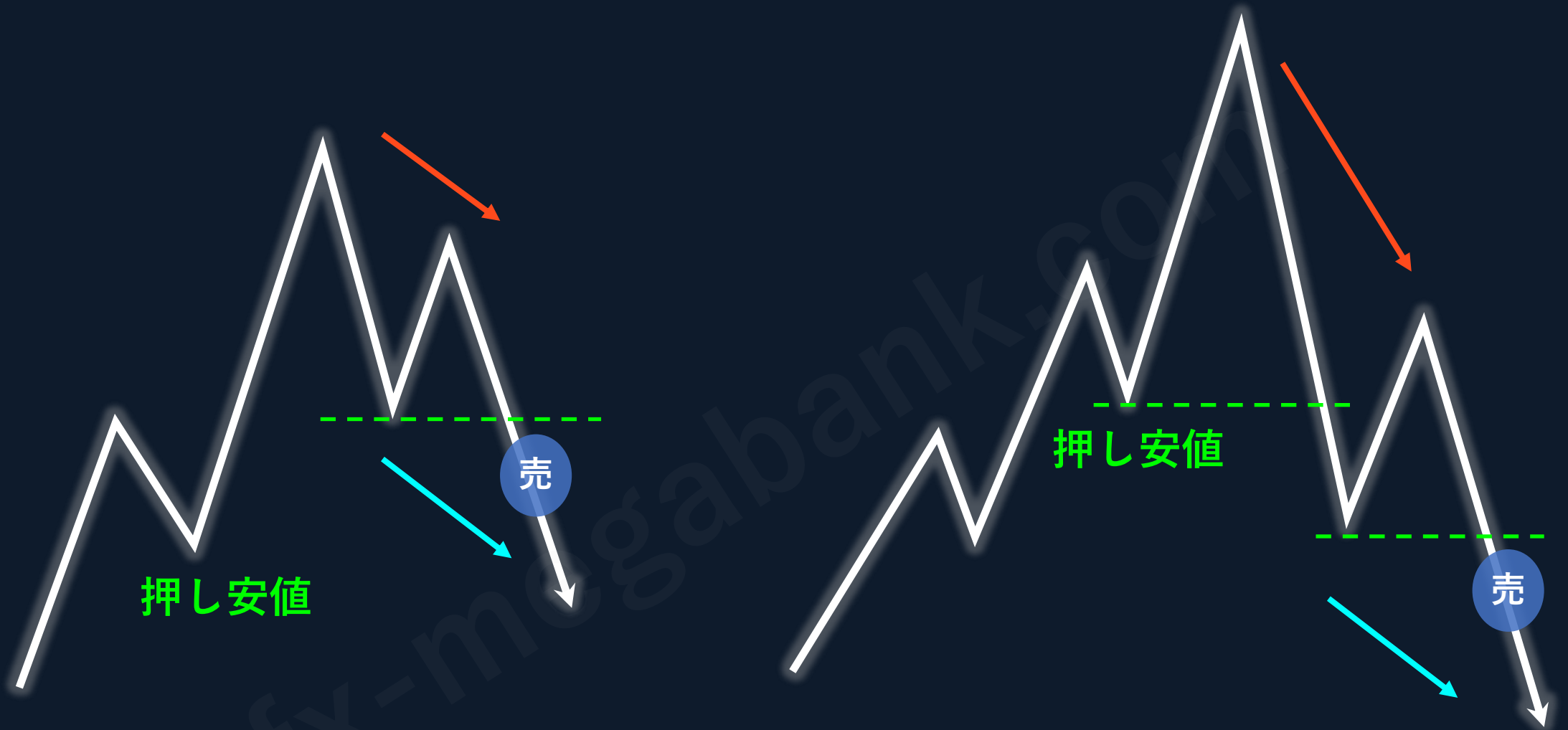


上昇トレンドで
安値が切り下がる



下降トレンドで
高値が切り上がる

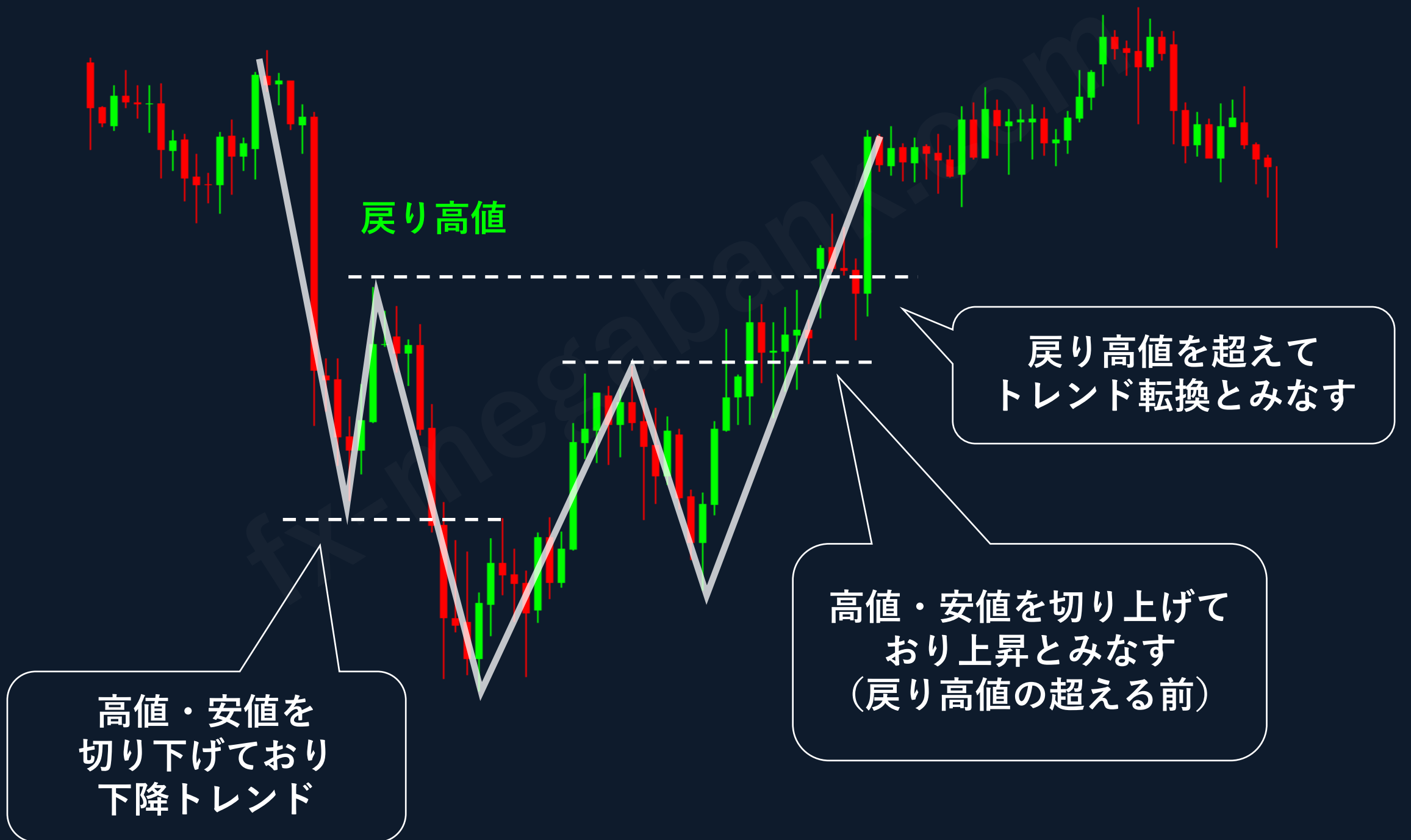
ダウ理論のトレンド転換の見方



フェイラースイング
・より早いシグナル

ノンフェイラースイング
・より保守的なシグナル

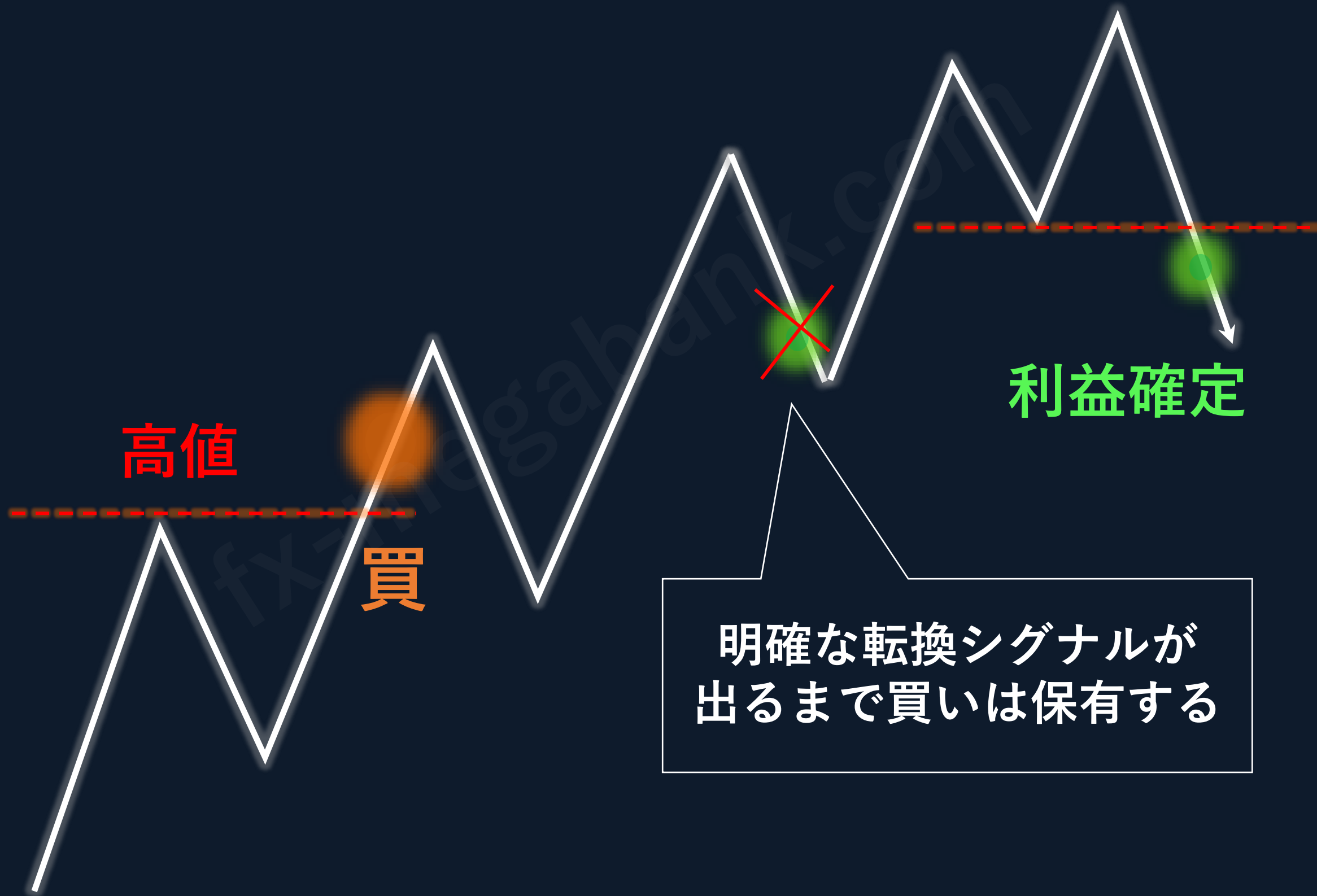
ダウ理論のトレンド転換の見方



問題：ダウ理論で買いで入った場合、利益確定はどこですればいいか？



解答：利益確定はダウで上昇トレンドが崩壊したタイミングで行う



第7章

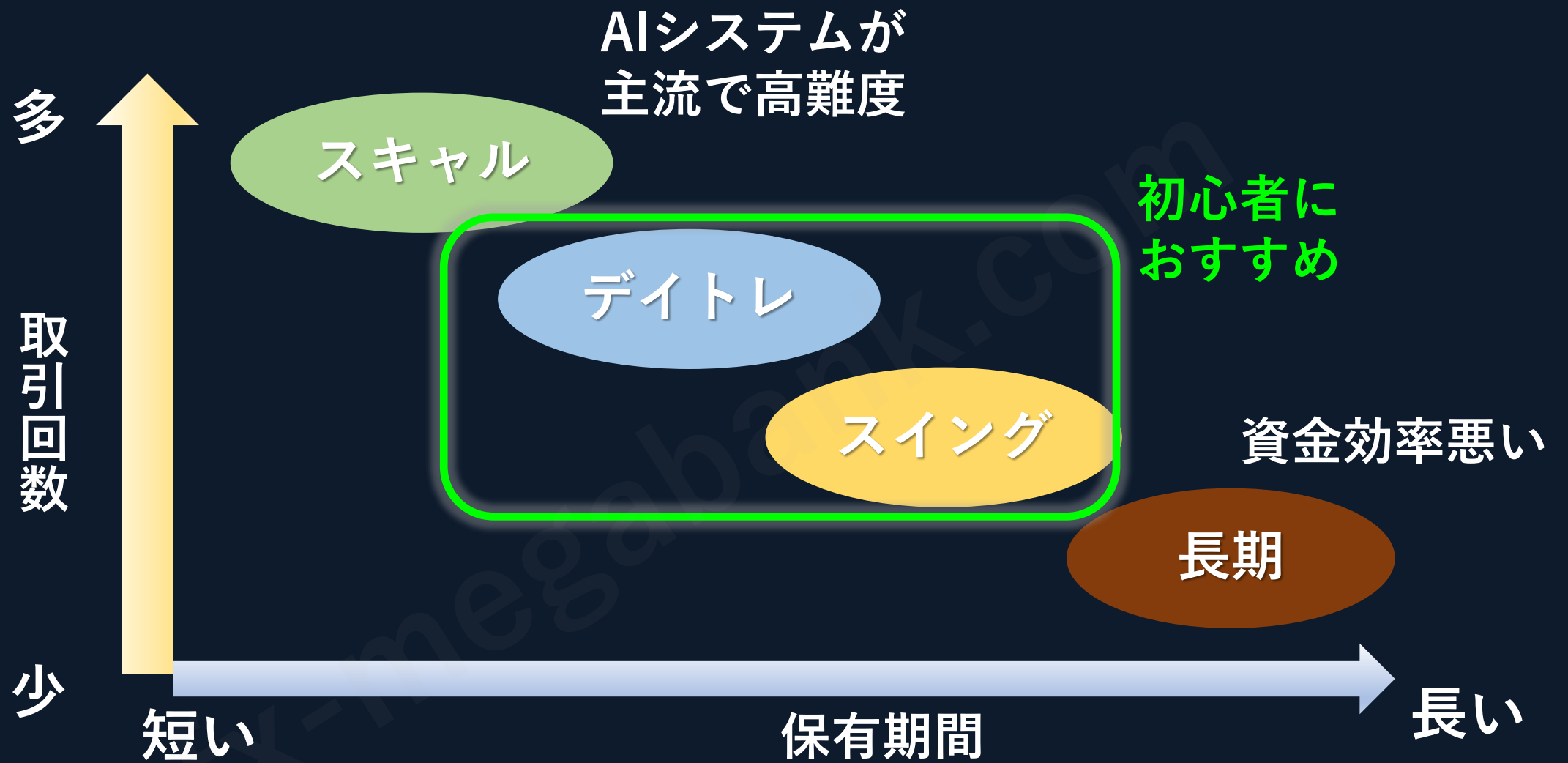
マルチタイム フレーム分析

トレードスタイル毎の時間軸

トレードスタイル	上位足	下位足
長期トレード	月足、週足	日足
スイングトレード	週足、日足	4時間足、1時間足
デイトレード	日足、4時間足、1時間足	30分足、15分足、5分足
スキャルピング	1時間足、30分足	5分足、1分足

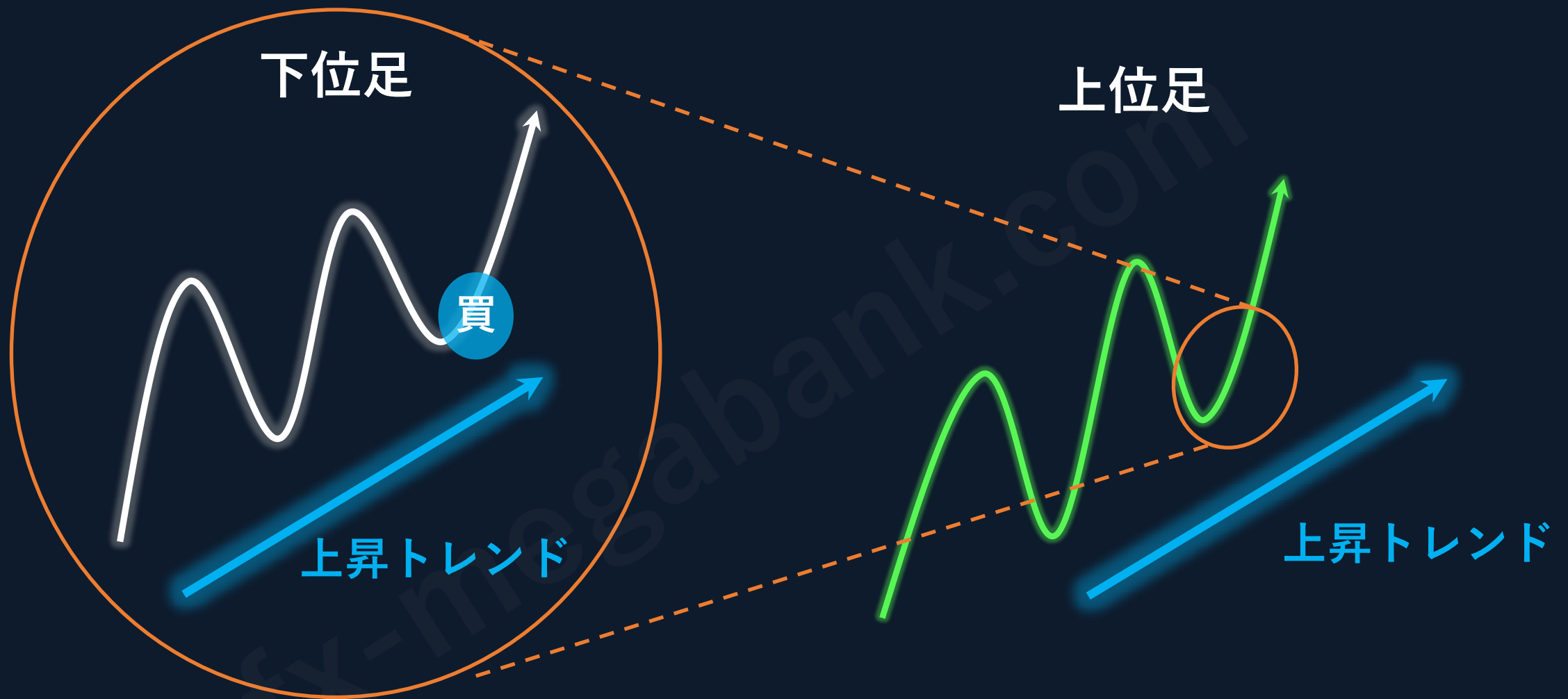
上位足で全体のトレンド状況を確認し、
下位足でエントリータイミングをはかる

トレードスタイルの種類



FX初心者にはスイングトレードか
デイトレードがおすすめ

上位足の方角に沿ったエントリー

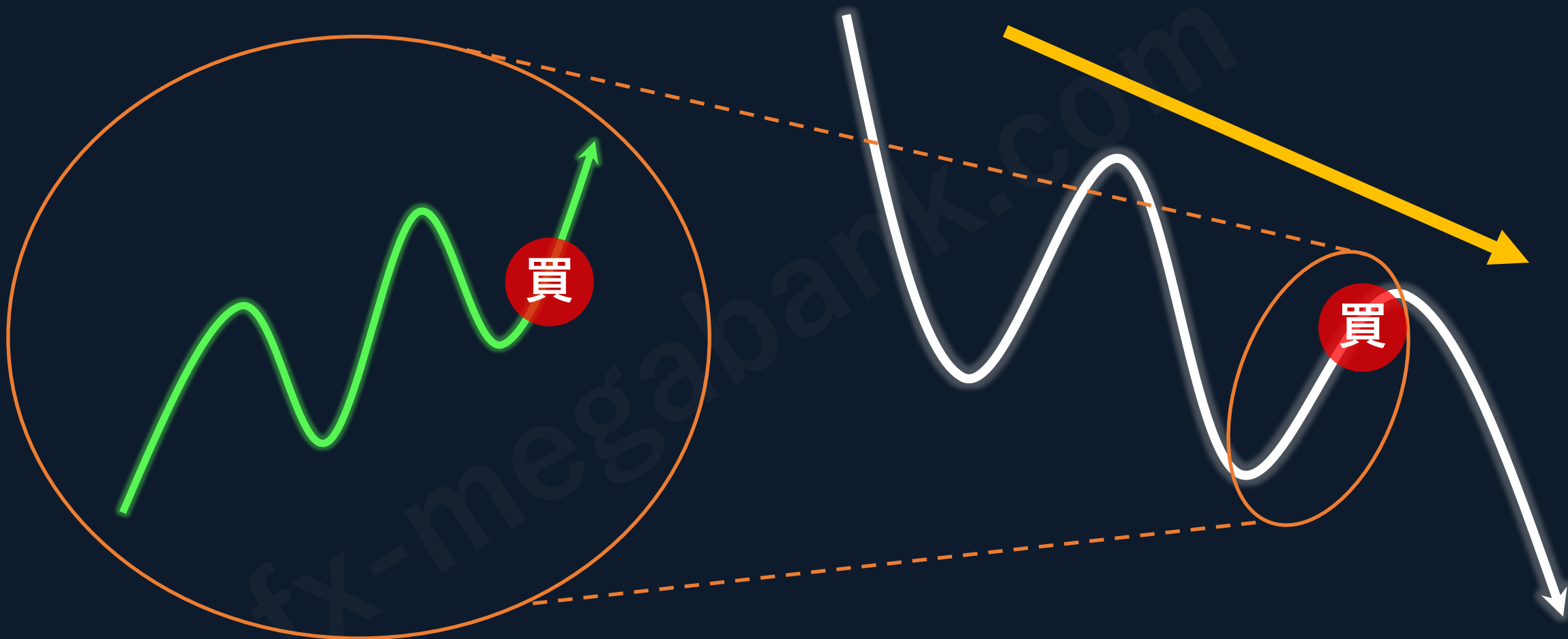


上位足で主要なトレンド状況を確認し、
下位足でエントリータイミングをはかる

上位足の方角に逆らったら エントリーは避ける

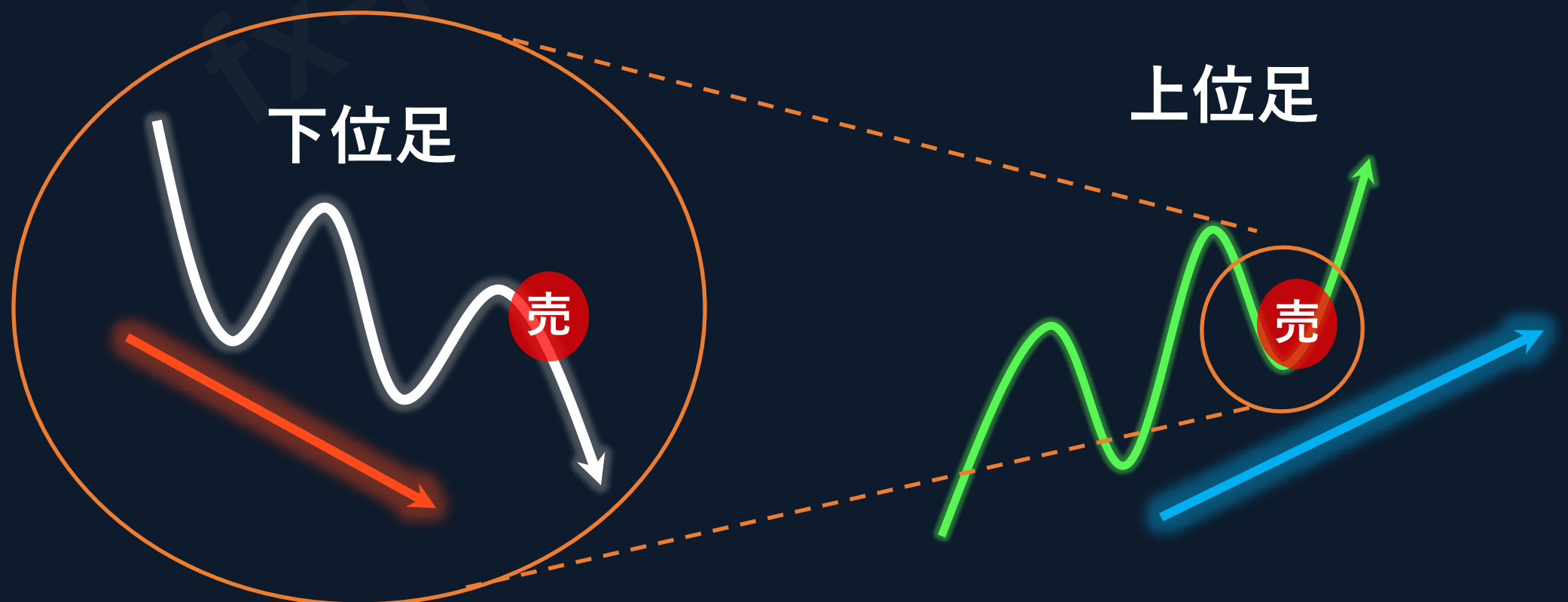
下位足

上位足



上位足は下降トレンドであれば、取るべき
選択肢は売り。上位足を確認せずに下位足
だけの判断で買いエントリーは止めるべき

上位足の方に逆らうエントリーは控える



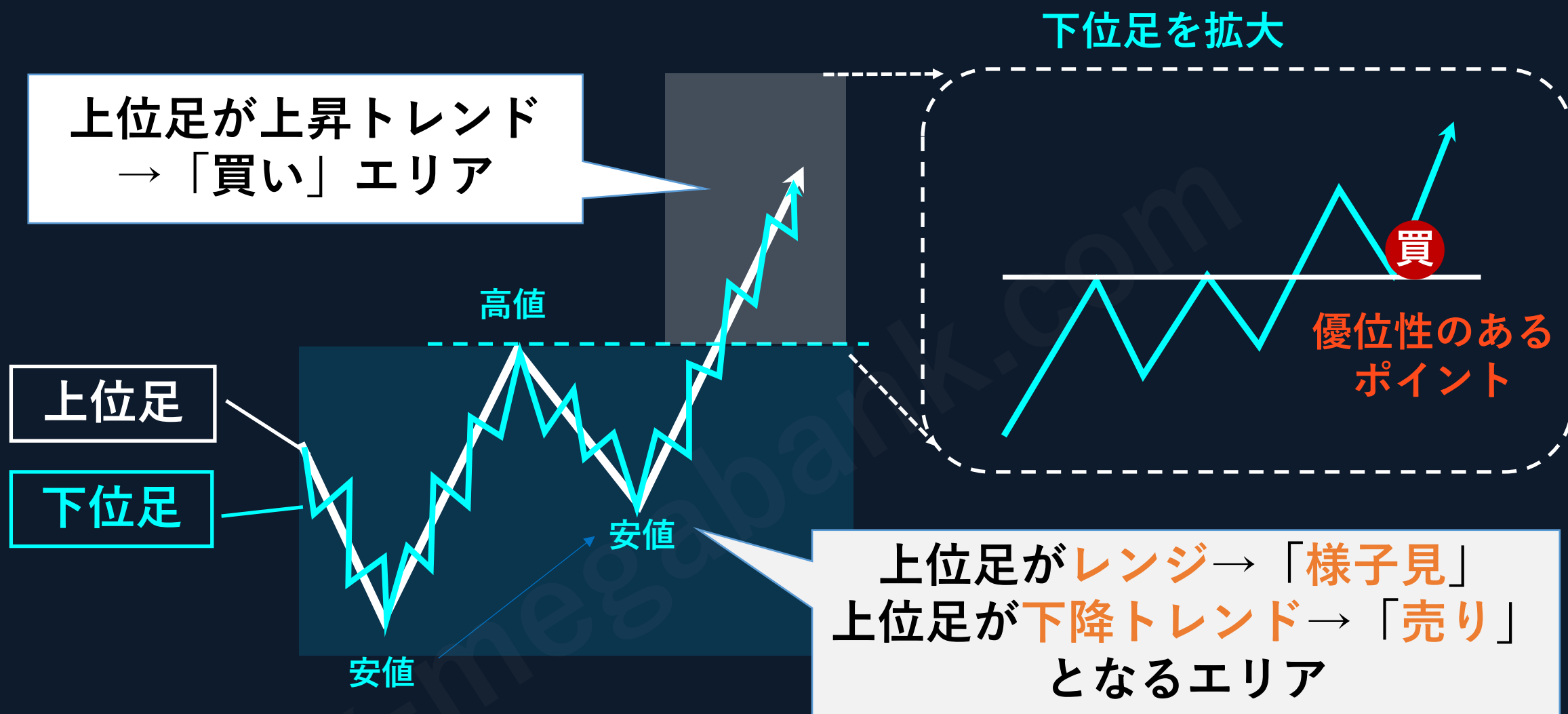
マルチタイム・N字波動 トレードのエントリーポイント



マルチタイム・N字波動 トレードのエントリーポイント



マルチタイムフレーム分析



上位足がどのトレンドなのか相場環境認識を行い、
買い・売り・様子見の選択肢を決めた上で、下位足
にてエントリーを狙う。

第8章

エリオット波動

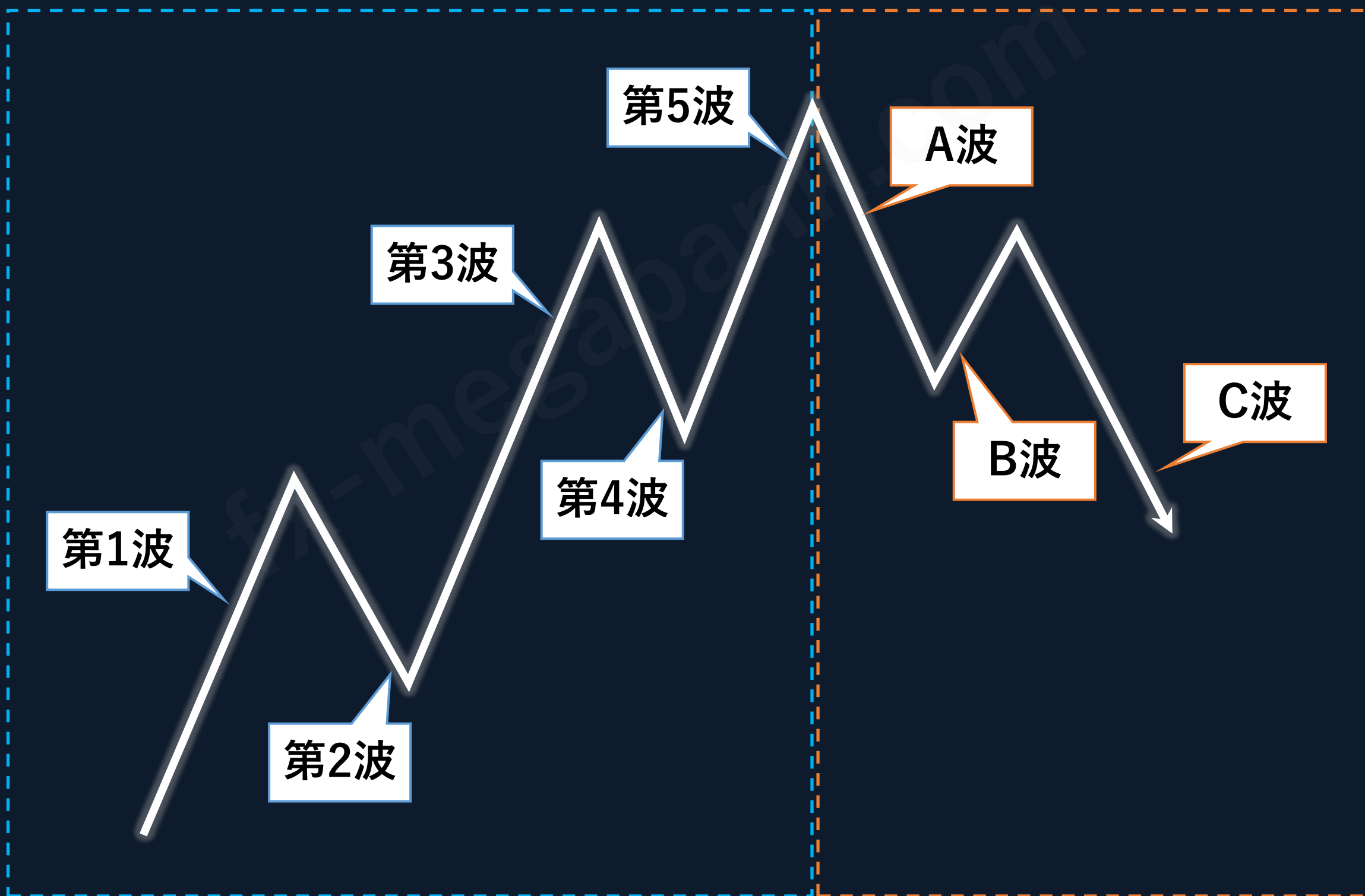
エリオット波動の基本構造

上昇5波

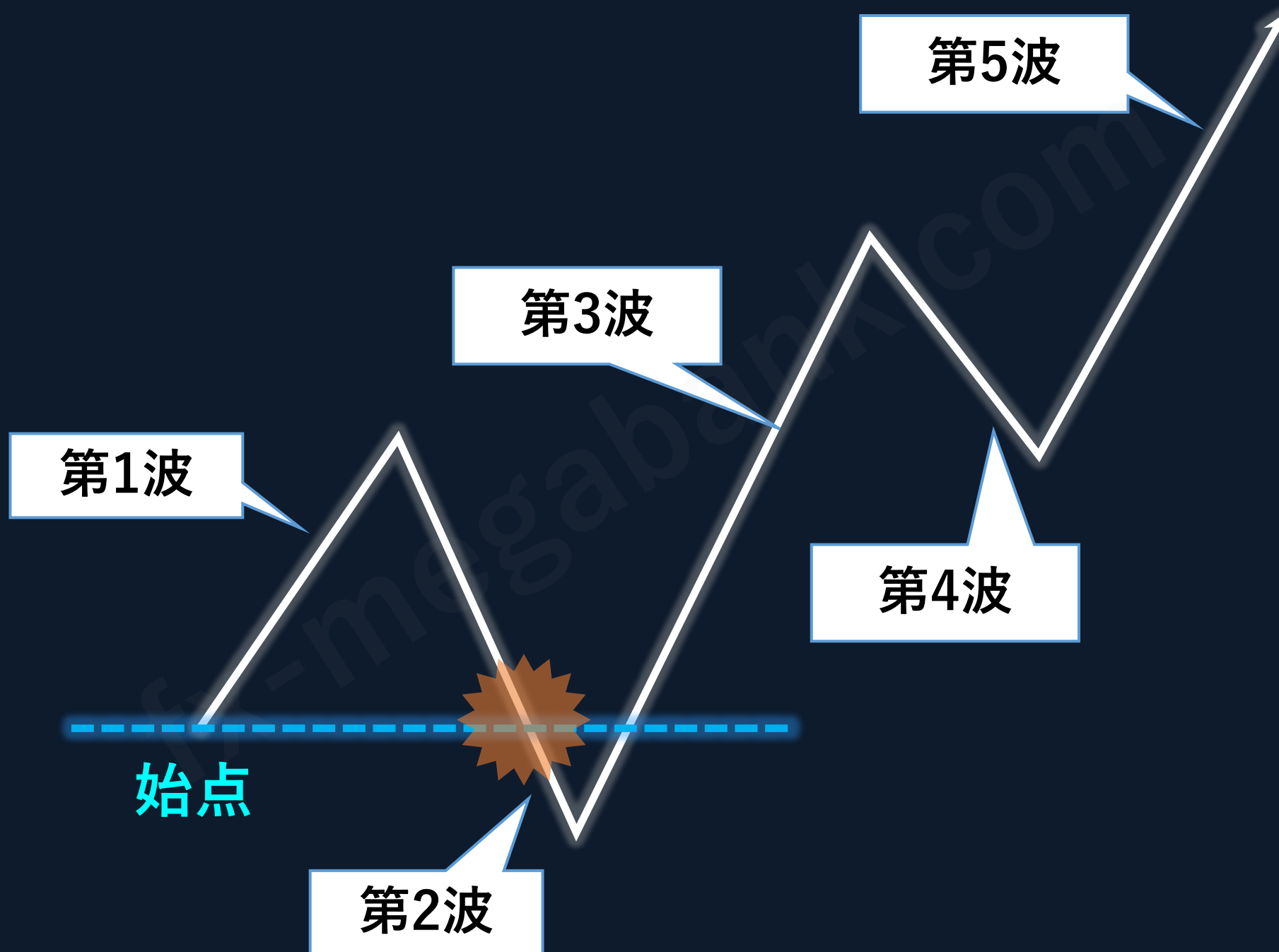
(上昇→下降→上昇→下降→上昇)

下降3波

(下降→上昇→下降)

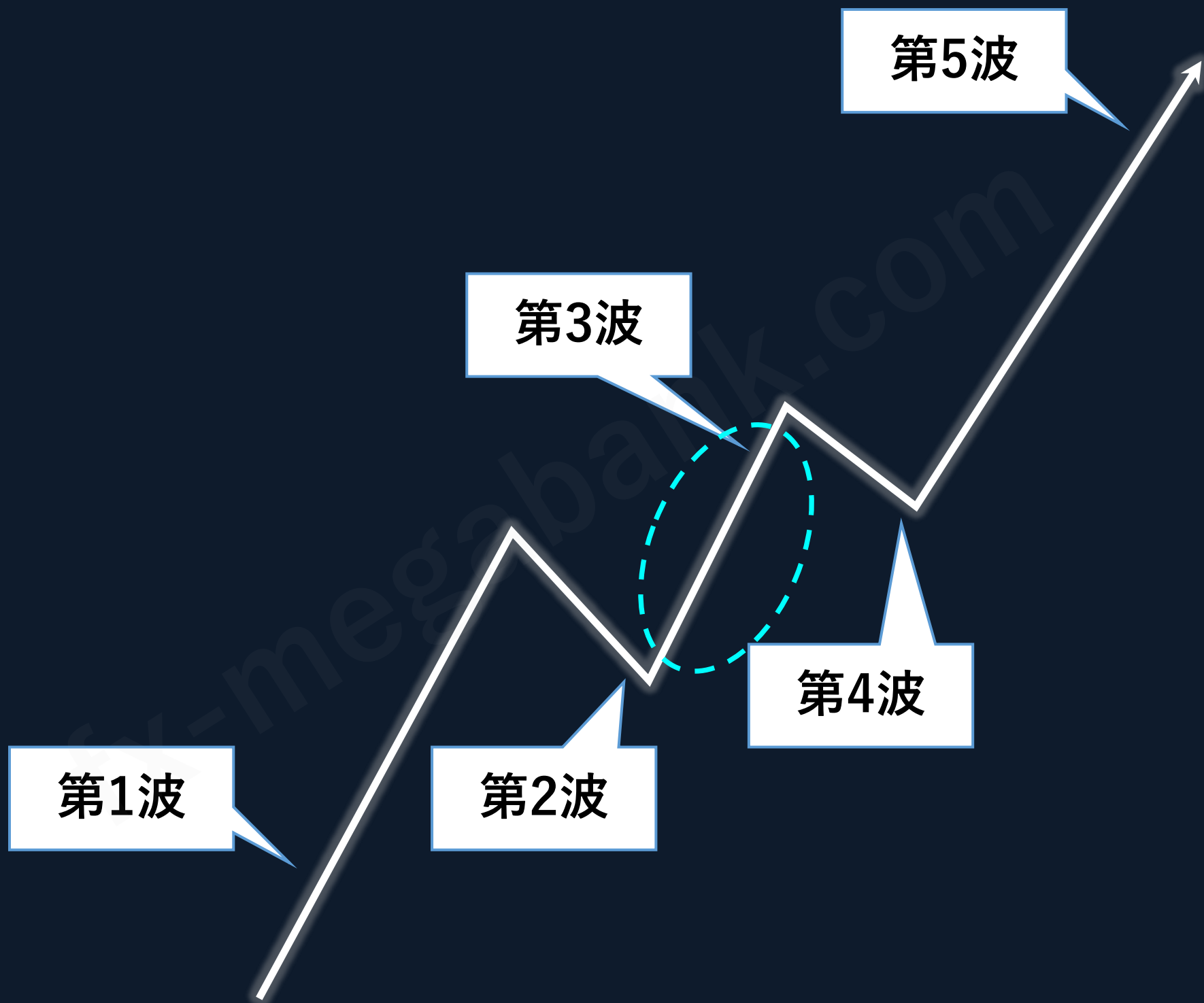


エリオット波動の3原則 その①



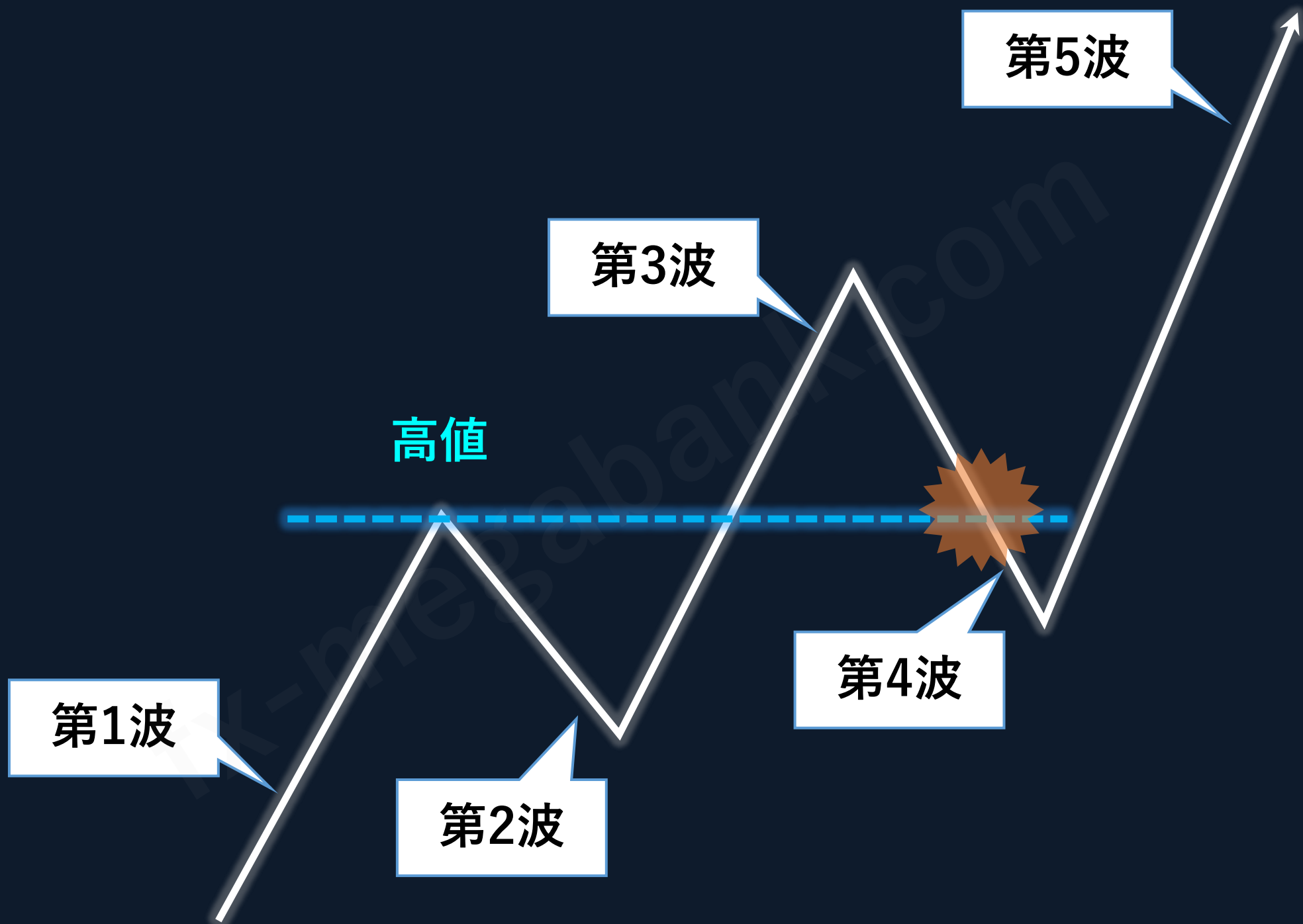
第2波は第1波の安値（始点）を割らない

エリオット波動の3原則 その②



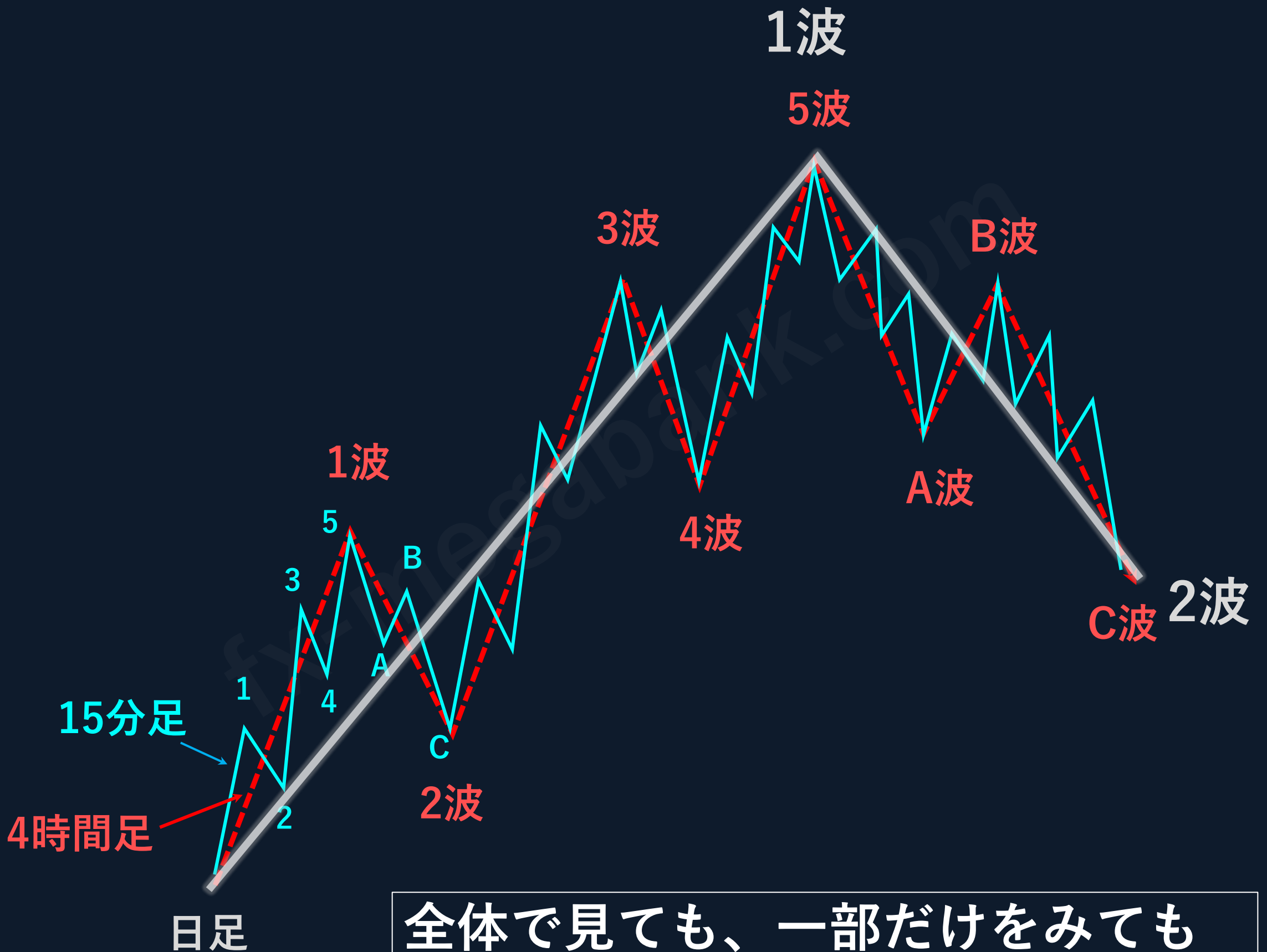
第1、3、5波の中で3波が一番小さくならない

エリオット波動の3原則 その③



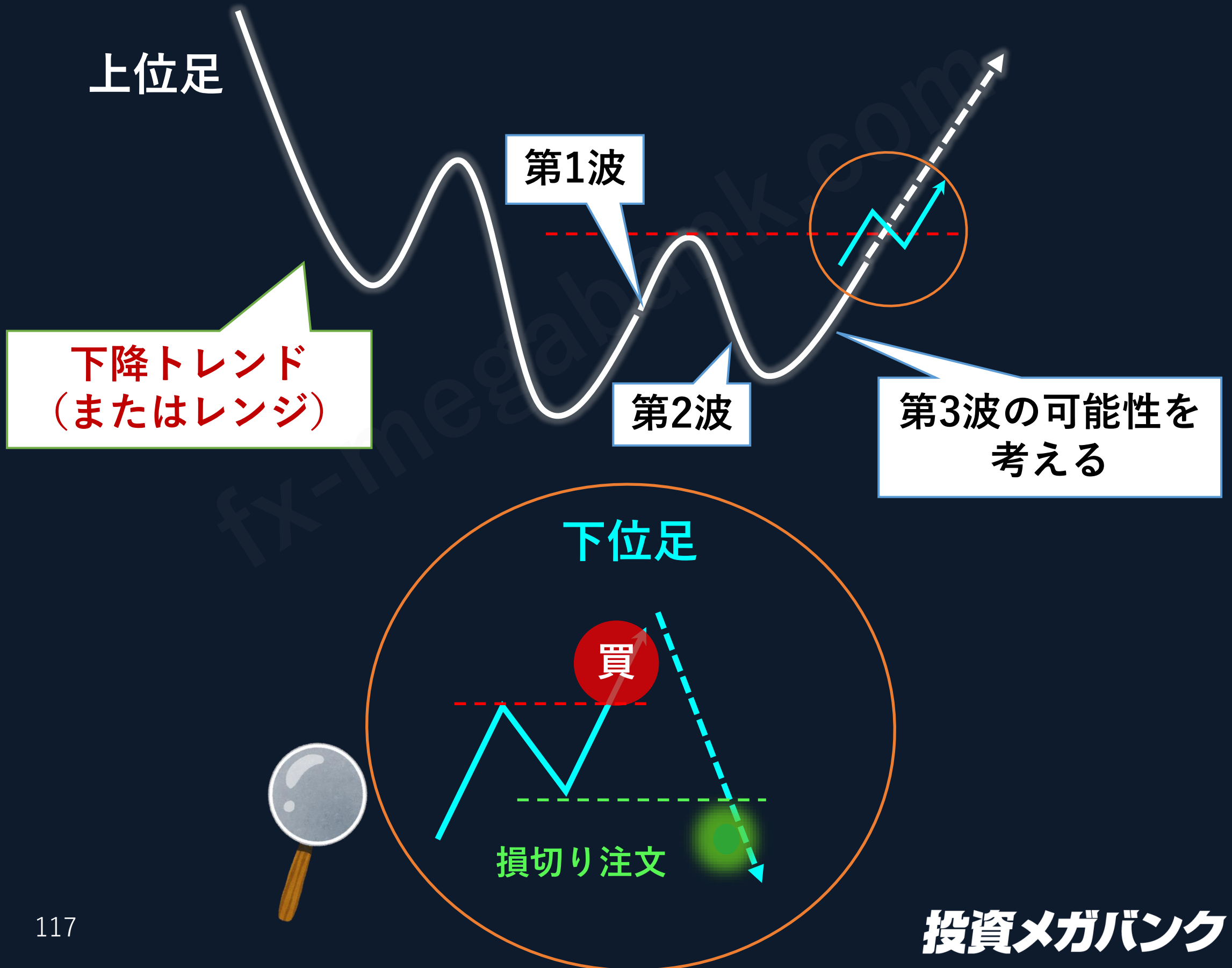
第4波の安値は第1波の高値を割らない

エリオット波動のフラクタル構造

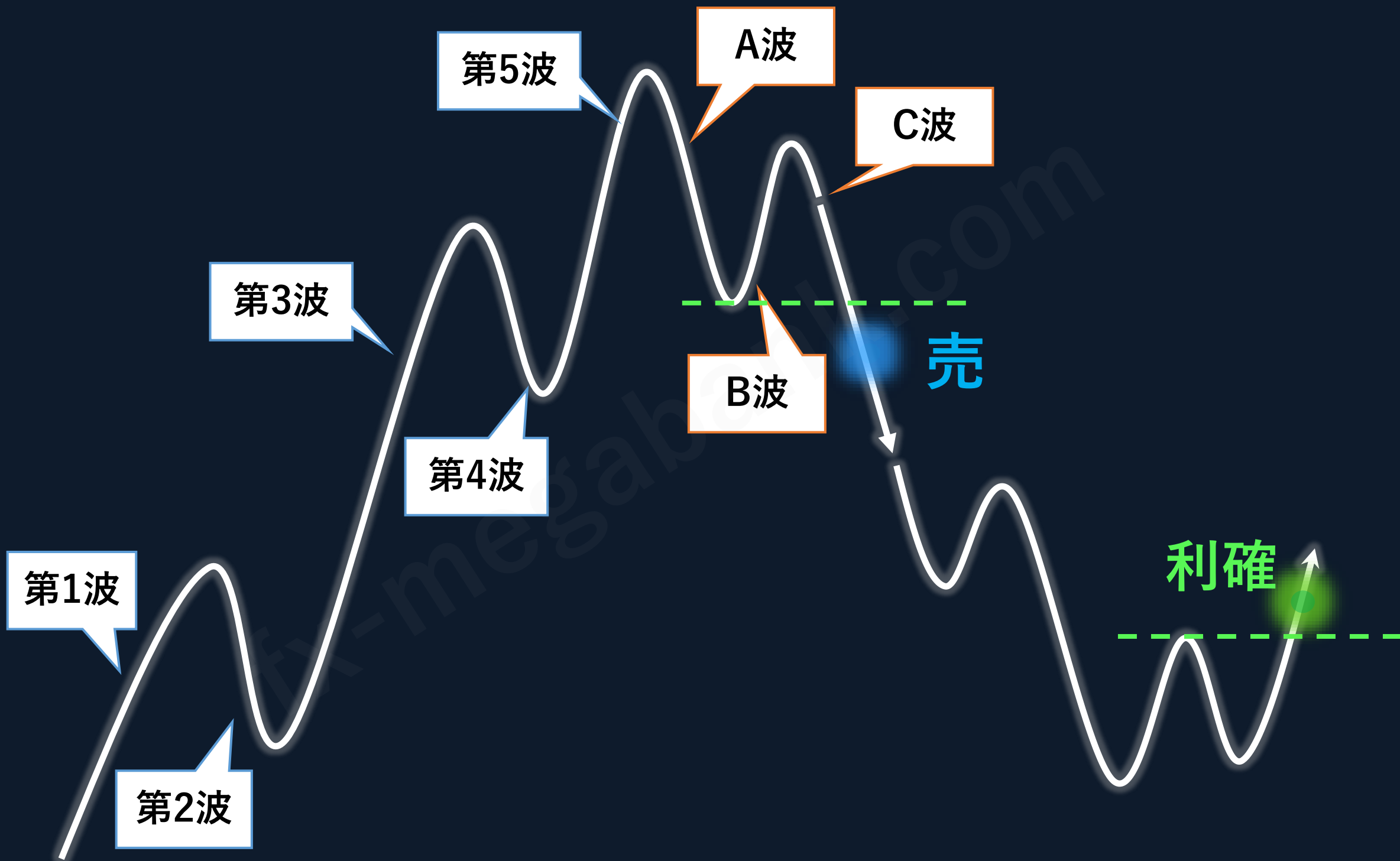


全体で見ても、一部だけを見ても
同じように分析できる

マルチタイム・エリオット波動分析をしたエントリーポイント



C波を狙ったエントリーポイント



- ・ ダウで下降が確定してから売りエントリー
- ・ ダウで上昇に転換したら買いで決済

第9章

よくやる失敗

初心者がよくやる誤り その①

利益が乗ったらすぐ利食いし、
本来取れていた利益を失う



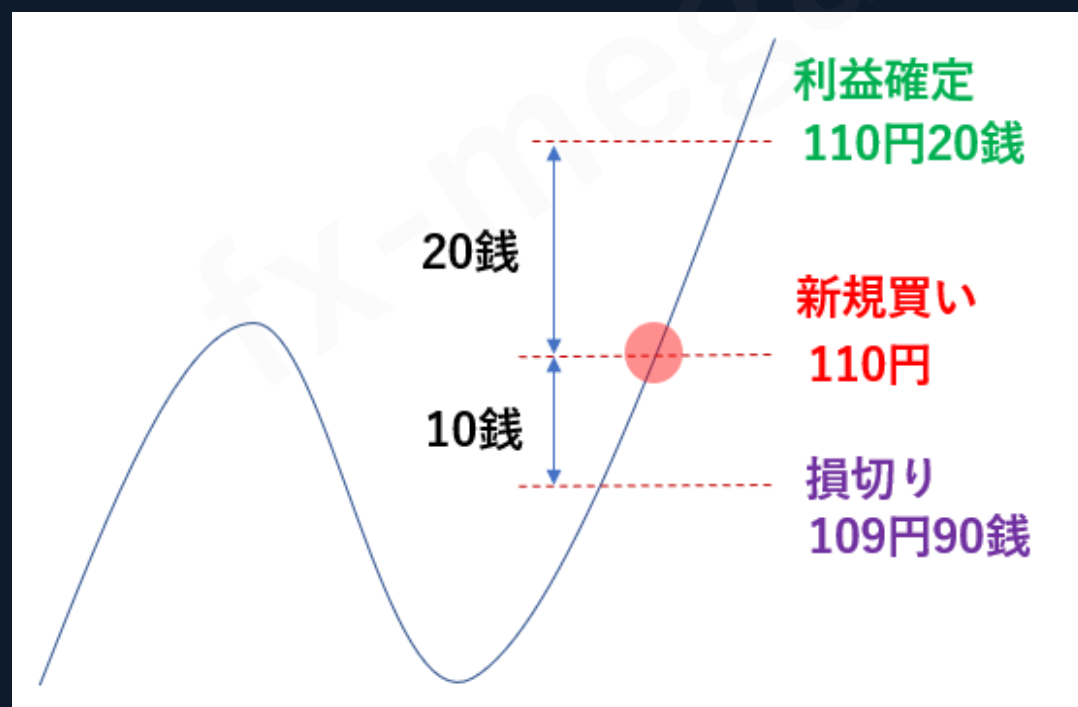
チキン利食いの防止策

●ステップ1：なぜ早く利食してしまうか理解する

⇒人間の本能「プロスペクト理論」が要因

●ステップ2：リスクリワードを事前に定める

リスクリワードとは、1回の取引における
「利益：損失」の比率



常に「利益幅 > 損失幅」
になるよう設定

●ステップ3：絶対にリスクリワードを守る

初心者がよくやる誤り その②

ポジションをすぐ持つ



チャートを見た瞬間に、全てがチャンスのように見える。
常に取引をしていないと落ち着かない。

→ポジポジ病の症状

トレードは、明確なトレードルールを定め、条件がそろった場面でのみエントリーが可能

もし、そのルールがない場合、まだFXをするのは早い

初心者がよくやる誤り その③

手がける投資銘柄が増えれば増えるほど、
逆に勝率が下がる

投資銘柄が増えると勝率が下がる理由

理由①：分析すべき情報量が増えて、精度が落ちる

例 ファンダメンタルズ分析
テクニカル分析 など

理由②：例FX) マイナー通貨ペアはスプレッドが広く取引に向かない

例 メジャー：USD/JPY 0.2pips、 EUR/USD 0.3pips
マイナー：CHF/JPY 1.7pips、 GBP/CHF 2.7pips
など

初心者がよくやる誤り その④

決済水準を事前に決めていない



レートが動いていると、判断に余計な迷いが生じる

初心者がよくやる誤り その⑤

ハイレバで取引する

高いレバレッジは、負けるリスクが上がる

ハイレバが負けやすい理由

① (心理面) 損益額が大きくなり、ルールを守れなくなる

例：1万円の損益 vs 100万円の損益

② (テクニカル面) 少しの動きで強制ロスカットになる

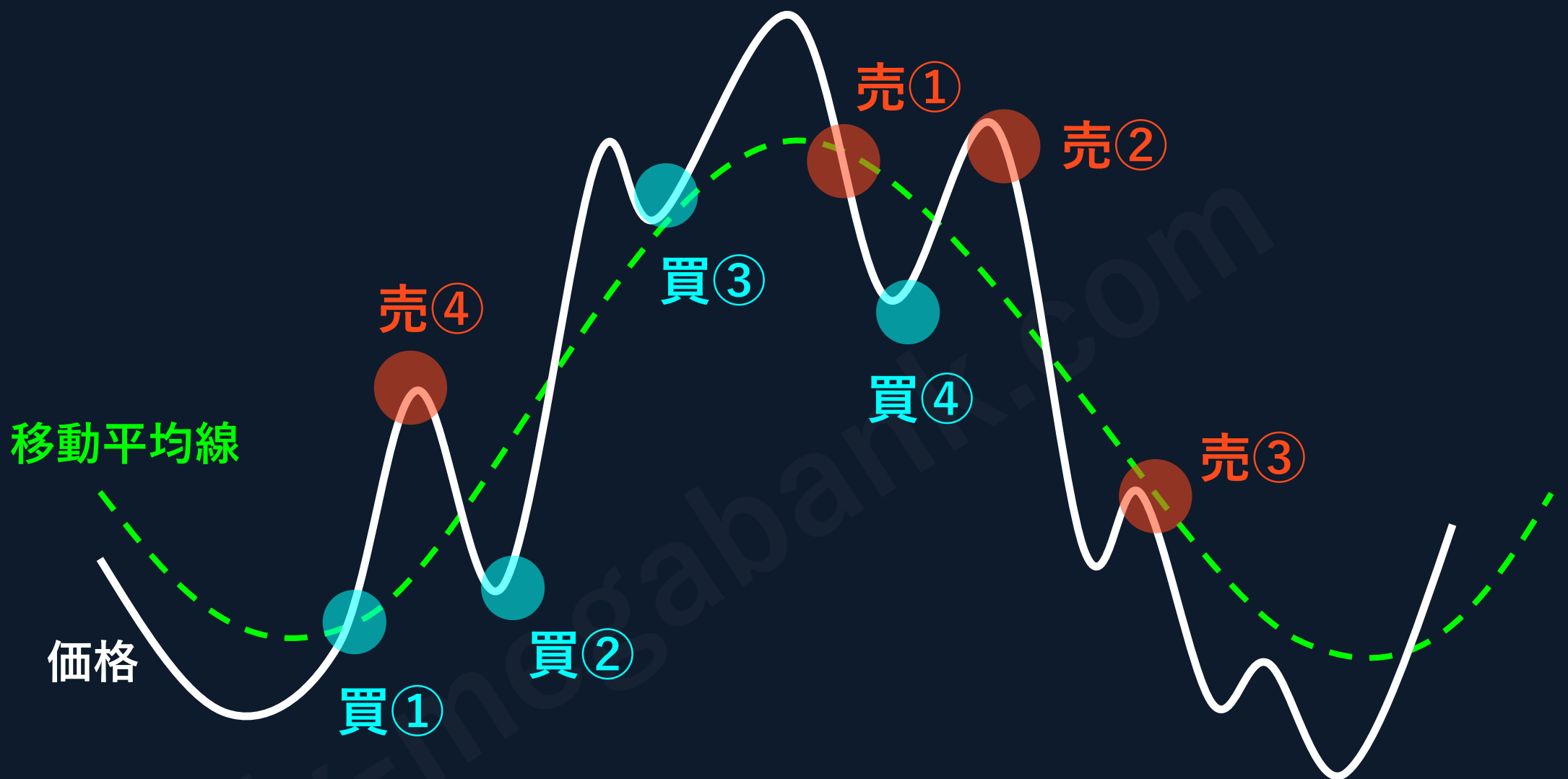
例：レバレッジ1倍では強制ロスカットはない

一方で、レバレッジが高ければ高いほど、強制ロスカット発動までの損切幅が狭くなる

第10章

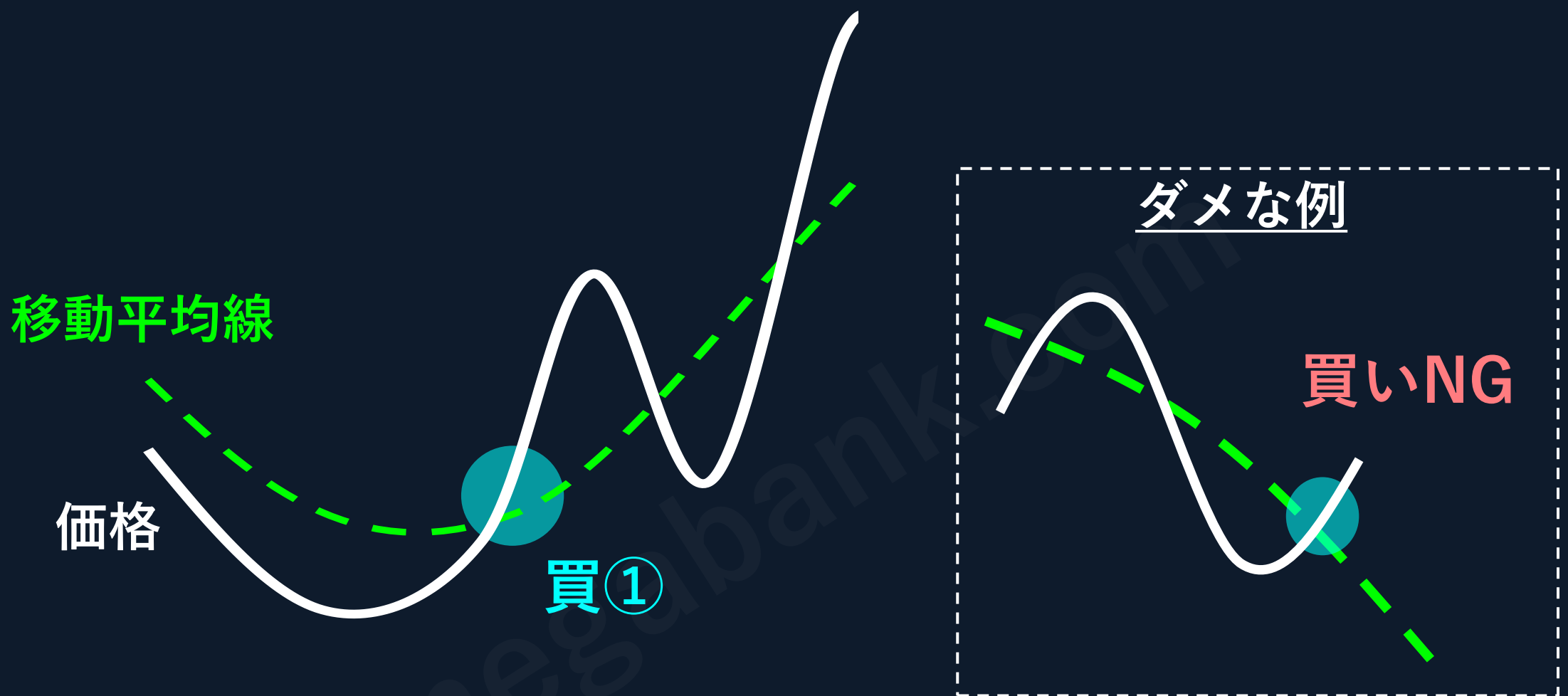
グラランビルの法則

移動平均線 グランビルの法則



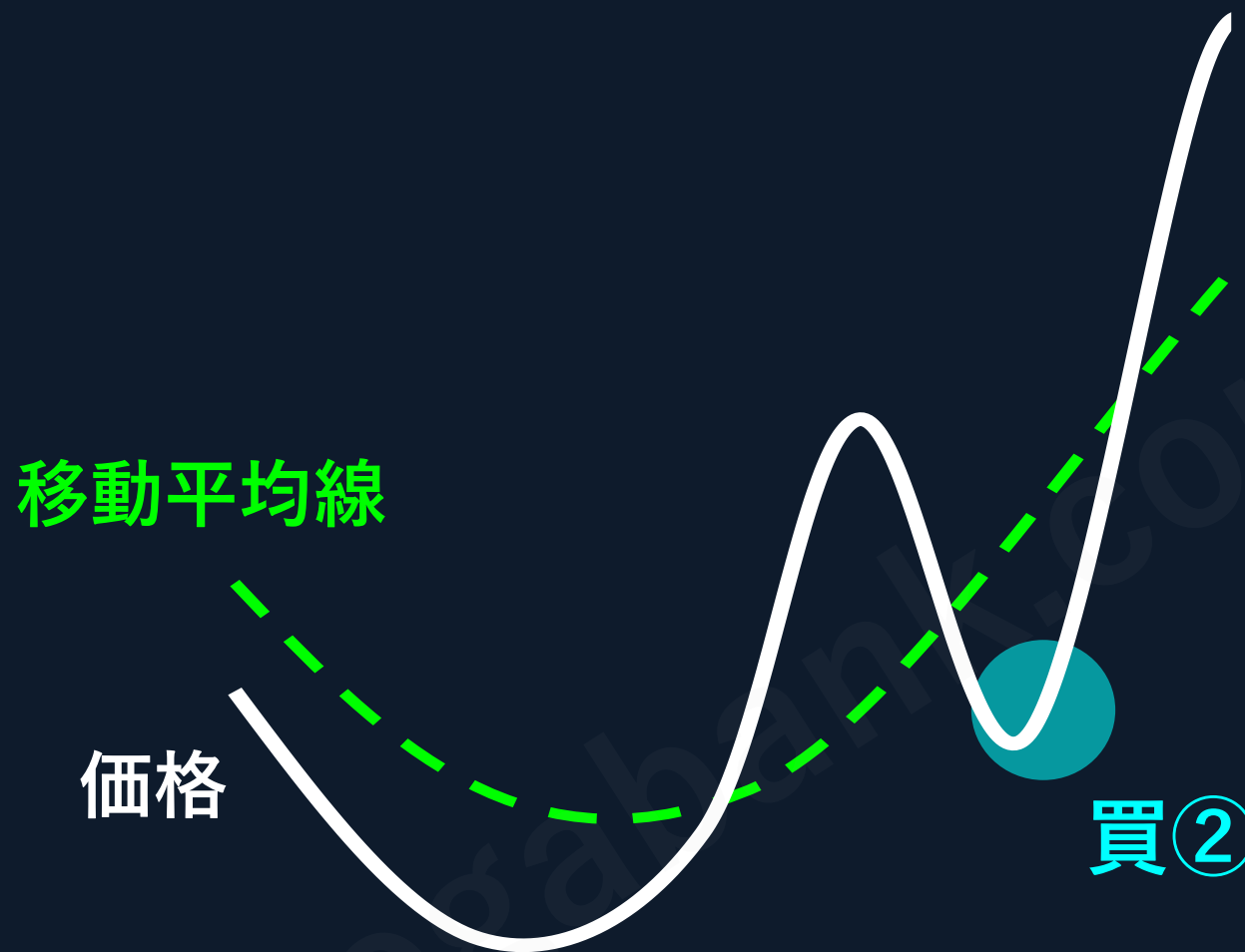
- 米国の投資家ジョセフ・グランビル氏が考案した移動平均線を使った投資手法
- 「移動平均線の向き」「価格との位置関係」に着目して6つの売買ポイントがある

グランビルの法則 買①



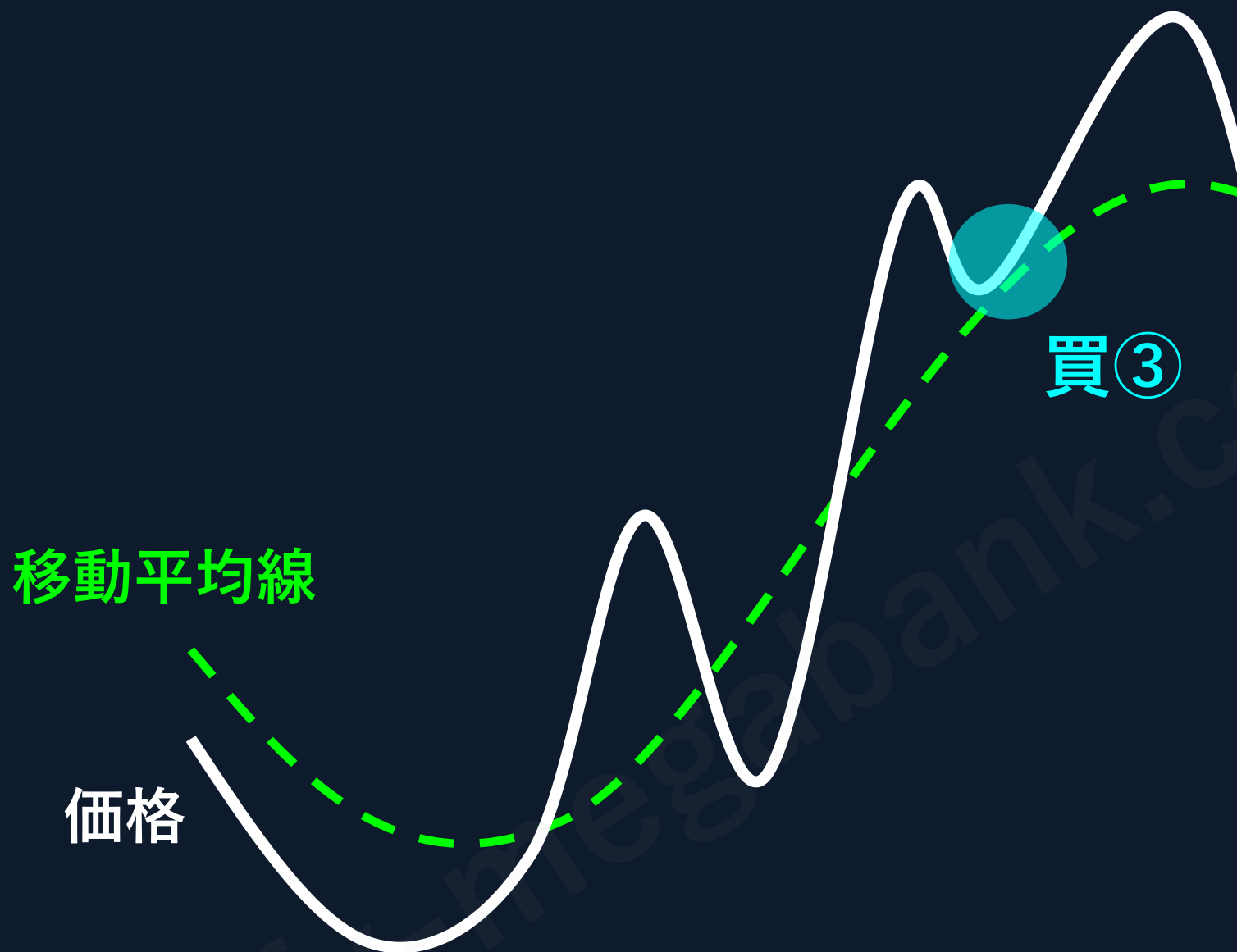
- ・ 下向きの移動平均線が、**横向きまたは上向き**に変化
- ・ 価格が移動平均線を**上に抜けた時に買い**
- ・ 移動平均線が**下向き**の時に、価格が上に抜けても**買いは不可**

グランビルの法則 買②



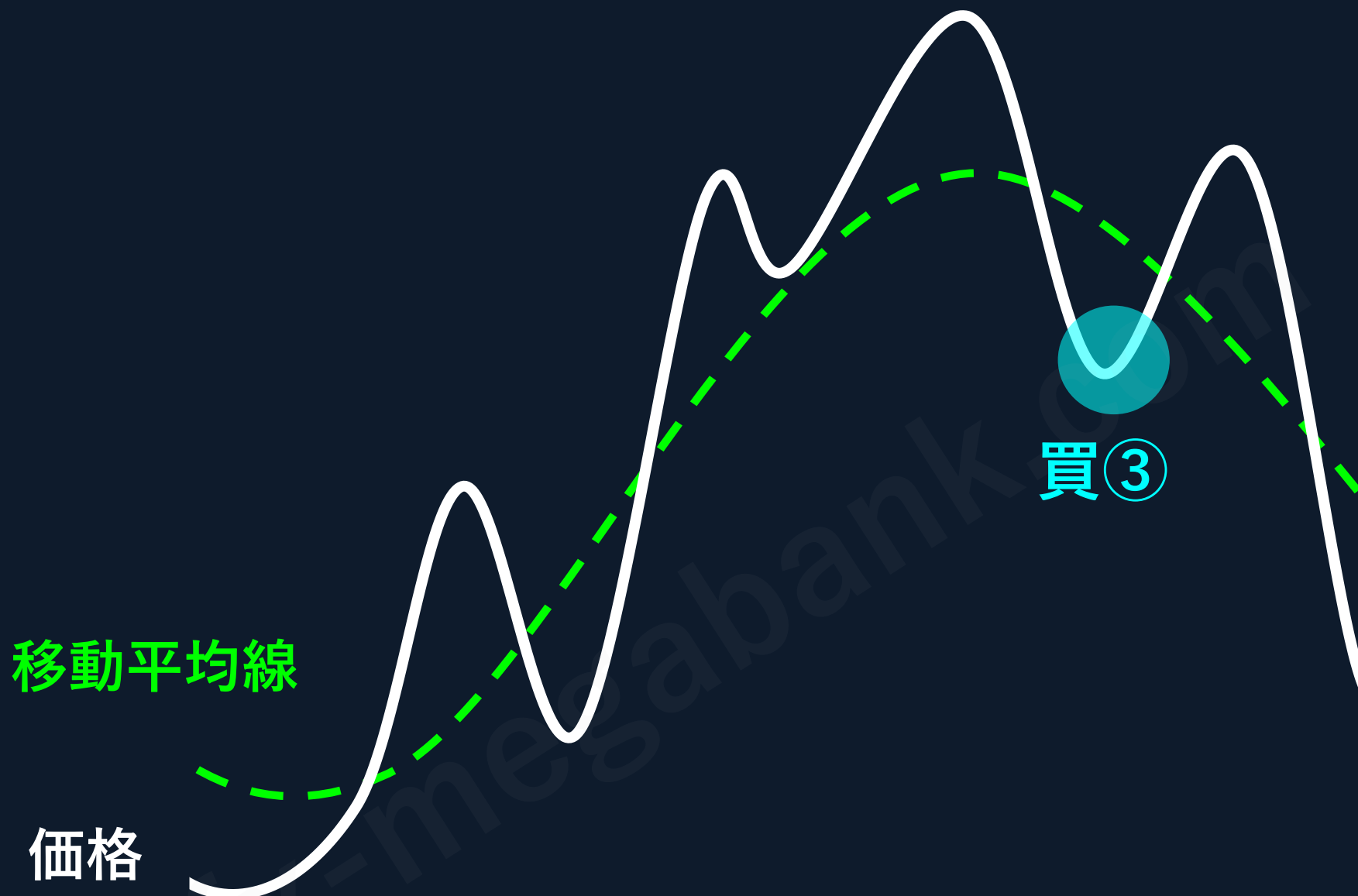
- ・ **上向き**の移動平均線を価格が下に乖離
- ・ 移動平均線への戻しの**反発**を狙った**買い**
- ・ 移動平均線の向きが上から**横向き**になっていたら**買いは不可**

グランビルの法則 買③



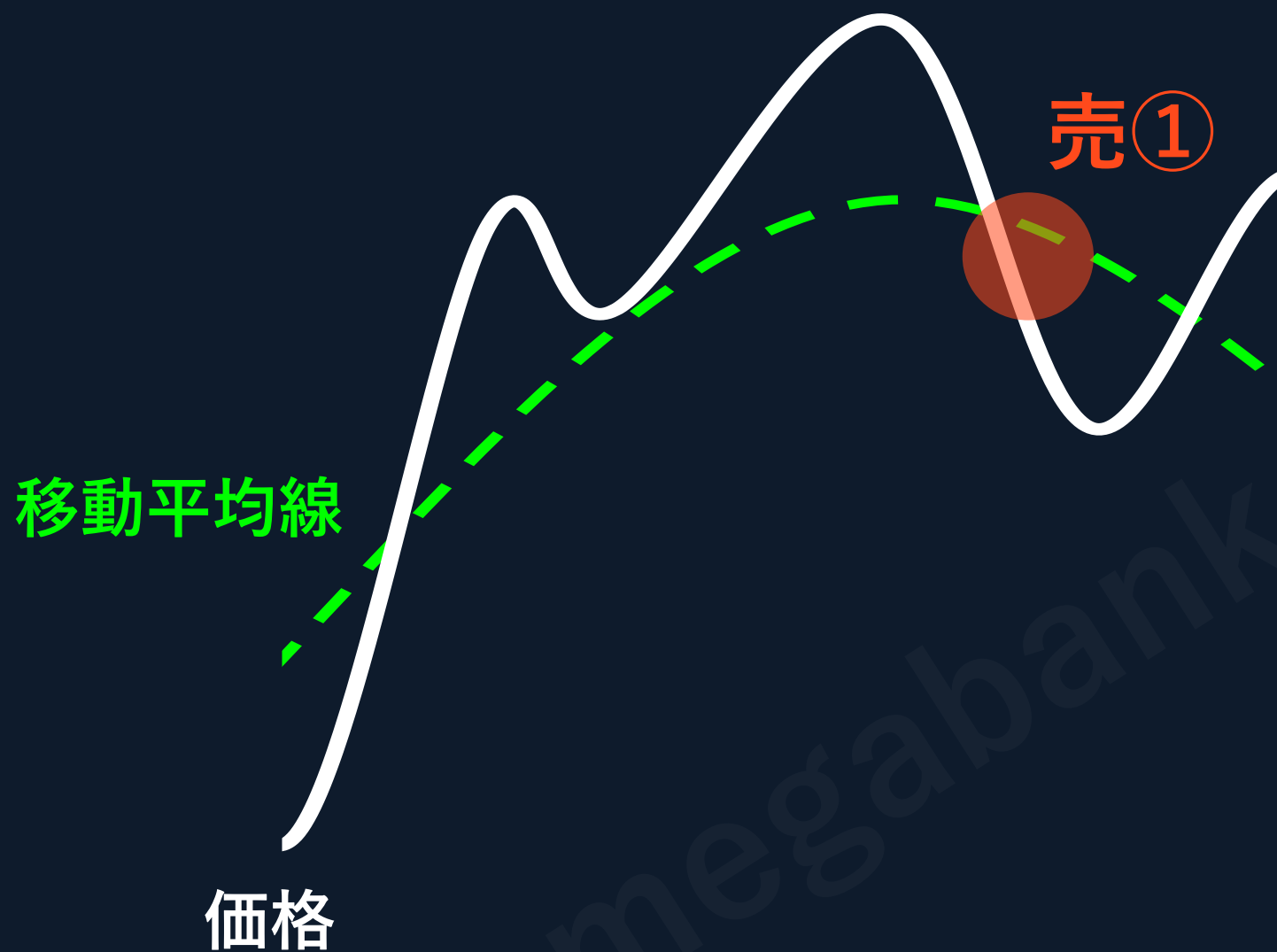
- ・ 上向きの移動平均線に価格が上から近づく
- ・ 移動平均線は抵抗帯・支持帯の役割を持つ
- ・ 価格が移動平均線に支えられて買いを狙う

グランビルの法則 買④



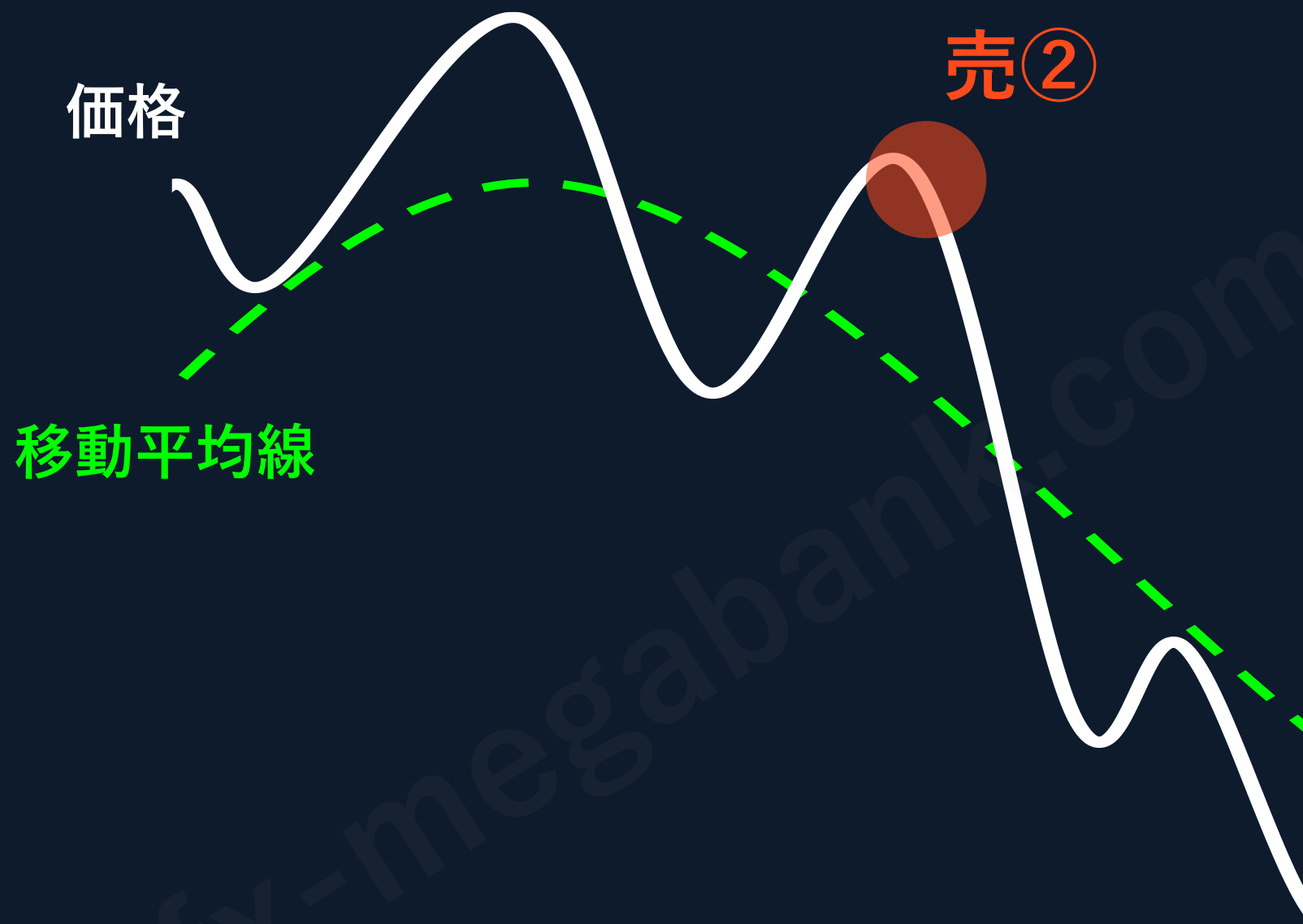
- 下向きの移動平均線を価格が下に乖離し、戻りを狙う手法
- 逆張りでリスクが高く、**おすすめしない**

グランビルの法則 売①



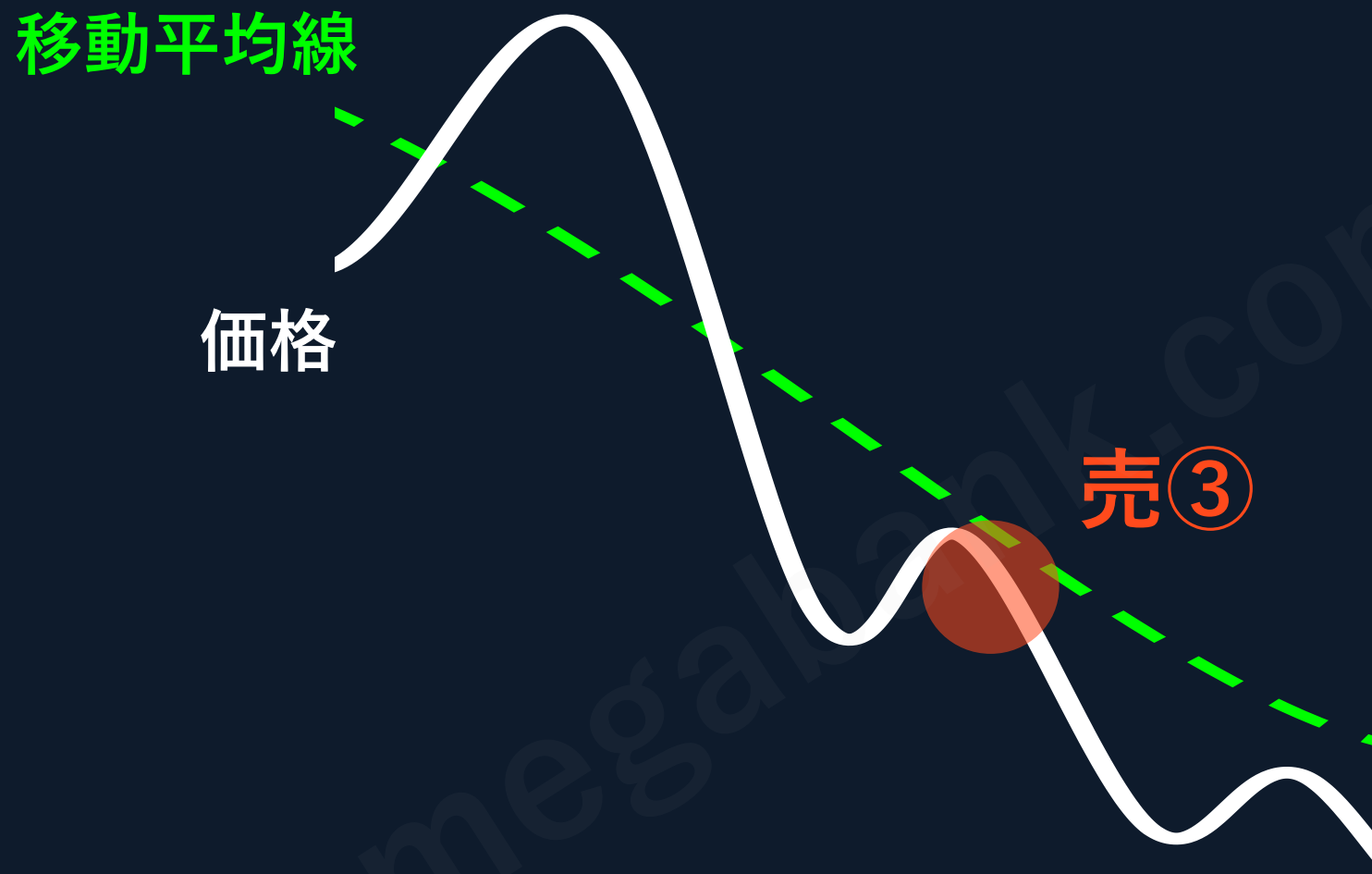
- ・ 上向きの移動平均線が、**横向きまたは下向き**に変化
- ・ 価格が移動平均線を**下に抜けた時に売り**
- ・ 移動平均線が**上向き**で、価格が下に抜けても**売り不可**

グランビルの法則 売②



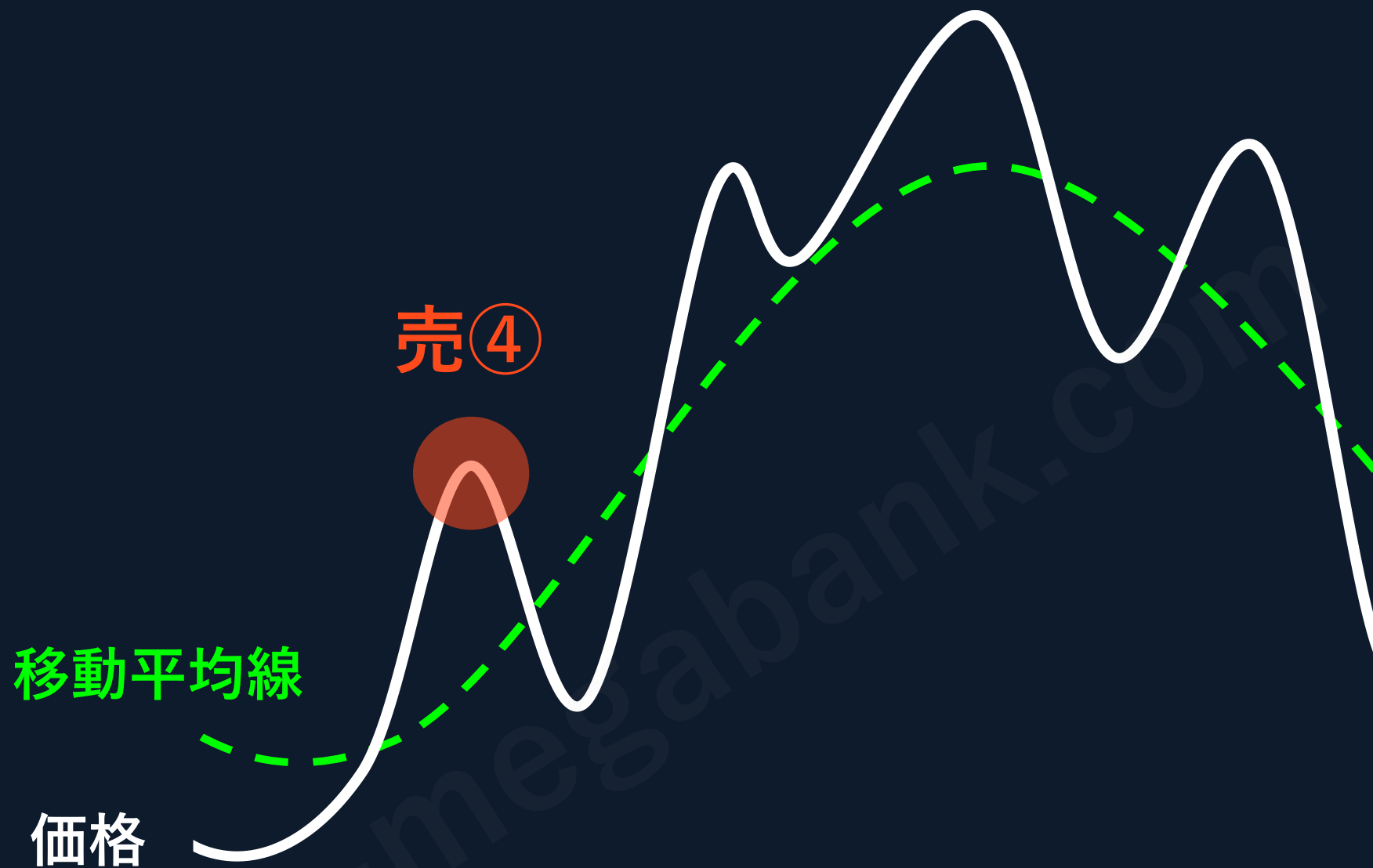
- ・ **下向き**の移動平均線を価格が上に乖離
- ・ 移動平均線への戻りの**反落**を狙った**売り**
- ・ 移動平均線の向きが下から**横**になっていたら**売りは不可**

グランビルの法則 売③



- 下向きの移動平均線に価格が下から近づく
- 移動平均線は抵抗帯・支持帯の役割を持つ
- 価格が移動平均線に抑えられて売りを入れる

グランビルの法則 売④

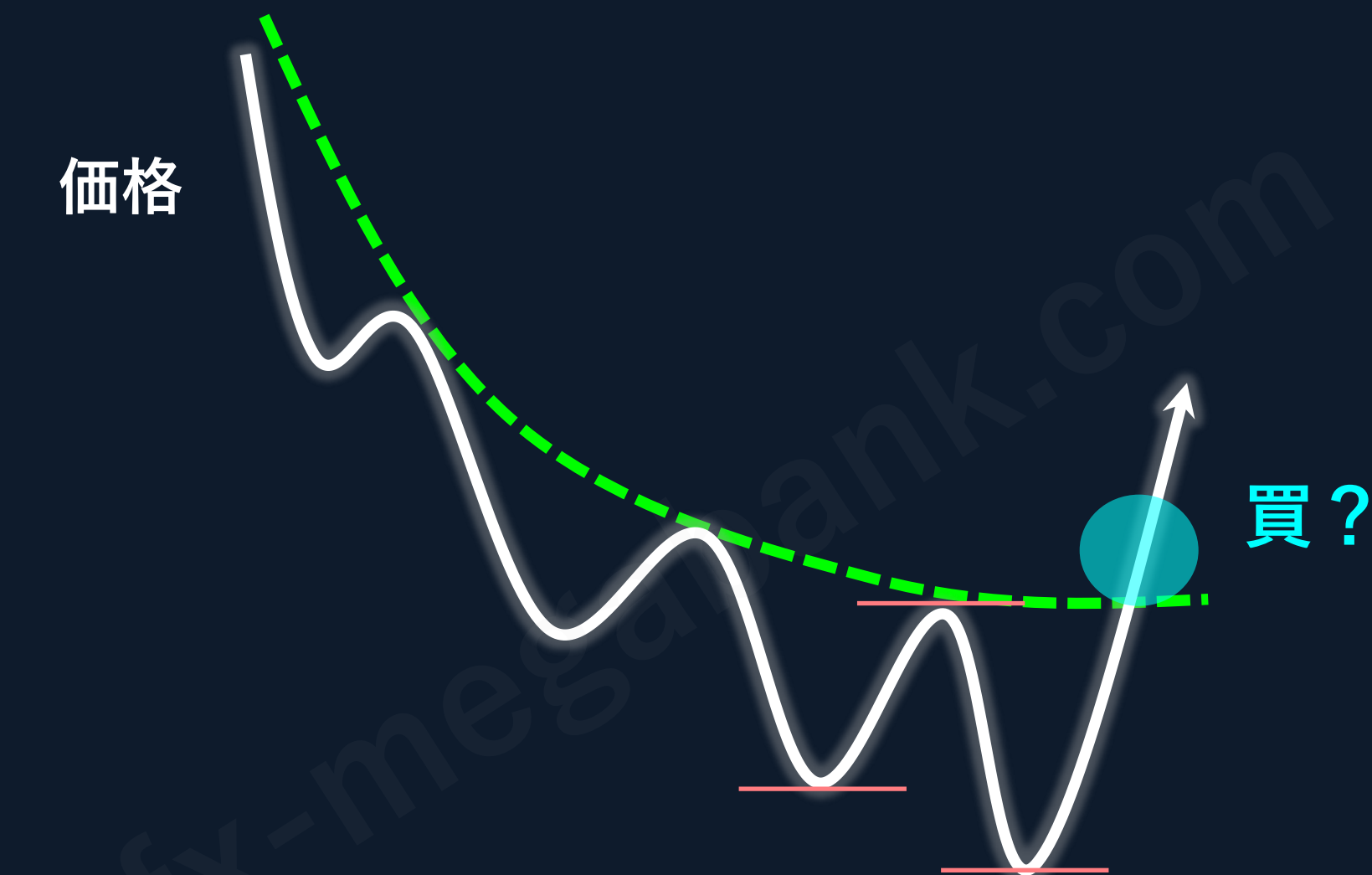


- ・ 上向きの移動平均線を価格が上に乖離し、戻りを狙う手法
- ・ 逆張りでリスクが高く、**おすすめしない**

グランビルの法則 + ダウ理論

移動平均線

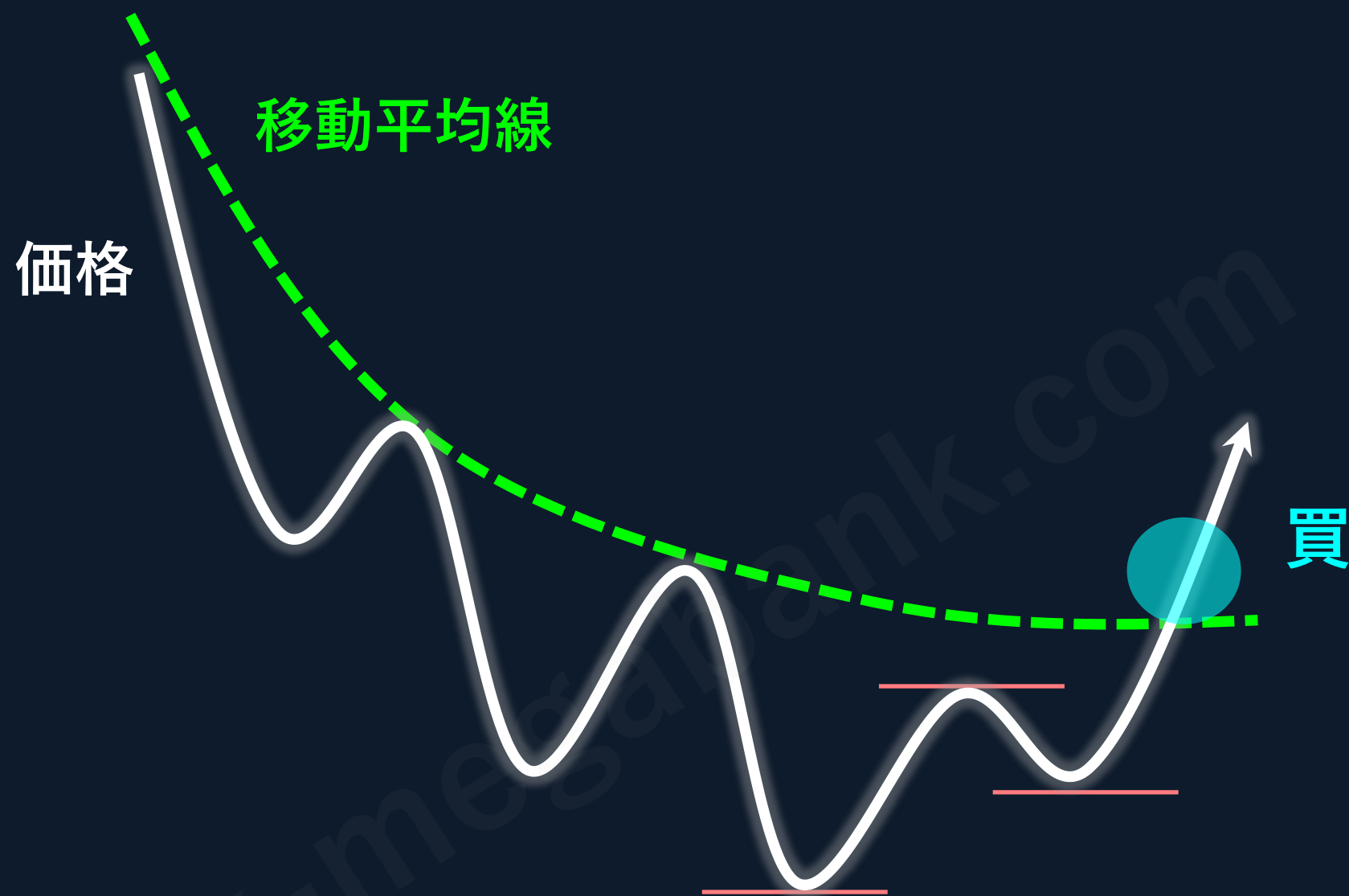
価格



・ 高値は切り上げるも、安値は切り下がっており、ダウ理論から**上昇トレンド**でない

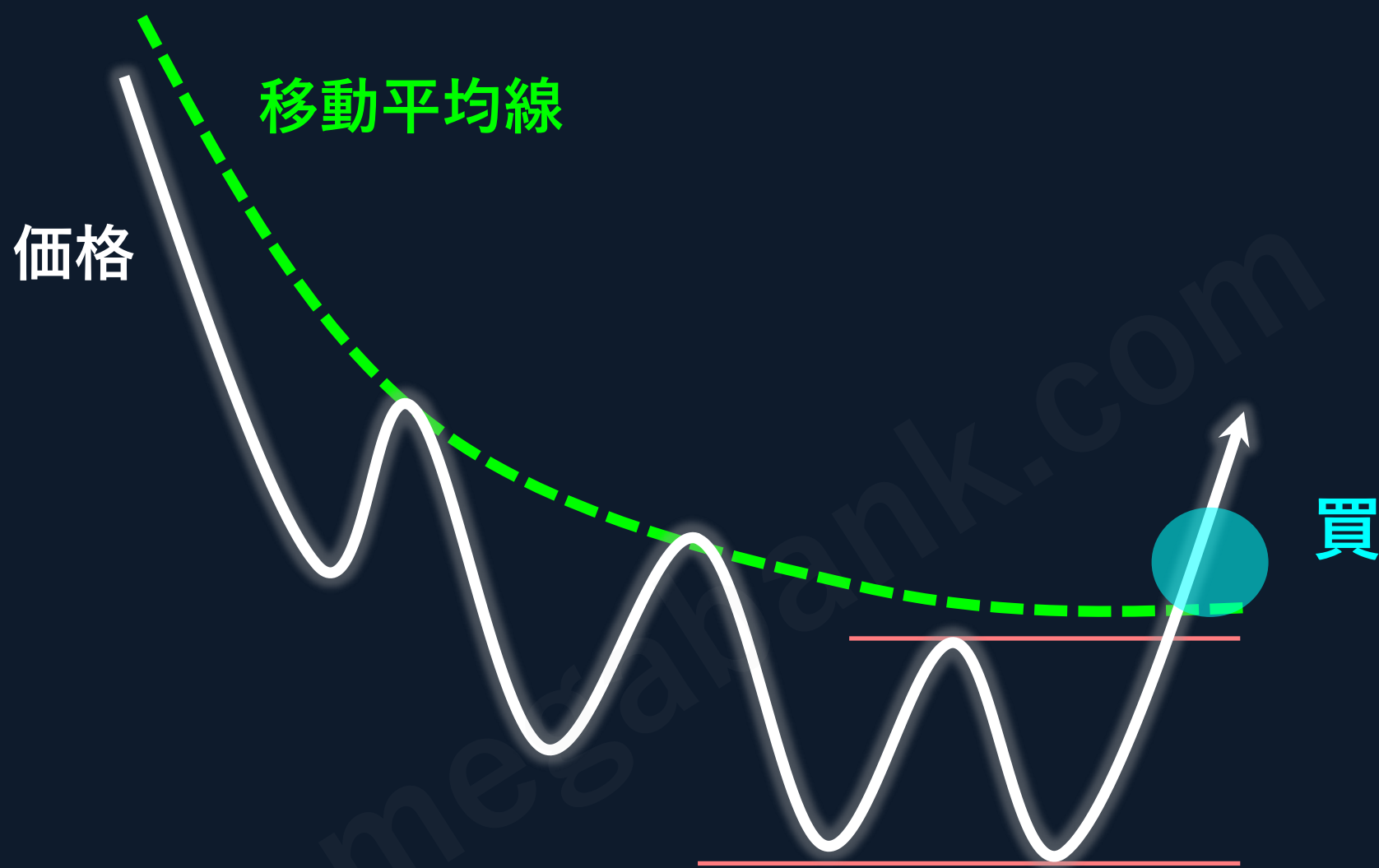
・ この場面ではグランビルの法則の**買い**はまだ早い

グランビルの法則 + ダウ理論



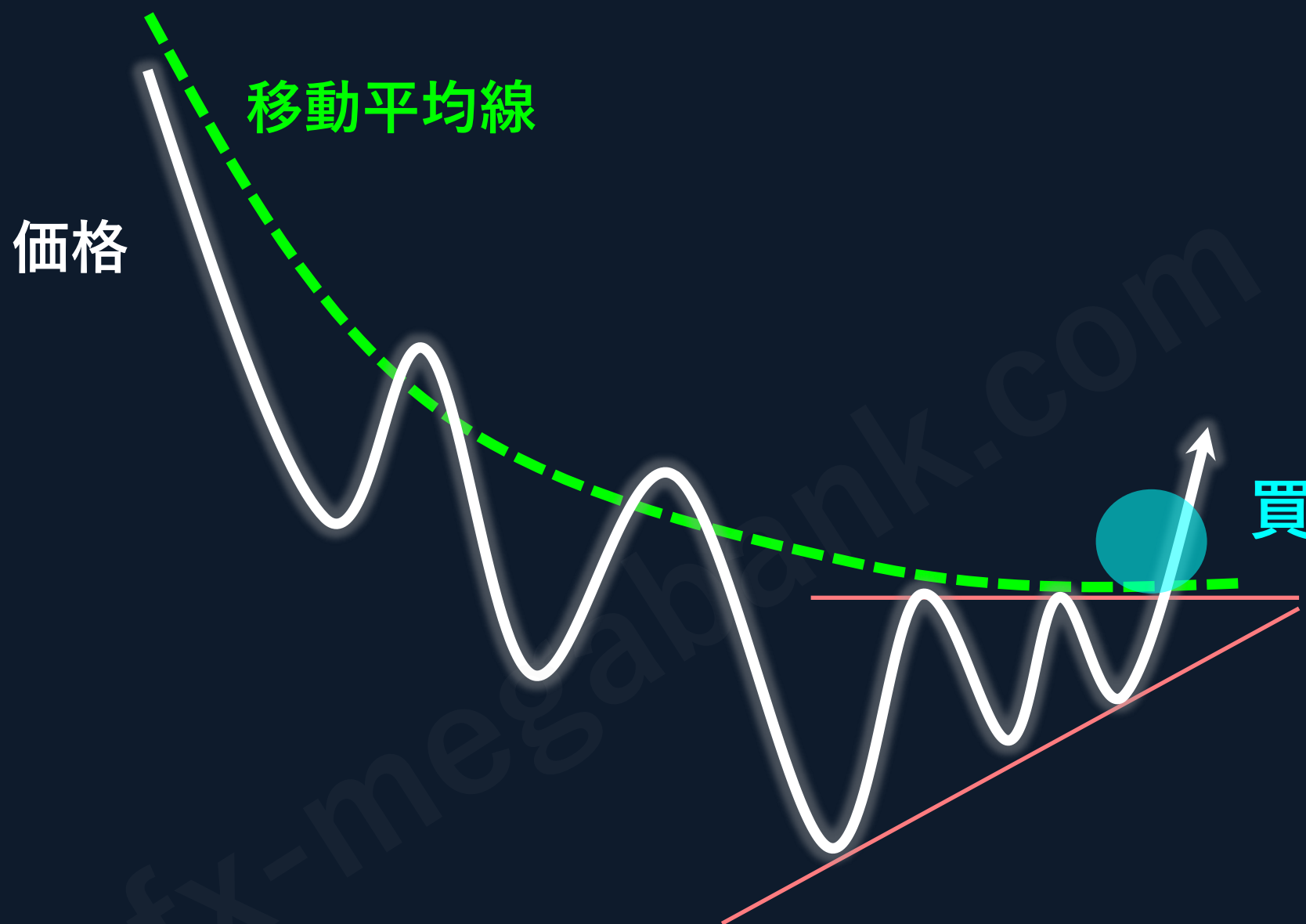
- ・ 高値と安値がそれぞれ切り上がっており、
ダウ理論から**上昇トレンドが完成**
- ・ グランビルの法則と合わせて**買いを狙える**

グランビルの法則 + 反転パターン



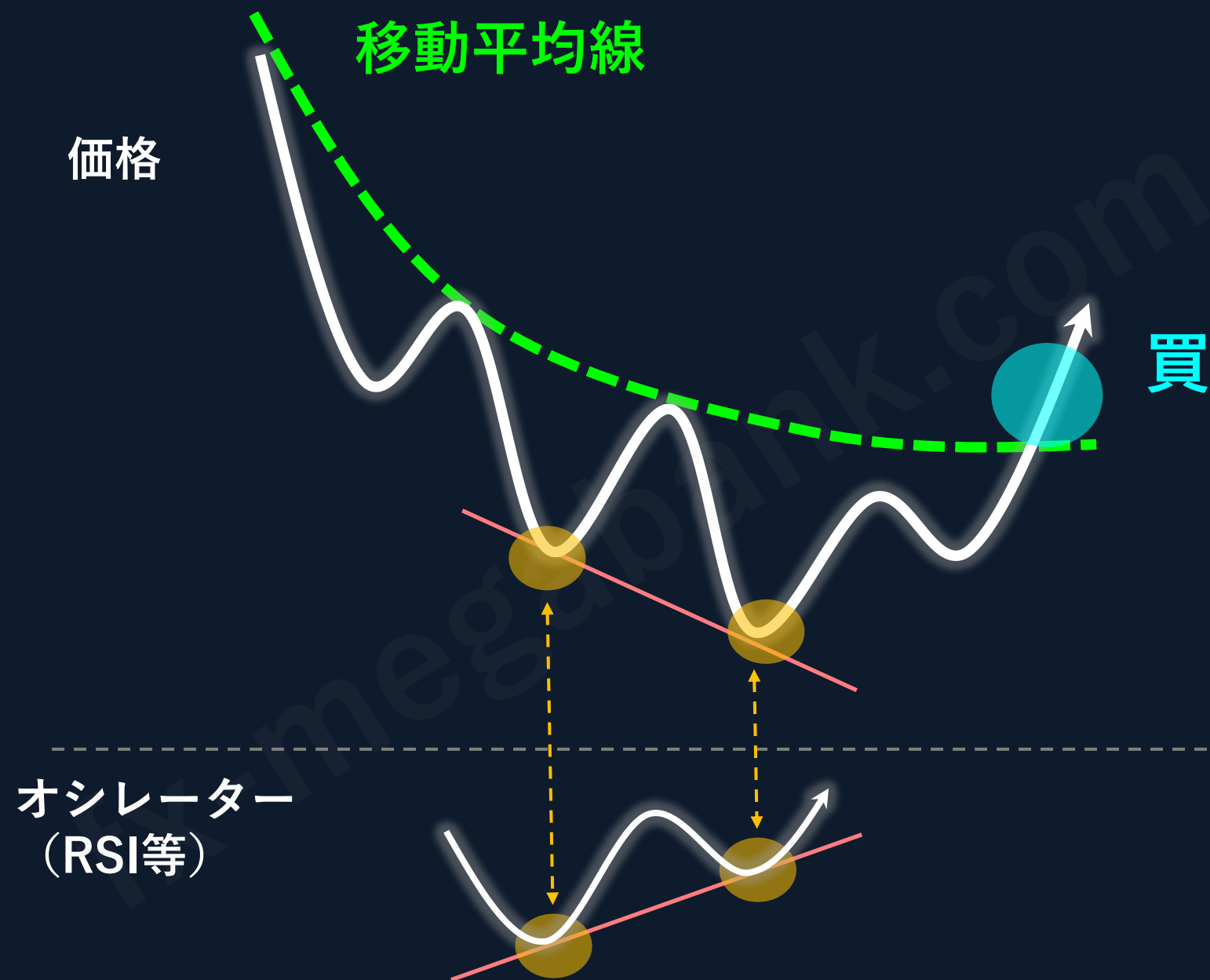
- ・ 下降から上昇への転換を示唆する「ダブルボトム」が完成
- ・ グランビルの法則と合わせて買いを狙える

グランビルの法則 + 三角持ち合い



- ・ 安値を切り上げ、**上昇三角持ち合いが発生**
- ・ グランビルの法則と2つの根拠を組み合わせで、**勝率の高い買いエントリーが可能**

グランビルの法則 + ダイバージェンス



- ・ 上昇転換を示唆するダイバージェンスが発生
- ・ その後、グランビルの法則で買いエントリー

グランビルの法則を使ったトレード

(USD/JPY 1時間足)



- ・ 移動平均線での**反転**を狙って**買い**エントリー
- ・ **上向き**でレートの下抜けは、**売不可**

グランビルの法則を使ったトレード

ダウ理論で
上昇未完成



Bad!



Good!

- 期間21
- 期間50

(EUR/USD 1時間足)

ダウ理論で上昇完成

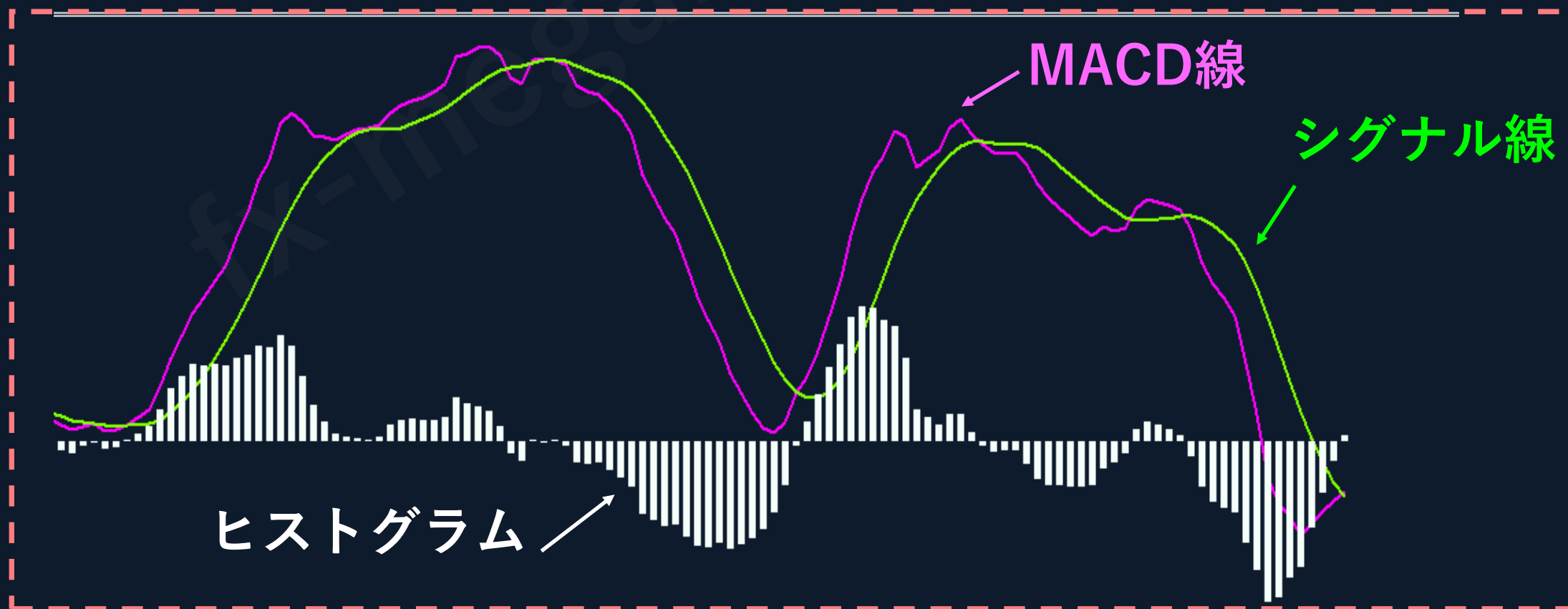
第11章

MACD

MACD (マックディー) とは？

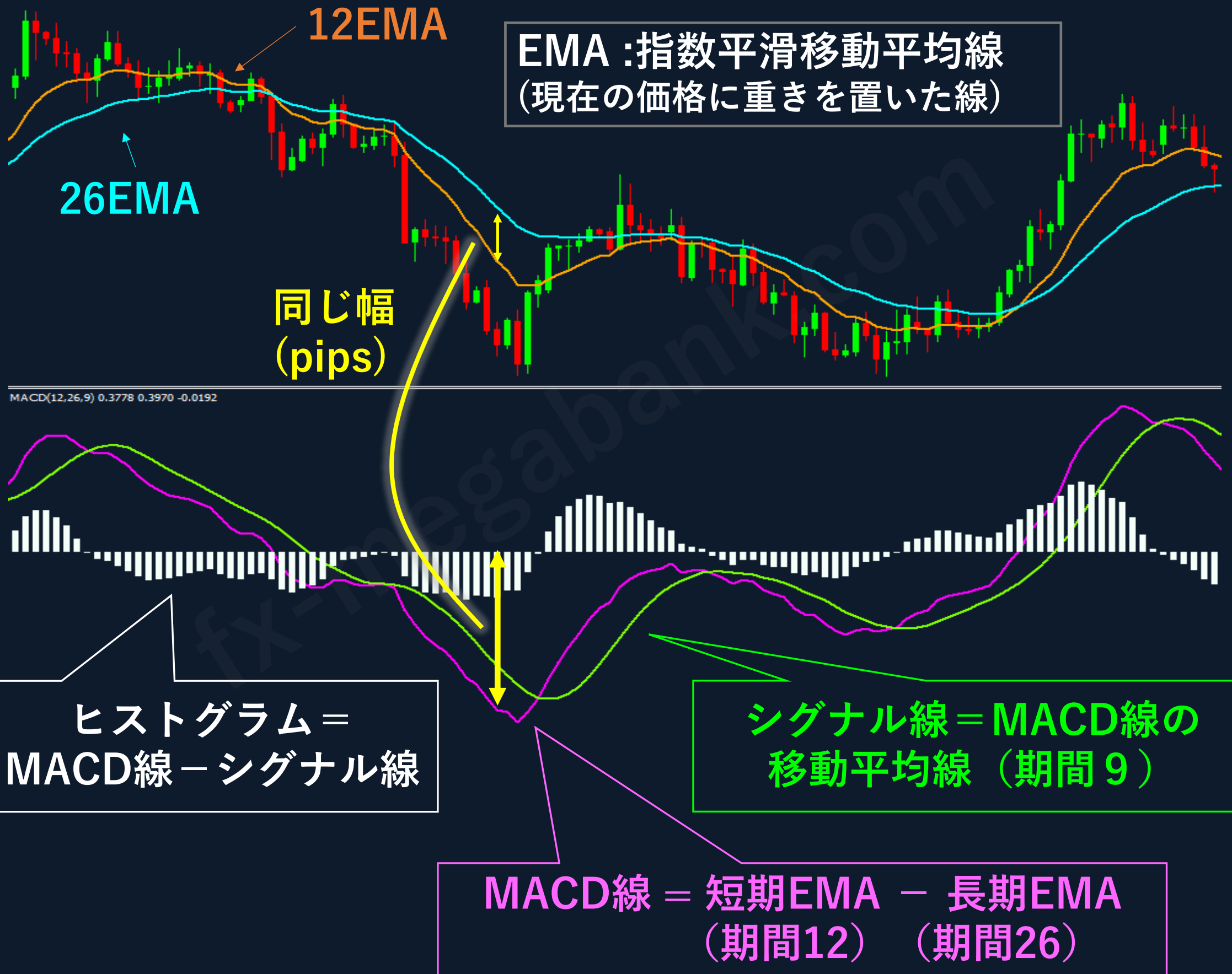


- ・ 日本語で「移動平均収束発散法」
- ・ 移動平均線を発展させたオシレーター系



MACDは3要素から成る

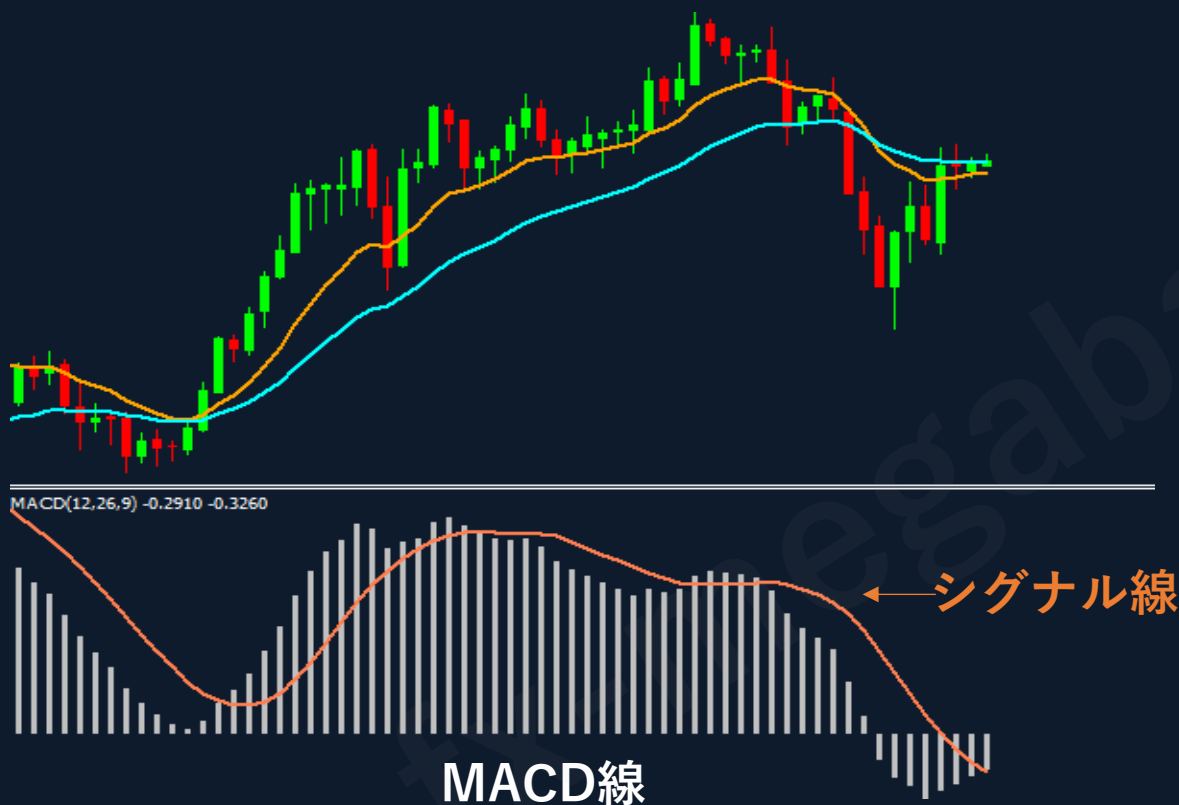
MACDの仕組み



MT4チャートのMACDに関して

MT4に標準搭載のMACD

- ・ MACD線が棒グラフ
- ・ ヒストグラムが無い



一般的なチャートのMACD

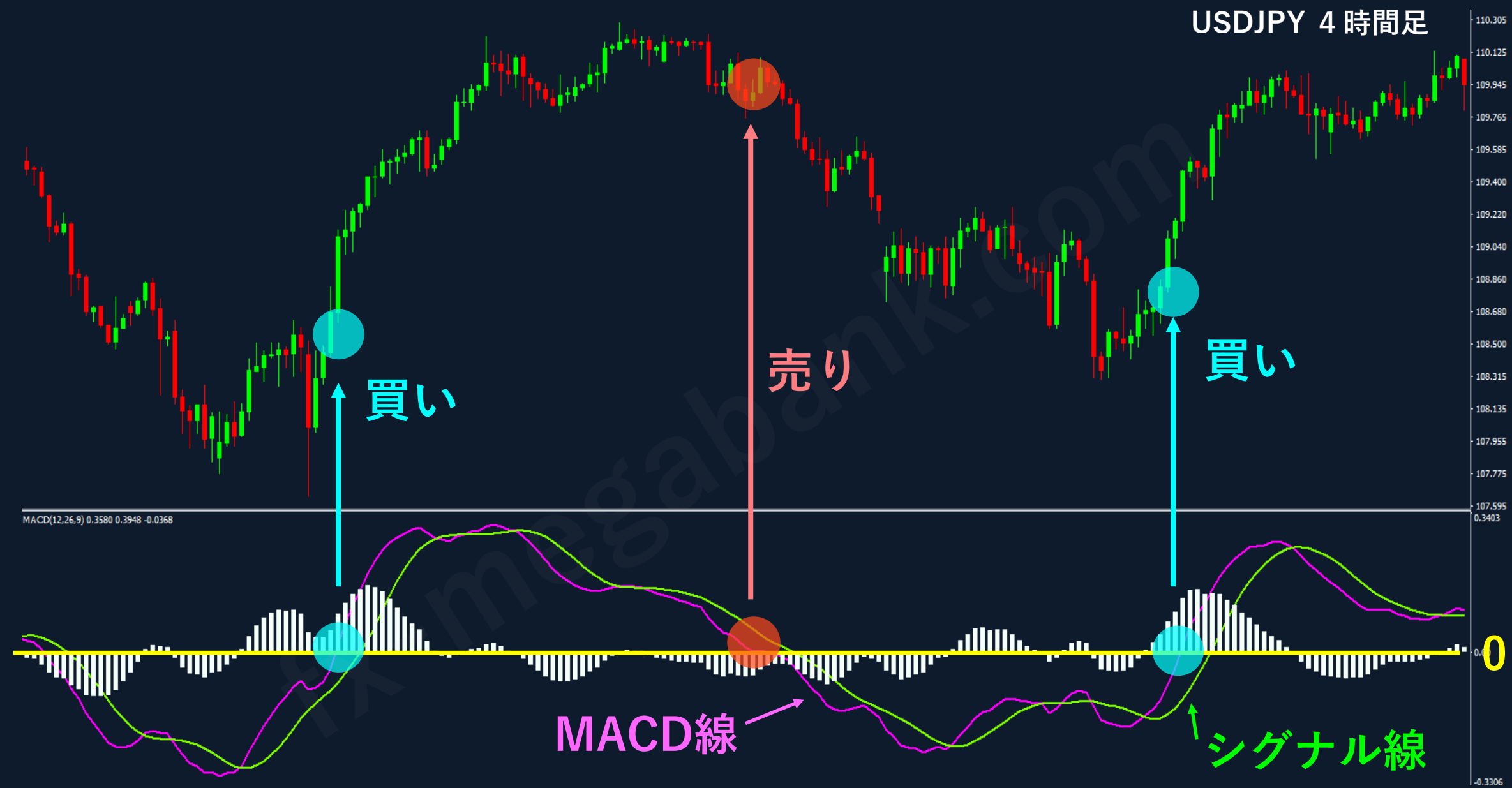
- ・ 3つの要素から構成



- ・ MT4の標準搭載のMACDはMACD線が棒グラフ
- ・ ゴールデン・ウェイジャパンの「FXTF MT4」なら、最初から一般的なMACDが搭載されている

MACDの手法①

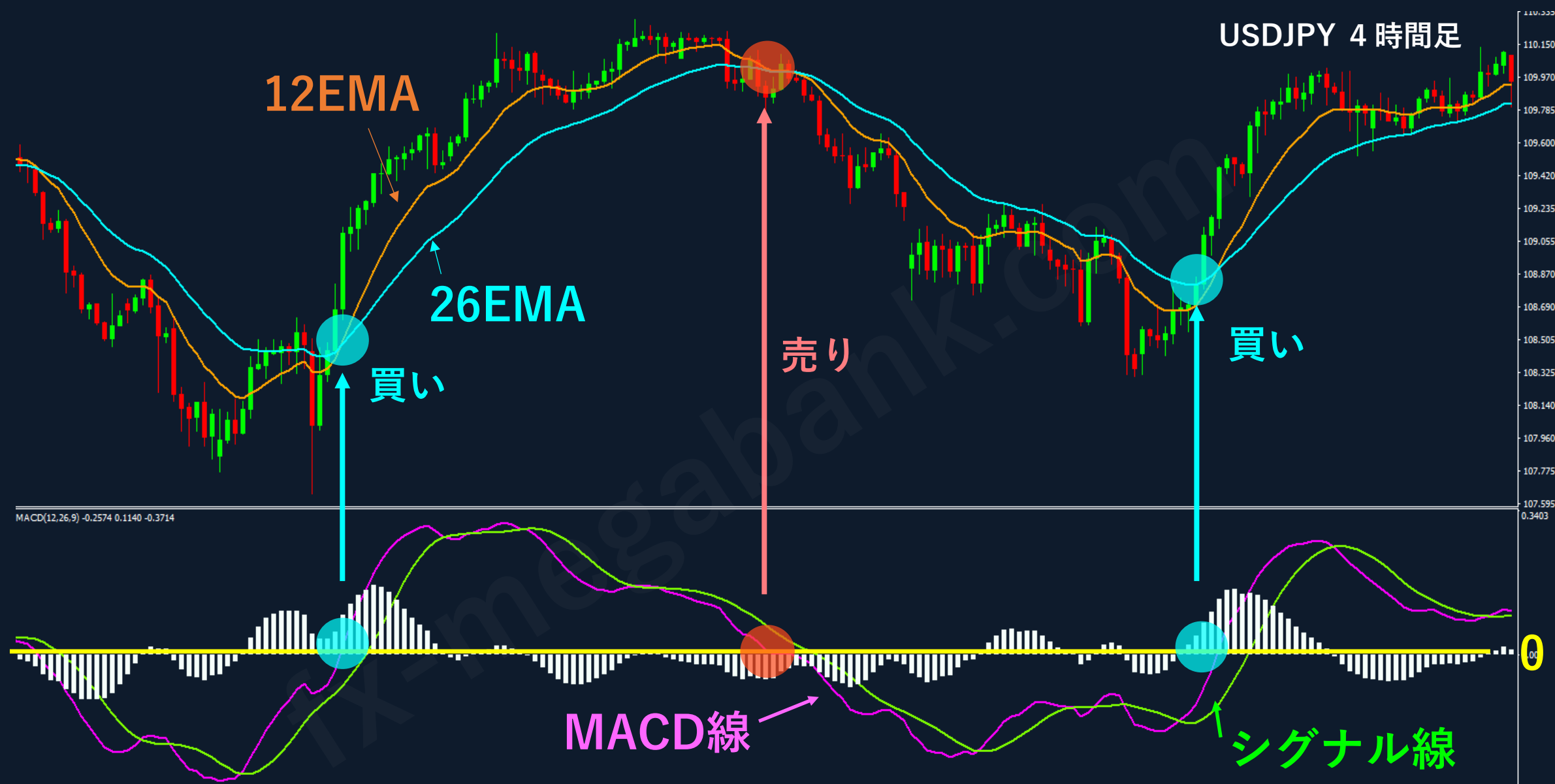
: MACD線とゼロラインのクロス



- MACD線が**下から**ゼロラインとクロス ⇒ **買い**
- MACD線が**上から**ゼロラインとクロス ⇒ **売り**

MACDの手法①

: MACD線とゼロラインのクロス
= ゴールデン(デッド)クロスと同じ意味



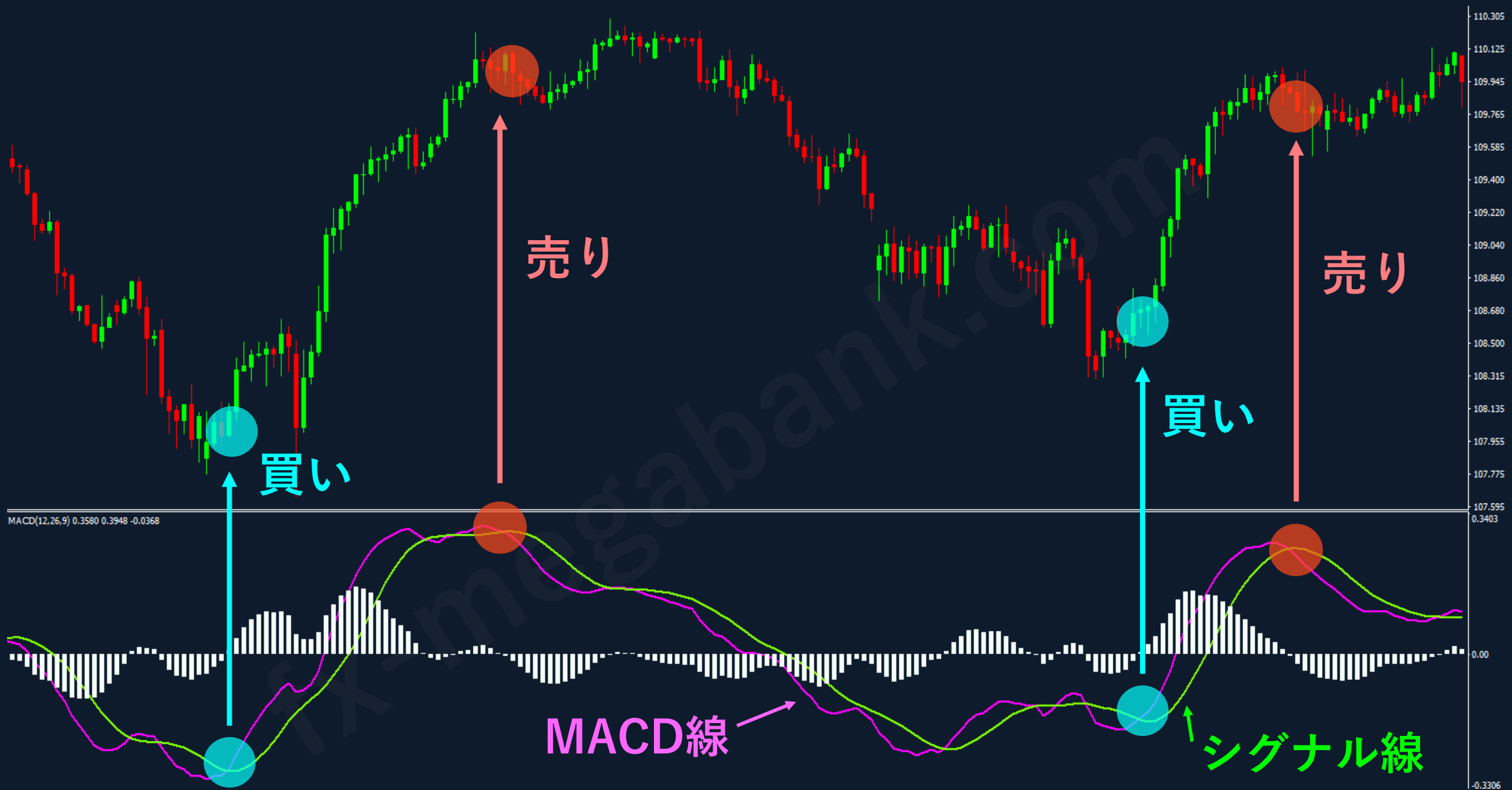
- MACD線が下からゼロラインとクロス
= ゴールデンクロス ⇒ 買い
- MACD線が上からゼロラインとクロス
= デッドクロス ⇒ 売り

補足：ゴールデンクロス・デッドクロス



MACDの手法②

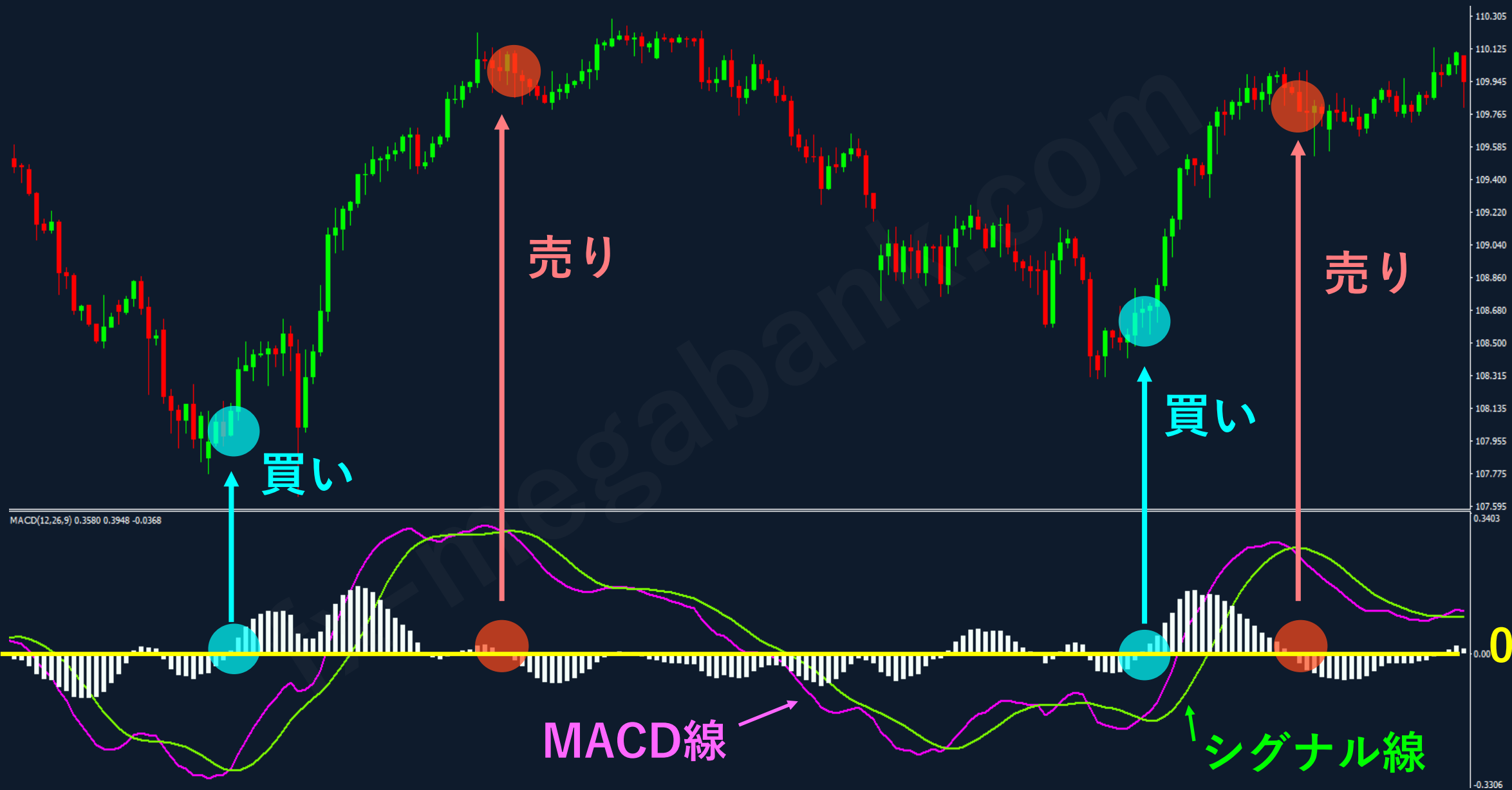
: MACD線とシグナル線のクロス



- MACD線がシグナル線を下からクロス⇒買い
- MACD線がシグナル線を上からクロス⇒売り

MACDの手法②

: MACD線とシグナル線のクロス
= ヒストグラムが0でも同じ

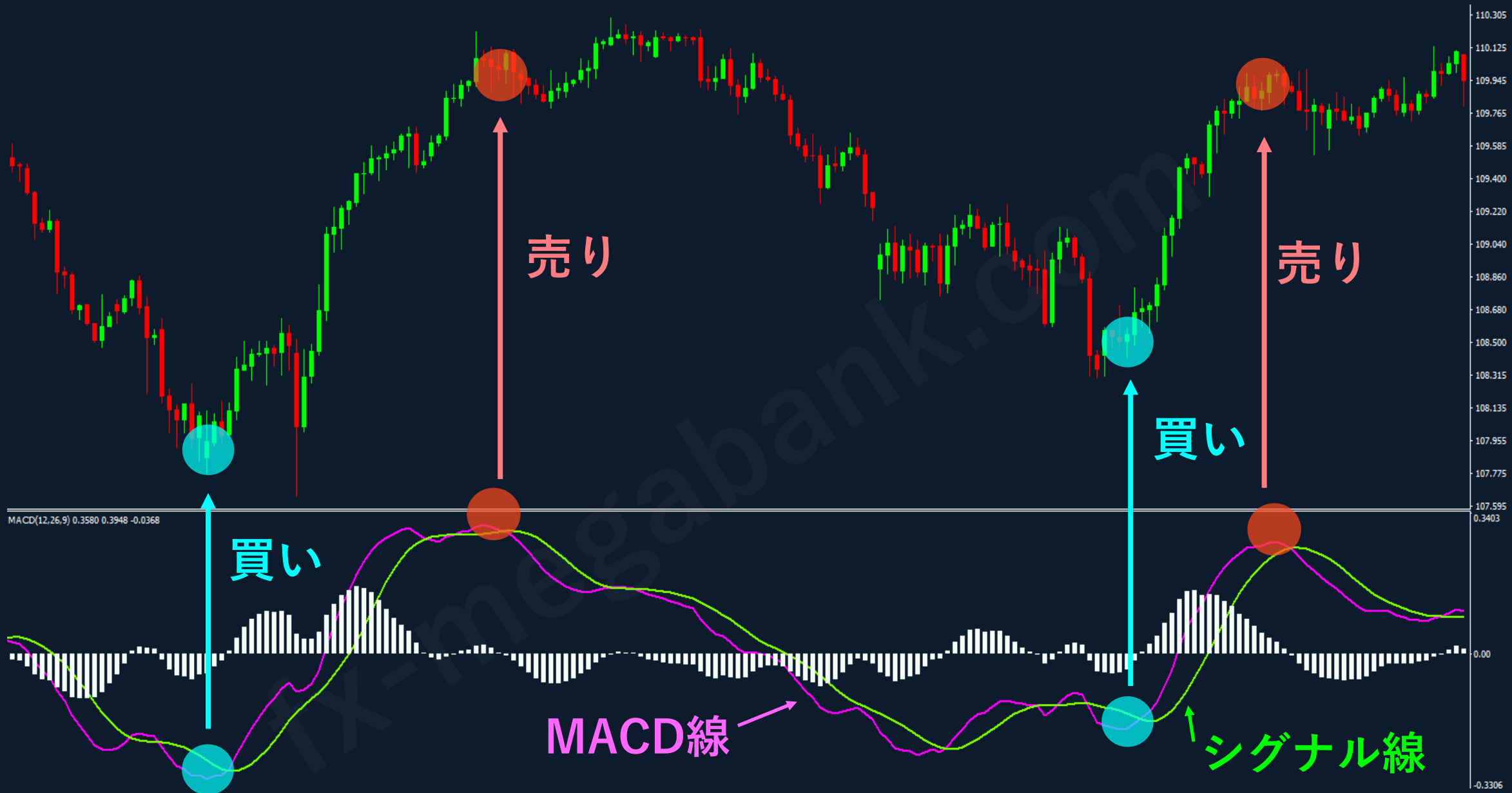


- ・ ヒストグラムが下から0へ⇒買い
- ・ ヒストグラムが上から0へ⇒売り

MACDの手法③

: MACD線の方向転換

USDJPY 4時間足

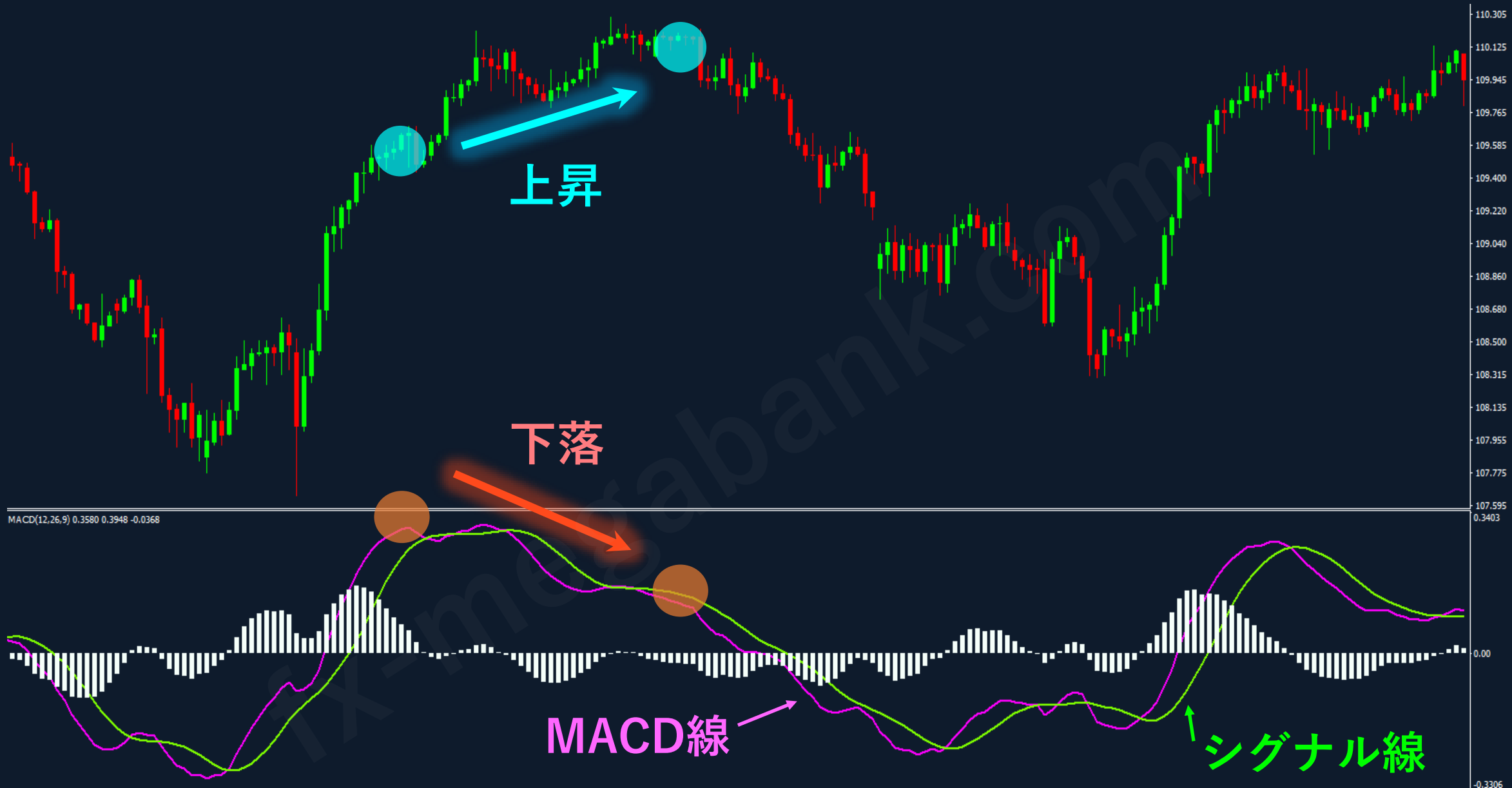


- MACD線が下向きから上向き ⇒ 買い
- MACD線が上向きから下向き ⇒ 売り

MACDの手法④

: ダイバージェンス

USDJPY 4 時間足



為替レートが**上昇** + MACD線が**下落**
= **売りシグナル**

MACDの手法④

: ダイバージェンス



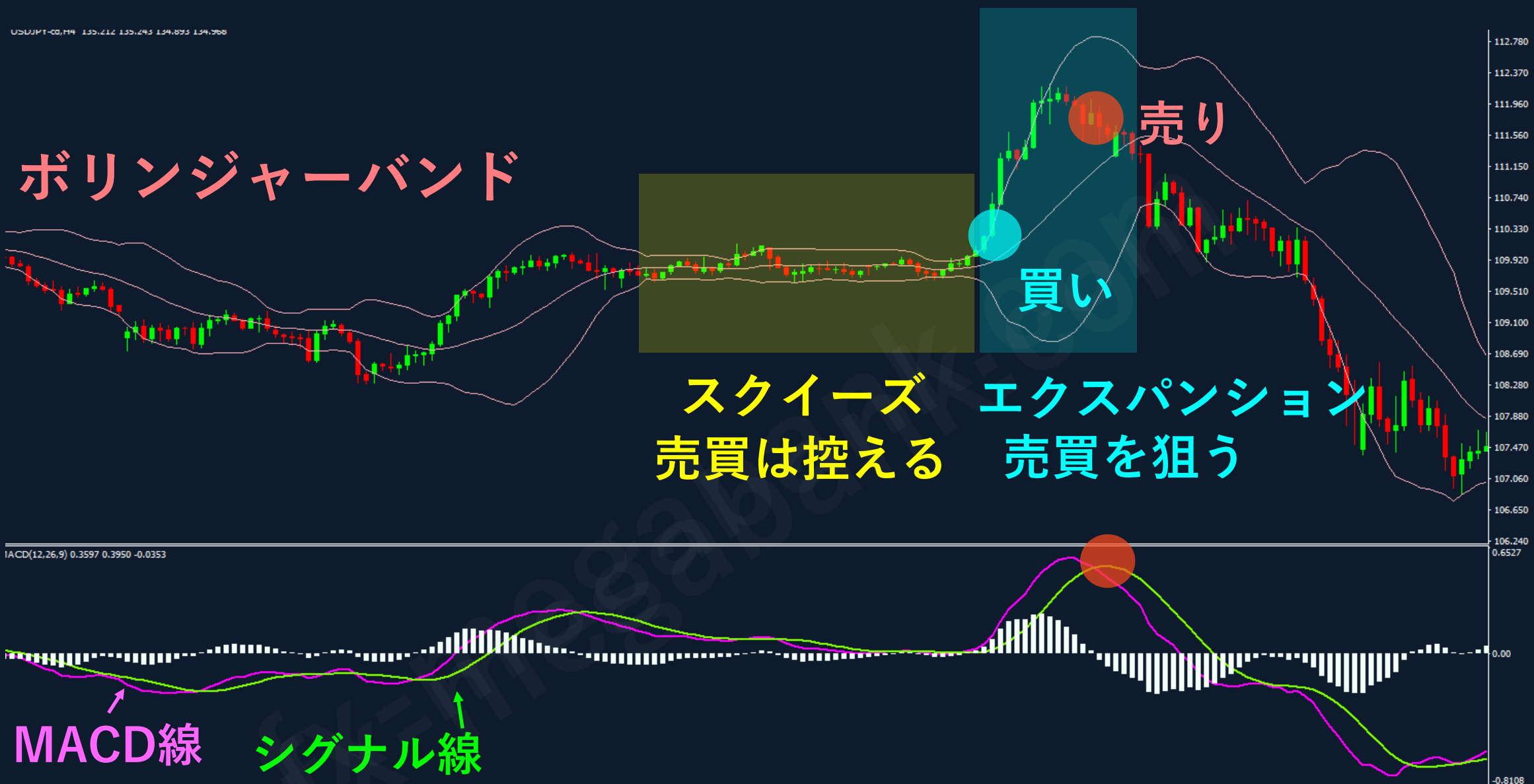
為替レートが下落 + MACD線が上昇
= 買いシグナル

MACDのデメリット



値動きが小さいレンジ相場ではMACDのダマしのシグナルが多く発生するので注意が必要

MACDの勝率を高める方法



MACDはボリンジャーバンドと併用がおすすすめ

- ・ ボラが小さい**スクイーズ**では、取引を**控える**
- ・ ボラが大きい**エクспанション**で、取引を**行う**

第12章

トレンドフォロー

トレンドフォローの戦略



- ・ 追っかけ買い、追っかけ売りはNG
- ・ 「押し目」「戻り目」でエントリーする

トレンドフォロー トレンド認識

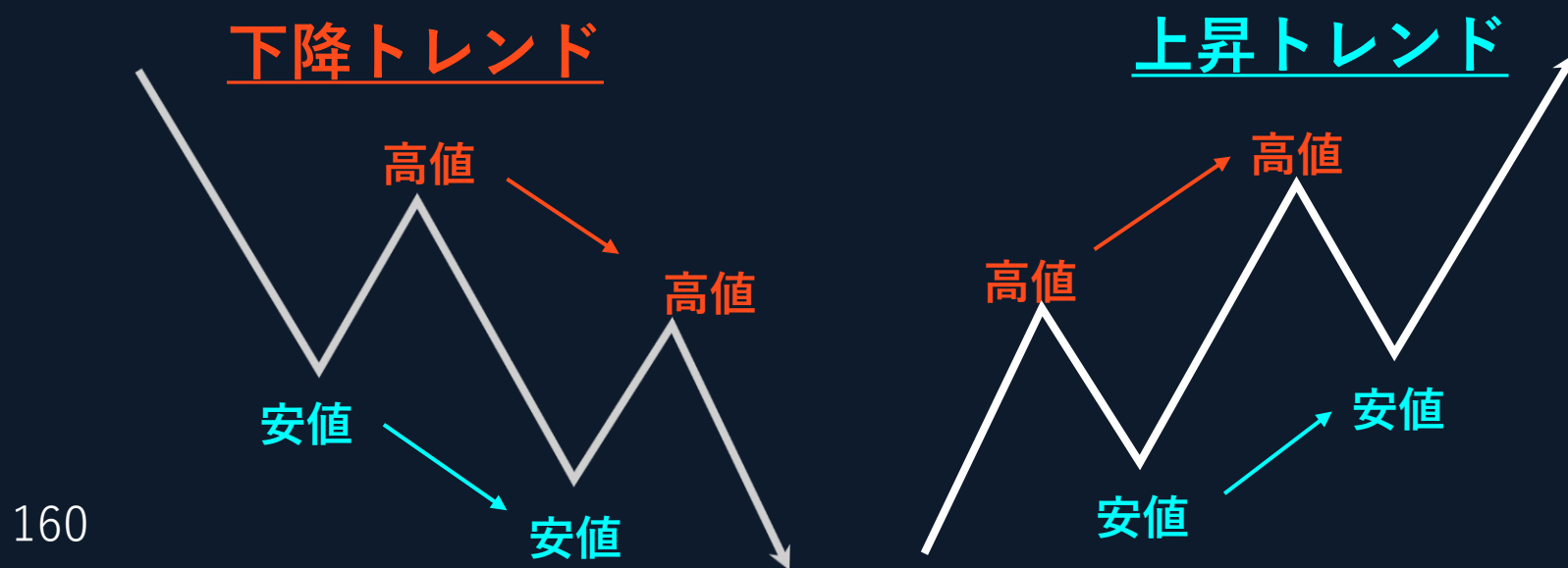


- なんとなくトレンドを判断するのはNG!
- 常に一貫した**トレンド識別方法**が必要

トレンドフォロー トレンド認識

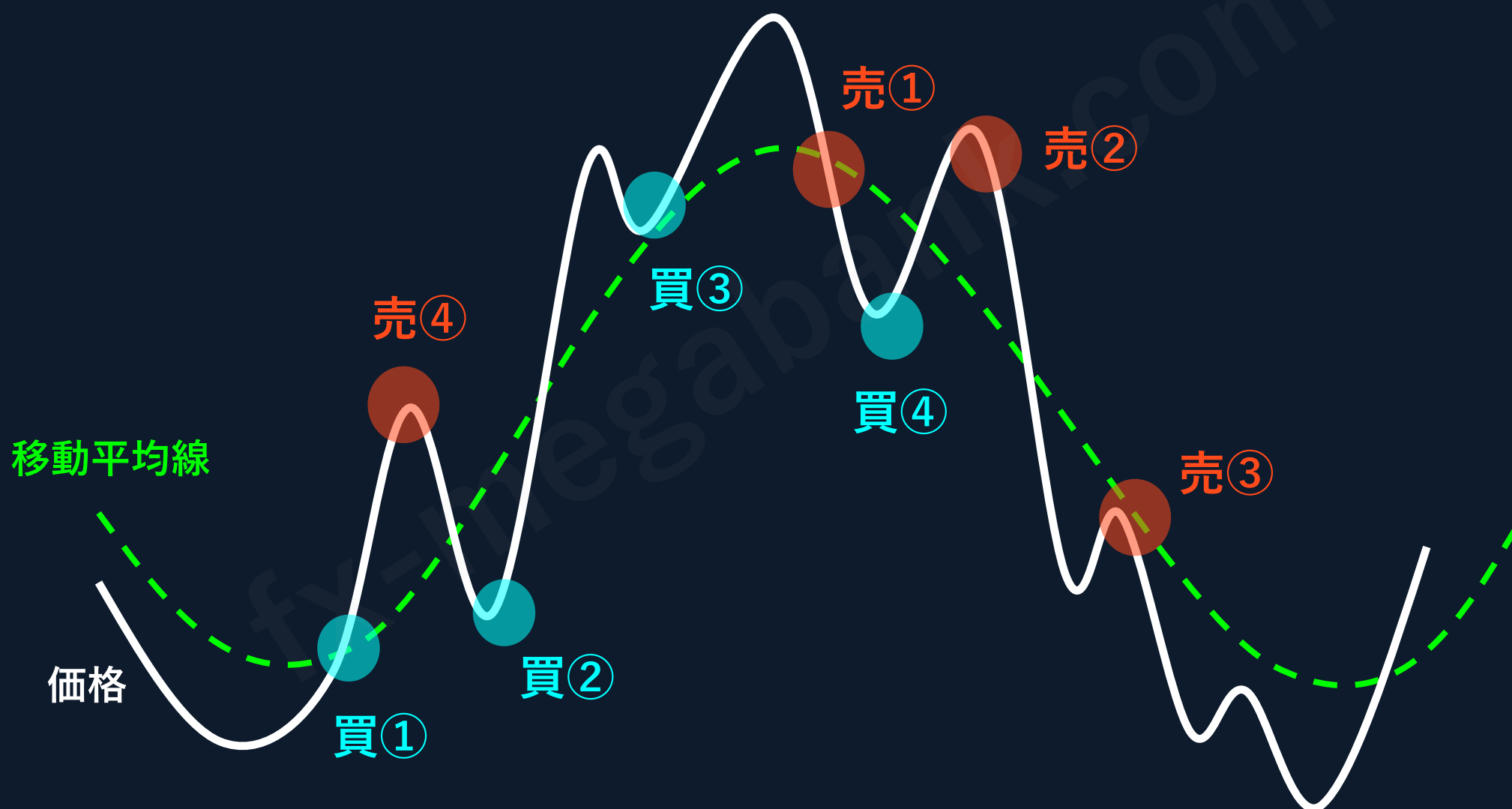


ダウ理論により一貫したトレンド認識が可能に



トレンドフォロー エントリー選定

手法① 移動平均線 グランビルの法則



おすすめは、移動平均線がレジサポとして機能している買③、売③のエントリーポイント

トレンドフォロー エントリー選定

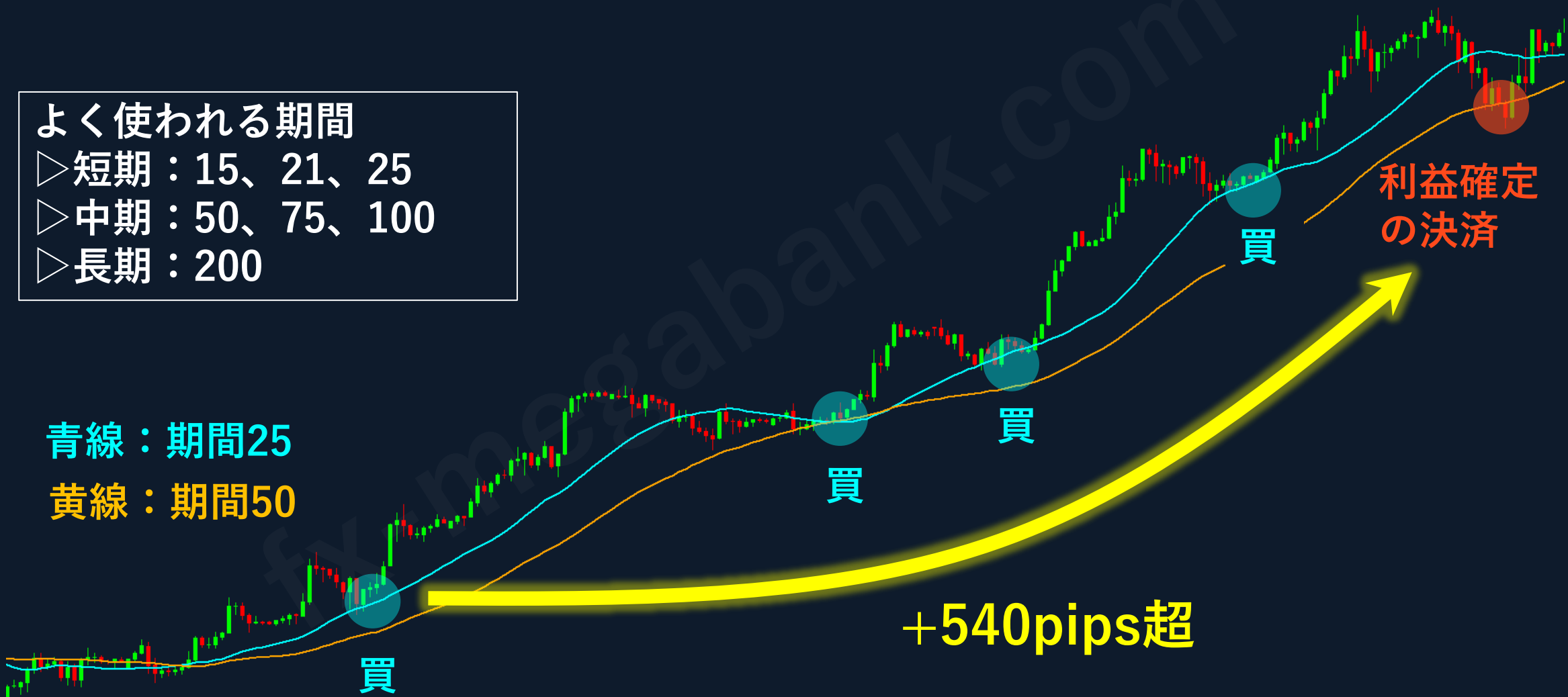
手法① 移動平均線 グランビルの法則

よく使われる期間

- ▷ 短期：15、21、25
- ▷ 中期：50、75、100
- ▷ 長期：200

青線：期間25

黄線：期間50



(通貨ペア：USDJPY 1時間足)

グランビルの法則で一時的な押し目でエントリーし、
トレンドに沿って利益を拡大可能

トレンドフォロー エントリー選定

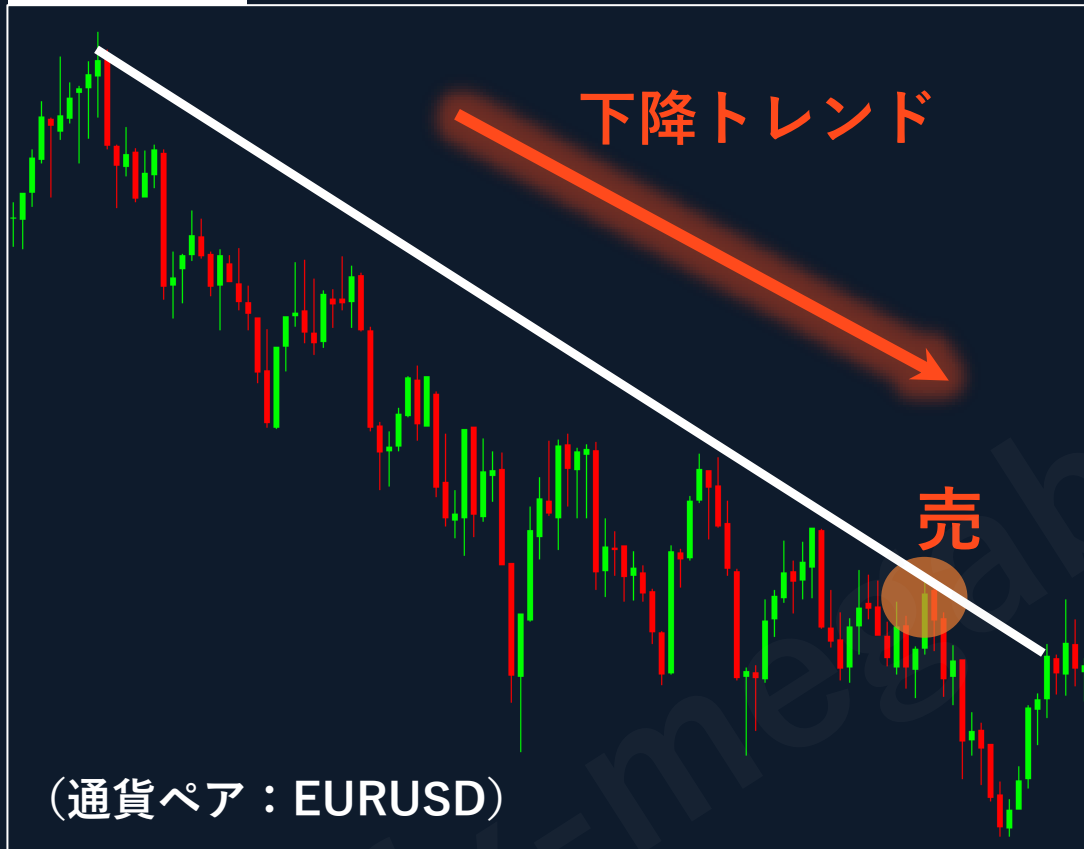
② トレンドライン上での反転



上昇トレンドラインの反発地点でエントリーし、割れるまで建玉を保有することで利益を拡大可能

トレンドフォロー 注意点

15分足



4時間足



- ・ 上位足トレンドに逆らうエントリーはNG
- ・ 上位足とは異なる下位足の反対トレンドは短命に終わるので、負けるリスクが大

トレンドフォローに関して

メリット

- ・トレンドに乗って利益をとことん伸ばすことができる
- ・初心者の方でもやり易く、ストレスが少ない
- ・損失を小さく抑えて、利益を大きく取る取引が可能

デメリット

- ・トレンドが発生していない（レンジ）相場では勝率が下がる
- ・だましに合う可能性もある
⇒必要コストと割り切ることが必要

第13章

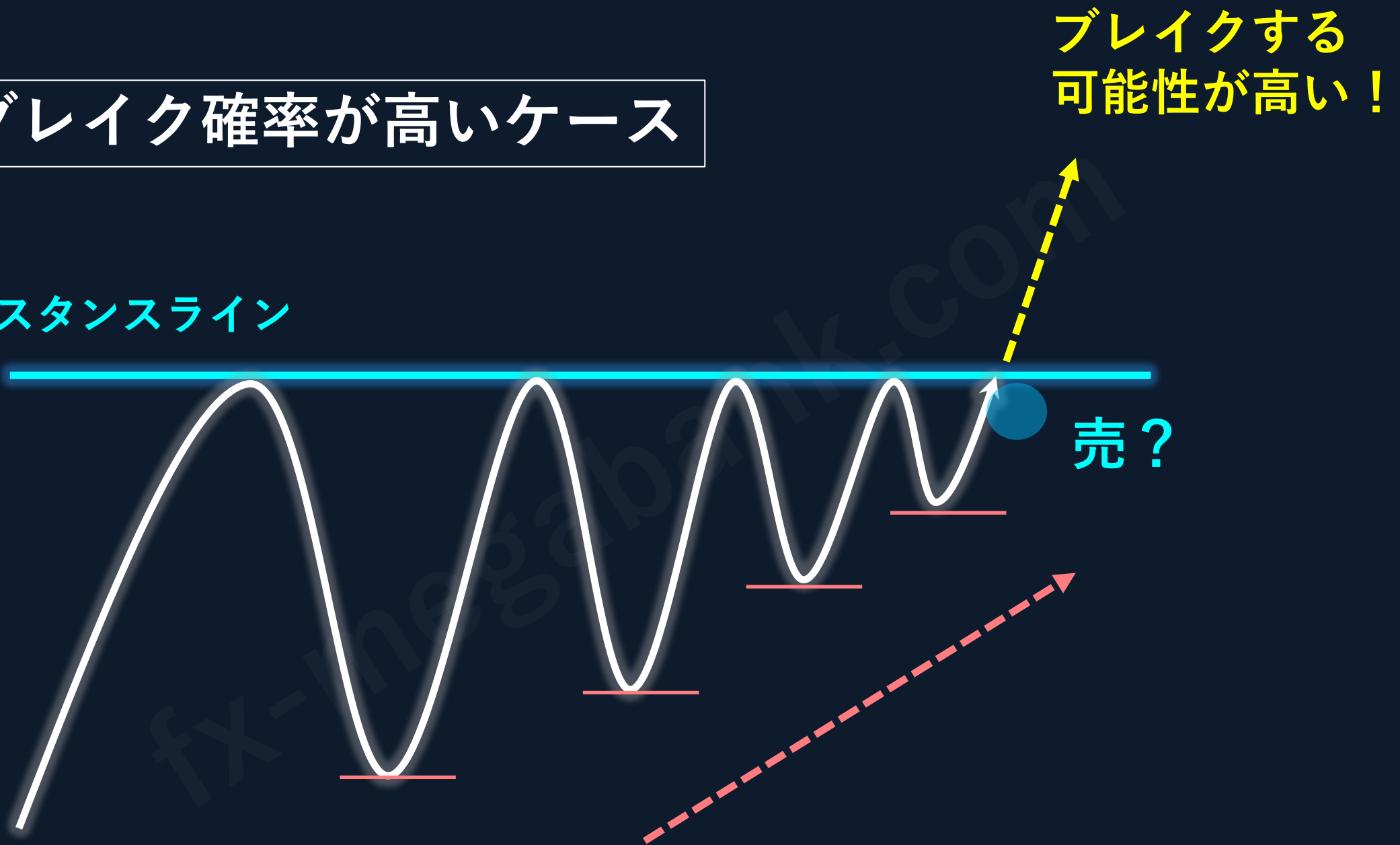
水平線

ダメな使い方

水平線のダメな使い方 ①

ブレイク確率が高いケース

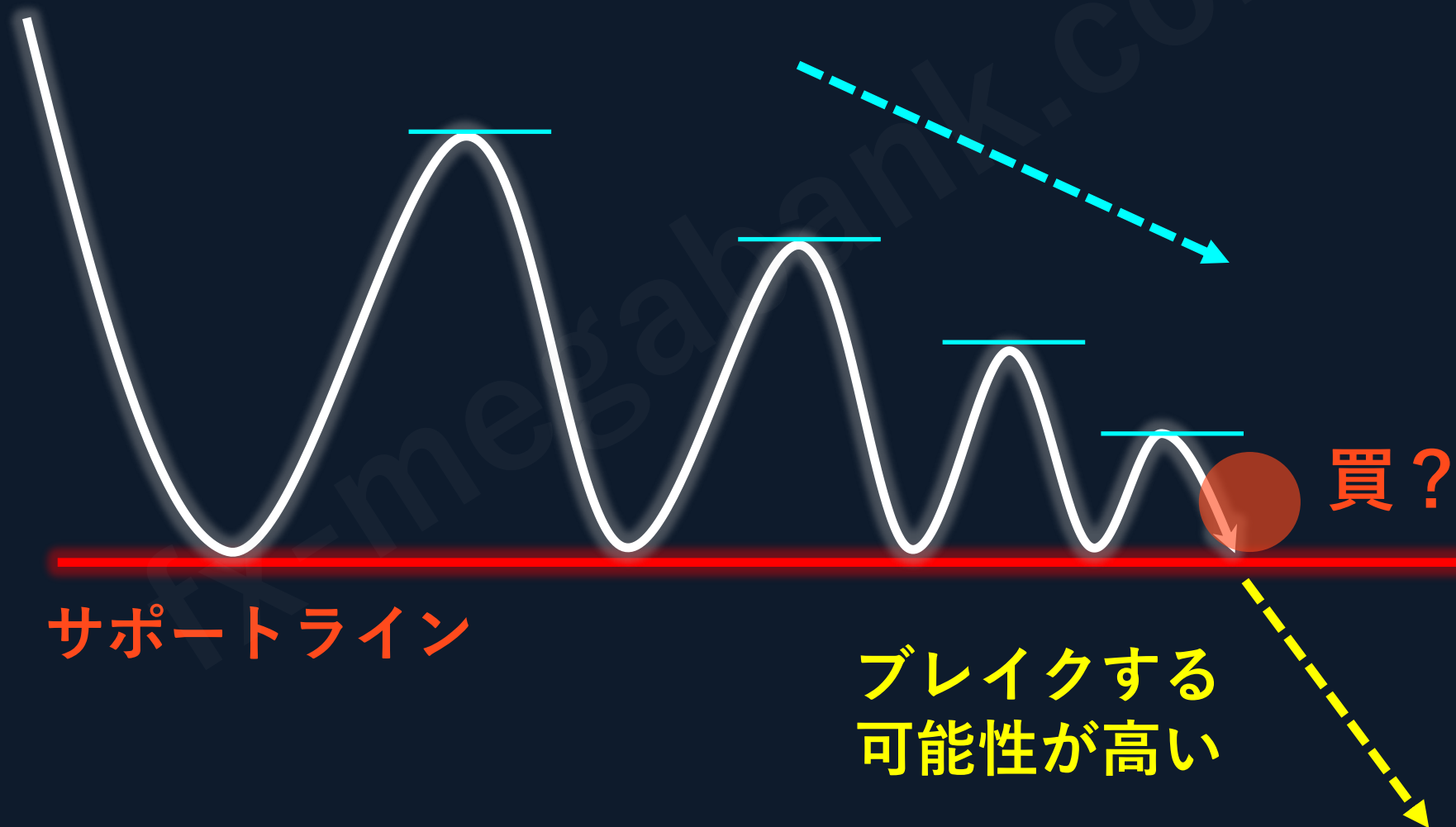
レジスタンスライン



- 安値が次第に切り上がり、買い圧力が増加
- ブレイクする可能性が高く、売りは控えるべき

水平線のダメな使い方 ①

ブレイク確率が高いケース



- ・ 高値が次第に切り下がり、売り圧力が増加
- ・ ブレイクする可能性が高く、買いは控えるべき

水平線ブレイクの確率が高い

レジスタンスライン

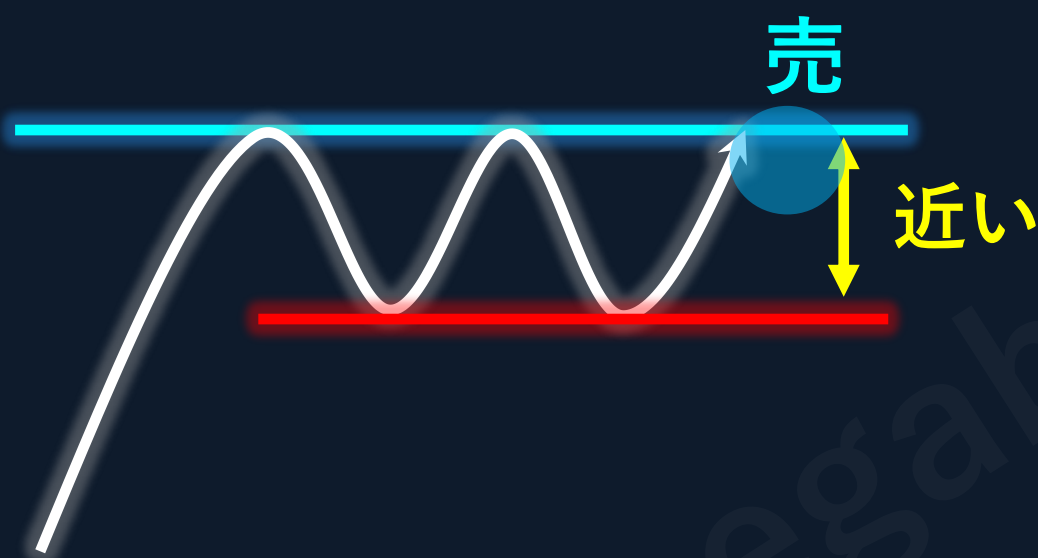


- 安値が切り上がり、買い圧力が増加
- 安易な売りは危険な場面

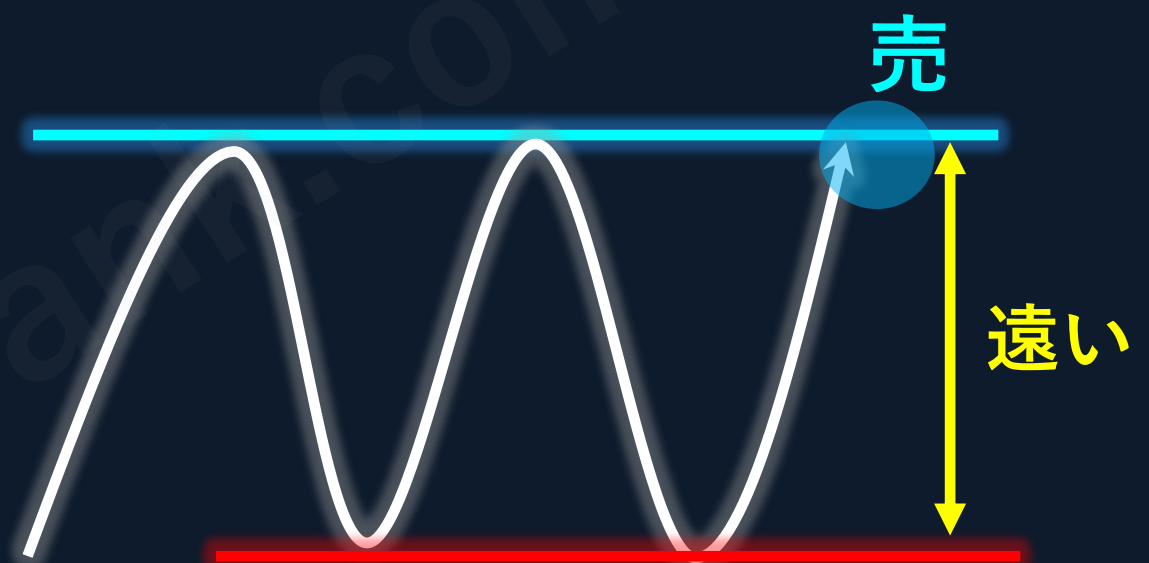
水平線のダメな使い方 ②

儲けの少ないポイントで売買

ケース1



ケース2



ケース1は、ケース2に比べて障害となるサポートが近くにあり、期待できる利益も減る

水平線を使ったトレード



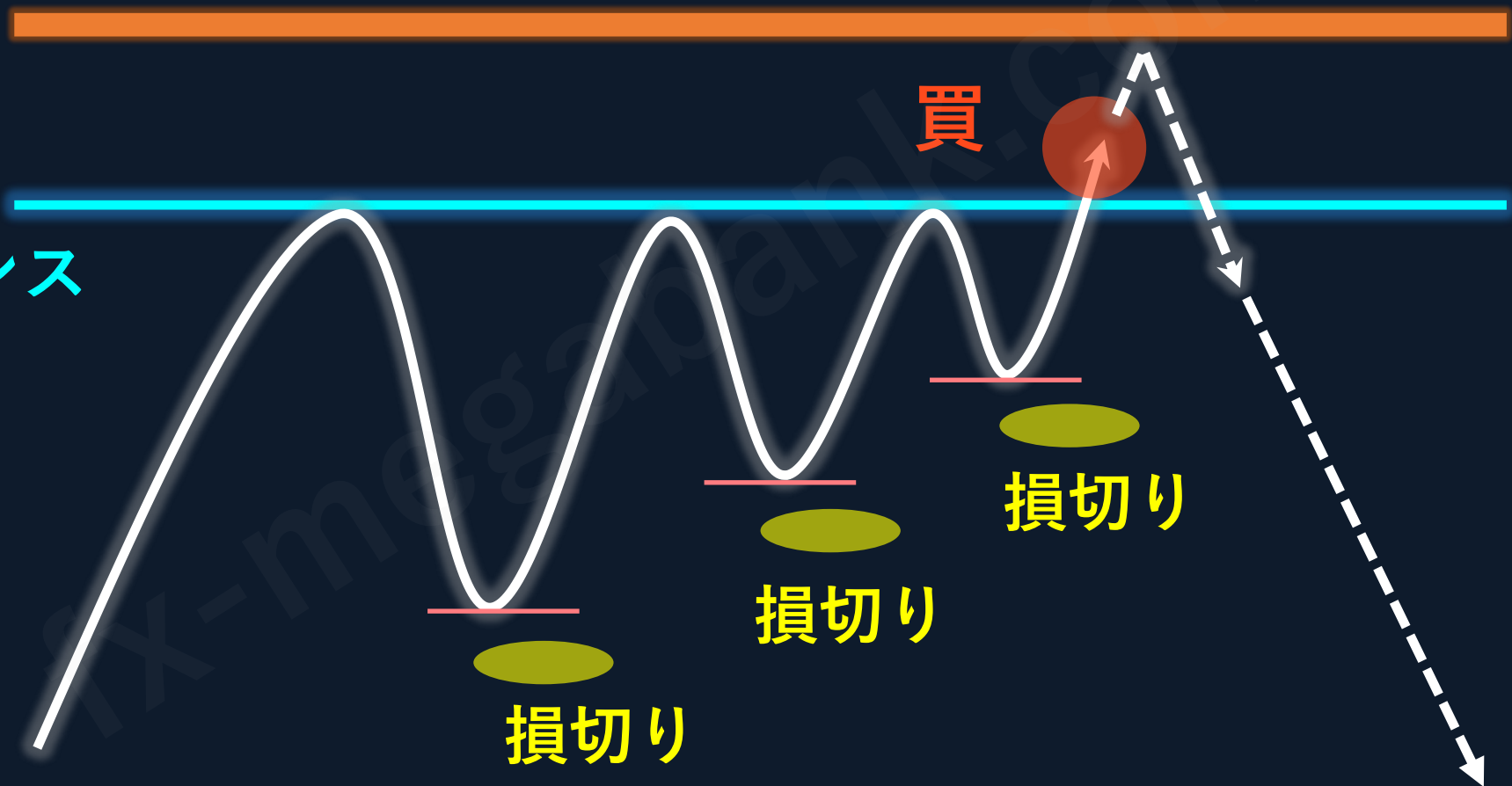
売りポイントから次のサポートまで距離があり、
十分な利益が見込める

水平線のダメな使い方 ③

上位足のラインを無視

上位足ライン

レジスタンス
ライン



- ・ ラインは上位足の方が意識され強い
- ・ 近くに上位足ラインがある場合、跳ね返されるリスクがある

上位足ラインを確認する

USD/JPY
週足チャート



1時間足へ
(次ページ)

週足、日足で引けるラインは事前に確認する

上位足ラインを確認する

週足ライン



USD/JPY
1時間足チャート

- ・ 週足ラインは1時間足ラインより強きに機能
- ・ 反転のリスクを視野に入れよう

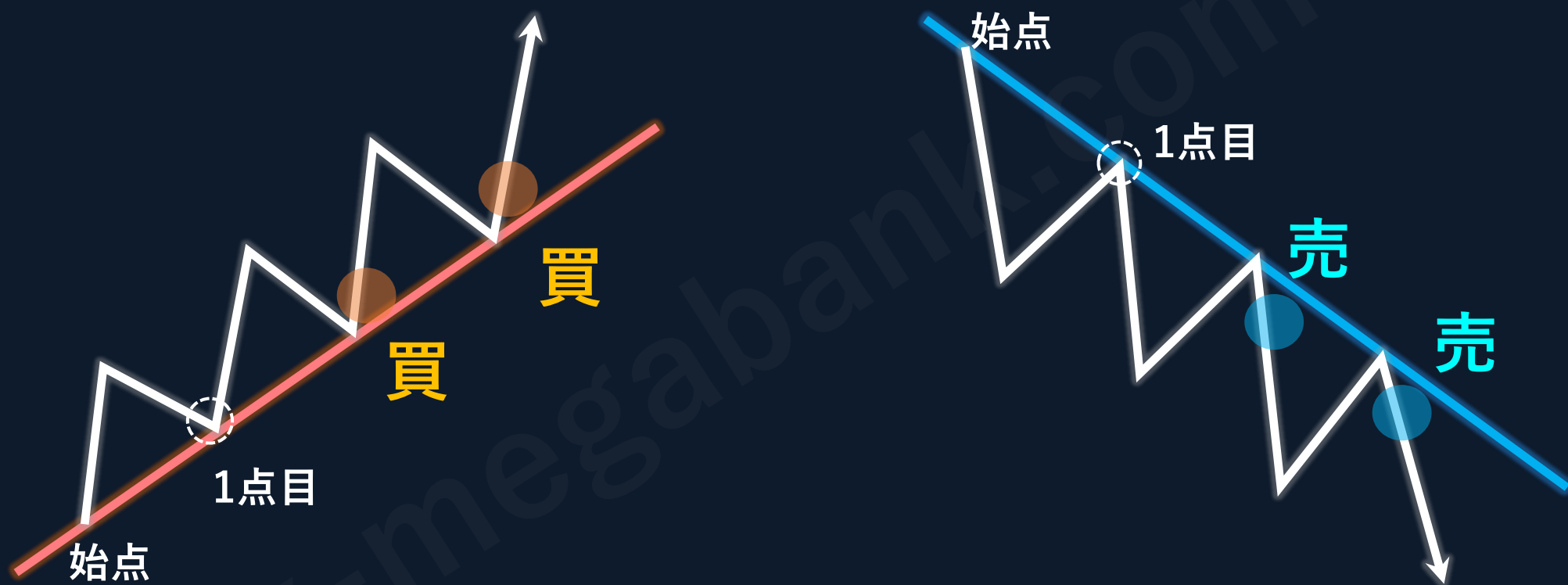
第14章

トレンドライン 正しい使い方

トレンドラインとは

上昇トレンドライン

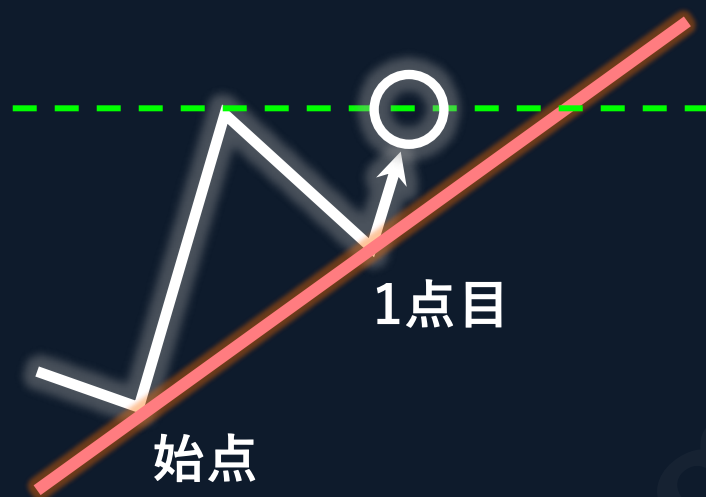
下降トレンドライン



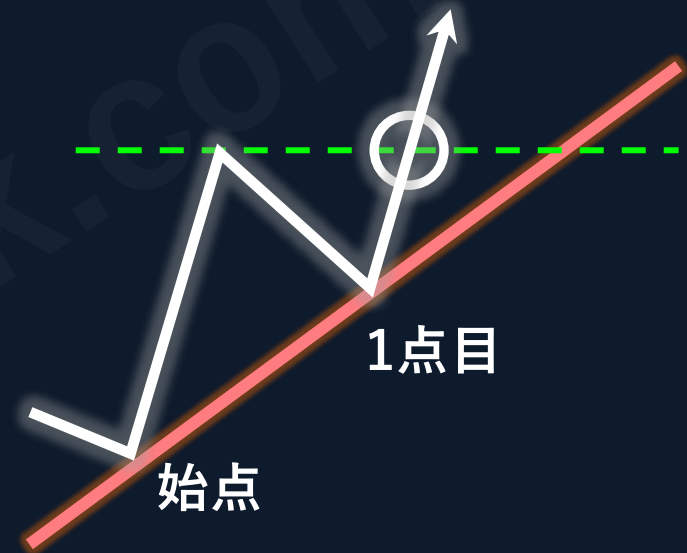
安値と安値（または高値と高値）を
斜めに結んだ線

トレンドラインの正しい引き方

誤った引き方



正しい引き方



直近高値を**更新**していない

⇒ 上昇トレンド**確定前**

直近高値を**更新**している

⇒ 上昇トレンド**確定**

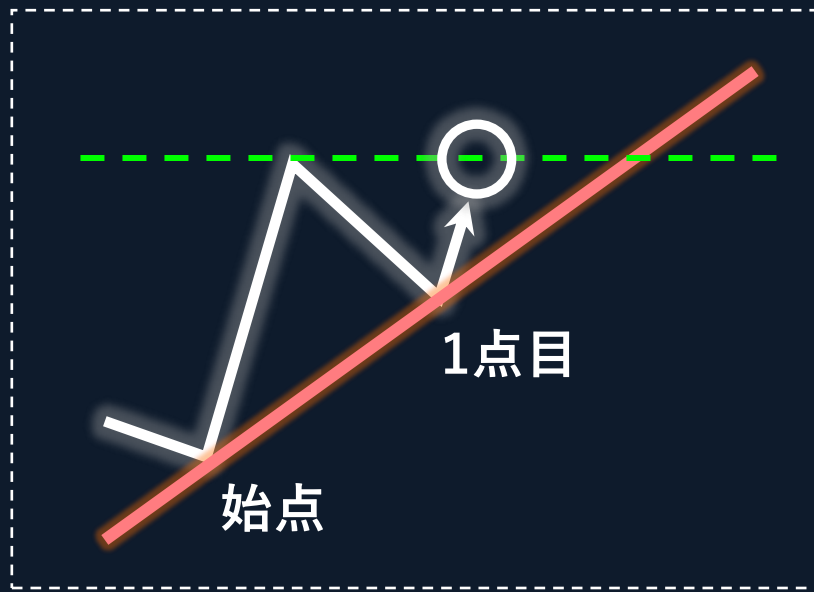


トレンドラインがたくさん引ける



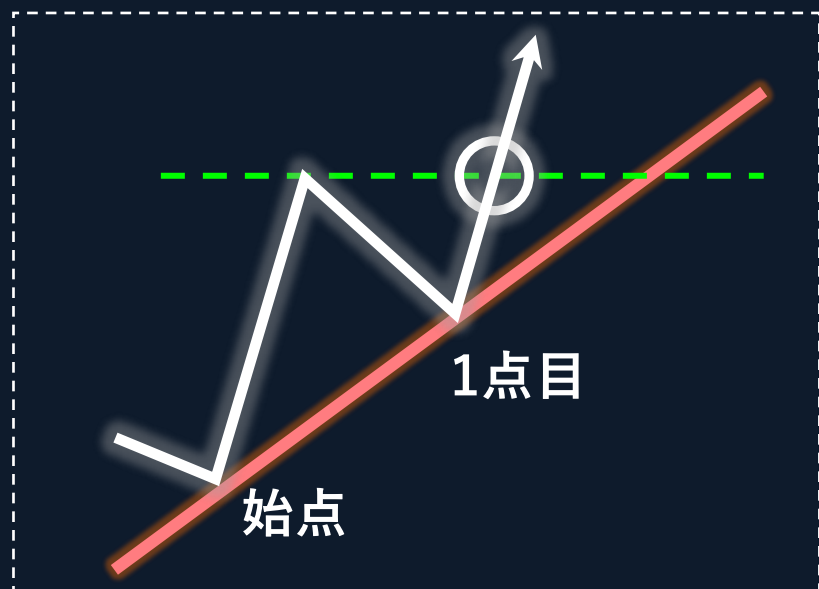
単純に斜めに引くと、いたる所に引ける
しかし、中には何の効力も持たない誤った
トレンドラインもある

誤った引き方のトレンドライン



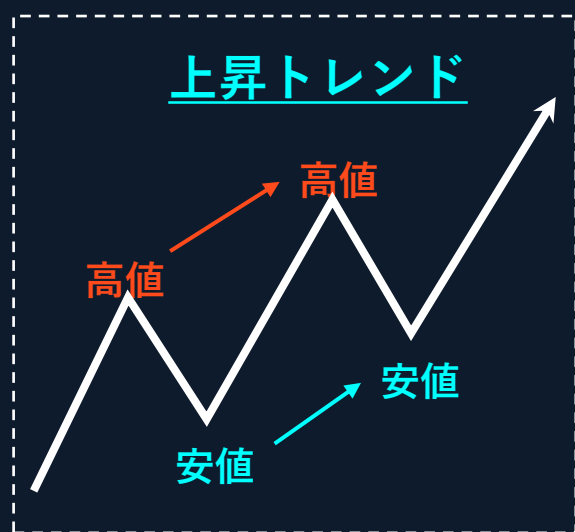
ダウ理論の**トレンド確定前**に引いている
⇒ 何の機能も持たない無効なライン

正しい引き方のトレンドライン



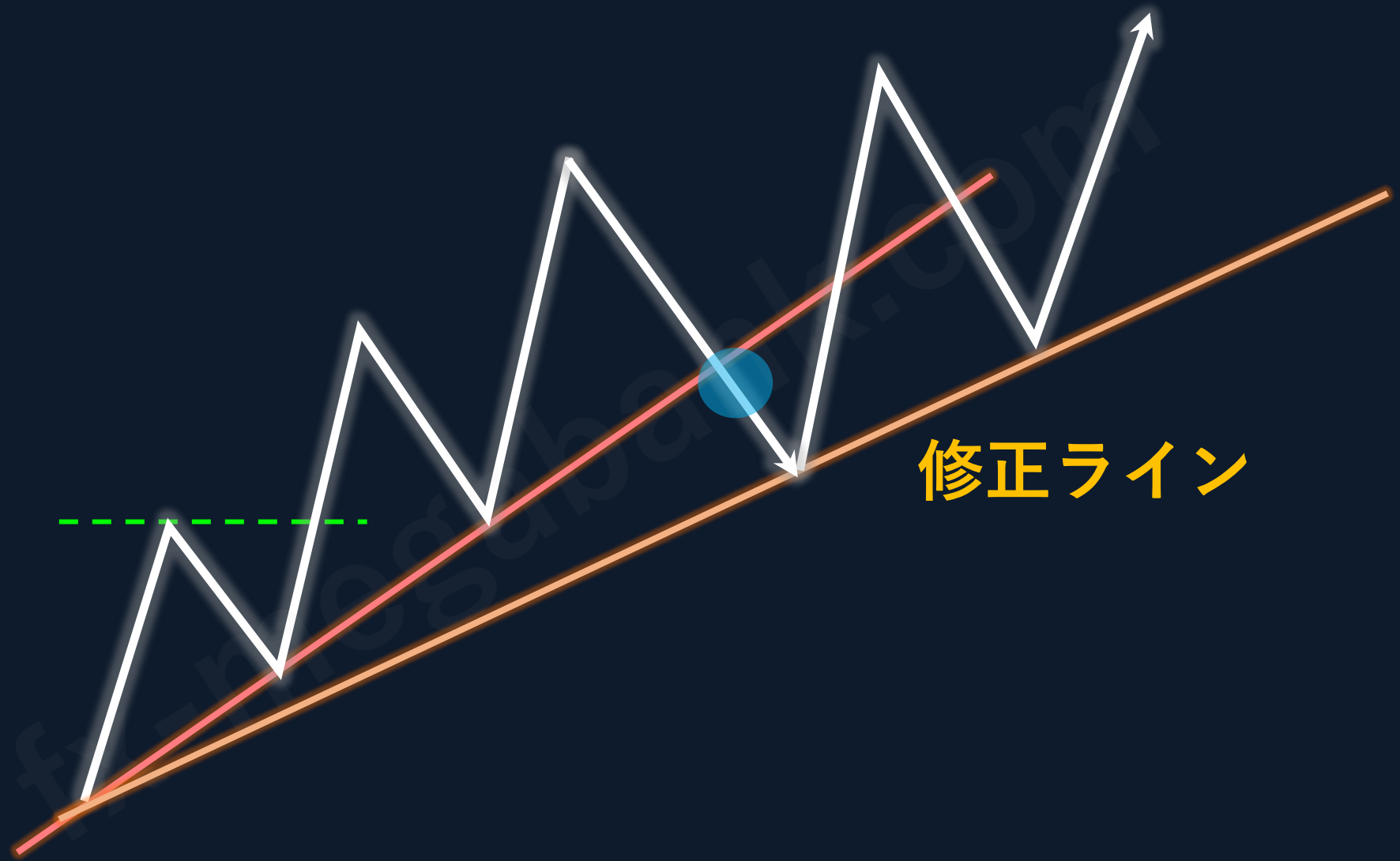
ダウ理論の**トレンド確定後**に引いている
⇒ 反転が見込める有効なライン

ラインブレイク後のエントリー 1/4



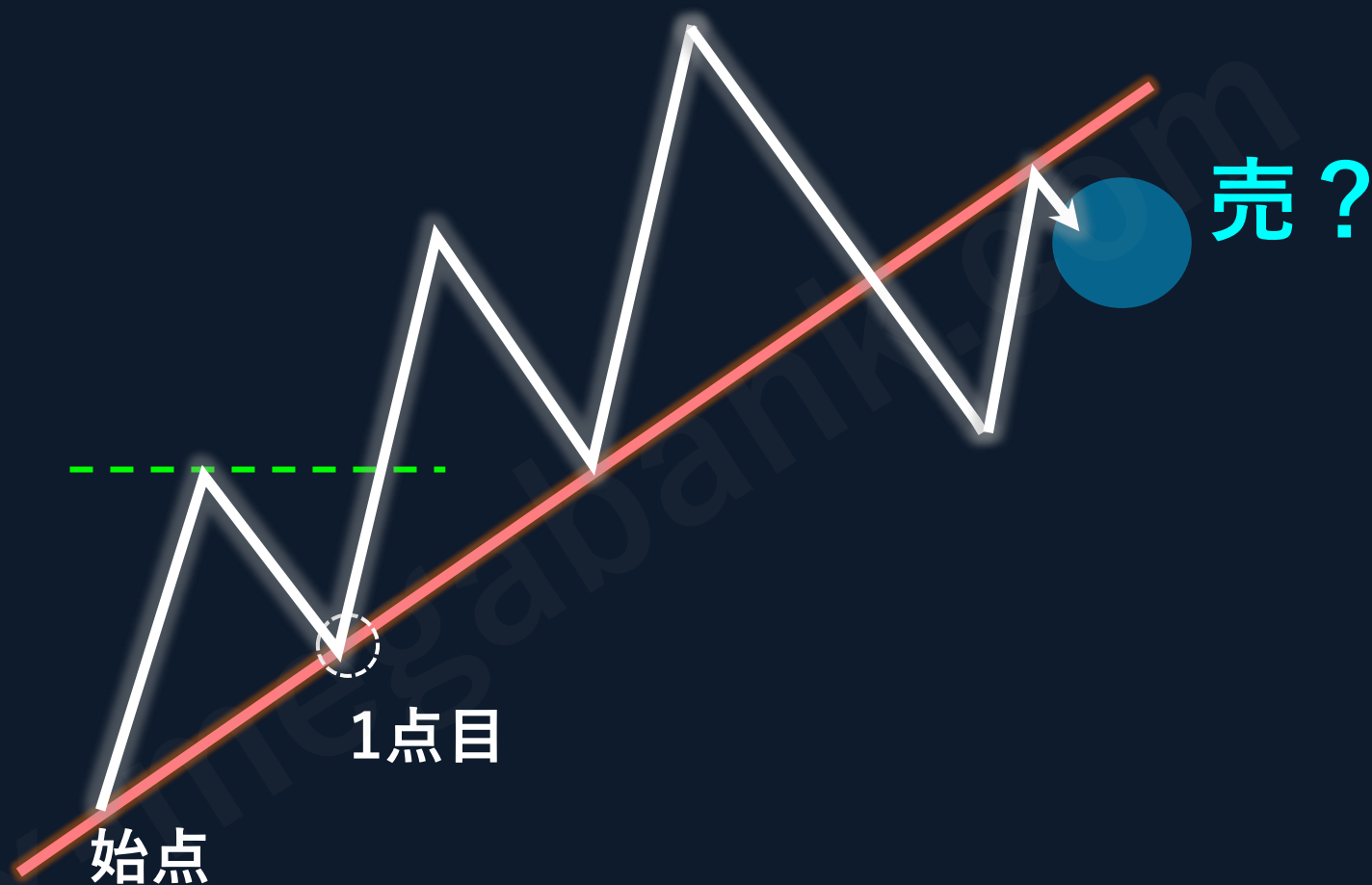
ダウ理論の上昇トレンドは継続中
⇒つまり、売りは不可

ラインブレイク後のエントリー 2/4



上昇トレンドラインのブレイクは、
単純に上昇の勢いが弱まったに過ぎず、
角度が緩やかな別のラインが引ける可能性

ラインブレイク後のエントリー 3/4

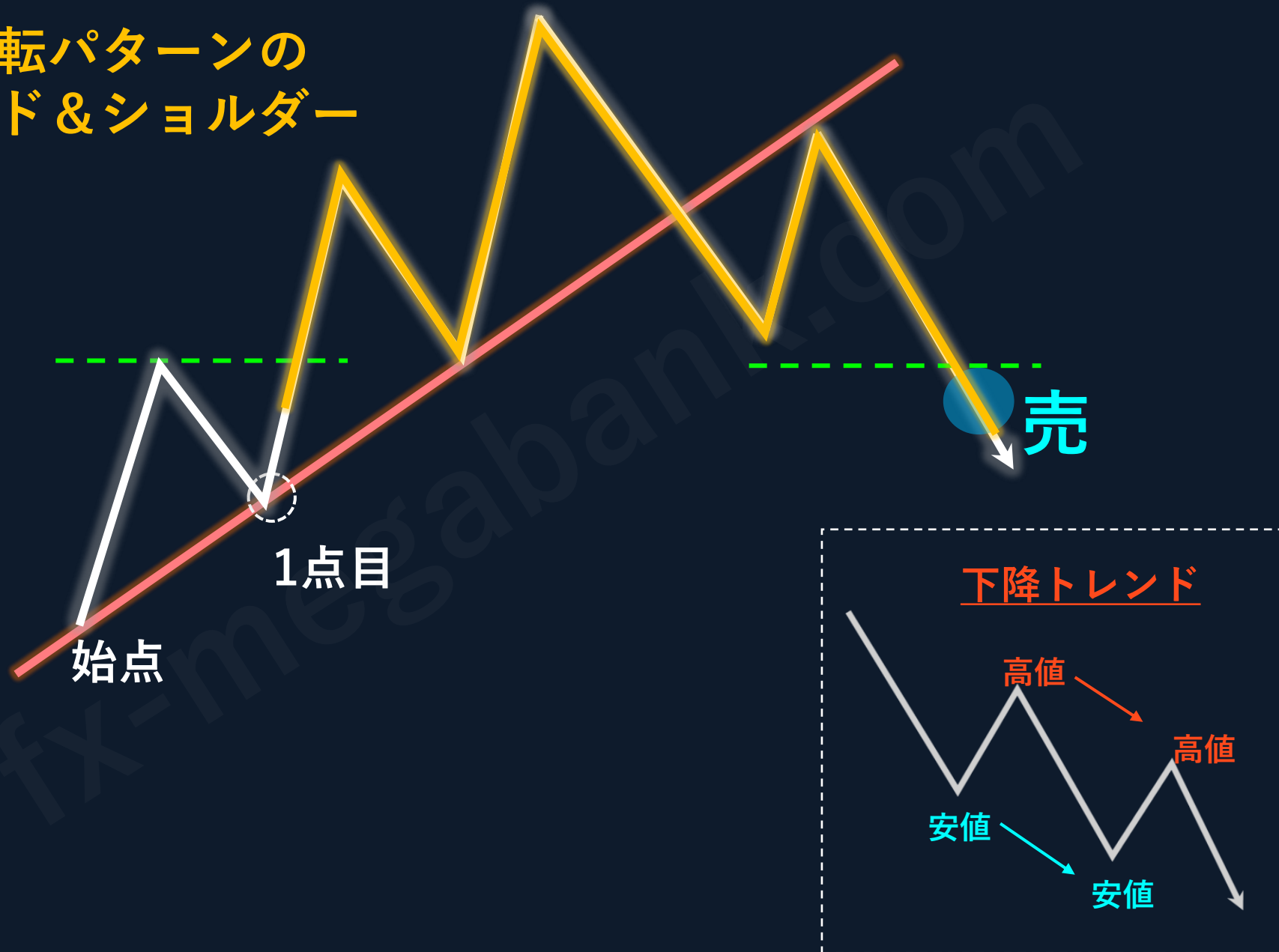


上昇トレンドは継続中だが、**トレンド転換の可能性ある**

⇒ **売りは可能 (ただし、ややリスクあり)**

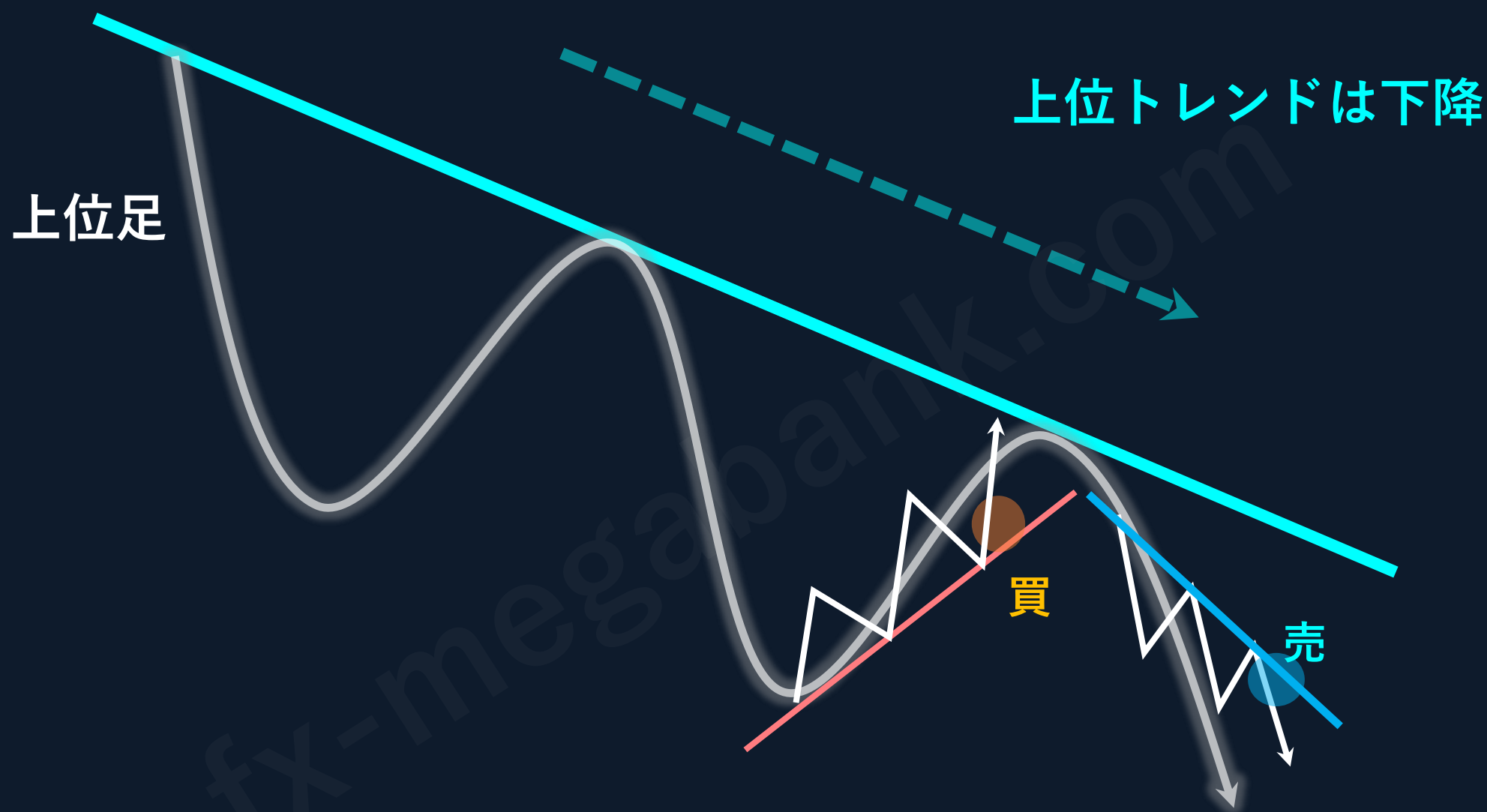
ラインブレイク後のエントリー 4/4

反転パターンの
ヘッド&ショルダー



ダウ理論からも下降トレンドが確定し、
売りは可能

上位足ラインを無視してはいけない



上位足の下降トレンドラインを無視して、買いは不可
上位足に沿って、**売りを狙っていくのが鉄則**

第15章

ボリンジジャーバンド

ボリンジャーバンドとは



統計学を使ったトレンド系のインジケータ

$\pm 1 \sigma = 68.26\%$

$\pm 2 \sigma = 95.44\%$

$\pm 3 \sigma = 99.74\%$

の確率でレートがバンド内に収まる

ボリンジャーバンドの注意点



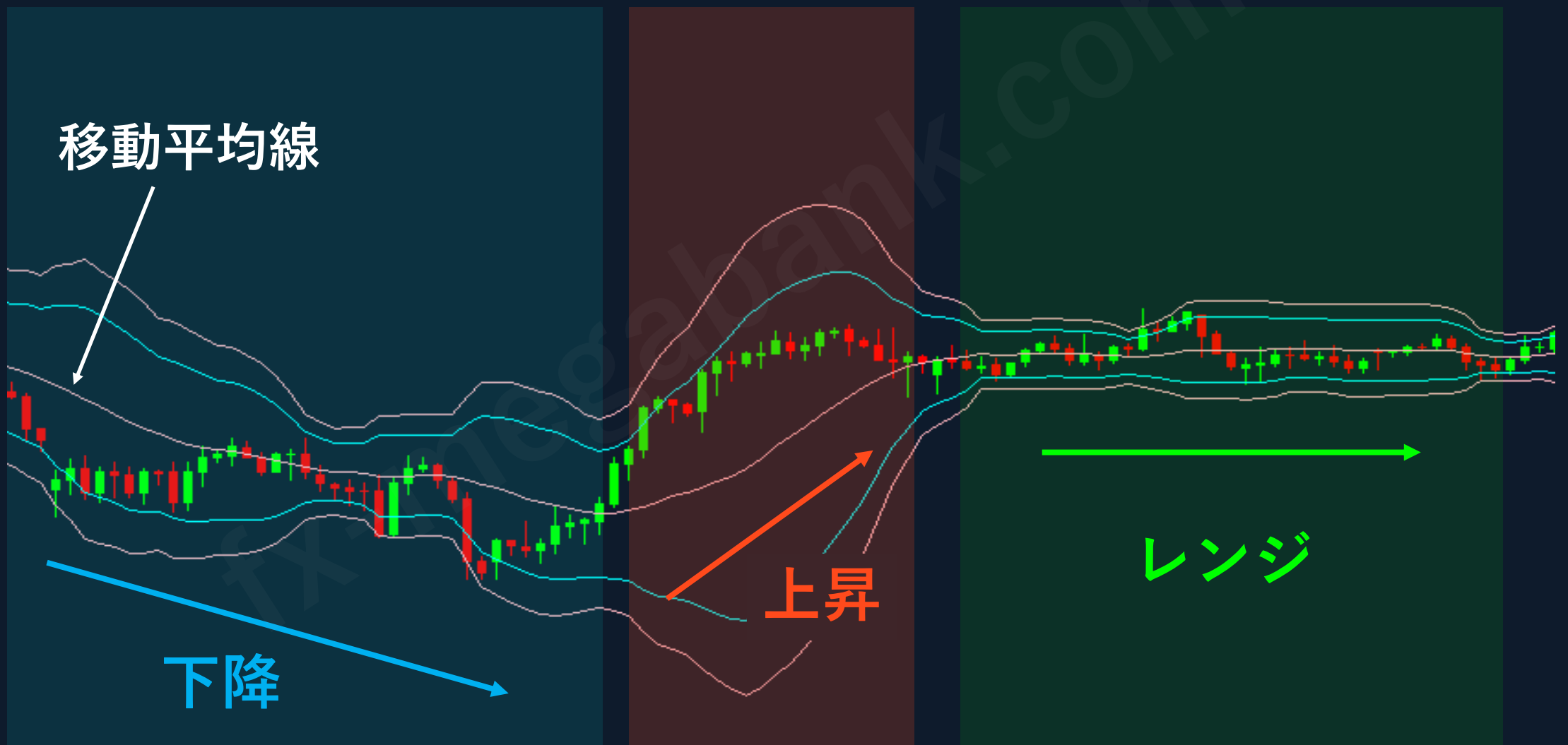
ボリンジャーバンドの逆張りはあまりおすすめしない

【理由】

- ・ σ はバンド内に収まる確率であり タイミングは不明
- ・ かなり後になってバンド内に収まる可能性がある

ボリンジャーバンドの見方①

相場の方向性（トレンド）



移動平均線の向きで、上昇、下降、レンジが分かる

ボリンジャーバンドの見方②

相場のボラティリティ

エクспанション

バンドウォーク
(沿って動き続ける)

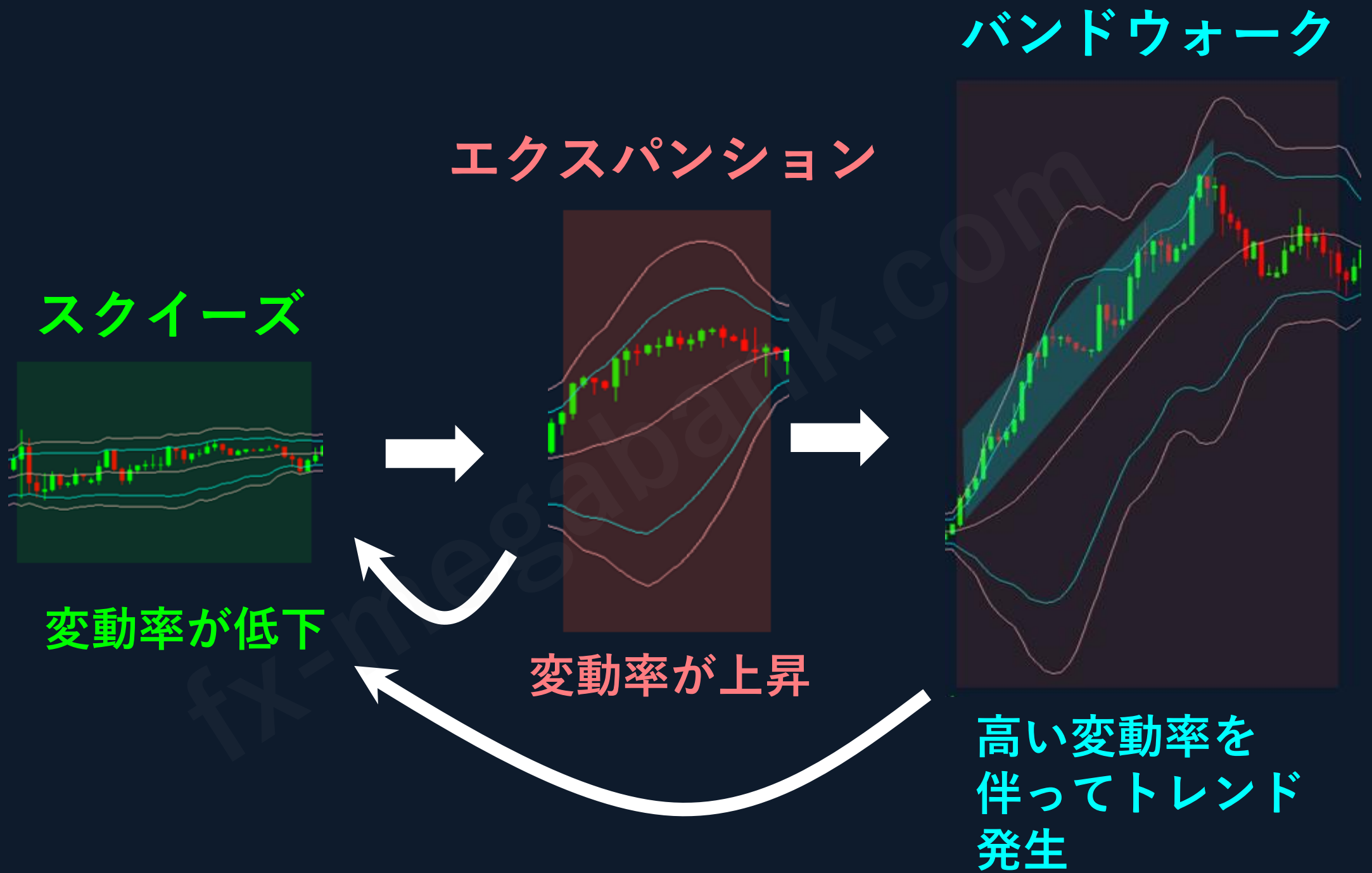
スクイーズ

変動率が低い
(エネルギーを充電)

変動率が高い
(貯めたエネルギーが爆発)

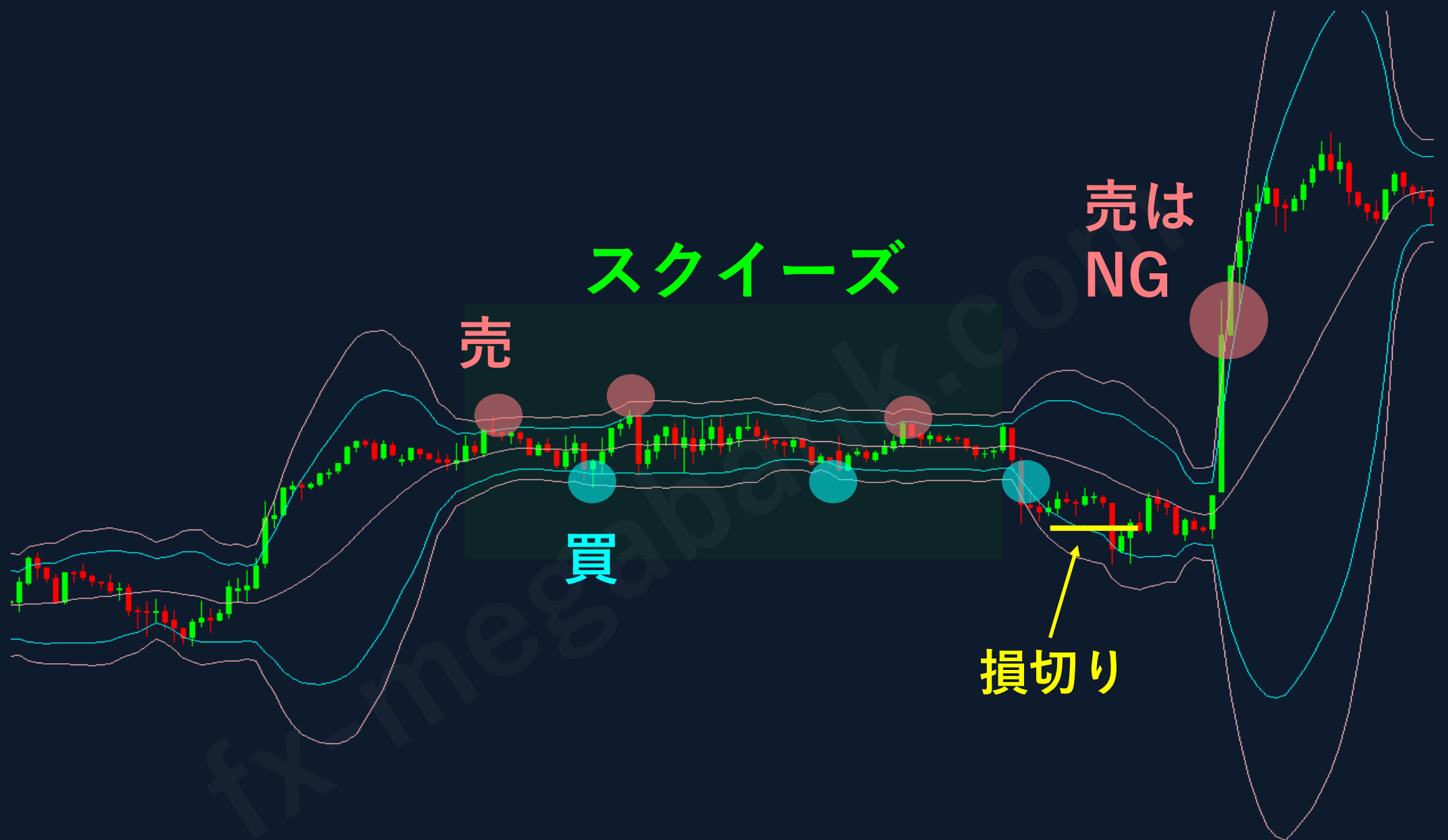
バンドの伸び縮みでボラティリティ(変動率)を判断する

ボリンジャーバンドのサイクル



エクспанション＝トレンド発生ではないので注意。
バンドウォークが発生せず、スクイーズになる時もあり

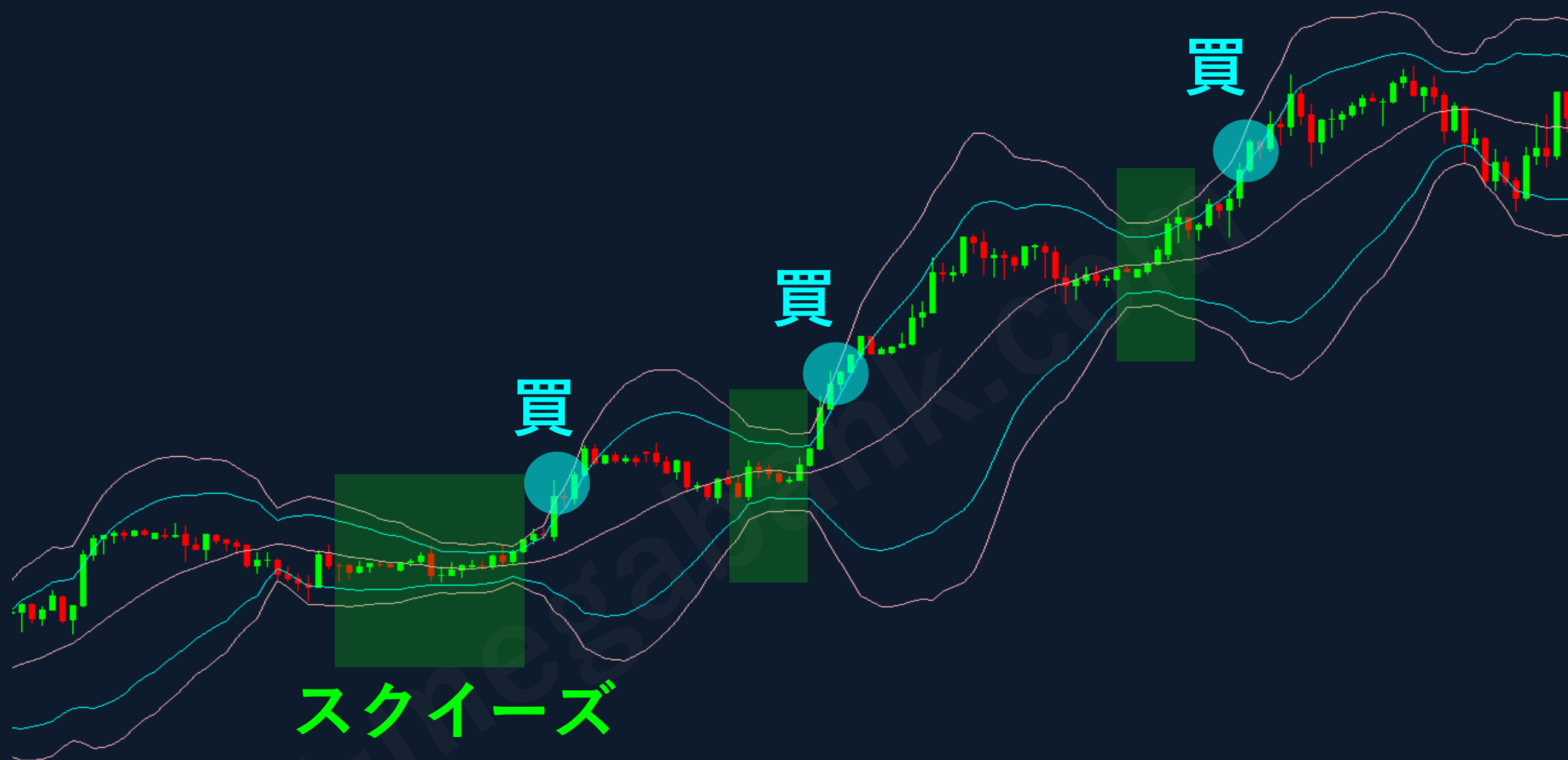
ボリンジャーバンド手法①：逆張り



逆張りは必ずスクイーズ中のみを狙う
(エクспанションで逆張りはNG)

スクイーズからエクспанションへの移行で
負けるリスクが高いため必ず損切りを置く

ボリンジャーバンド手法②：順張り



ステップ1：スクイーズを確認



ステップ2：その後のエクспанションを狙う

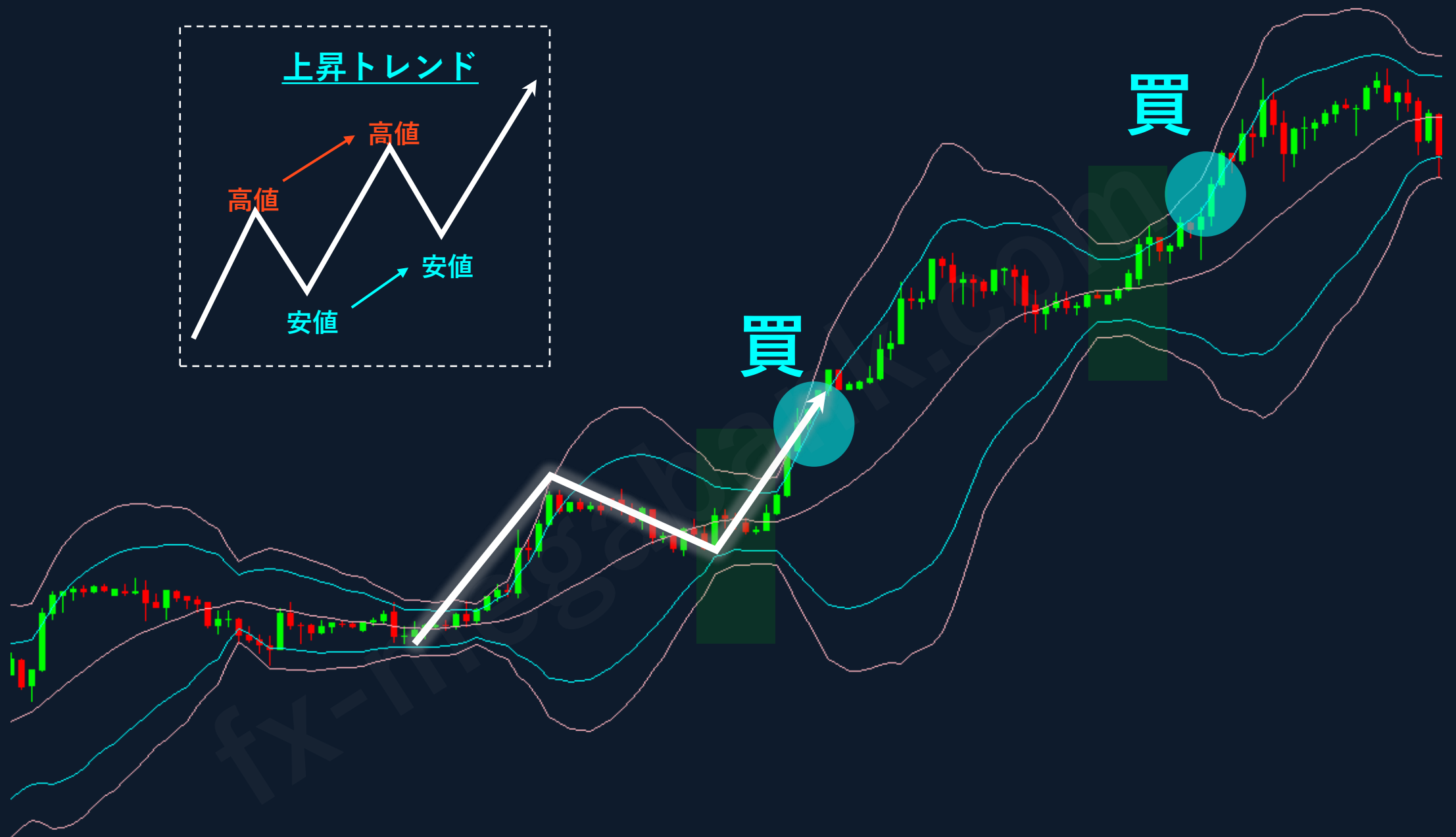
しかし、エクспанションで必ずトレンドが発生し、
バンドウォークするとは限らない

ボリンジャーバンド + ダウ理論



ダウ理論ではまだ下降トレンドは確定して
いないので、エクспанションで売りは控える

ボリンジャーバンド + ダウ理論



ダウ理論では上昇トレンドが確定しているので、
エクспанションで買いを狙える

第16章

RSI

インジケータの種類

① トレンド系



- ・ 相場のトレンド状況（上昇・下降・レンジ）を判断
- ・ 移動平均線、ボリンジャーバンド、一目均衡表など

② オシレーター系



- ・ 相場の過熱感（買われ過ぎ・売られ過ぎ）を判断
- ・ RSI、MACD、ストキャスティクスなど

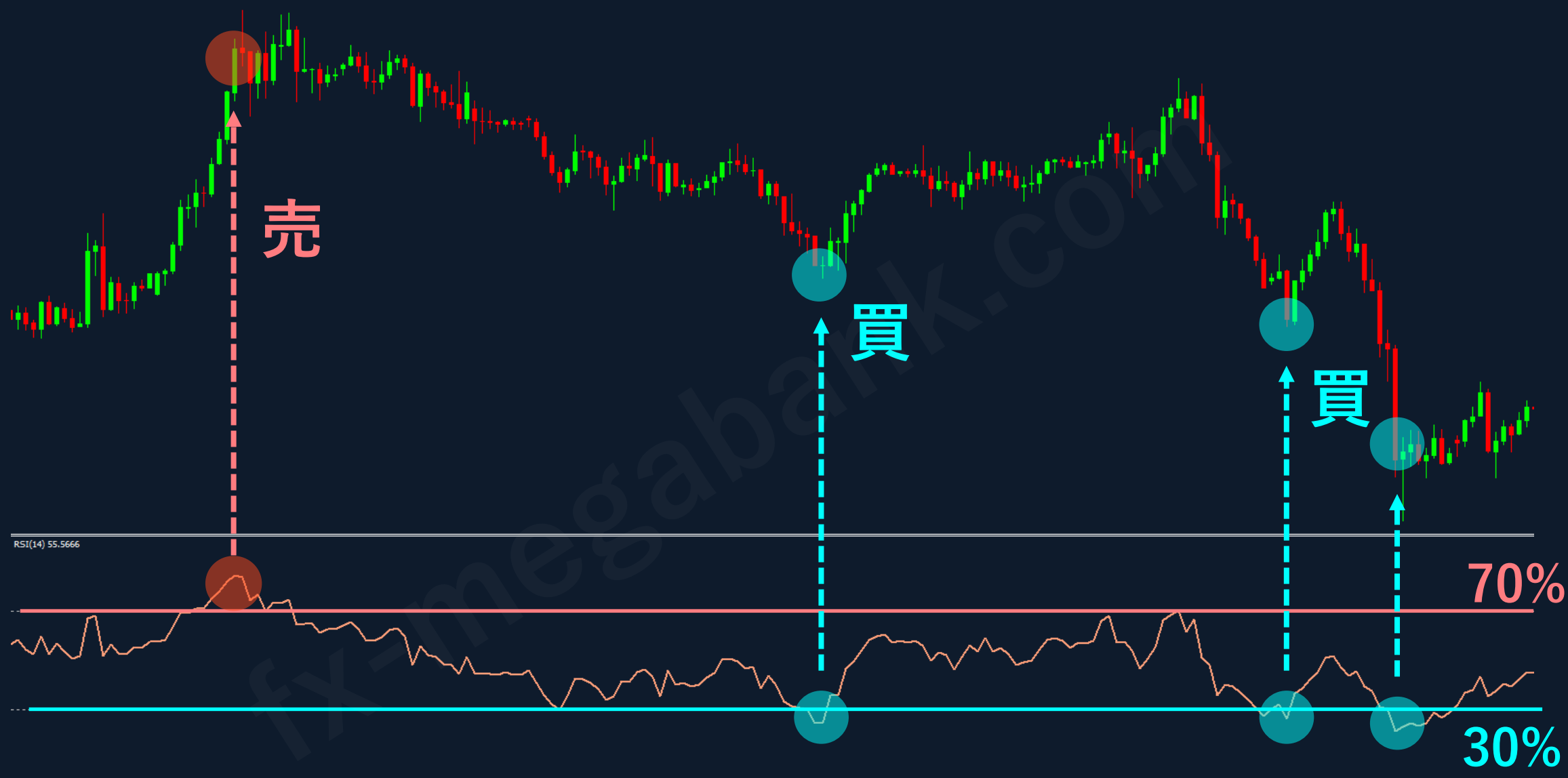
RSIの見方



RSIは相場の過熱感を0～100%で示す

- ・ 70%以上：買われ過ぎ
- ・ 30%以下：売られ過ぎ

RSIの誤った使い方



- RSIが70%以上で売り？
- RSIが30%以下で買い？

このような安易な逆張りの使い方は危険！

RSIの安易な逆張りは危険



- RSIは過熱感を示すに過ぎず、70%・30%でトレンド転換を示すわけではない
- よって、強いトレンド時の逆張りは失敗する

RSIのしくみ

n期間の
終値ベースの

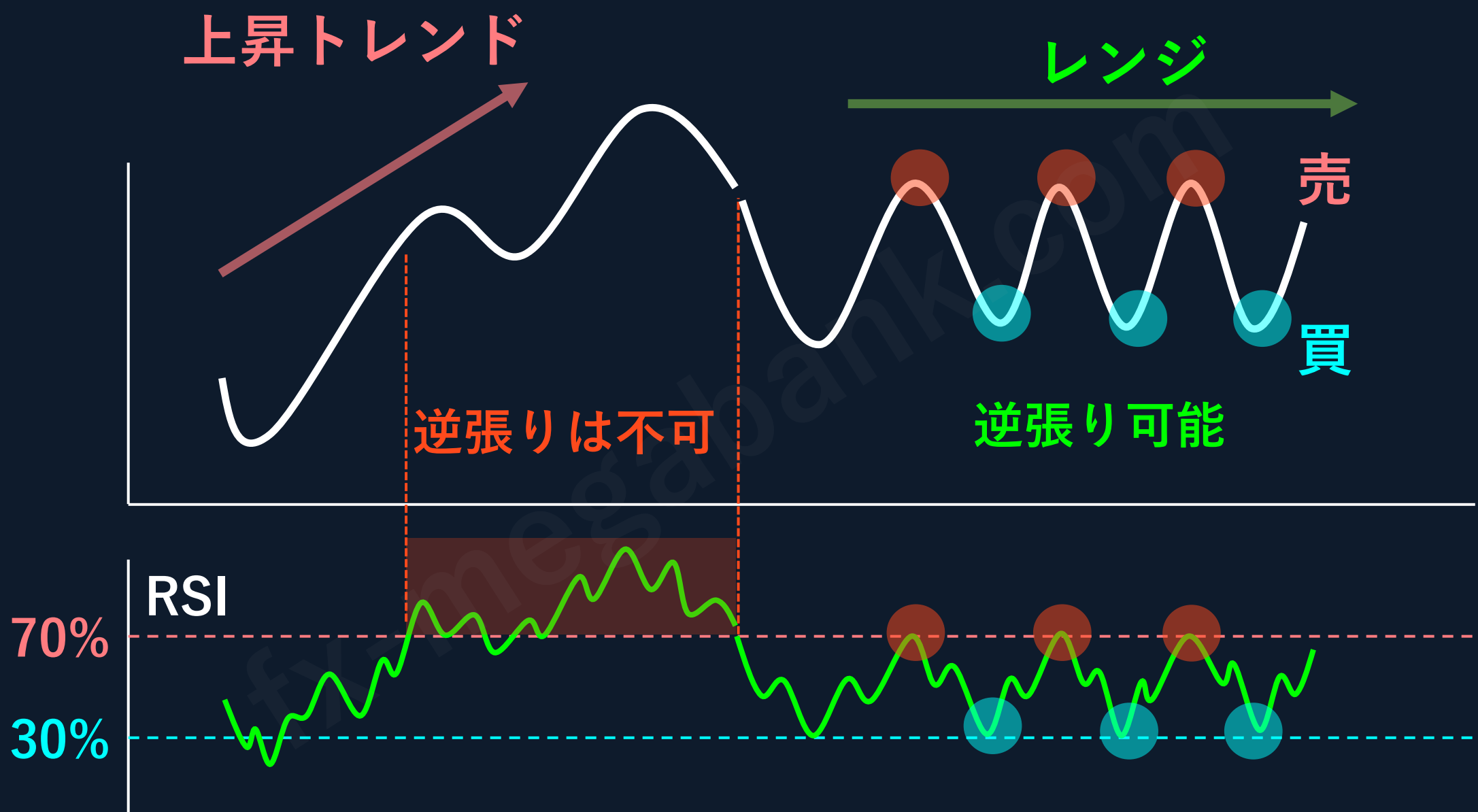
※期間nは14が一般的に使われる

上昇幅合計

$$\text{RSI} (\%) = \frac{\text{上昇幅合計}}{\text{上昇幅合計} + \text{下落幅合計}} \times 100$$

- RSIは0～100%の間となる
- 直近の上昇幅の割合が大きいほど、RSIは大きい
(直近の下落幅の割合が大きいほど、RSIは小さい)
- 上昇トレンドで、上昇幅が次第に小さくなれば、RSIは小さくなる
→ダイバージェンスに関連

RSI手法① レンジ相場での逆張り



トレンド相場 ⇒ 逆張りは避ける

レンジ相場 ⇒ 逆張りは機能しやすい

RSI レンジ相場の見極め方

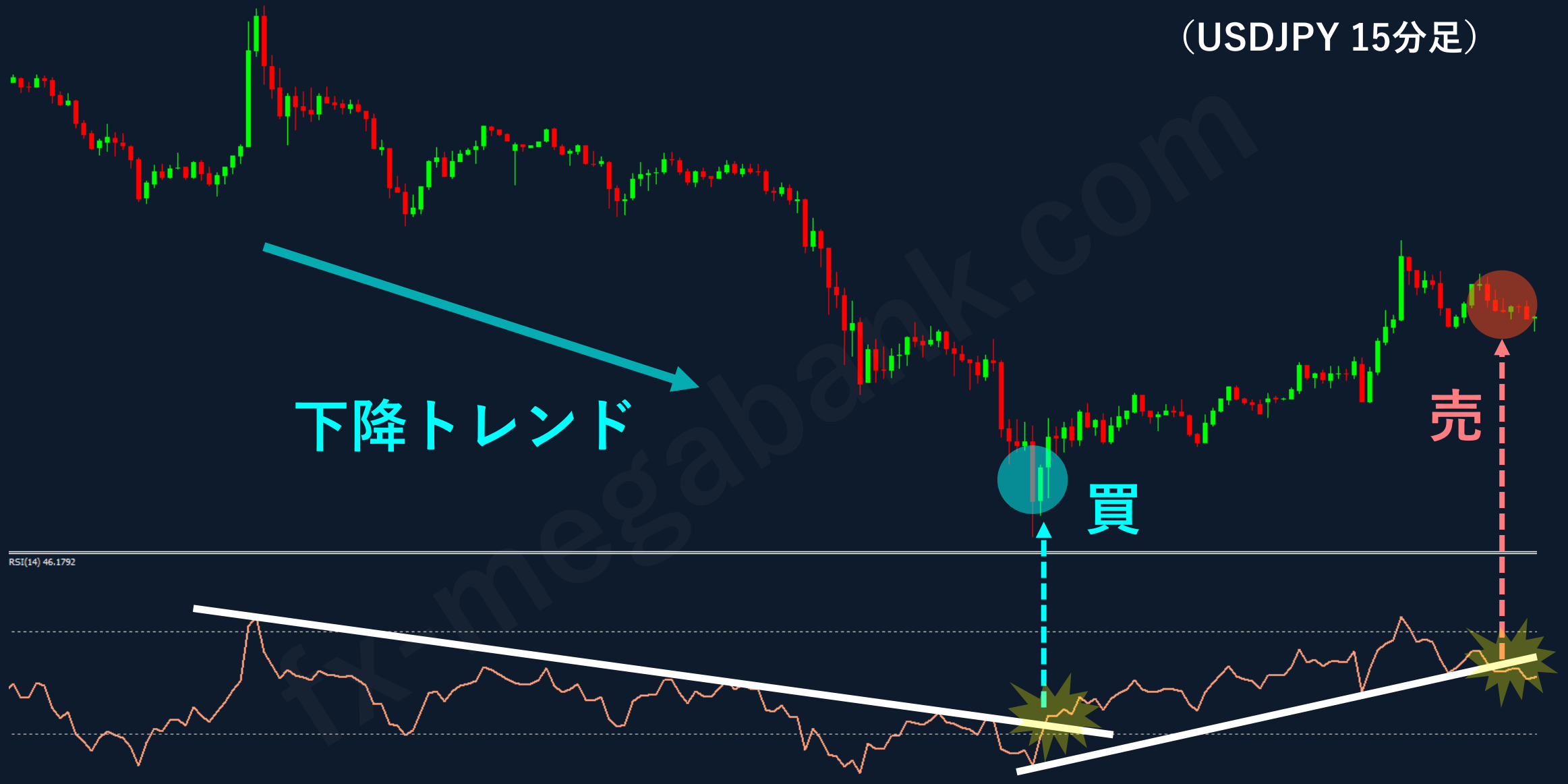
(USDJPY 30分足)



水平線に囲まれたボックス相場では、明確なトレンドが発生しておらず、RSIを使った逆張りが有効

RSI手法② RSIのトレンドライン割れ

(USDJPY 15分足)



RSIにトレンドラインを引き、抜けた時点でエントリー

RSI手法③ RSIのダイバージェンス

(USDJPY 1時間足)



- ・ダイバージェンスは売買タイミングが分からない
- ・よって、ライン等の他のテクニカルと組み合わせる

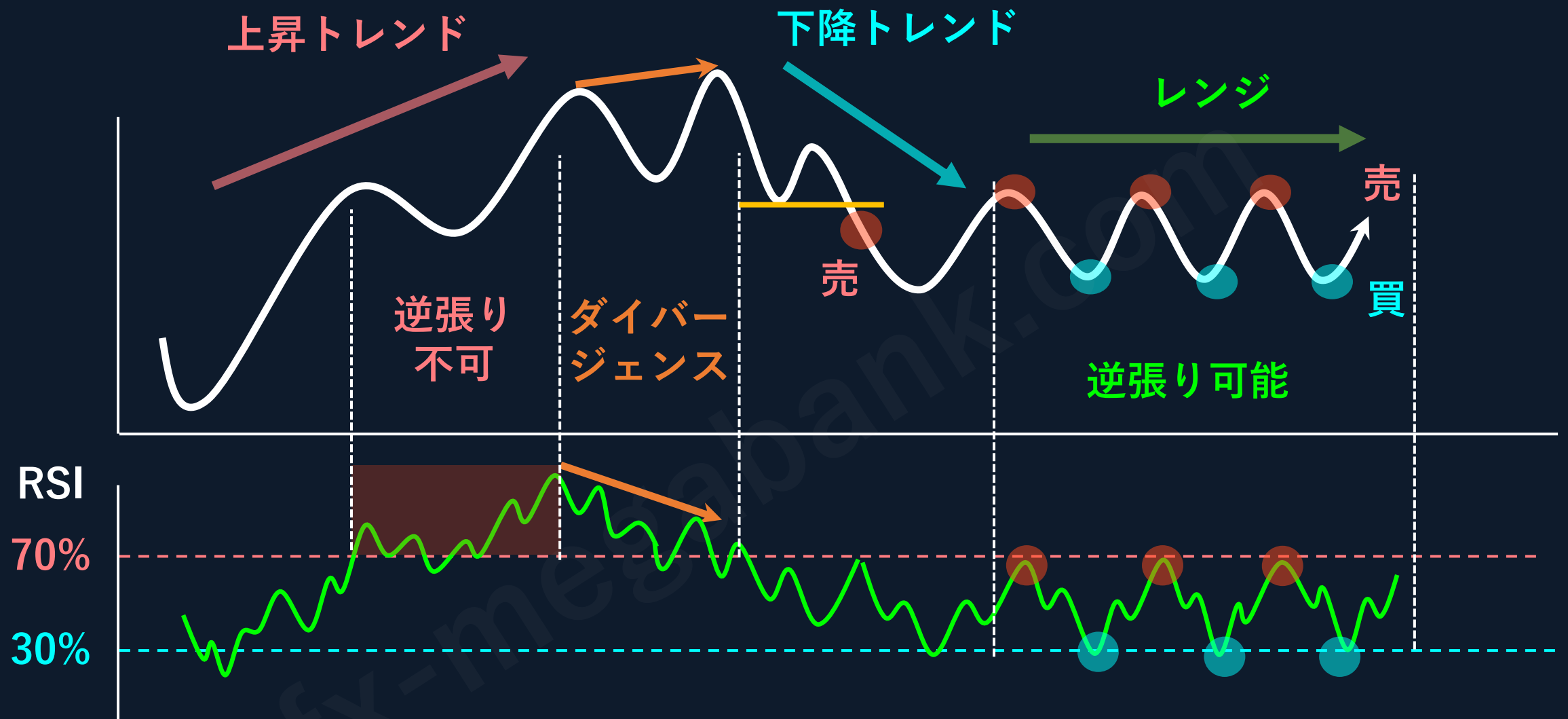
RSI手法③ RSIのダイバージェンス

(USDJPY 1時間足)



- ・ 下降から上昇を示すダイバージェンス発生
- ・ レジスタンスを上に抜け、買いでエントリー

RSIのまとめ



- **トレンド相場**：RSIによる逆張りは不可
- **トレンド転換**：ダイバージェンスを確認
- **レンジ相場**：RSIによる逆張りは可

第17章

ボリバン

+

RSI

ボリンジャーバンドとは

USDJPY 4時間足



ほとんどの確率で価格がバンド内にて推移
⇒ **バンド上下で逆張りエントリー**

ボリンジャーバンドの弱点

USDJPY 4時間足



バンドに沿ってトレンドが発生
(=バンドウォーク)

⇒ボリンジャーバンド単体での逆張りは危険

RSI：相場の過熱感を判断

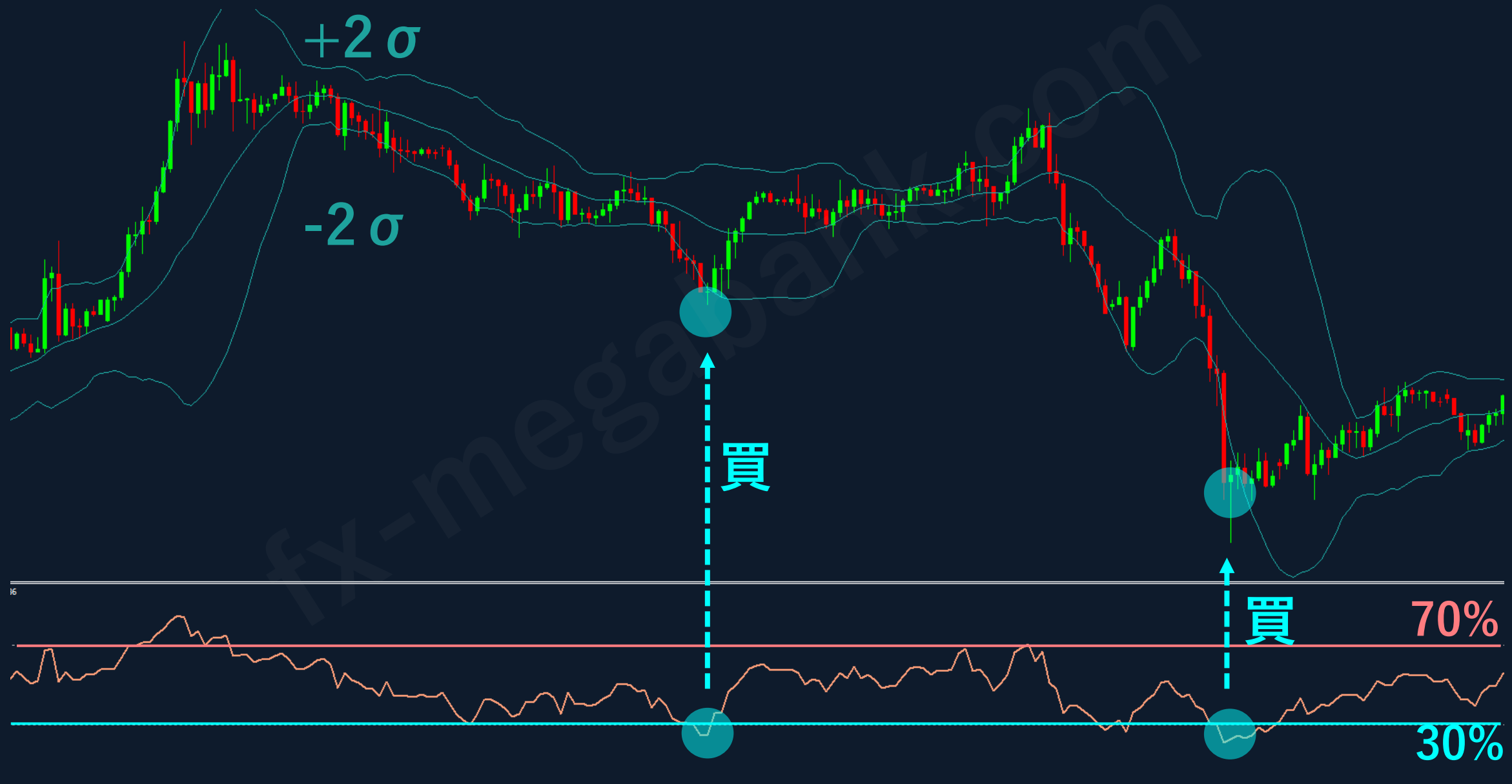


- 70%以上：買われ過ぎ
- 30%以下：売られ過ぎ

ボリンジャーバンド + RSI

買いの場合

USDJPY 1時間足

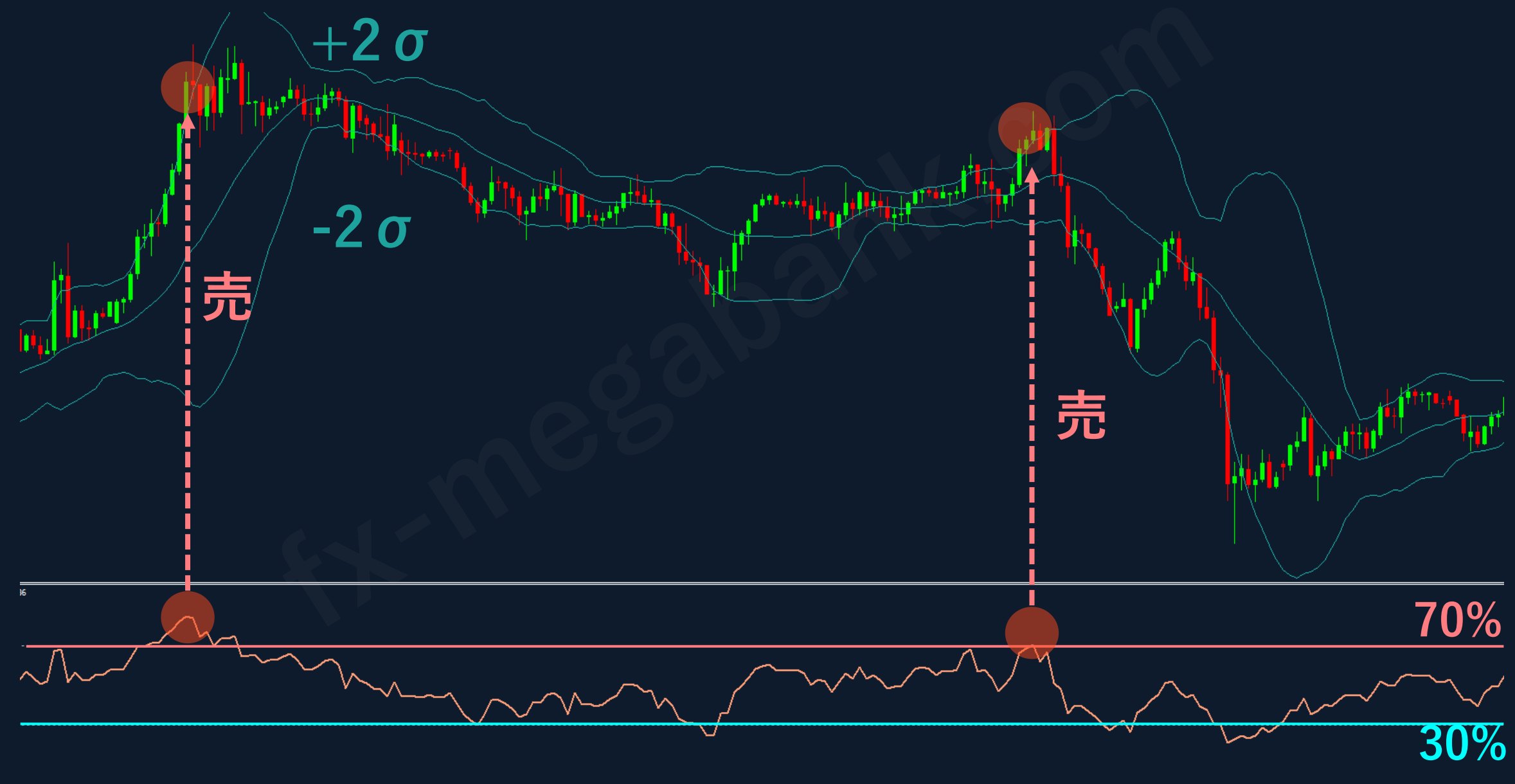


- 価格がボリンジャーバンド -2σ (下側)
- RSIが30%以下

ボリンジャーバンド + RSI

売りの場合

USDJPY 1時間足



- 価格がボリバン + 2σ (上側)
- RSIが70%以上

「ボリバン + RSI」の弱点



強いトレンドが発生すると、
逆張りは失敗する

「ボリバン + RSI」手法の補強

■ 買いポイント

- 価格がボリバン -2σ (下側)
- RSIが30%以下

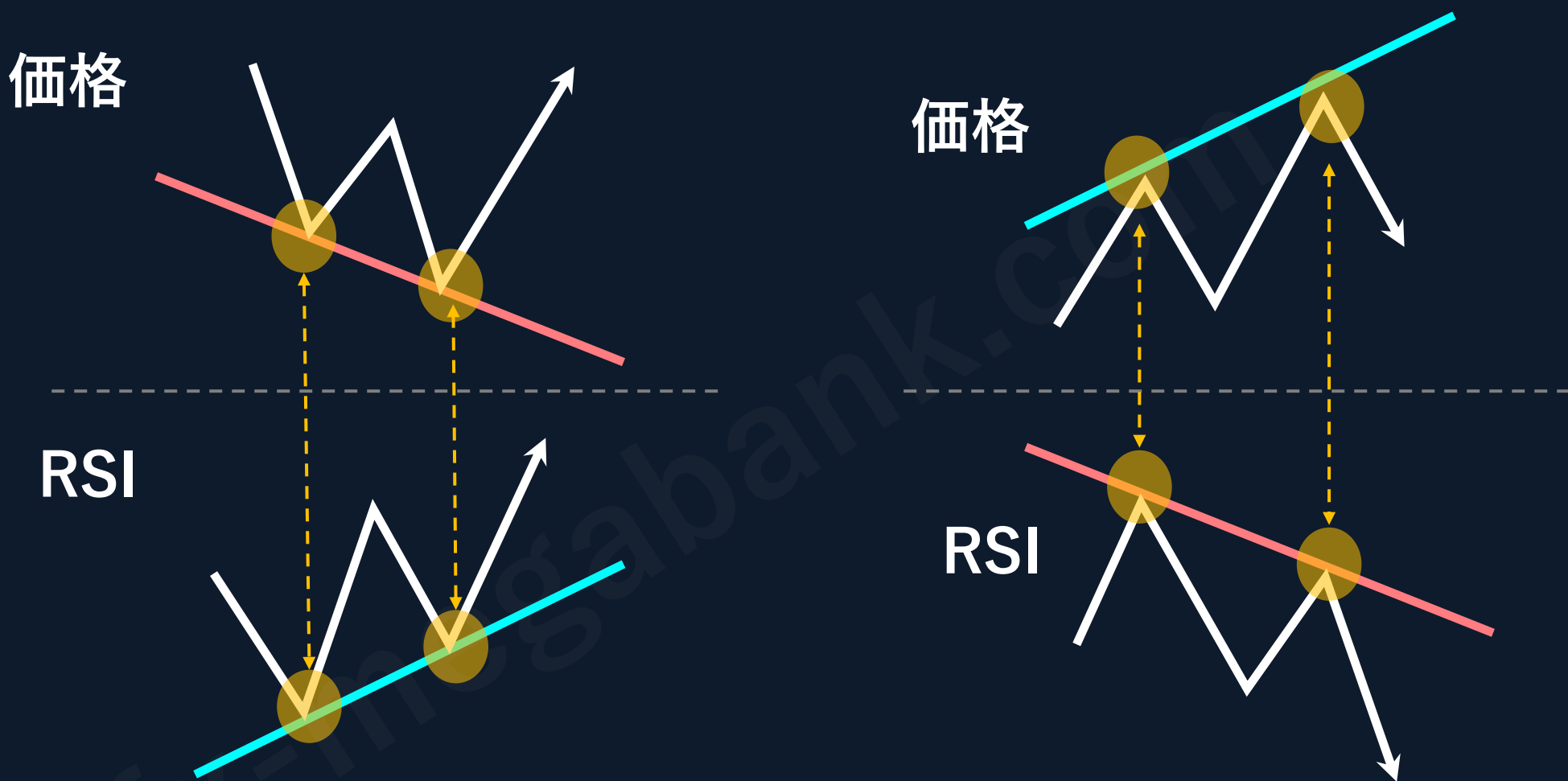
■ 売りポイント

- 価格がボリバン $+2\sigma$ (上側)
- RSIが70%以上

十 **ダイバージェンス**

**非常に強力な
シグナル！**

ダイバージェンス



価格が下落 + RSIが上昇
= 上昇への転換を示唆

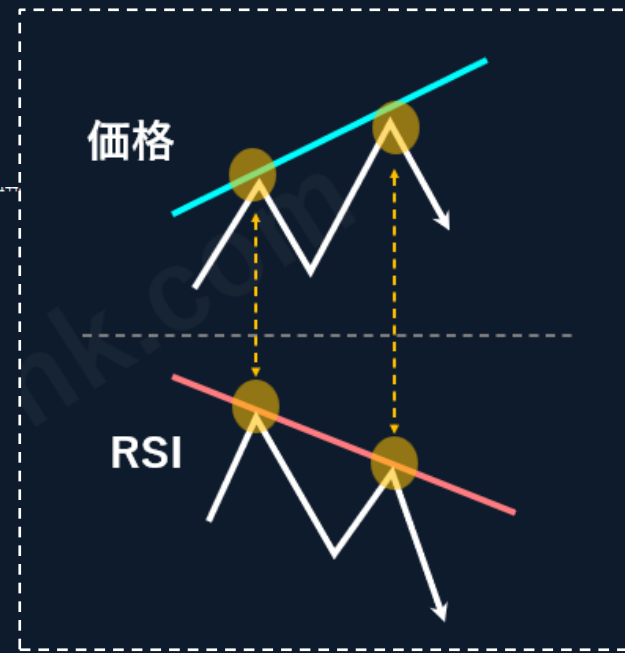
価格が上昇 + RSIが下落
= 下降へ転換を示唆

RSIのダイバージェンス



価格が**上昇** + RSIが**下落**
= **下降**へ転換を示唆

ボリンジャーバンド + RSI



ダイバージェンス

売

ダイバー
ジェンス無

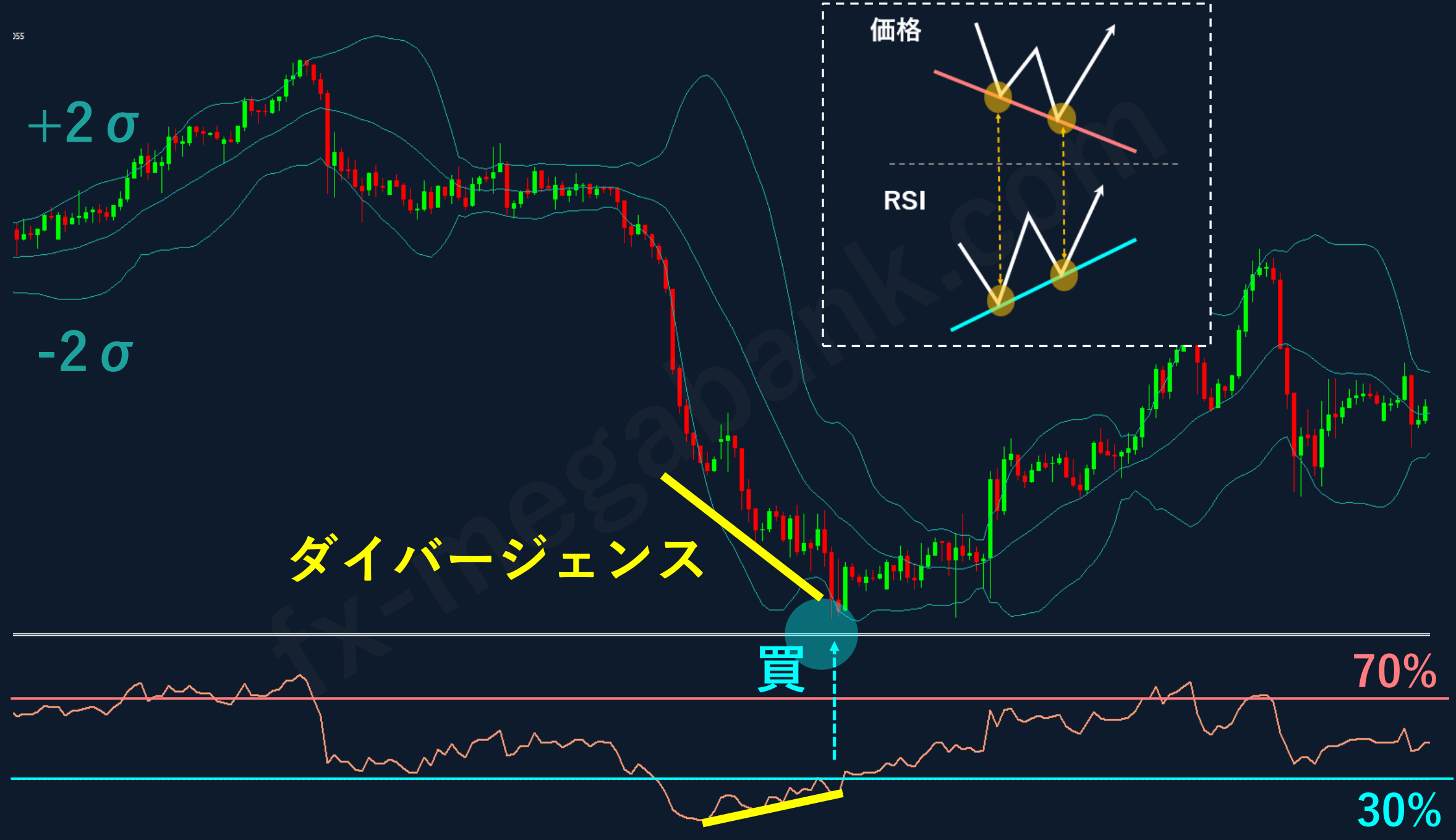
~~売?~~



■ 売りポイント

- 価格がボリバン + 2σ (上側)
- RSIが70%以上
- 下落へのダイバージェンス

ボリンジャーバンド + RSI



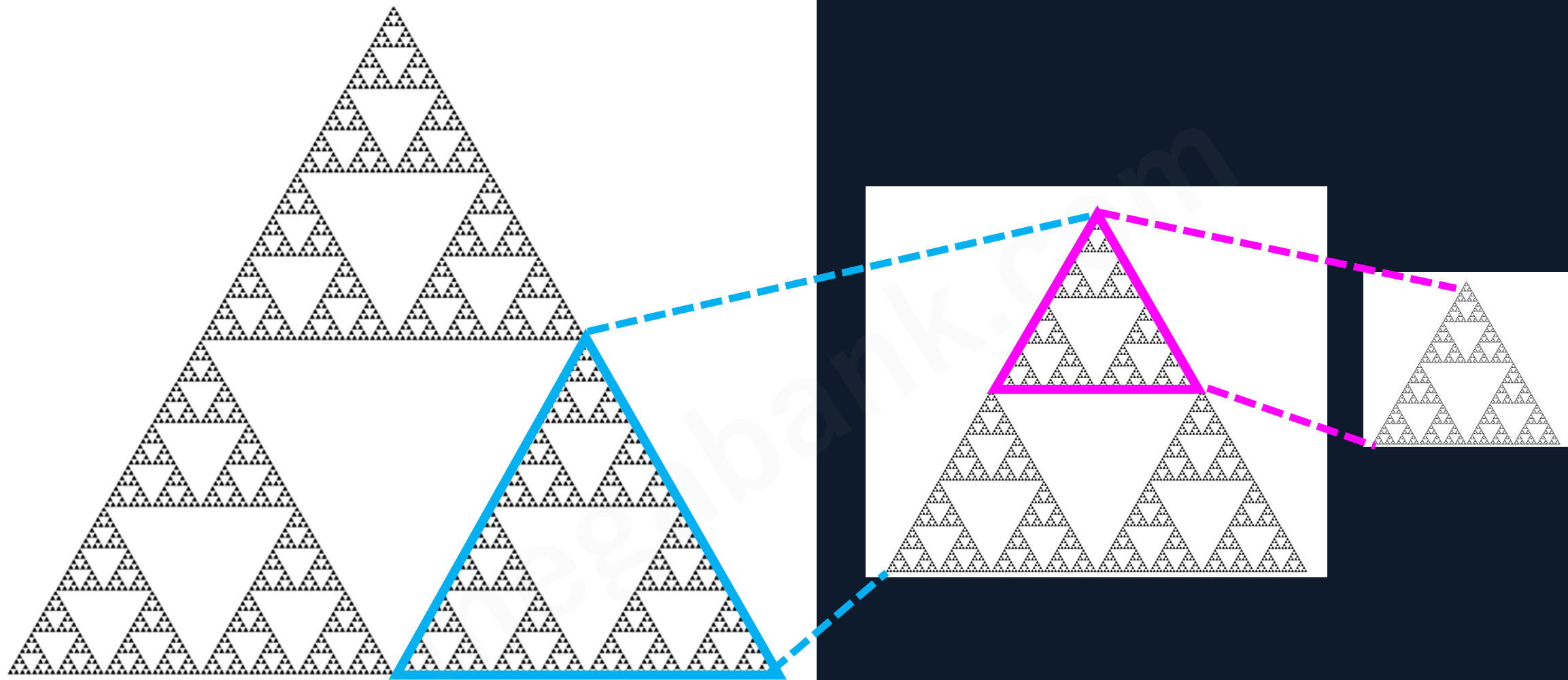
■ 買いポイント

- 価格がボリバン -2σ (下側)
- RSIが30%以下
- 上昇へのダイバージェンス

第18章

フラクタル構造

フラクタル構造とは



・ある一部を切り取ってみると、全体と同じ形になる構造のこと

・雪の結晶、ブロッコリーなど自然界にも存在

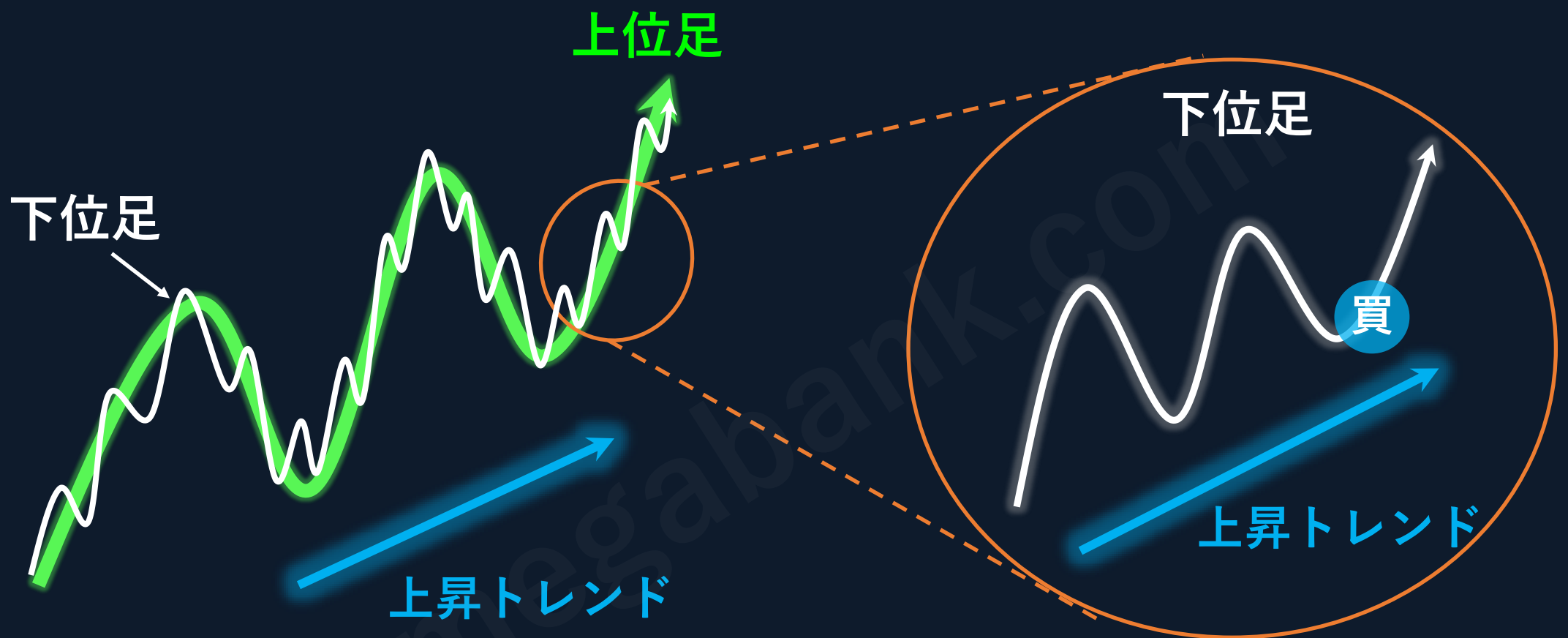
チャートはフラクタル構造



日足の一部を1時間足で見ると同じN字型の波形があり、さらに一部を5分足で見るとN字型の波形がある・・・

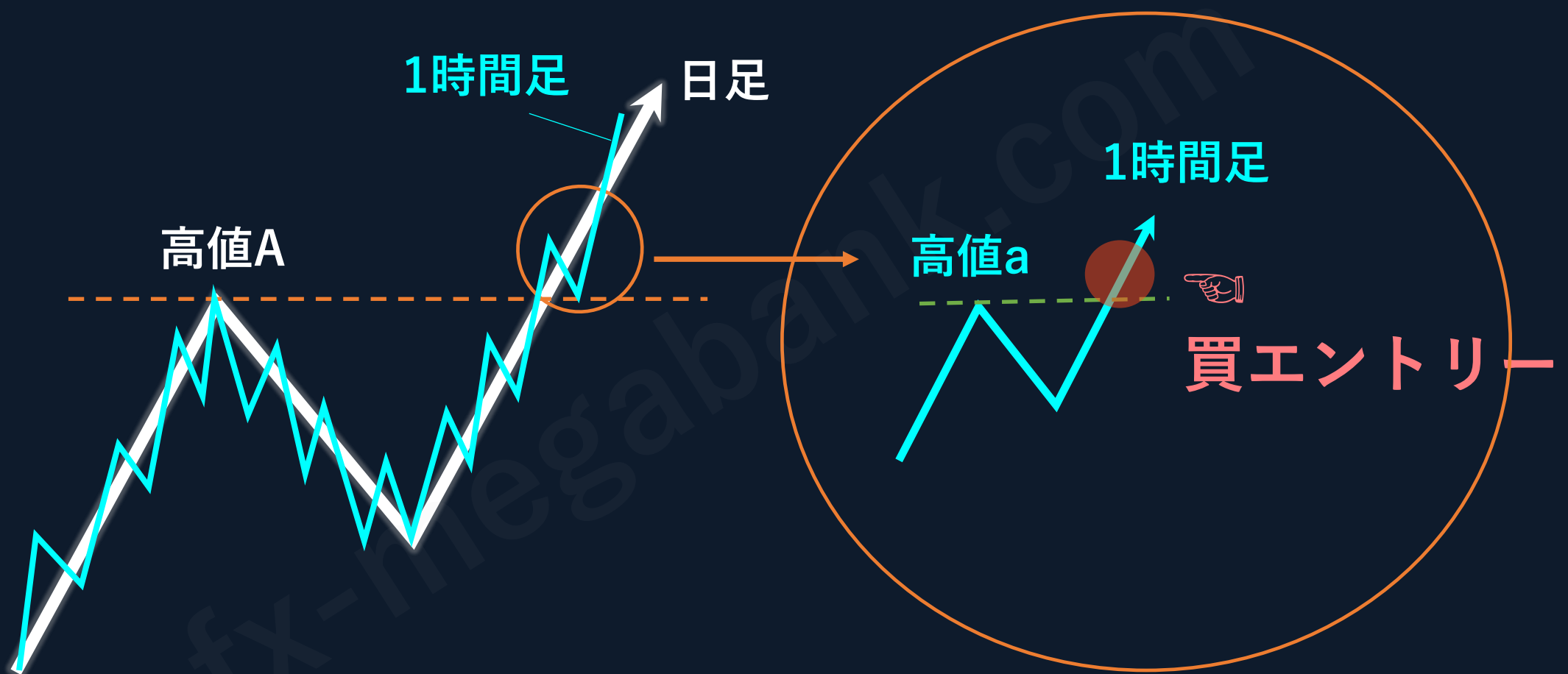
このように、期間を短くすると、次々に同じ形が繰り返されるので、チャートもフラクタル構造となる

FXでフラクタル構造を考えるメリット



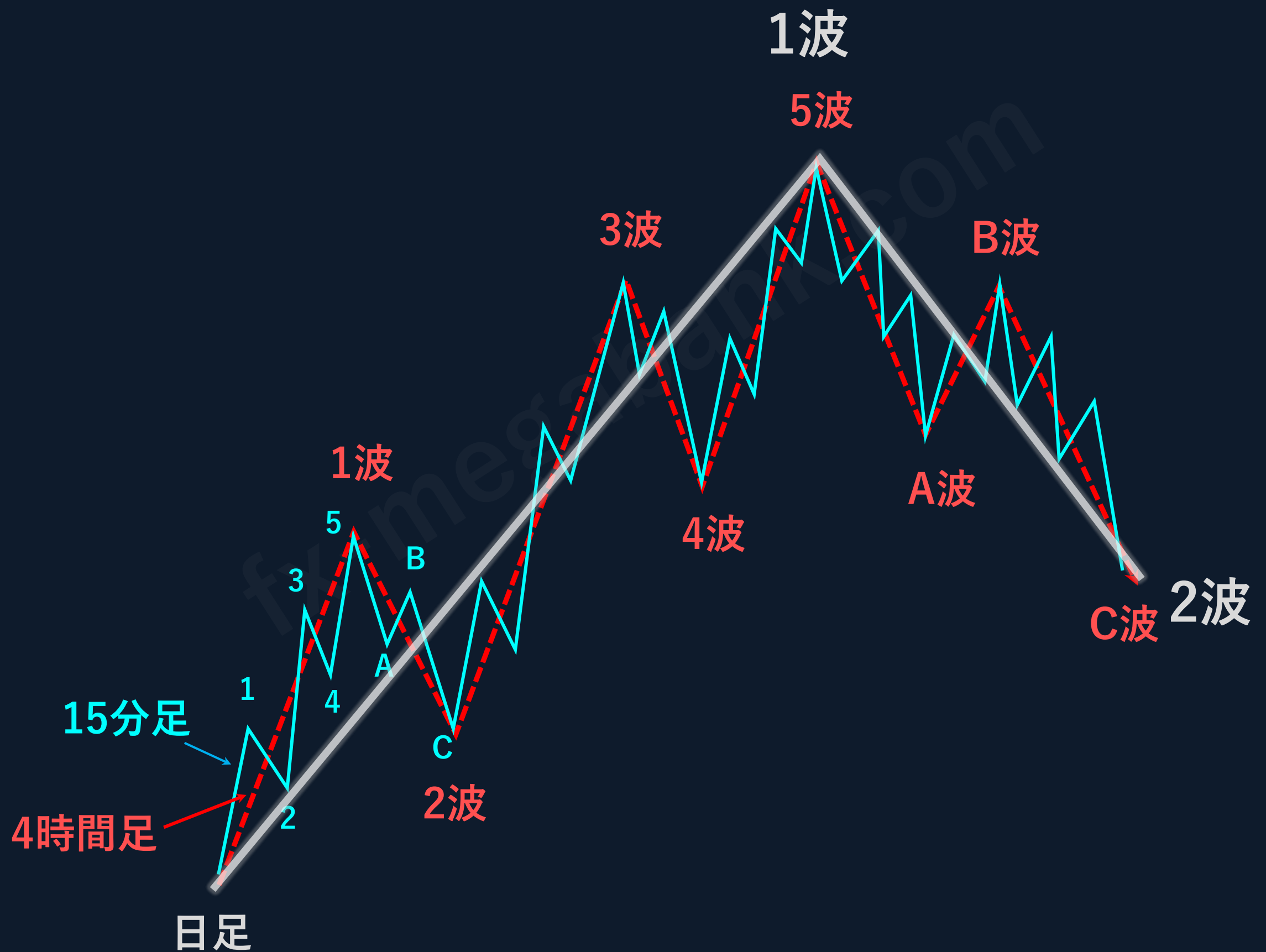
上位足と下位足のトレンドが揃った状態で
トレンド方向へ勝率の高い取引が可能

ダウ理論のフラクタル構造

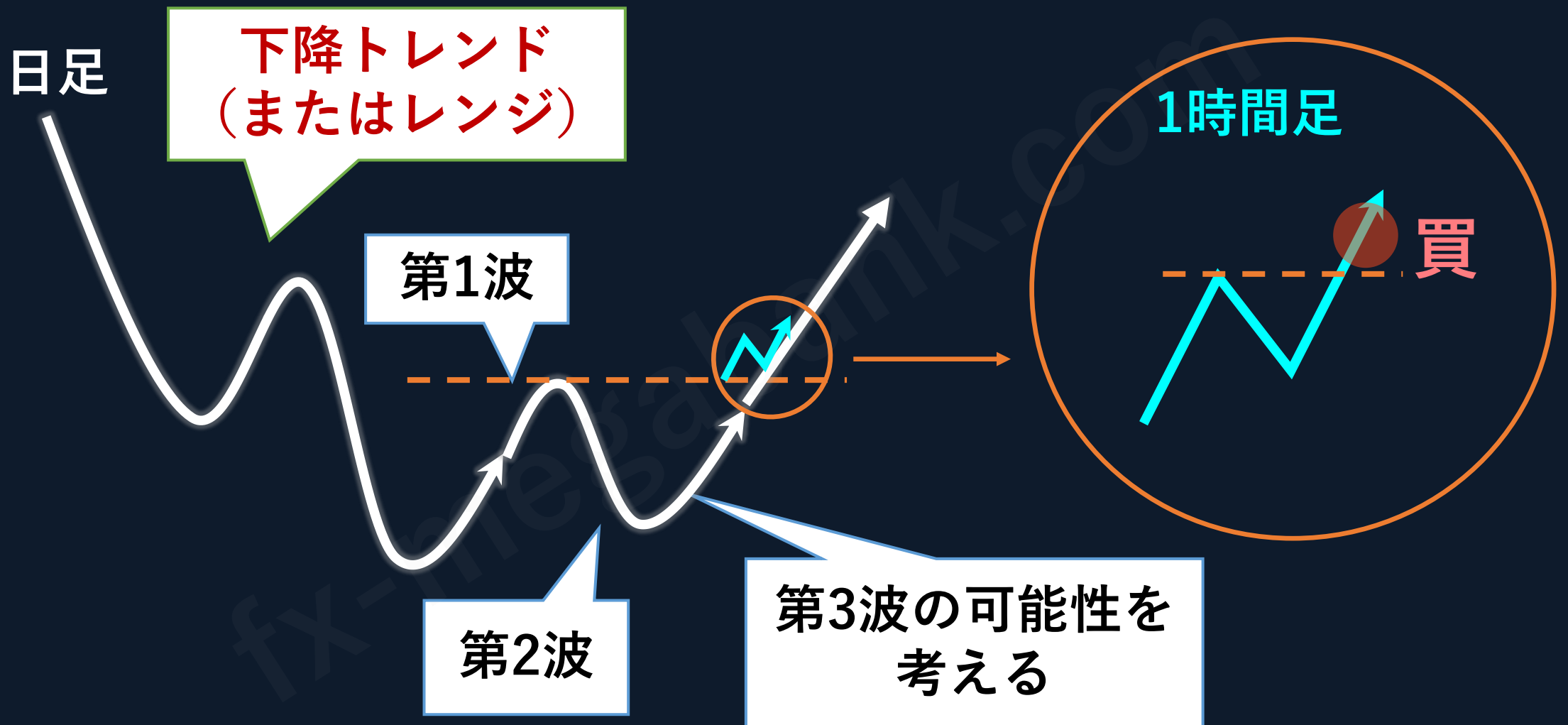


ダウ理論で上位足の上昇トレンドを確認し、更に下位足でも上昇トレンドになった時点で買いを狙う

エリオット波動のフラクタル構造



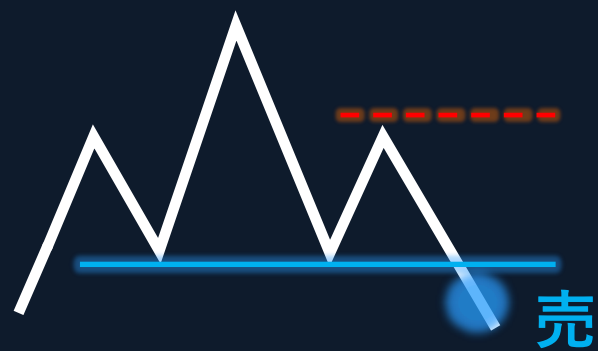
エリオット波動のフラクタル構造



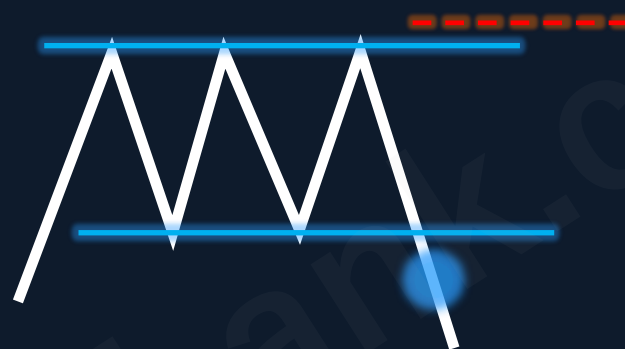
上位足でエリオット波動のカウントをし、下位足でもエリオット波動やダウ理論でタイミングを計る

反転パターン

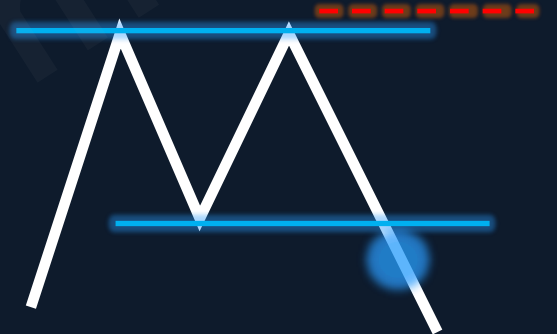
ヘッド&ショルダー



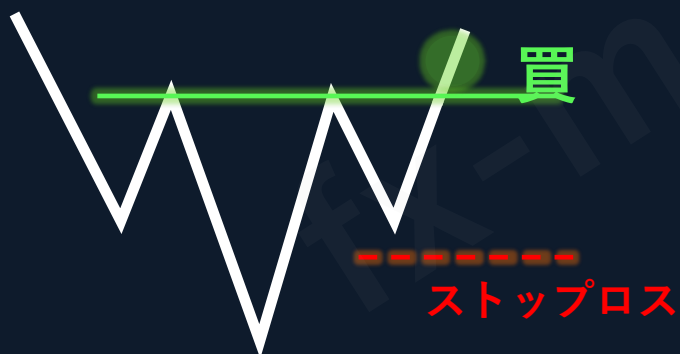
トリプルトップ



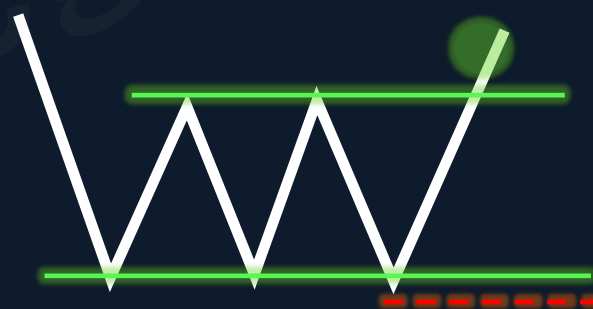
ダブルトップ



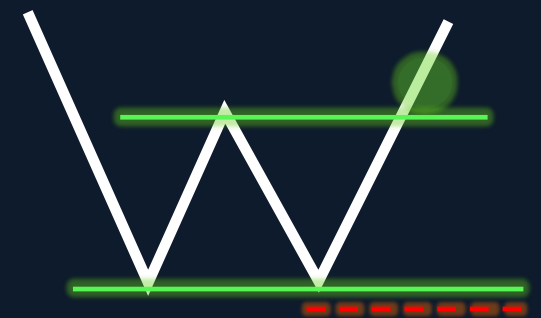
逆ヘッド&ショルダー



トリプルボトム

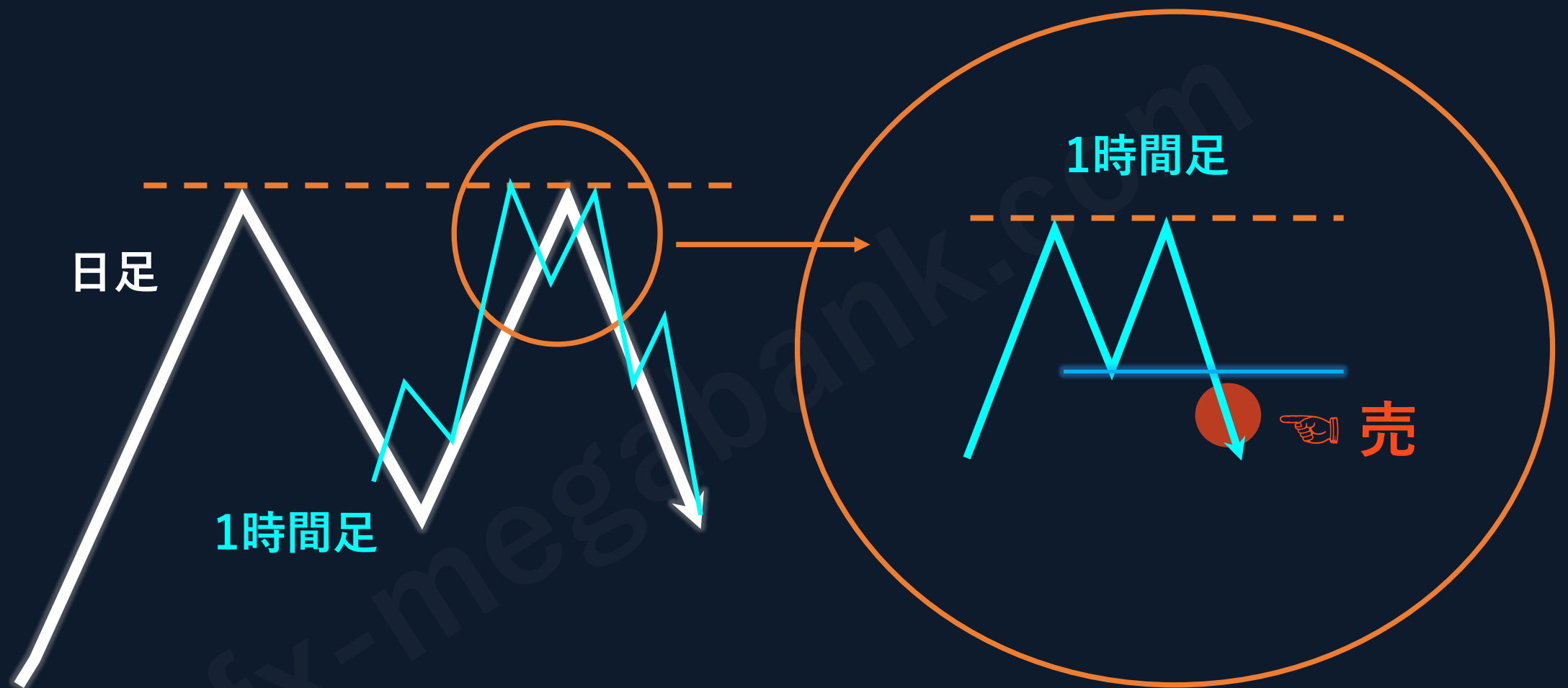


ダブルボトム



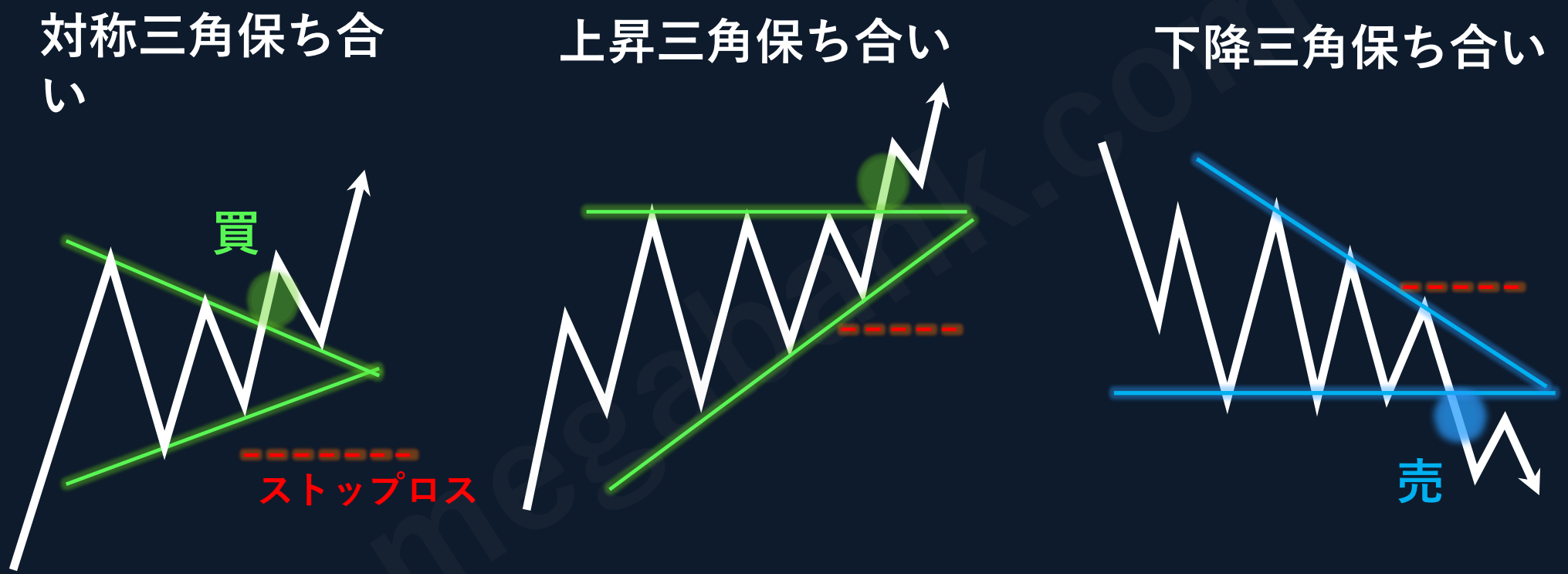
トレンド転換を示唆するチャートパターン

反転パターンのフラクタル構造



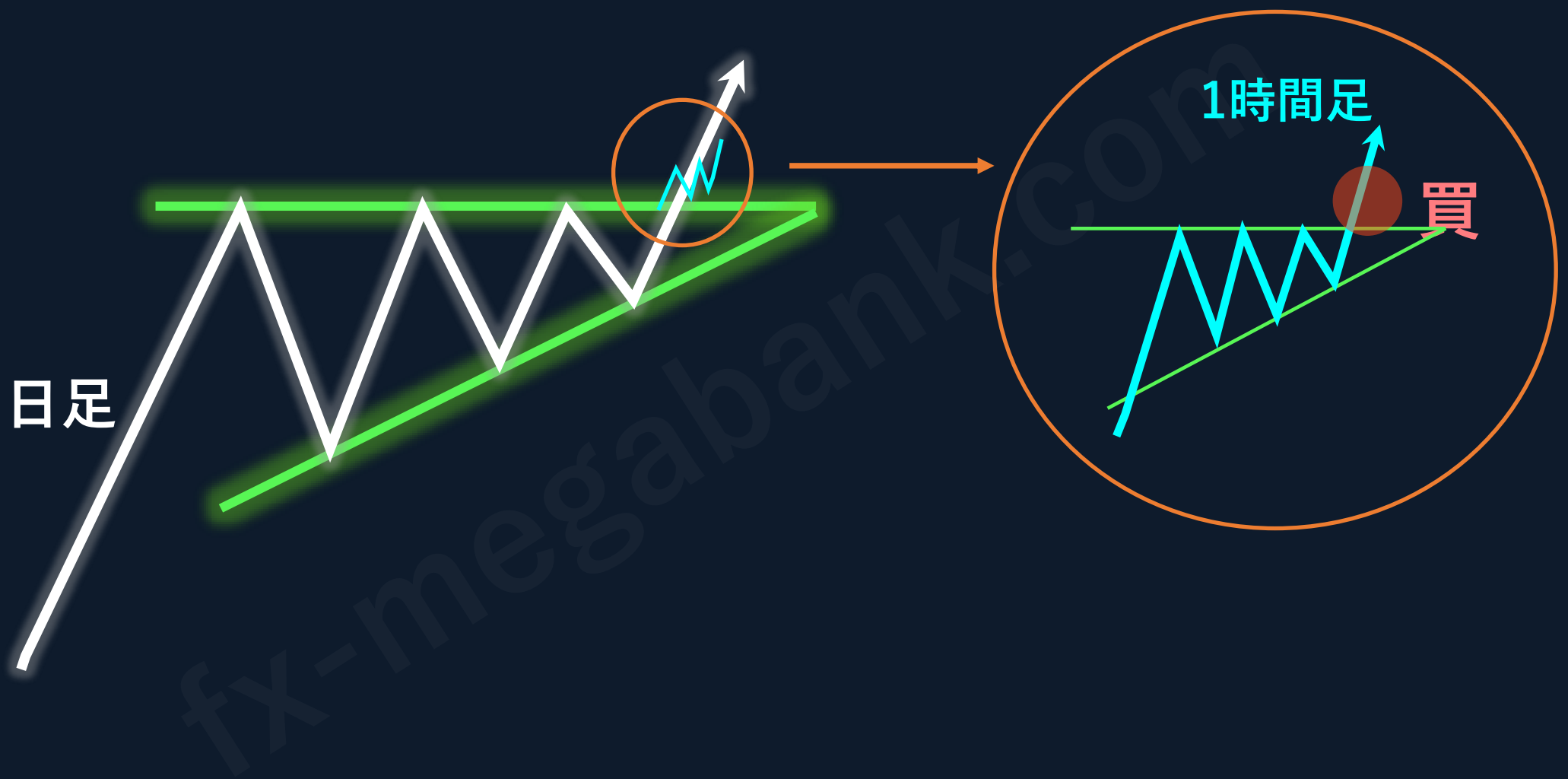
上位足のダブルトップだけでなく、**下位足でもダブルトップ等を確認して売りを仕掛ける**

持ち合いパターン



トレンド継続を示唆するチャートパターン

三角持ち合いのフラクタル構造



上位足の三角持ち合いだけでなく、**下位足でも三角持ち合い等を確認して買いを仕掛ける**

メッセージ

「メガバンク式 チャート分析の教科書」をご覧頂きありがとうございました。

ここまで読み終えたあなたなら、チャート分析の実力は間違いなくアップしていると思います。

そして最後に大事な事をお伝えしたいと思います。

投資で失敗する人のほとんどは、皆、「早く稼ぎたい」という短期的な欲にとらわれてしまっています。

その結果、巷でよくある「誰でも稼げる手法」「私があなただを稼がせます」「コピートレード」「先出シグナル」などに手を出し、最悪の場合は詐欺などに合っています。

断言しますが、**この世に「楽に稼げる方法」なんて存在せず、投資で稼ぐには誰かに完全に依存するのではなく、自分自身のスキルを磨いていくしかないのです。**

本教材を手にした皆さんには、それが出来ると信じています。

最後に実践教材（無料）のお知らせです。
有料教材ではないので、ご安心ください！

自分自身で勉強してスキルを磨きたいという方に、是非、手に取って頂きたい教材です。

これらは誰もが知っているDMMや松井証券、GMOなどの超大手の国内証券会社とタイアップで作成した教材です。

読者様へは口座開設のお礼としてプレゼントしております。

FXの教科書
ラインを制するものは相場を制する
ラインの王道
FX College
動画3時間
PDF91ページ超

ライントレード
・ 動画3時間
・ PDF91ページ分

FXの教科書
ライントレードの7つの手法を伝授
ラインの王道
YAIBA 刃
FX College
実際のチャートを使い
分かりやすく解説!!

ライントレード 実践
・ PDF57ページ分

FXの教科書
3つの波動分析手法を公開!
波動の王道
波動を極めし者は
トレンドを極める
FX College
動画 1時間37分
PDF 125ページ超

波動分析
・ 動画1時間37分
・ PDF125ページ分

FXの教科書
The Ultimate Scalping Strategies
スキャルピングの王道
プロが実践する
高速取引マニュアル
FXトレーディングカレッジ
動画 1.3時間
PDF 97ページ

スキャル手法
・ 動画1.3時間分
・ PDF97ページ分

なお、私の専門が外国為替（FX）で、もともとFX系のメディアを運営していることから、FXの教材名になっていますが、

これらの教材で解説している内容は、FXだけではなく、S&P500や日経などの指数、個別株、暗号資産、コモディティなど、あらゆる市場で通用する普遍的な内容となっています。

なので、FX以外の投資をしたい方にも、有益な内容となっています。

FXの教科書
ラインを制するものは相場を制する
ラインの王道
FX College
動画3時間
PDF91ページ超

ライントレード
・ 動画3時間
・ PDF91ページ分

FXの教科書
ライントレードの7つの手法を伝授
ラインの王道
YAIBA 刃
FX College
実際のチャートを使い
分かりやすく解説!!

ライントレード 実践
・ PDF57ページ分

FXの教科書
3つの波動分析手法を公開!
波動の王道
波動を極めし者は
トレンドを極める
FX College
動画 1時間37分
PDF 125ページ超

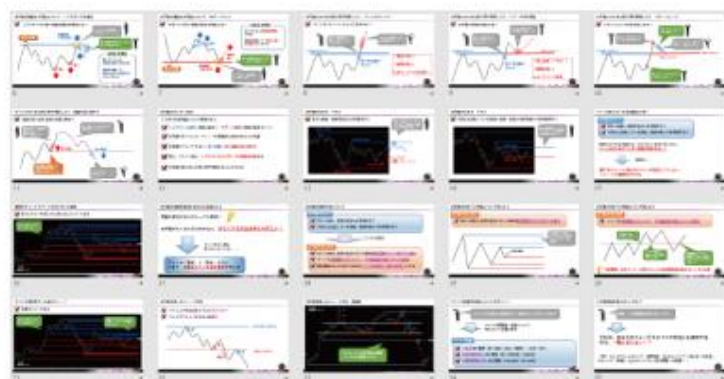
波動分析
・ 動画1時間37分
・ PDF125ページ分

FXの教科書
The Ultimate Scalping Strategies
スキャルピングの王道
プロが実践する
高速取引マニュアル
FXトレーディングカレッジ
動画 1.3時間
PDF 97ページ

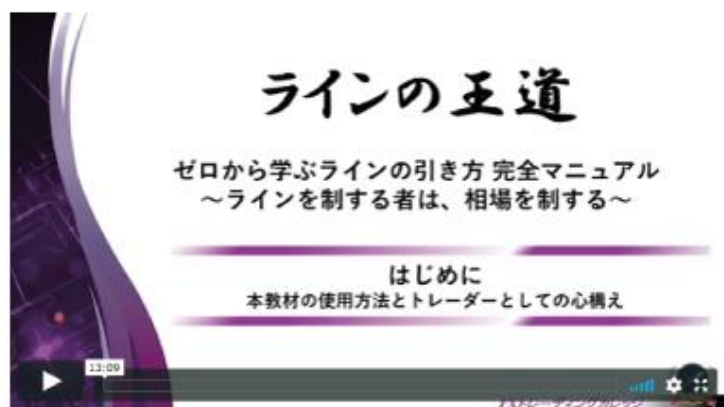
スキャル手法
・ 動画1.3時間分
・ PDF97ページ分

「ラインの王道」カリキュラム詳細

『ラインの王道』は、以下の通り、全5章から構成されています。
また、合計91ページのテキストに加えて、約3時間の動画講義で説明していますので、その辺にあふれかえっている本やテキスト教材を大幅に凌駕しています。



合計91ページの
テキスト



合計3時間の
動画講義

わかりやすい、動画コンテンツで
直感的に理解できます。



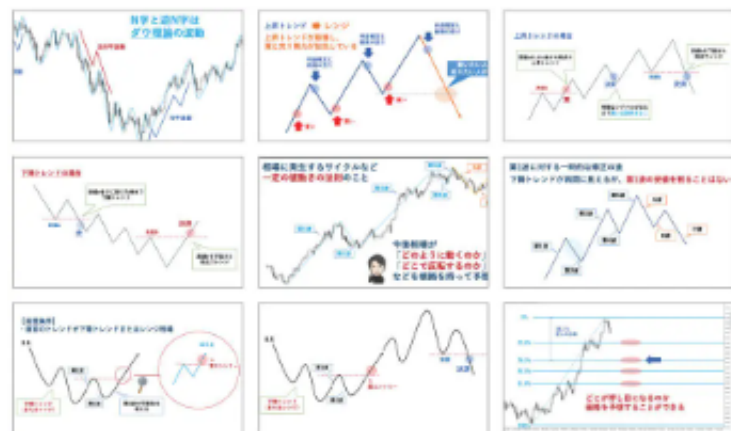
写真はイメージです。実際にパッケージをお渡しするわけではありません。

▼詳細

<https://fx-megabank.com/lp/line-oudou/>

「波動の王道」カリキュラム詳細

『波動の王道』は、以下で紹介の通り、全7章から構成されています。
合計125ページの資料を使用し、約1時間37分の動画講義でカリキュラムが組まれていますので、高い学習効果が見込めます。



合計125ページ
分のテキスト

「ダウ理論」「エリオット波動」「フィボナッチリトレースメント」について、基礎編、実践編に分けて図解していきます。



合計1時間37分
の動画講義

わかりやすい、動画コンテンツ
で直感的に理解できます。



写真はイメージです。実際にパッケージをお渡しするわけではございません。

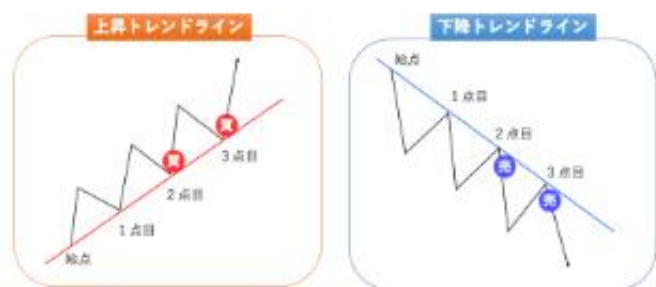
ル。

▼詳細はこちら

<https://fx-megabank.com/lp/hadou-oudou/>

「ラインの王道 刃」カリキュラム詳細

『ラインの王道 刃』は、以下の通り、全5章から構成されています。また、合計57ページ分の質の高いテキストと実際のチャートを使って説明しています。



合計57ページ分の
テキスト

実際のチャートで
解説

FXの勝率を劇的に改善させるライントレードの具体的な7つの手法・秘技を、実際のチャートを元に伝授していきます。



写真はイメージです。実際にパッケージをお渡しするわけではございません。

ん。

▼詳細はこちら

<https://fx-megabank.com/lp/line-yaiba/>

「スキャルピングの王道」カリキュラム詳細

『スキャルピングの王道』は、以下で紹介の通り、全4章から構成されています。

合計97ページの資料を使用し、約1.3時間の動画講義でカリキュラムが組みられていますので、高い学習効果が見込めます。



合計97ページ分のテキスト

表面的な手法だけでなく、なぜ手法が機能するのか背景や理由までも体系的に図解で解説していきます。



合計1.3時間の動画講義

わかりやすい、動画コンテンツで直感的に理解できます。



写真はイメージです。実際にパッケージをお渡しするわけではございません。

ん。

▼詳細はこちら

<https://fx-megabank.com/lp/scalping-oudou/>

「スイングトレードの王道」カリキュラム詳細

『スイングトレードの王道』は、以下で紹介の通り、全4章から構成されています。

合計128ページの資料を使用し、約1.5時間の動画講義でカリキュラムが組まれていますので、高い学習効果が見込めます。



合計128ページ分の テキスト

表面的な手法だけでなく、なぜ手法が機能するのか背景や理由までも体系的に図解で解説していきます。



合計1.5時間の動画講 義

わかりやすい、動画コンテンツで直感的に理解できます。



写真はイメージです。実際にパッケージをお渡しするわけではありません。

▼詳細はこちら

<https://fx-megabank.com/lp/swing-oudou/>

免責事項

- 当コンテンツは運営者による情報提供を目的としたものであって、投資行動の勧誘・助言を目的として記載しているものではありません。各人の投資行動においては、ご自身の判断と責任において行うようお願いいたします。
- 当コンテンツ内の情報は、正確性や完全性を保証するものではありません。コンテンツ内の記載情報を利用することで被った損害、被害等におきましては、万が一記載内容に誤りがあった場合であっても、一切の責任を負いかねますのでご了承の上情報をご覧ください。
- FXなどの金融商品、投資行動はリスクが存在する取引であり、場合によっては大きな損害を被る場合もございます。記載された内容を投資等にご利用なさる際には、くれぐれもご自身の判断でなさるよう、お願い申し上げます。コンテンツの情報を見た結果によって生じるいかなる損失、利益についても、一切の責任を負いかねますのでご了承の上情報をご覧ください。
- 当コンテンツに含まれる情報は、著作権法によって保護されています。本コンテンツの内容は秘匿性の高い内容であり、その情報を事前許可を得ずにいかなる第三者にも公開することを禁じます。